

長崎歴史文化博物館

年報

平成 25 年度



長崎歴史文化博物館
Nagasaki Museum of History and Culture

長崎歴史文化博物館 年報

平成 25 年度

目次

ごあいさつ	3
1. 沿革	4
2. 基本理念	6
3. 事業方針	7
4. 展示企画事業	
(1) 企画展	8
(2) 常設展	40
5. 調査研究事業	
(1) 長崎学調査研究プロジェクト	52
(2) 調査研究活動	56
(3) 資料修理修復事業	58
(4) 資料の管理	60
6. 長崎学・生涯学習支援事業	
(1) 事業概要	63
(2) 一般向け事業	63
(3) 学校向け事業	65
(4) 子供向け事業	67
(5) レファレンス事業	68
(6) 博物館実習	69
(7) 研修の受け入れ	70
(8) 伝統工芸体験工房	70
7. 地域連携事業	
(1) 事業概要	72
(2) 移動博物館	72
(3) イベント実施	72
(4) ボランティア活動	77
8. 広報マーケティング	
(1) 広報ツール	78
(2) 営業活動	94
9. 利用状況	
(1) 来館者統計	95
(2) 主な出来事と来館者	96
(3) 貸館・貸室	96
10. 収支	97
11. 組織	
(1) 職員	98
(2) 友の会	99
12. 施設概要	
(1) 建築概要	101
(2) 施設平面図	101
13. 関連法規	102
14. 利用案内	135

ごあいさつ

平成 25 年度年報発刊にあたって



地方自治体が設置する公立の地域博物館は、地域史の解明や地域文化の向上をめざし、市民の生涯学習に対応するプログラムを実施することなどを通して着実に地域に定着するようにすることが重要であります。また積極的にまちづくりや地域の活性化を担うべく、魅力ある展示手法の開発や多彩な教育活動等により集客力を図ることも地域博物館に求められます。

当長崎歴史文化博物館も、開館以来満 8 年半、つねに地域の人々に親しまれる開かれた博物館、地域の活性化に寄与する博物館をめざして運営に当たってきました。そのために平成 25 年度におきましても長崎学の調査研究と教育活動はもとより、企画展を中心とした広報マーケティング・営業活動にもかなり努力し、そのことが本年報から読み取っていただけたと思います。

長崎学調査研究につきましては前年度の年報でも触れましたが、長崎市域を中心としながらも長崎県内外、海外を含めた長崎の歴史や文化についての調査研究を国内外の研究者や各機関等との連携協働のもとに推進し、長崎学の継承・発展、その成果の発信に努めてきました。それは平成 23 年度から 3 年間にわたり進めた文化庁助成事業を、25 年度末に研究のプロセス、成果等を報告書にまとめて記載してあります。

当博物館では、調査研究でも個別に対馬藩関係資料、絵はがきなどの高精細画像を撮影し、館所蔵の資料についてのより深い研究、近代以降の長崎についても目を向けた研究に取り組みだしております。さらに研究部門の業務として資料の修理修復事業について、従来以上に重点的に取り組んだのも 25 年度の特徴といえると思います。修理修復すべき資料が多く、かつ外部からの要望も少なくない状況にあってベテランの専門家が一人では到底対応が困難でありましたが、新たに特訓を受けた若い研究員がこれを担当することが可能になったからであります。いうまでもなく修理は資料本来の機能を保持するために行い、本来の使い方ができるようにすることであり、修復は本来の機能を取り戻すよりは今残っている資料の状態を維持するために資料に対し施される処置といえると思いますが、根気とエネルギーを要するのみならず相応の予算措置も必要であるだけに容易な業務ではありません。そのような中で 25 年度は修復した古文書資料 50 点、劣化の著しい資料に対する裏打ちなどを精力的に進めたのであります。

また教育事業としましては、生涯学習支援事業として学校向け、子供向けの事業のほか、展示内容や長崎学に関する専門的な情報を提供するレファレンス事業、さらには移動博物館など多彩なプログラムを実施しました。特に 25 年度には開館以来、当博物館運営には欠かせないボランティア活動について、導入の経緯、寸劇ボランティアを含む活動内容や問題点などを分析し、実践報告書「地域との連携～ボランティア～」としてまとめました。ご一読いただければ幸いに存じます。

なお、常設展及び企画展を含む総入館者数は、昨年度に続き目標より下回り残念に思います。常設展の利用者が依然として 23 年度以前の状態に回復しておりません。利用者サービスには格別の配慮をし、様々な対策を講じておりますが、まだまだ工夫が必要だと認識させられました。企画展も地域住民や利用者のニーズに沿ったテーマ設定など、いくつかの課題にチャレンジしていかなければならないと思っております。

いずれにしましてもこの 1 年間、行政、企業、マスコミ各社、文化団体ほか各種団体、大学、学校、地域の皆様に多大なご支援ご協力を賜りました。ここに深く感謝の意を表したいと思います。今後も一層「進化する博物館」を目指し努力してまいりますので、本年報に対するご指摘、ご意見と併せてご指導、ご鞭撻くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

館長 大堀 哲

沿革

平成 10 年 (1998)

11 月 18 日 政策創造会議「諏訪の森部会」設置

平成 11 年 (1999)

12 月 15 日 「諏訪の森部会」最終提言

平成 12 年 (2000)

11 月 30 日 諏訪の森の再整備について（基本方針）公表

平成 13 年 (2001)

1 月 15 日 歴史文化博物館（仮称）基本構想専門家会議設置（3 月報告書提出）
11 月 14 日 県・市間で建設・管理運営等に関する覚書締結
11 月 16 日 歴史文化博物館（仮称）基本構想（案）公表
12 月 27 日 歴史文化博物館（仮称）基本構想策定

平成 14 年 (2002)

2 月 22 日 （株）乃村工藝社と展示設計業務委託契約締結
2 月 28 日 （株）黒川紀章建築都市設計事務所と建設工事設計業務委託締結

平成 15 年 (2003)

7 月 19 日 起工式

平成 16 年 (2004)

10 月 15 日 長崎歴史文化博物館条例公布

平成 17 年 (2005)

4 月 1 日 （株）乃村工藝社を指定管理者として指定
5 月 博物館仮事務所開設
7 月 1 日 大堀哲（日本ミュージアム・マネージメント学会会長）初代館長に就任
7 月 5 日 長崎歴史文化博物館事業発表会
8 月 30～31 日 建設工事、展示工事竣工
9 月 1 日 博物館事務所開設式
11 月 3 日 開館記念式典
開館記念特別展「長崎大万華鏡」開催（11 月 3 日～1 月 9 日）
12 月 12 日 入場者数 10 万人突破

平成 18 年 (2006)

8 月 14 日 入場者数 50 万人達成
10 月 20 日 開館 1 周年記念式典
開館 1 周年記念特別展「ローマを夢みた美少年」開催（10 月 21 日～12 月 13 日）

平成 19 年 (2007)

6 月 23 日 入場者数 100 万人達成
11 月 3 日 開館 2 周年
日蘭修好 159 周年・開館 2 周年記念特別展「勝海舟と幕末長崎」開催（11 月 3 日～12 月 9 日）

平成 20 年 (2008)

- 8 月 7 日 入場者数 150 万人達成
- 10 月 31 日 開館 3 周年記念式典
列福式関連特別企画展「バチカンの名宝とキリシタン文化」開催 (11 月 1 日～1 月 12 日)

平成 21 年 (2009)

- 7 月 8 日 指定管理者選定委員会
- 8 月 14 日 入場者数 200 万人達成
- 10 月 5 日 皇太子殿下御来館
- 11 月 3 日 開館 4 周年
日蘭通商 400 年記念「阿蘭陀と NIPPON」展開催 (10 月 31 日～1 月 11 日)

平成 22 年 (2010)

- 1 月 9 日 「長崎奉行所・龍馬伝館」開催 (～平成 23 年 1 月 10 日)
- 5 月 2 日 入場者数 250 万人達成
- 10 月 11 日 入場者数 300 万人達成
- 11 月 3 日 開館 5 周年
開館 5 周年記念特別展「岩崎彌太郎」開催 (11 月 19 日～1 月 10 日)
- 11 月 15 日 長崎歴史文化博物館 (館長 大堀哲) と中国福建博物院 (院長 吳志躍) との友好館協定締結
- 11 月 18 日 開館 5 周年記念式典

平成 23 年 (2011)

- 2 月 11 日 「長崎奉行所・大河ドラマ館」開催 (～10 月 30 日)
- 7 月 8 日 入場者数 350 万人達成
- 10 月 1 日 「孫文・梅屋庄吉と長崎」第 1 回 館長サミット in 長崎開催 (会場: 出島交流会館)
- 11 月 3 日 開館 6 周年
日中国交正常化 40 周年、長崎県・上海市友好交流関係樹立 15 周年記念特別展「孫文・梅屋庄吉と長崎」開催 (10 月 1 日～3 月 25 日)

平成 24 年 (2012)

- 4 月 1 日 常設展示リニューアルオープン
- 9 月 12 日 入館者数 400 万人達成
- 11 月 3 日 開館 7 周年
日中国交正常化 40 周年 長崎県・福建省友好県省締結 30 周年記念「中国福建博物院展
～長崎文化の源流をたずねて～」開催 (10 月 6 日～11 月 30 日)
- 3 月 22 日 中国湖北省 3 館 (辛亥革命武昌起義記念館、辛亥革命博物館、中山艦博物館) との友好交流
協定締結
- 3 月 23 日 「孫文・梅屋庄吉と長崎」第 2 回 館長サミット in 長崎開催 (会場: 長崎歴史文化博物館)
- 3 月 30 日 長崎外国語大学・長崎歴史文化博物館 社会連携協定締結

平成 25 年度 (2013)

- 7 月 31 日 行啓 秋篠宮殿下・眞子内親王殿下
- 10 月 17 日 入場者数 450 万人達成
- 10 月 26 日 国重要文化財指定記念特別展「対馬藩と朝鮮通信使」開幕 (10 月 26 日～12 月 15 日)
- 11 月 3 日 開館 8 周年
- 3 月 1 日 福建博物院交流事業 特別講演会「清朝陶磁をめぐる日中交渉」開催
- 3 月 21 日 東日本大震災復興祈念 福島の花「絆千年桜」植樹
- 3 月 25 日 韓国釜山博物館との交流協定締結

2

基本理念

(1) 長崎歴史文化博物館の基本方針

1) 海外交流史の博物館

海外との貿易を通して繁栄し、多彩な文化を誇った、近世長崎に関する海外交流史を中心とする博物館活動を推進する。

2) 長崎学研究の拠点となる博物館

県内外はもとより、世界に散在する長崎学に関する資料や情報の収集・保存・活用を図るため、さらなる研究体制を強化し、長崎学の研究とその成果の情報発信を行う。

3) 開かれた博物館

子供から高齢者まで、県民・市民の誰もが気軽に利用でき、長崎の歴史や文化に触れることのできる開かれた施設とする。また、多くの県民・市民やボランティアなどが運営に参加できる開かれた組織運営を行い、利用者本位の管理運営を実践する。

4) 連携する博物館

長崎県や長崎市との連携のほか、長崎県内の中核博物館として、県内外および海外の博物館・資料館、学校や研究機関、歴史団体、博物館関連学会との連携を推進する。とりわけ、オランダ・ライデン国立民族学博物館との新たな交流展開とともに中国・福建省福建博物院との交流を本格化させる。

5) 体験と発見の博物館

生涯学習の場として、利用者の要望にあわせて知識・教養を深めることができる、常に新たな発見のある事業、体験を通して楽しく長崎の歴史発見ができる事業を推進する。

6) 地域づくりに貢献する博物館

地域の個性や特色を活かした、新しい地域づくりに貢献できる博物館活動を推進する。また、県民・市民や観光客などが県内の史跡等の情報を一覧できて、長崎の歴史と文化を知る出発点となり、観光的魅力を併せ持つとともに、長崎の歴史に育まれた伝統工芸の紹介と振興にも寄与する博物館活動を行う。

(2) 行動指針

1) これまでの実績とノウハウを基に、博物館の絶えざる進化を図り、長崎の学術・文化の継承・発展及び地域の活性化、地域の人材育成に寄与する。また、展覧会や教育普及活動の多彩な実践を通じて新たな利用者層を開拓するとともに、より一層県民が利用しやすく、親しむことができる事業運営に取り組む。

2) 博物館活動の重要な柱の一つである調査研究活動の充実強化を図るため、これまでの教育研究グループから研究グループを独立させ、研究体制を確立させる。このことを通じて資料の収集整理、保存学、そのマネジメント等について客員研究員の指導・助言を得るとともに、県・市学芸員、教員、外来研究員と当館研究員との共同研究を実施し成果を上げる。

3) 集客目標を達成するため、「中国福建博物院展」をはじめ、魅力ある展覧会の開催、教育普及事業の推進はもちろんのこと、マーケティング活動の新たな展開、効率的な組織運営など、総合的視点からのマネジメントを行う。

4) 博物館施設の有効活動やミュージアムショップ等の附帯施設の活性化、安定的な入館者の確保に取り組み、収益力向上を図る。

3 事業方針

(1) 進化する博物館のための多彩なプログラムの計画と実施

1) 展示事業の創意工夫とその広報、普及の徹底

常設展示の展示替えや、タイムリーで地域のニーズに即した魅力ある企画展示、長崎ゆかりの展覧会や県内の地域との連携展を実施するとともに、館長ミュージアムトーク、さらに研究員による長崎学講座等の多彩な教育普及プログラムを充実し、広報を早期に実施することにより、リピーターの増加を図る。

2) 施設の有効活用と新規プログラムの開発

親子で楽しめるワークショップやコンサート等の多彩なイベント実施によるホールや立山亭等の施設の有効活用を推進する。また、学校や福祉施設等対象の移動博物館のさらなる充実した企画運営を行う。

3) 調査研究体制の強化と研究成果の創出・情報発信

長崎学の調査研究の充実を図るため、研究及び教育普及グループ研究員、県市学芸員、外来研究員等との柔軟かつ機能的な共同研究体制を本格的にスタートさせ、長崎の歴史文化に関わる学術的研究成果の創出とその発信に努める。

(2) 博物館の目的・使命に沿った取り組みの推進

1) 学校教育利用の推進

学校教育の博物館活用に資するため、ティーチャーズルームの活性化、スクールパートナーズ、研修会などを通して、教員の博物館活用リテラシーの向上を図ることに努める。また、収蔵資料の複製品等の教育利用貸し出しなどを通じて、学校教育の充実に寄与する。とくに県内児童生徒に対する長崎の歴史・文化への理解を深めるため、学校等への出前講座の計画や沿革授業についてもさらに充実を図る。

2) 地域活性化への貢献

県・市の文化政策との連携を図りながら、地域の観光、経済の活性化に寄与すべく、観光拠点としての集客の増加に努める。また、利用者満足にさらに配慮し、地域住民とのリレーションシップ、信頼関係を構築し、地域の人々の生涯学習支援を強化するとともに、地域文化力の向上に寄与する。

(3) 博物館職員としての実力の養成

博物館の管理運営については効果的・効率的に、また教育研究については実践的で実績の伴う活動を、さらにその情報発信を広報・営業活動を通じて行うべく、職員の研修を強化し、知識技術の習得並びに職員の規律ある行動の遵守に努める。ボランティアに対しては、生涯学習の一環になり得るよう、そして学習成果が活かせる環境づくり、その定着化と拡大に努める。

(4) 県内の中核博物館としての取り組み

長崎県博物館協会、九州博物館協議会、日本ミュージアム・マネジメント学会、日本博物館協会等との連携、ネットワークを活用し情報交換や職員研修を推進する。さらに、博物館の国際化の重要性に鑑み、オランダのほか、中国、韓国等アジア地域の連携博物館の確保に向け取り組む。

(5) 指定管理者制度における博物館運営のモデルづくり

全国注視の中でスタートした指定管理者制度下の博物館として指定管理期間の2期目3年目となる本年度は、その運営の在り方、事業内容、組織としての効率的な取り組み方を含め、課題・問題を明確にし、その解決方策を探りつつ、全ての面について実践的、かつ研究的にさらなるモデル構築に努める。

1 企画展

「神戸市立博物館所蔵名品選 和ガラスのきらめき
-びいどろの光・ギヤマンの粹-」

1. 展示概要

江戸時代から明治前期の日本製のガラス-和ガラス。長崎は、日本におけるガラスの製法や輸入において重要な役割を果たした。この展覧会では、神戸市立博物館の和ガラスコレクションから約100点の名品を公開し、長崎びいどろの復元や当館の収蔵作品も紹介した。

開催期間：平成25年4月6日(土)～5月26日(日)
4月16日(火)・5月21日(火) 休館

【49日間】

観覧料：大人900円(700円)・小中高校生450円(300円)

※()内は前売及び15名以上の団体料金

主催：長崎歴史文化博物館・神戸市立博物館
協賛：西九州トヨタ自動車株式会社・株式会社文明堂総本店・株式会社JTB九州長崎支店・有限会社葵巧芸社
後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎新聞社・西日本新聞社・朝日新聞社・日本経済新聞社・毎日新聞社・読売新聞長崎支局・KTNテレビ長崎・NIB長崎国際テレビ・NCC長崎文化放送・NBC長崎放送・NHK長崎放送局・FM長崎・長崎ケーブルメディア・FM長崎・長崎県観光連盟・長崎国際観光コンベンション協会・長崎市タクシー協会

助成：公益財団法人野村財団

総入場者数：7,823名(1日平均160名)



2. 展示構成

- 第1章 長崎びいどろの時代・和ガラスの資料
- 第2章 宙吹きのおおらかさ
- 第3章 型吹き of 陰影
- 第4章 和製切子のやさしさ
- 第5章 びいどろ細工自由自在
- 第6章 長崎歴史文化博物館収蔵品

3. 関連行事

○講演会

「長崎びいどろの真実-和ガラス、美は儂さにあり」

日時：4月6日(土) 14:00～15:30

会場：1階ホール

講師：岡泰正氏(神戸市立博物館展示企画部長・学芸員)

参加者：91名



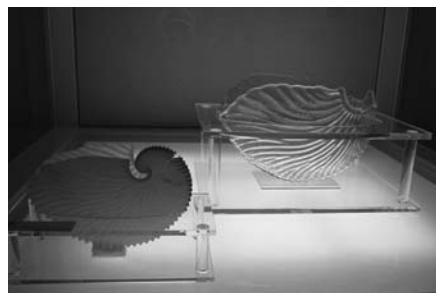
「長崎文化と和ガラス～絵画とガラスの関係性をめぐって～」

日時：5月12日(土) 14:00～15:30

会場：1階ホール

講師：植松有希(当館研究員)

参加者：23名



○ワークショップ

「ゆらゆらゆれるモビールをつくろう」
 日 時：4月13日(土)・5月3日(金)
 14:00～16:00
 会 場：1階エントランス
 参加者：[4/13] 11名 [5/3] 21名



「きらきらひかるアクセサリをつくろう」
 日 時：4月29日(月)・5月4日(土)
 14:00～15:00
 会 場：1階エントランス
 参加者：[4/29] 18名 [5/4] 25名

○体験ツアー

「ステンドグラス体験と企画展見学ツアー」
 日 時：4月14日(日) ①10:00～ ②13:30～
 会 場：3階企画展示室・体験工房
 参加者：11名

○コンサート

「ミュージアムコンサート」
 日 時：5月4日(土)
 16:00～16:45
 会 場：1階エントランス
 演 奏：OMURA 室内合奏団アンサンブル
 参加者：124名

○その他

展示解説 会期中毎日 14:30～(30分程度)

4. 展示リスト

I 長崎びいどろの時代、和ガラスの資料

◎は国指定重要文化財

図録番号 (館蔵品番号)	名称	時代	員数	法量	所蔵先
県書B) 14 73-5 重要文化財	『末次平蔵御閑所家財諸道具 長福院諸 道具御払帳』◎	元禄4年(1691)	1冊	29.5×21.5cm	長崎歴史文化博物館
県書 福田 テ13 52 3、 13-33-1	西川正休『長崎夜話草』	享保4年(1719)刊	1冊(5冊の 内5冊目・ 土産部)	15.0×23.0cm	長崎歴史文化博物館
県書 福田 テ13 50 2、 13 332-1	広川辨『長崎聞見録』	寛政12年(1800)刊	1冊(5冊の 内)	25.0×18.0cm	長崎歴史文化博物館
市博 絵(長 崎) 142-3	石崎融思画『長崎古今集覧名勝図絵』	天保12年(1841)頃成立	1冊(3冊の 内下巻)	15.0×22.0cm	長崎歴史文化博物館
市博 310- 81	『長崎地役人分限帳』	文政11年(1828)頃成立	1冊(3冊の 内)	12.0×16.5cm	長崎歴史文化博物館
県書 14 3 -3 1	『長崎諸役人増減書』	寛延3年(1751)頃成立	1冊	25.5×18.5cm	長崎歴史文化博物館
—	長崎びいどろ ポッペン	延宝元年～享保2年 (1673～1717)	1点	9.2×5.4cm	長崎県教育委員会
90	『長崎伝硝子製』	文化14年(1817)成立	1冊	24.9×16.8cm	神戸市立博物館
91	加賀屋引札・同店販売の蛭付	慶応3年(1867)箱書	1枚1点	(引札) 24.1×33.6cm	神戸市立博物館
24	牛角管	江戸～明治時代(1844～87)	1点		神戸市立博物館
92	びいどろ細工おらんだ船見世物引札	文政2年(1819)	1枚	35.8×49.2cm	神戸市立博物館
93	ギヤマン細工象頭山見世物引札	文政(1818～30)頃	1枚	36.4×48.4cm	神戸市立博物館
94	菊川英山 諸職美内揃の内 びいどろ屋	文化(1804～18)頃	1枚	38.6×26.2cm	神戸市立博物館
95	溪斎英泉 金魚玉を持つ娘	天保(1830～44)頃	豎2枚続 (掛物絵)	67.5×22.2cm	神戸市立博物館
96	二代歌川国貞 びいどろ菓子壺を持つ女	慶応3年(1867)	豎2枚続 (掛物絵)	72.9×25.6cm	神戸市立博物館
97	伝佐久間象山書簡	弘化元年(1844)	1巻	17.1×176.5cm	神戸市立博物館
98	菊形銅製吹き型	江戸時代(1725～1868)	1点	高7.4cm 口径12.9cm	神戸市立博物館
99	信楽焼埴塼	明治20年(1887)頃	1口	高30.5cm 口径10.8cm	神戸市立博物館

100	第1・2回 内国勸業博覧会出品記録写真集	(上：表紙) 明治14年(1881)頃 (下：出品物) 明治10年	1冊	40.5 × 40.7cm	神戸市立博物館
-----	----------------------	--	----	---------------	---------

II 宙吹きのおおらかさ

1	青緑色鶴首ガラス徳利・黄色鶴首ガラス徳利	江戸時代(1711～81)	1対2本	(青緑色) 高23.0cm 胴径8.6cm (黄色) 高22.3cm 胴径9.0cm	神戸市立博物館
2	紫色鶴首ガラス徳利	江戸時代(1711～81)	1本	高29.7cm 胴径13.2cm	神戸市立博物館
3	紫色かぶら形ガラス徳利	江戸時代(1772～1844)	1本	高13.3cm 胴径12.0cm	神戸市立博物館
4	ガラス棒入り透し絵提重、グラヴェール鷺文ガラス瓶子	江戸時代(1711～81)	1式	(提重)高33.4cm (瓶子)高22.8cm	神戸市立博物館
5	緑色フラスコ形ガラス徳利	江戸時代(1772～1844)	1本	高17.3cm 底径10.0cm	神戸市立博物館
6	乳白色ガラス徳利	江戸後期(1776～1825)	1本	高17.5cm 胴径8.4cm	神戸市立博物館
7	片口ガラス徳利	寛政11年(1799)	1本	高16.1cm 胴径8.2cm	神戸市立博物館
8	弦朝顔ガラス盃	江戸時代(1772～1844)	1点	長15.2cm 口径5.6cm	神戸市立博物館
参1	長崎聞見録	寛政12年(1800)刊	1冊(5冊の内)	—	神戸市立博物館
9	弦朝顔ガラス盃	江戸時代(1772～1844)	1点	長14.5cm 口径5.6cm	神戸市立博物館
10	藍ぼかし花縁弦朝顔ガラス盃	文化2年(1805)箱書	1点	長11.4cm 口径6.2cm	神戸市立博物館
11	赤紫ぼかしガラス猪口	江戸時代(1772～1844)	1対2口	(左) 高3.6cm 口径6.5cm (右) 高3.8cm 口径6.5cm	神戸市立博物館
12	ぎやまん彫り鴛鴦文台付きガラス杯	江戸時代(1772～1844)	1口	高5.1cm 口径4.9cm	神戸市立博物館
13	ぎやまん彫り梅花文脚付きガラス杯	江戸時代(1772～1844)	1口	高11.2cm 口径5.1cm	神戸市立博物館
参2	ダイヤモンドポイント彫りライオン紋章ピーカー	17世紀後期	1口	高16.4cm 口径8.7cm	神戸市立博物館
参3	ぎやまん彫り器物文ガラス皿	清・19世紀前半期	2枚	(2枚の内1枚) 高1.8cm 口径14.5cm	神戸市立博物館
14	ぎやまん彫り海老に貝文ガラス盃	江戸時代(1772～1844)	1口	高2.4cm 口径8.2cm	神戸市立博物館
参4	ぎやまん彫り龍文ガラス盃・盃台	清・19世紀前半期	2点	(ガラス盃) 3.59cm (盃台)3.58cm	神戸市立博物館
15	ぎやまん彫り緑色梅枝文手付きガラス水注	江戸時代(1772～1844)	1合	総高5.5cm 胴径7.8cm 長9.5cm	神戸市立博物館
16	薄藍色焼き付け鼠に枇杷文脚付きガラス盃	江戸時代(1772～1844)	1口	高8.5cm 口径5.8cm	神戸市立博物館
17	カラーツイスト脚付きガラス杯	江戸時代(1772～1844)	1口	高13.4cm 口径6.6cm	神戸市立博物館
18	藍色蓋付きガラス茶壺	江戸時代(1772～1844)	1合	高15.9cm 胴径11.5cm	神戸市立博物館
19	ガラス燗瓶	江戸時代(1772～1844)	1本	高18.4cm 胴径12.0cm	神戸市立博物館
参5	砵形フラスコ	19世紀前半期	1本	高19.8cm 胴径12.3cm	神戸市立博物館
20	練り上げ手ガラス燗瓶	江戸時代(1772～1844)	1本	高9.9cm 胴径8.4cm	神戸市立博物館
21	練り上げ手花縁脚付きガラス杯	江戸時代(1772～1844)	1口	高7.4cm 口径6.6cm	神戸市立博物館
22	弁柄色ガラス徳利	江戸時代(1772～1844)	1本	高26.8cm 胴径15.2cm	神戸市立博物館

23	彩絵美人大首絵ガラス徳利	江戸時代 (1844 ~ 68)	1 本	高 16.7cm 底径 6.2cm	神戸市立博物館
25	紅流しガラス瓶	明治時代 (1868 ~ 82)	1 本	高 18.9cm 胴径 10.0cm	神戸市立博物館
26	グラヴェール金赤色被せ蘭・菊文ガラス徳利	明治時代 (1868 ~ 82)	1 対 2 本	高 16.0, 16.3cm 胴径 6.1, 6.0cm	神戸市立博物館
27	グラヴェール金赤色被せ小菊文脚付きガラス杯	明治時代 (1868 ~ 82)	1 対 2 点	高 12.9cm 口径 6.1cm	神戸市立博物館
28	ポッペン	明治時代 (1898 ~ 1912)	1 点	長 14.9cm 胴径 25.8cm	神戸市立博物館

Ⅲ 型吹き of 陰影

29	型吹き七宝つなぎ文ガラス二段重、漆塗り輪つなぎ文提箱	江戸時代 (1673 ~ 1717)	1 式	(二段重) 総高 15.5cm 胴径 12.4cm (提箱) 高 23.3cm 16.4 × 16.4cm	神戸市立博物館
30	型吹き淡青色草花文六角ガラス四段重	正徳 4 年 (1714) 箱書	1 式 5 点	総高 25.5cm 最大径 12.7cm	神戸市立博物館
31	型吹き色替り菊形ガラス小皿	江戸中～後期 (1750 ~ 1825)	10 枚	1 径 4.8cm 2 径 4.9cm 3 径 4.9cm, 4.8cm 4 径 4.6cm 5 径 4.9cm 6 径 5.5cm 7 径 5.6cm 8 径 5.6cm, 5.5cm	神戸市立博物館
32	型吹き唐草文ガラス蓋物	江戸時代 (1711 ~ 81)	1 合	総高 14.4cm 胴径 14.0cm	神戸市立博物館
33	型吹き黄色竹文ガラス筒向付	江戸時代 (1711 ~ 81)	10 口	高 9.4cm 口 6.5 × 6.4cm	神戸市立博物館
34	型吹き菊唐草文蓋付きガラス碗	江戸時代 (1711 ~ 81)	10 合	(A) 総高 8.8cm 口径 12.2cm	神戸市立博物館
35	型吹き八重菊文ガラス蓋物	江戸時代 (1711 ~ 81)	1 合	総高 13.7cm 口径 16.2cm	神戸市立博物館
36	型吹き黄色菊形ガラス蓋物	江戸時代 (1711 ~ 81)	1 合	総高 12.0cm 口径 13.7cm	神戸市立博物館
37	型吹き牡丹唐草文ガラス碗	江戸時代 (1711 ~ 81)	1 口	高 5.6cm 口径 14.1cm	神戸市立博物館
38	型吹き乳緑色菊形ガラス皿	江戸中期 (1725 ~ 75)	1 枚	高 3.1cm 口径 16.3cm	神戸市立博物館
39	型吹き緑色小菊文ガラス向付	江戸中期 (1725 ~ 75)	1 口	高 8.3cm 口径 8.5cm	神戸市立博物館
40	型吹き菊形ガラス菓子入れ・香魚図紗張り菓子器	江戸時代 (1711 ~ 81)	1 式	(菓子入れ) 高 8.5cm 口径 18.1cm (菓子器) 高 12.0cm 25.2 × 25.2cm	神戸市立博物館
41	型吹き葵貝形ガラス釣り花生	江戸時代 (1711 ~ 81)	1 点	高 16.9cm 長 23.6cm	神戸市立博物館
42	型吹き緑色桔梗形ガラス鉢	江戸時代 (1711 ~ 81)	5 口	高 5.6cm 口径 15.0cm	神戸市立博物館
43	型吹き紫色花唐草文栓付きガラス角徳利	江戸時代 (1711 ~ 81)	1 本	総高 13.4cm 胴 9.0 × 9.0cm	神戸市立博物館
44	型吹き緑色蒔絵御所車文ガラス角徳利	江戸時代 (1772 ~ 1844)	1 本	高 12.8cm 胴 5.9 × 5.9cm	神戸市立博物館
45	漆塗り台付き型吹きガラス盃洗	江戸時代 (1711 ~ 81)	1 口	(ガラス部分) 深さ 9.0cm 口径 13.7cm (台) 高 19.6cm 21.2 × 21.2cm	神戸市立博物館
46	瑠璃燈	江戸時代 (1711 ~ 81)	2 口	(左) 高 6.3cm 口径 10.5cm (右) 高 6.6cm 口径 10.6cm	神戸市立博物館

47	型吹き紫色十角ガラス鉢	江戸時代 (1772 ~ 1844)	1 口	高 7.8cm 口径 13.1cm	神戸市立博物館
48	型吹き紫色寿文ガラス角徳利	江戸時代 (1772 ~ 1844)	1 対	高 17.8cm, 18.2cm 胴 7.9 × 7.9cm	神戸市立博物館
49	型吹き色替り八角ガラス皿揃い	江戸時代 (1772 ~ 1844)	1 式 9 枚	総高 2.3cm 最大径 39.0cm	神戸市立博物館
参 6	染付山水文小皿揃	18 世紀中～後期	1 式 9 枚		神戸市立博物館
50	びいどろ筒花生屏風	江戸時代 (1772 ~ 1844)	2 曲 1 隻	(筒) 口径 3.6cm, 長 27.5cm (屏風片隻) 高 24.1cm, 幅 42.4cm	神戸市立博物館
51	型吹き彩絵三つ柏紋ガラス徳利	江戸時代 (1772 ~ 1844)	1 対 2 本	(左) 高 14.6cm 胴径 6.2cm (右) 高 14.1cm 胴径 6.1cm	神戸市立博物館
52	型吹き彩絵桃文ガラス盃	江戸後期 (1776 ~ 1825)	1 口	高 2.1cm 口径 9.4cm	神戸市立博物館

IV 和製切子のやさしさ

101	切子紫色被せ斜格子に魚子文ガラスちろり (薩摩系)	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 対 2 点	(左) 総高 16.0cm, 長 16.2cm (右) 総高 16.4cm, 長 16.0cm	神戸市立博物館
53	切子霰文ガラス角鉢	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 口	高 8.5cm 13.8 × 13.8cm	神戸市立博物館
54	薩摩切子斜格子に魚子文羊頭形ガラス筆洗	江戸時代 (1851 ~ 58)	1 点	高 7.4cm 長径 10.7cm 短径 8.5cm	神戸市立博物館
55	薩摩切子青緑色被せ斜格子に魚子文ガラス蓋物	江戸時代 (1851 ~ 58)	1 合	総高 6.8cm 口径 9.8cm	神戸市立博物館
56	薩摩切子紫色被せ斜格子に魚子・麻の葉文脚付きガラス杯	江戸時代 (1851 ~ 58)	1 点	高 12.5cm 口径 6.0cm	神戸市立博物館
57	薩摩切子銅紅色被せ格子に小菊文ガラス三段重	江戸時代 (1851 ~ 58)	1 式 4 点	総高 13.1cm 口径 10.2cm	神戸市立博物館
58	切子藍色被せ輪結びに霰文ガラス蓋物 (薩摩系)	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 合	総高 15.2cm 胴径 11.7cm	神戸市立博物館
59	切子紫色被せ麻の葉文ガラス墨台 (薩摩系)	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 点	高 3.7cm 5.9 × 8.4cm	神戸市立博物館
60	切子青色被せガラス杯 (薩摩系)	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 点	高 11.0cm 口径 5.5cm	神戸市立博物館
61	切子金平糖形ガラス振出し	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 点	総高 13.4cm 胴径 10.5cm	神戸市立博物館
62	切子霰文ガラス印籠	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 点	高 7.5cm 幅 4.5cm 厚さ 1.8cm	神戸市立博物館
63	切子籠目文ガラス食籠	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 合	—	神戸市立博物館
64	切子熔着木の葉文蓋付きガラス壺 (薩摩系)	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 合	総高 13.6cm 胴径 9.6cm	神戸市立博物館
65	切子桶形ガラス鉢	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 口	高 8.0cm 胴径 13.4cm	神戸市立博物館
66	切子ねじ菊台斜格子に花卉文脚付きガラス杯	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 口	高 15.2cm 口径 8.7cm	神戸市立博物館
67	切子菊文手付きガラス水差し	明治時代 (1868 ~ 82)	1 本	総高 19.8cm 7.9 × 11.5cm	神戸市立博物館
68	切子木の葉形ガラス小皿	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	10 枚	高 2.6cm 8.4 × 6.5cm	神戸市立博物館
69	切子斜め市松文脚付きガラス杯	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 口	高 15.3cm 口径 9.6cm	神戸市立博物館
70	切子斜格子に霰文脚付きガラス杯	江戸～明治時代 (1844 ~ 87)	1 口	高 17.2cm 口径 10.7cm	神戸市立博物館
71	切子銅紅色被せグラブユール唐草文ガラス鉢	明治 14 年 (1881) 頃	1 口	高 6.7cm 口径 20.3cm	神戸市立博物館
参 7	カットにグラブユール金彩ガラス皿	19 世紀前半期	1 点	高 3.0cm 径 22.1cm	神戸市立博物館

72	切子八角霰文栓付きガラス瓶	明治時代 (1868 ~ 82)	1 対 2 本	(各) 総高 22.4cm 幅 9.5cm	神戸市立博物館
73	切子格子に魚子文角形ガラス三段重	江戸後期~明治前期 (1826 ~ 82)	1 式	総高 21.0cm 縦横 13.5 × 13.5 cm	神戸市立博物館
74	切子台付き霰文ガラス蓋物	江戸~明治時代 (1844 ~ 87)	1 合	総高 18.2cm 口径 10.5cm	神戸市立博物館

Vびいどろ細工自由自在

75	ぎやまん彫り金魚藻文青色ガラス卦算	江戸時代 (1772 ~ 1844)	1 本	高 1.0cm 長 24.9cm	神戸市立博物館
76	ビーズ飾り煙草盆	江戸時代 (1818 ~ 68)	1 点	高 18.0cm 縦横 9.8 × 12.5cm	神戸市立博物館
77	ビーズ飾り魚形銀製櫛	江戸時代 (1818 ~ 68)	1 枚	長 12.1cm	神戸市立博物館
78	藍色ガラス煙管	江戸時代 (1772 ~ 1844)	1 本	長 39.6cm	神戸市立博物館
79	ガラス棒入り根来塗り鳥籠	江戸時代 (1844 ~ 68)	1 点	総高 33.0cm 18.8 × 25.3cm	神戸市立博物館
80	ねじりガラス手拭掛	江戸中期 (1751 ~ 1800)	1 式 3 点	(輪) 径 16.4cm (鉤) 長 17.3cm, 13.5cm	神戸市立博物館
81	ガラス簾 (加賀屋久兵衛販売)	江戸後期 (1826 ~ 50)	1 枚	ガラス棒長 24.0cm	神戸市立博物館
82	ガラス棒入り朱塗り刀掛	江戸時代 (1844 ~ 68)	1 点	高 33.2cm 51.0 × 27.5cm	神戸市立博物館
83	グラヴェール花卉文扇面形板ガラス入り 朱塗り刀掛	江戸時代 (1818 ~ 68)	1 点	高 43.0cm 22.2 × 54.0cm	神戸市立博物館
84	ガラス棒細工船形釣り灯籠	江戸~明治時代 (1844 ~ 87)	1 点	全体高 97.0cm 全体長 47.0cm 瑠璃灯の高 3.6cm 口径 6.1cm	神戸市立博物館
85	緑色板ガラス入り銅製硯屏	明治時代 (1868 ~ 82)	1 点	高 14.9cm 5.3 × 15.7cm	神戸市立博物館
86	紫色丸彫り桃形ガラス硯	明治時代 (1868 ~ 82)	1 点	高 4.2cm 長 16.9cm 幅 14.8cm	神戸市立博物館
87	うぬぼれ手鏡 (錫鍍金)	江戸後期~明治前期 (1826 ~ 82)	1 面	鏡面 9.3 × 7.9cm	神戸市立博物館
88	うぬぼれ鏡 (金縁錫鍍金)	江戸後期~明治前期 (1862 ~ 82)	1 面	外寸 35.8 × 26.1cm 鏡面 28.6 × 18.8cm	神戸市立博物館
89	太鼓形ガラス板張り金魚入れ	明治時代 (1898 ~ 1912)	1 点	高 37.3cm 幅 15.3cm	神戸市立博物館
参 8	歌川芳虎 源氏絵・室内遊楽図	明治 2 年 (1869)	(3 枚 続 の 内) 1 枚	37.2 × 25.0cm	神戸市立博物館

VI 長崎歴史文化博物館 収蔵品

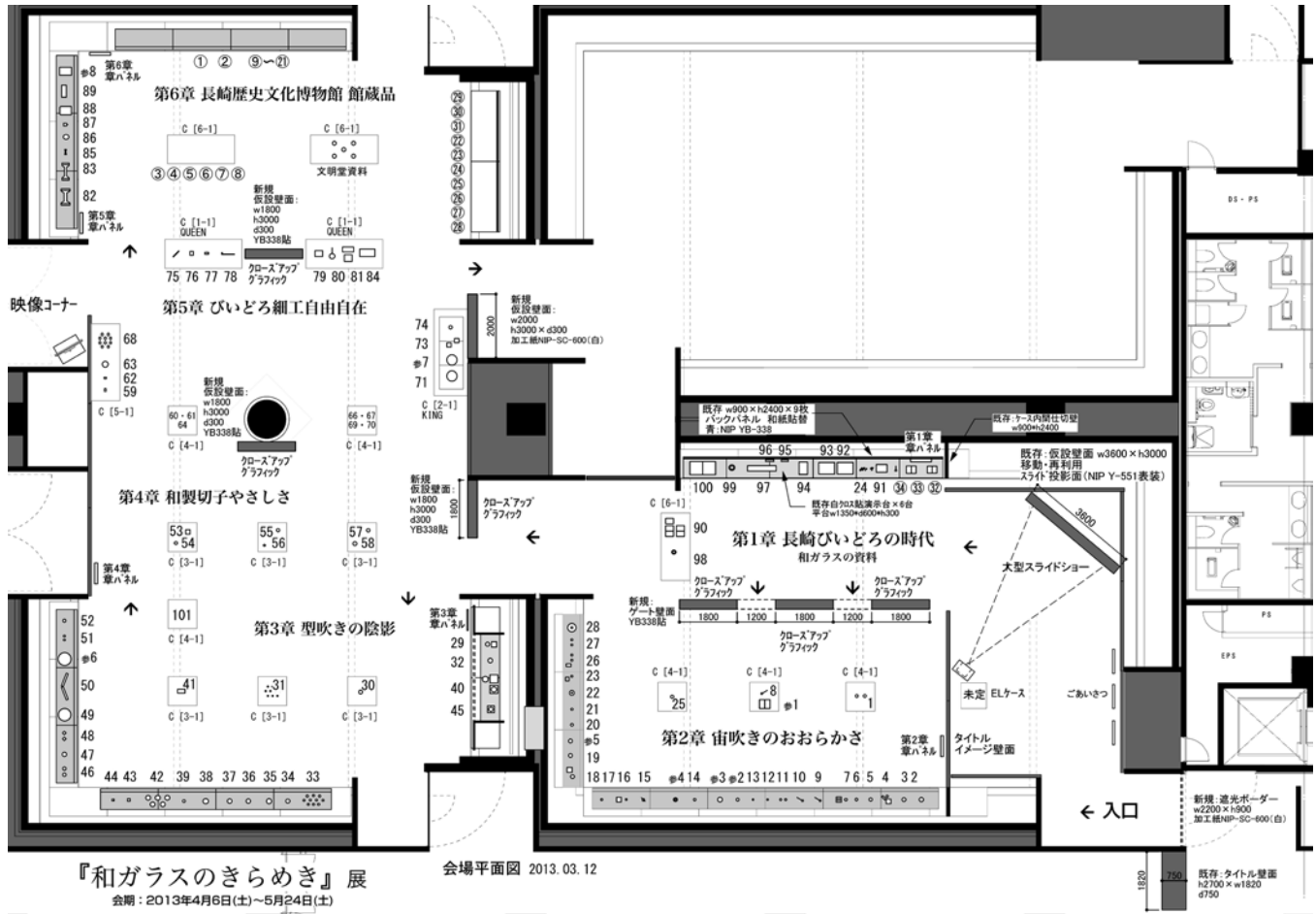
市博 ガラス 39	型吹き草花文六角ガラス二段重	江戸時代 (1711 ~ 1781)	1 式 3 点	口径縦 10.7 × 横 12.5 × 高 6.5cm 口径縦 10.7 × 12.5 × 高 5.7cm (蓋)口径縦 10.7 × 横 12.5 × 高 6.0cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 61	金彩藍色ガラス徳利	江戸~明治時代 (1844 ~ 82)	1 本	口径 1.3 × 底径 7.6 × 高 24.0cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 18	蒔絵梅樹文紫色ガラス徳利	江戸~明治時代 (1844 ~ 82)	1 本	口径 2.8 × 底径 5.8 × 高 19.0cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 69-1 ~ 5	型吹き菊形ガラス長円形皿	江戸~明治時代 (1844 ~ 87)	5 枚	口径縦 9.0 × 横 10.3 × 底径 縦 10.3 × 横 5.6 × 高 3.0cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 70-1 ~ 5	型吹きねじり菊形ガラス皿	江戸~明治時代 (1844 ~ 87)	5 枚	口径 10.5 × 底径 5.3 × 高 2.5cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 94-1 ~ 3	型吹き菊形ガラス皿	江戸~明治時代 (1844 ~ 87)	3 枚	口径 13.0 × 底径 7.7 × 高 3.7cm	長崎歴史文化博物館

市博 ガラス 37	型吹き菊形ガラス食籠	江戸～明治時代(1844～87)	1 合	口径 17.5 × 底径 10.0 × 高 7.0cm (蓋) 口径 6.3 × 高 5.0cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 91	型吹き菊形鉢	江戸～明治時代(1844～87)	1 口	口径 19.5 × 底径 9.7 × 高 11.0cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 50	切子クモの巣文長円形ガラス鉢	江戸～明治時代(1844～87)	1 口	口径縦 15.7 × 横 20.5 × 底径縦 8.7 × 横 13.2 × 高 6.0 cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 47	切子クモの巣文ガラス鉢	江戸～明治時代(1844～87)	1 口	口径 16.5 × 底径 8.5 × 高 8.0cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 54	切子霰文ガラス大鉢	江戸～明治時代(1844～87)	1 口	口径 20.0 × 底径 10.0 × 高 11.5cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 92	切子クモの巣文ガラス蓋物	江戸～明治時代(1844～87)	1 合	口径 12.5 × 底径 7.0 × 高 7.2cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 34 - 2.53	カットガラス 霰文ガラス鉢	明治後期(1898～1912)	1 口		長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 97	金彩ガラス煙管	明治中期～後期(1898～1912)	1 本	口径 1.0 × 長 15.0cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 6	透に藍色ガラス煙管	江戸時代(1772～1844)	1 本	口径 1.8 × 長 32.0cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 7、 86	ガラス簪各種(型押し鼈甲写、透)	江戸時代(1844～68)	2 本	長 18.5 × 巾 1.5cm / 未測定長 20.5 × 巾 1.5cm / 18.5 × 1.5cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 103 - 1・2 ガラス 85 - 1～3	鼈甲写しガラス簪	江戸時代(1844～68)	5 本	長 18.5 × 巾 1.8cm、 長 20.0 × 巾 1.2cm / 長 24.5 × 巾 1.1cm / 長 17.3 × 巾 0.8 cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス 107	グラヴェール唐船文鼈甲櫛	江戸時代(1772～1844)	1 本	縦 5.5 × 横 12.0 × 厚 0.3cm	長崎歴史文化博物館
県美博 D 二 0010	山水図ガラス絵入り角形三段重	江戸時代(1772～1844)	1 式	18.4 × 18.4 総高 22.2 cm ガラス・桑木・ 青貝	長崎歴史文化博物館
県美博 D 二 0002	ねじりガラス棒入り鳥籠	江戸時代(1818～68)	1 点	総高 35.0cm	長崎歴史文化博物館
県美博 D 二 0009	ガラス棒入り鳥籠	江戸時代(1844～68)	1 点	12.6 × 18.8cm 総高 23.7cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス絵 4	花鳥図ガラス絵入り小箱	江戸～明治時代(1844～87)	1 面	16.5 × 11.7 × 5.0 cm	長崎歴史文化博物館
市博 ガラス絵 8	青貝細工猿図ガラス絵	江戸時代(1818～68)	1 面	35.0 × 49.5cm	長崎歴史文化博物館
県美博 A2 二 0003	牡丹に錦鶏鳥図ガラス絵	江戸時代(1818～68)	1 面	30.0 × 40.0cm	長崎歴史文化博物館
県美博 A2 二 0010	阿蘭陀船のある異国風景図ガラス絵	江戸～明治時代(1844～87)	1 面	24.0 × 60.0cm	長崎歴史文化博物館
県美博 A2 二 0004	阿蘭陀船のある異国風景図ガラス絵	江戸時代(1818～68)	1 面	29.2 × 49.9cm	長崎歴史文化博物館
県美博 A2 二 0008	阿蘭陀人遣遥図ガラス絵	江戸時代(1818～68)	1 面	18.8 × 59.1cm	長崎歴史文化博物館
県美博 D 二 0013	グラヴェール花卉文ガラス絵望遠鏡	天明 8 年(1788) 頃	1 点	長さ 61.5 × 最大径 4.5cm	長崎歴史文化博物館

特別出品

—	型吹き菊形蓋付碗	安永(1772～81) 頃	5 合	—	個人蔵
—	御厨正敏氏により復元された長崎びいどろ： 型吹き菊形文碗 型吹き草花文碗 型吹き淡青色草花文六角ガラス四段重 紫色かぶら形ガラス徳利 紫色鶴首ガラス徳利 藍色瓢形ガラス徳利 藍色ガラス徳利 透ガラス徳利	現代	10 点(復元 作品 8 点・ 銅製吹き型 2 点)	—	個人蔵

5, 展示図面



「市川森一・上映展示会 夢の軌跡」

1, 展示概要

数々の名作ドラマを生み出した脚本家で、当館名誉館長をつとめた市川森一(1941～2011)。“夢見る力”を信じた市川森一の夢の軌跡を、展示資料と代表作の上映を通じて紹介した。

開催期間：平成25年4月6日(土)～5月26日(日)
4月16日(火)・5月21日(火)休館【49日間】

観覧料：無料

主催：(公財)放送番組センター・(一社)日本放送作家協会・(一社)日本脚本アーカイブス推進コンソーシアム・長崎歴史文化博物館

協力：NHK・TBS・日本テレビ・中部日本放送、北海道放送・テレビ長崎・東宝、円谷プロダクション・諫早市立諫早図書館

後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会

総入場者数：8,752名(1日平均178名)

2, 展示構成

- ・全作品紹介
- ・台本・直筆原稿、著作本、愛用品
- ・市川作品の出演者、プロデューサー、演出家、脚本家、音楽家ほか各界のかたからのメッセージ
- ・作品上映(「淋しいのはお前だけじゃない」「十二年間の嘘」「鼓の女」「サハリンの薔薇」「明日1945年8月8日・長崎」「おいね」「幽婚」「風の盆から」ほか)



数々の名作ドラマを生み出した脚本家・市川森一が逝去してから1年4ヶ月。“夢見る力”を信じた市川森一の～夢の軌跡～を伝えます。

市川森一・上映展示会 夢の軌跡

展示内容
 ・全作品紹介
 ・台本・直筆原稿、著作本、愛用品などの展示
 ・特別展覧 市川作品の出演者、プロデューサー、演出家、脚本家、音楽家ほか各界のかたからのメッセージ

上映内容
 A 代表作
 「淋しいのはお前だけじゃない」「十二年間の嘘」など
 B 舞台白銀劇場
 「鼓の女」「サハリンの薔薇」など
 C 映画・長編
 閉口 1945年8月8日・長崎「明日」など
 D 著作ドラマ選
 「幽婚」「風の盆から」
 ※上映スケジュールは別途要

入場無料

2013 4/6(土) ▶ 5/26(日)

観覧時間：(毎日)9時30分～19時 (休館日)9時30分～12時
 ※平日4/6(土)は、11時より開館
 ※休館日4/16(火)・5/21(火)

会場 長崎歴史文化博物館 3階企画展示室

主催：(公財)放送番組センター
 (一社)日本放送作家協会
 (一社)日本脚本アーカイブス推進コンソーシアム
 長崎歴史文化博物館

協力：NHK、TBS、日本テレビ、中部日本放送、北海道放送、テレビ長崎、東宝、円谷プロダクション、諫早市立諫早図書館
 後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会

〒550-0007 長崎県南山1丁目1番1号
 長崎歴史文化博物館 TEL 095-818-8366 FAX 095-818-8407
<http://www.nmhci.jp/>

「歌川国芳展 奇想の浮世絵師による江戸案内」

1. 展示概要

幕末の浮世絵師・歌川国芳（1797～1861）は、ユーモアとウィットに富んだ戯画や力強く大胆な構図の武者絵で、当時の粋な江戸っ子に愛された。本展では、その代表作から初公開作品まで、浮世絵約120点を公開。江戸の文化や風俗、娯楽など身近で親しみやすいテーマを取り上げ、華やかな江戸の様々な楽しみを紹介した。

開催期間：平成25年6月8日（土）～7月24日（水）

休館日：7月2日（火）【46日間】

前期：6月8日（土）～7月1日（月）

後期：7月3日（火）～7月24日（水）

観覧料：大人800円（700円）

小・中・高校生500円（400円）

※前期購入したチケットの半券提示で後期再入館が半額

主催：長崎歴史文化博物館・日本経済新聞社・KTNテレビ長崎

協賛：長崎バスグループ・カステラ本家福砂屋

後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・NHK長崎放送局、長崎ケーブルメディア・エフエム長崎・長崎県観光連盟・長崎国際観光コンベンション協会

総入場者数：13,180名（1日平均 292名）

2. 展示構成

第1章 花のお江戸のファッショングルメ

第2章 季節を楽しむ江戸っ子のレジャー

第3章 国芳の江戸散歩

第4章 江戸のコミカルワールド

第5章 英雄たちの冒険

特別展示 国芳の猫たち



3. 関連行事

○講演会

「歌川国芳の画想」

日時：6月8日（土）14：00～15：30

会場：1階ホール

講師：岩切友里子氏（浮世絵研究家・「歌川国芳展」監修者）

参加者：102名



○ワークショップ

「国芳に挑戦!? オリジナルうちわ作り」

日時：6月16日（日）・7月13日（土）

13：30～15：00

会場：1階エントランス

講師：小熊佐智子（当館研究員）、業務支援ボランティア

対象：小学校以上 参加費：100円

参加者：[6/16] 26名

[7/13] 67名



○関連イベント

和文化体験「着物でまち歩き」[着付教室]

日時：7月13日（土）・14日（日）・15日（月）

10：00～18：00（最終受付16：00）

会場：2階イベントの間（立山亭）

定員：15名（予約制）／料金：お一人様 3,000円

企画協力：DOUBLE・佐和きもの着付教室

参加者：[7/13] 3名 [7/14] 14名 [7/15] 13名

○「新内演奏」

演奏者：新内枝幸太夫（新内弥栄派家元）

日時：7月13日（土）11：30～14：00～

会場：3階エントランス

参加費：無料

○「七夕かざり 猫に願いを」

日時：7月3日（水）～7月7日（日）

会場：1階エントランス

参加費：無料

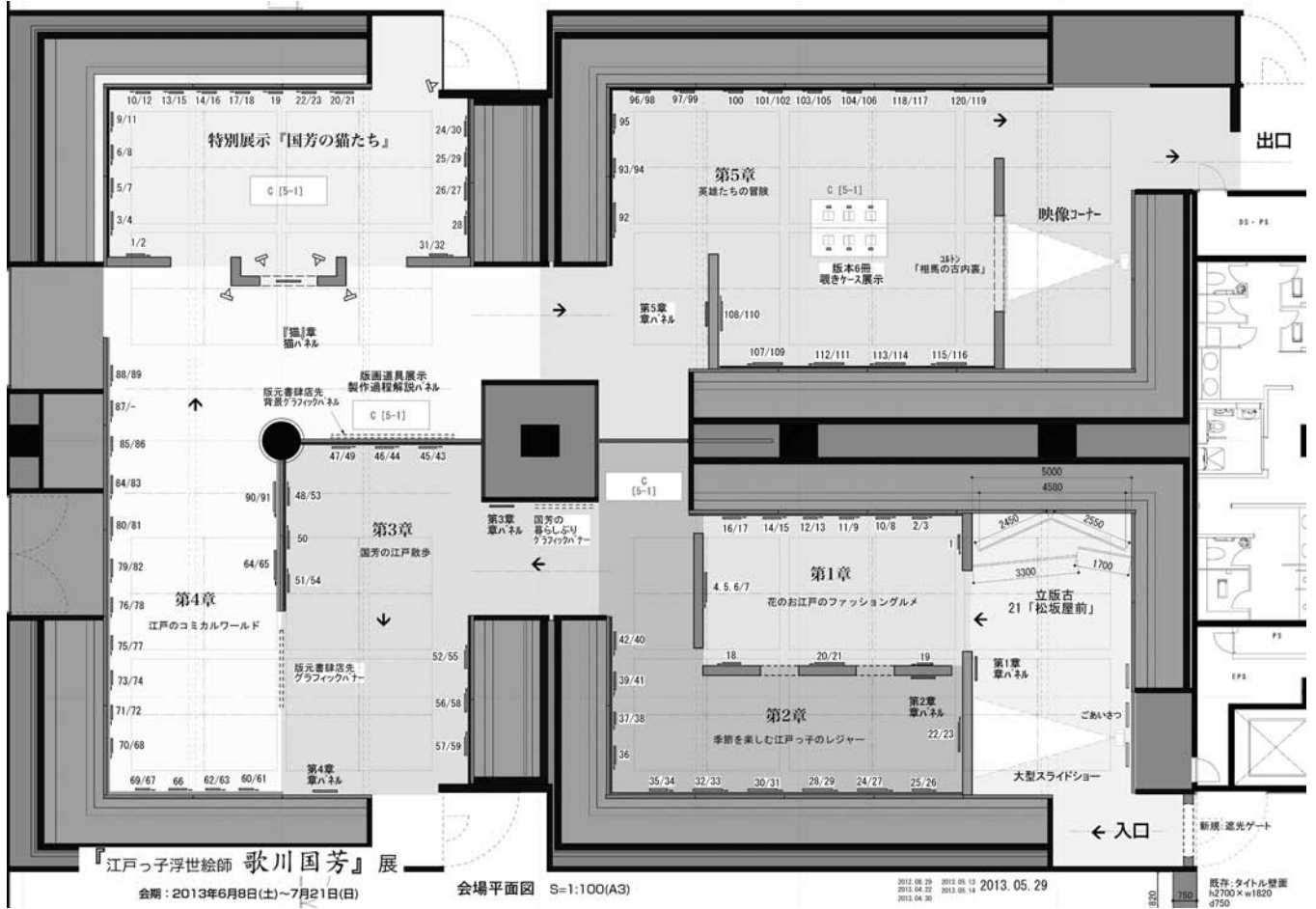
4, 展示リスト

作品番号	作品名称	判型	前期展示	後期展示
第1章 花のお江戸のファッション・グルメ				
1	「時世粧菊揃 ちうもんをきく」	大判	○	○
2	「時世粧菊揃 似合かときく」	大判	○	
3	「江戸自慢程好仕入 ごばん嶋」	大判		○
4	「当時一松花の夜涼 おしろい花」	大判	○	
5	「当時一松花の夜涼 紫陽花」	大判	○	
6	「当時一松花の夜涼 牡丹」	大判	○	
7	「松葉屋内代々山 中万字屋内八ッ橋 扇屋内花扇」	大判三枚続		○
8	「国芳もやう正札附現金男 梅の由兵衛」	大判		○
9	「国芳もやう正札附現金男 幡随長兵衛」	大判		○
10	「国芳もやう正札附現金男 唐犬権兵衛」	大判	○	
11	「国芳もやう正札附現金男 野晒悟助」	大判	○	
12	「絵兄弟やさすかた」 大江山	大判	○	
13	「大願成就有ヶ瀧稿」 菊慈童	大判		○
14	「春の虹蛭」	団扇絵	○	
15	「東都七福弁天 深川すさき弁天」	団扇絵		○
16	「五行之内 西瓜の水性」	団扇絵	○	
17	「逢身八懐 湯しま暮雪」	団扇絵		○
18	柳桜亭花也摺物 雪月花の内 花	色紙判摺物	○	○
19	「宝の山松繁栄双六」	間倍判 墨摺	○	○
20	船橋屋前	大判三枚続	○	
21	松坂屋前	大判三枚続		○
第2章 季節を楽しむ江戸っ子のレジャー				
22	「屠蘇機嫌三人生酔」	大判三枚続	○	
23	「東都風景高輪虹蛭」	大判三枚続		○
24	「隅田川之朝霧」	大判三枚続	○	
25	「夏けしき昼夜とけい 夜四ツ時」	団扇絵	○	
26	「五行之内 提灯の火性」	団扇絵		○
27	両国の花火	大判三枚続		○
28	「四季遊観 夏 橋間のすゞみ」	大判三枚続	○	
29	「江戸名所草木づくし 品川八景坂のもみぢ」	大判三枚続		○
30	「季寄時斗年中行事 戌刻 浅草市の賑ひ」	大判三枚続	○	
31	「季寄時斗年中行事 申刻 霜月酉ノまちのにぎわひ」	大判三枚続		○
32	「柳嶋朝ノ恵方」	大判三枚続	○	
33	「両ごく大曲馬の賑ひ」	大判三枚続		○
34	「江戸三景 隅田川」	団扇絵		○
35	「江戸三景 浅草寺」	団扇絵	○	
36	「江戸三景 王子」	団扇絵	○	○
37	雪中傘持つ娘	掛物絵	○	
38	雪だるまを作る美人	掛物絵		○
39	「新板子供遊びの内 すもふのまなび」	横大判	○	
40	「新板子供遊びのうち ことろ」	横大判		○
41	「子供あそびのうち いくさごっこ」	横大判		○
42	「子供あそびのうち 川がり」	横大判	○	
第3章 国芳の江戸散歩				
43	「東都宮戸川之図」	横大判		○
44	「東都橋場之図」	横大判		○
45	「東都御厩川岸之図」	横大判	○	
46	「東都三ツ股之図」	横大判	○	
47	「東都名所 てつぼふづ」	横大判	○	
48	「東都名所 浅草今戸」	横大判	○	
49	「東都名所 かすみが関」	横大判		○
50	「東都名所 両国柳ばし」	横大判	○	○
51	「東都名所 佃嶋」	横大判	○	
52	「東都名所 洲崎初日出の図」	横大判	○	

53	「東都名所 新吉原」	横大判		○
54	「東都名所 大森」	横大判		○
55	「東都名所 両国の涼」	横大判		○
56	「東都富士見三十六景 新大はし橋下の眺望」	横大判	○	
57	「東都富士見三十六景 山王神事雪解の富士」	横大判	○	
58	「東都富士見三十六景 昌平坂の遠景」	横大判		○
59	「東都富士見三十六景 隅田堤の夕富士」	横大判		○
第4章 江戸のコミカルワールド				
60	「年が寄ても若い人だ」	大判	○	
61	「人をばかにした人だ」	大判		○
62	「てるてる法主おひよりおどり」	大判	○	
63	かしら一つ	大判		○
64	「化物忠臣蔵」	大判三枚続	○	
65	「朝比奈小人嶋遊」	大判三枚続		○
66	「朝日奈嶋巡り」	横大判	○	○
67	「雷尽 夕立の前ぶれ」「雷つくし 雷修行」	横中判二丁掛		○
68	「雷つくし 雷の白浪」「雷つくし 雷きらひの鐘馗」	横中判二丁掛		○
69	「駒くらべ将棋の戯 王将手」「駒くらべ将棋のたはむれ 桂馬のふんどし」	横中判二丁掛	○	
70	「駒くらべしやうぎのたはむれ 桂馬のてんびん」「駒競しやふぎのたわむれ 飛車をいけどられちやアもふまけだ」	横中判二丁掛	○	
71	「さむがり狸」「初午のたぬき」	横中判二丁掛	○	
72	「狸の小金玉」「狸のどふけだるま」	横中判二丁掛		○
73	「福祿寿あたまのたはむれ」 瓜 「福祿寿あたまのたわむれ」 天狗	横中判二丁掛	○	
74	「江戸花五人男犬」「七犬人」	小判二枚		○
75	「流行うきよひやうたん もんがくひやうたん」	団扇絵	○	
76	「六様性国芳自慢 先負 文覚上人」	大判	○	
77	「しんぱふくらべこゝろの竹沢」	団扇絵		○
78	「こまの竹沢 藤治のきゝもの たるまハシ」	団扇絵		○
79	「道外狐へん化のけいこ」	横大判	○	
80	「道外化もの夕涼」	横大判	○	
81	「道外化もの百物がたり」	横大判		○
82	「道外獣の雨やどり」	横大判		○
83	「流行猫の曲手まり」	大判		○
84	「おぼろ月猫の盛」	団扇絵	○	
85	「猫の当字」 ふぐ	大判	○	
86	「猫の当字」 たこ	大判		○
87	「絵鏡台合かゝ身」 猫／しゝ・みゝづく・はんにやあめん	団扇絵二枚組	○	
88	「流行猫の戯 おしゆん 伝兵衛 身の臭嬌色時」	大判	○	○
89	「流行猫の戯 梅が枝無間の真似」	大判		○
90	「其まゝ地口猫飼好五十三疋」	大判三枚続	○	
91	「たとゑ尽の内」	大判三枚組		○
第5章 英雄たちの大冒険				
92	「通俗水滸伝豪傑百八人之一個 赤髮鬼劉唐・玉麒麟盧俊義・樸天鷗李応・設遮欄穆弘」	大判三枚続	○	○
93	「通俗水滸伝豪傑百八人之一個 中箭虎丁得孫」	大判	○	
94	「通俗水滸伝豪傑百八人之一個 病大蟲節永・小遮欄穆春」	大判		○
95	「通俗水滸伝豪傑百八人之一個 浪子燕青」	大判	○	○
96	「本朝水滸伝豪傑八百人一個 上総助広常」	大判	○	
97	「本朝水滸伝豪傑八百人一個 里見八犬子の内 犬塚信乃戌孝・犬飼見八信道」	大判竪二枚続	○	
98	「本朝水滸伝剛勇八百人一個 膳臣巴提使」	大判		○
99	「本朝水滸伝豪傑八百人一個 尾形周馬寛行」	大判		○
100	「多嘉木虎之助」	大判	○	○
101	「余吾将軍平維茂」	大判	○	
102	「和田平太胤長」	大判		○
103	「長崎勘ヶ由左エ門」	大判	○	
104	「俣野五郎景久・真田与一義貞」	大判	○	
105	「宮本無三四」	大判		○
106	「頼豪阿闍梨」	大判		○
107	「八犬伝之内芳流閣」	大判三枚続	○	

108	相馬の古内裏	大判三枚続	○	
109	宮本武蔵の鯨退治	大判三枚続		○
110	「讃岐院眷属をして為朝をすくふ図」	大判三枚続		○
111	「宇治川合戦之図」	大判三枚続		○
112	「誠忠義士聞書之内 討入本望之図」	大判三枚続	○	
113	義士両国橋引取	大判三枚続	○	
114	豊前国与次兵衛灘	大判三枚続		○
115	「大物之浦海底之図」	大判三枚続	○	
116	「甲越川中島大合戦」	大判三枚続		○
117	「三国志 長坂橋の図」	大判三枚続		○
118	「本朝三勇士」	大判三枚続	○	
119	市原野鬼童丸	大判三枚続		○
120	「岸柳島報讐図」	大判三枚続	○	
特別展示 国芳の猫たち				
1	女三宮	掛物絵	○	
2	「鼠よけの猫」	大判		○
3	くつろぐ夏の猫美人たち	団扇絵	○	
4	猫の源氏 賢木	団扇絵		○
5	「子供遊八行のうち 仁」	大判	○	
6	「子供遊八行の内 礼」	大判	○	
7	「当盛美人合 五節句の内 青陽」	大判		○
8	五行 火	大判		○
9	「豊年 婦女鏡」 障子張り	大判	○	
10	「風流六花撰」 百合	大判	○	
11	「絵兄弟やさすかた」 頼政鶴退治	大判		○
12	「時世粧菊揃 つじうらをさく」	大判		○
13	「妙でんす十六利勘 降那尊者」	大判	○	
14	「嘘真言心之裏表」 進物の魚	大判	○	
15	「七婦久人」 寿老人	大判		○
16	「見立挑灯蔵 三段目」	大判		○
17	「艶姿十六女仙 初平」	大判	○	
18	「艶姿十六女仙 豊干禪師」	大判		○
19	「山海愛度図会 ヲ、いたい 越中滑川大蜻」	大判	○	○
20	「新良万造」 爪切り	団扇絵	○	
21	「五行之内 針の金性」	団扇絵		○
22	猫と遊ぶ娘	団扇絵	○	
23	「艶曲揃」	団扇絵		○
24	八代目市川団十郎追善絵	大判二枚続	○	
25	「流行猫のおも入れ」	大判	○	
26	「猫の百面相」 忠臣蔵	団扇絵	○	
27	飴売りの所作事	団扇絵		○
28	「二面臙猫絵」	団扇絵	○	○
29	「荷宝蔵壁のむだ書」	大判		○
30	「教訓善悪小僧揃」	大判		○
31	うろたへた小猫盆画へ尿をたれ	小判	○	
32	「はんじもの」	大判		○

5. 展示図面



1. 展示概要

大迫力の大型骨格や近年発見されたばかりの新種など、恐竜くんが厳選した約100点の貴重な標本を公開するとともに、「冒険」と「発見」をキーワードに「歴史文化博物館」ならではの恐竜の魅力を紹介した。

開催期間：平成25年8月10日(土)～10月14日(月祝)
9月17日(火) 休館【65日間】

観覧料金：大人1,000円(800円)

高大生700円(500円)

小中生500円(400円)

ファミリーチケット(当日のみ)：一般のお客様1名につき、同伴者(高大生・小中生に限る)1名は半額料金

主催：長崎歴史文化博物館・KTN株式会社テレビ長崎・西日本新聞社

協賛：ダイハツ長崎販売株式会社・株式会社ベネッセコーポレーション

後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・NHK長崎放送局・長崎ケーブルメディア・エフエム長崎・長崎県観光連盟・長崎国際観光コンベンション協会・長崎県保育協会・長崎市保育会・長崎県私立幼稚園連合会・長崎市私立幼稚園PTA連合会・長崎県学童保育連絡協議会・長崎県子ども会育成連合会

監修：田中真士氏(恐竜くん)

展示協力：国立科学博物館・群馬県立自然史博物館・佐賀県立宇宙科学館・ミュージアムパーク茨城県自然博物館・ゴビサポートジャパン/モンゴル科学アカデミー・所十三

展示点数：92点

総入場者数：43,251名(1日平均665名)

2. 展示構成

1. 最初の竜たち 1822年代～
2. 始祖鳥と進化論 1861年～
3. 恐竜大戦争 1870年代～
4. 恐竜ハンターの大冒険 1900年代～
5. 恐竜研究の冬 1930年代～
6. 恐竜ルネッサンス 1964年～
7. 恐竜最前線 1996年～

3. 関連行事

○恐竜くんトークショー&ガイドツアー

[トークショー]

開催期間：8月10日(土)14:00～15:30

会場：1階ホール

講師：田中真士氏(恐竜くん)

参加者：183名

[ガイドツアー]

開催期間：8月10日(土)15:30～

会場：3階企画展示室

案内：田中真士氏(恐竜くん)

参加者：81名

○目指せ!恐竜イラストレーター

開催期間：8月11日(日)14:00～15:30

会場：1階講座室

講師：田中真士氏(恐竜くん)

参加費：500円(企画展観覧料込み)

参加者：57名

○恐竜ちぎり絵アート

開催期間：8月19日(月)14:00～16:00

会場：1階講座室

講師：植松有希(当館研究員)

参加費：500円(企画展観覧料込み)

参加者：43名

○恐竜折り紙体験教室

開催期間：8月21日(水)14:00～15:00

会場：2階イベントの間(立山亭)

講師：古豊裕次朗(当館研究員)、ボランティア

参加費：無料

参加者：127名

○恐竜くんと見るガイドツアー

開催期間：8月11日(日)11:00～

9月14日(土)～16日(月祝)

①11:00～②14:00～

※恐竜フェスタ in 長崎のイベントとして開催

※9月16日は①のみ開催で、関裕典(当館研究員)による案内。

10月12日(土)～14日(月祝)

①11:00～②14:00～

会場：3階企画展示室

案内：田中真士氏(恐竜くん)

参加費：企画展観覧券が必要

参加者：[8/11] 221名 [9/14] 118名
[9/15] 207名 [9/16] 31名
[10/12] 90名 [10/13] 144名
[10/14] 209名

○琥珀でキバ作り

開催期間：8月24日(土)・25日(日)、
9月21日(土)～23日(月祝)、
10月12日(土)～14日(月祝)
①10:00 ②13:00
9月14日(土)～16日(月祝)
①10:00 ②13:00 ③16:00
※恐竜フェスタ in 長崎のイベントとして
開催

会場：1階エントランス(8/24・25のみ)
3階ロビー

講師：関裕典(当館研究員)
古豊裕次朗(当館研究員)

参加費：700円

参加者：[8/24] 25名 [8/25] 57名
[9/14] 21名 [9/15] 63名
[9/16] 46名 [9/21] 8名 [9/22] 47名
[9/23] 67名 [10/12] 16名
[10/13] 57名 [10/14] 42名

○恐竜フェスタ in 長崎

開催期間：9月14日(土)～16日(月祝)
・14日～16日：恐竜くんと見るガイドツ
アー、琥珀でキバ作り
・16日：恐竜くん×恐竜大好き芸人トーク
ショー、恐竜展2013絵画コンテ
スト表彰式

[恐竜くん×恐竜大好き芸人トークショー]

開催期間：9月16日(月祝) 14:00～15:30

会場：1階ホール

出演：田中真士氏(恐竜くん)
尾関高文氏(お笑い芸人 ザ・ギース)

参加費：無料

参加者：165名

○恐竜展ナイトミュージアム

開催期間：8月24日(土) 19:00～21:00

会場：1階ホール、2階常設展示、3階企画展示
室、バックヤード

案内：関裕典(当館研究員)
古豊裕次朗(当館研究員)

参加費：親子ペア1,500円(お土産付き)
※お1人様追加につき500円

参加者：40組108名

○恐竜展ナイトミュージアム パートII

開催期間：10月12日(土)、13日(日)
19:00～20:00(受付開始18:30)

会場：3階企画展示室(集合場所は1階ホール)

案内：関裕典(当館研究員)
古豊裕次朗(当館研究員)

参加費：一般：1,000円/高大生：700円/
小中生：500円
(ファミリーチケット)
一般+高大生：1,350円/
一般+小中生：1,250円

参加者：[10/12] 17組44名 [10/13] 21組50名

○恐竜展2013絵画コンテスト

応募期間：7月1日(月)～8月5日(月)

テーマ：好きな恐竜

展示期間：8月10日(土)～10月14日(月祝)

結果発表：会場と当館HPにて発表。

応募作品数：82点(2才～12才)

○恐竜展2013絵画コンテスト表彰式

開催期間：9月16日(月祝) 13:45～
※恐竜フェスタ in 長崎のイベントとして
開催

会場：1階ホール

受賞作品：(館長賞)
「恐竜たちのおさんぽ」山口県 4才
(恐竜くん賞)
「森のティラノサウルス」長崎市 10才
(KTN賞)
「本物恐竜に会いたいな!!」長崎市 7才
(西日本新聞賞)
「僕のステゴサウルス!!かっこいいなあー。」
長崎市 5才

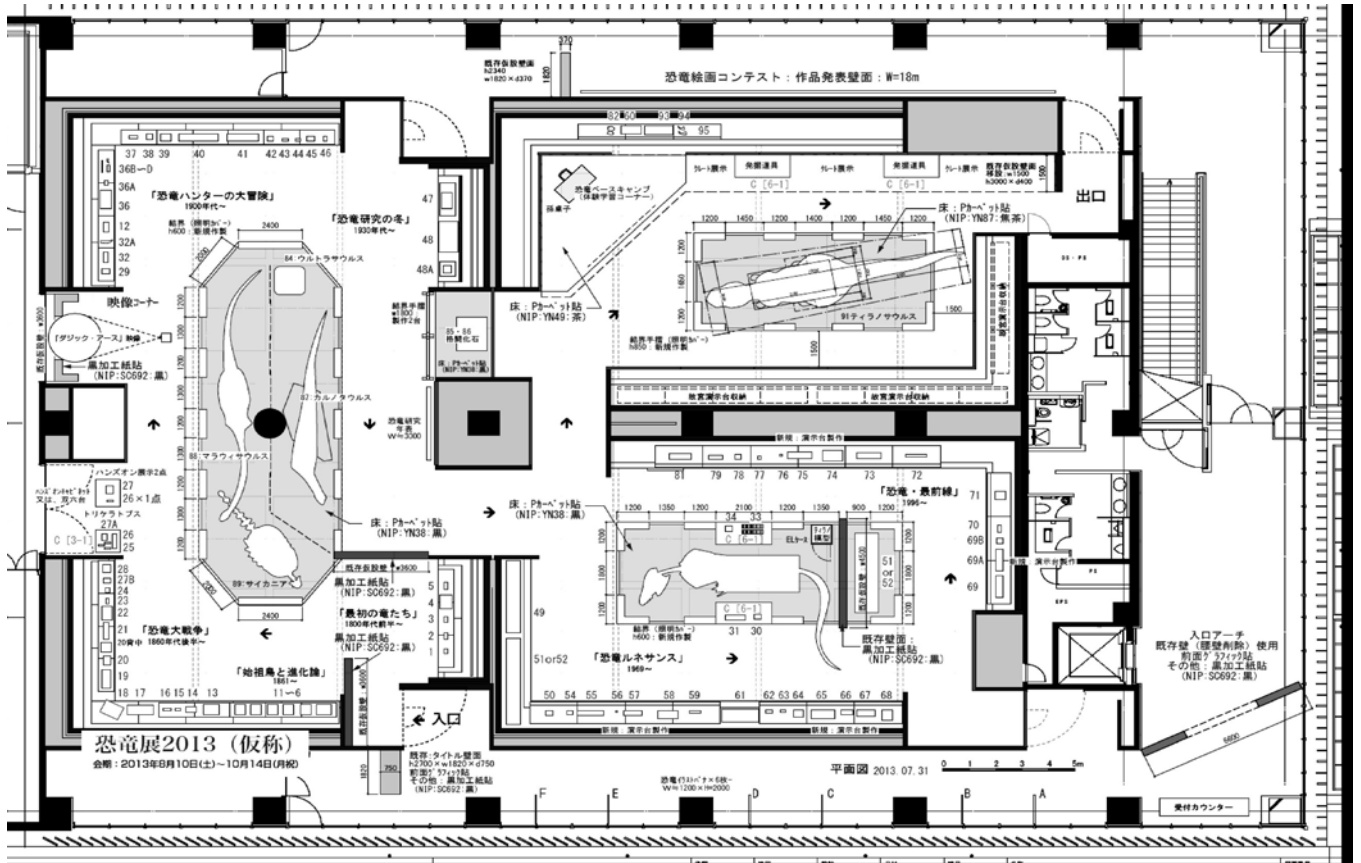
4. 展示リスト

長崎歴史文化博物館 恐竜展2013標本リスト

No.	名称	学名	記載者	年	部位	寸法(LxHxW)cm	所有
①「最初の竜たち」1800年代前半～							
1	プテロダクティルス1	<i>Pterodactylus</i>	Cuvier	1809	全身骨格(板状)	20x10	所十三
2	プテロダクティルス2	<i>Pterodactylus</i>		1809	全身骨格(板状)	25x10	所十三
3	マンテル本の翼竜/不明			?	全身骨格(板状)	24x15	所十三

4	翼竜			?	全身骨格(板状)	54x46	所十三
5	メガロサウルス	<i>Megalosaurus</i>	Buckland	1824	下アゴ	27x13	所十三
②「始祖鳥と進化論」1861~							
6	コンプソグナトウス	<i>Compsognathus</i>	Wagner	1861	全身骨格(板状)		所十三
7	始祖鳥1st ロンドン	<i>Archaeopteryx</i>	Meyer	1861	全身骨格(板状)		所十三
8	始祖鳥2nd ベルリン	<i>Archaeopteryx</i>	Meyer	1861	全身骨格(板状)	45x55	所十三
9	始祖鳥3rd マックスブルグ	<i>Archaeopteryx</i>	Meyer	1861	全身骨格(板状)		佐賀
10	始祖鳥4th ハールレム	<i>Archaeopteryx</i>	Meyer	1861	全身骨格(板状)		佐賀
11	始祖鳥5th アイヒシュテット	<i>Archaeopteryx</i>	Meyer	1861	全身骨格(板状)		佐賀
③「恐竜大戦争」1860年代後半~							
12	ハドロサウルス類(幼体)	<i>As Hadrosaurus</i>	Leidy	1858	全身骨格	?	ゴビ
13	アロサウルス	<i>Allosaurus</i>	Marsh	1877	足	60x40x45	所十三
14	アロサウルス	<i>Allosaurus</i>	Marsh	1877	手	40x22x22	所十三
15	アロサウルス	<i>Allosaurus</i>	Marsh	1877	脳幹	21x10	所十三
16	アロサウルス	<i>Allosaurus</i>	Marsh	1877	上アゴ	30x11	所十三
17	アロサウルス	<i>Allosaurus</i>	Marsh	1877	頭骨	98x66x40	所十三
18	アロサウルス(産状)	<i>Allosaurus</i>	Marsh	1877	頭骨	75x55	所十三
19	カマラサウルス	<i>Camarasaurus</i>	Cope	1877	頭骨	75x55x35	所十三
20	ステゴサウルス	<i>Stegosaurus</i>	Marsh	1877	頭骨	35x25x28	所十三
21	ディプロドクス	<i>Diplodocus</i>	Marsh	1878	頭骨(40cm)~首	70x18x18	所十三
22	ケラトサウルス	<i>Ceratops</i>	Marsh	1884	頭骨	54x40	所十三
23	コエロフィシス	<i>Coelophysis</i>	Cope	1889	頭骨	22x7	所十三
24	ノドサウルス	<i>Nodosaurus</i>	Marsh	1889	頭骨		茨城
25	トリケラトプス	<i>Triceratops</i>	Marsh	1889	下アゴ	60x27x18	所十三
26	トリケラトプス	<i>Triceratops</i>	Marsh	1889	角x4		佐賀
27	トリケラトプス	<i>Triceratops</i>	Marsh	1889	皮膚痕		佐賀
28	オルニトミムス類	<i>As Ornithomimus</i>	Marsh	1890	頭骨	30x32	所十三
④「恐竜ハンターの冒険」1900年代~							
29	ステゴケラス	<i>Stegoceras</i>	Lambe	1902	頭骨	19x23x28	所十三
30	ティラノサウルス	<i>Tyrannosaurus(Tyrannosaurus rex)</i>	Osborn	1905	叉骨	27x20	所十三
31	ティラノサウルス	<i>Tyrannosaurus(Tyrannosaurus rex)</i>	Osborn	1905	前肢	75x40x18	所十三
32	ティラノサウルス	<i>Tyrannosaurus(Tyrannosaurus rex)</i>	Osborn	1905	下アゴ	45x25x15	所十三
33	ティラノサウルス	<i>Tyrannosaurus(Tyrannosaurus rex)</i>	Osborn	1905	歯x20本~		佐賀
34	ティラノサウルス	<i>Tyrannosaurus(Tyrannosaurus rex)</i>	Osborn	1905	脳函		佐賀
35	サウロロフス	<i>Saurolophus</i>	Brown	1912	頭骨	1.2m	ゴビ
36	テスケロサウルス	<i>Thescelosaurus</i>	Gilmore	1913	頭骨	40x20x15	所十三
37	エドモントサウルス	<i>Edmontosaurus</i>	Lambe	1917	下アゴ	33x15x10	所十三
38	プシタコサウルス	<i>Psittacosaurus</i>	Osborn	1923	頭骨	23x23x26	所十三
39	プロトケラトプス	<i>Protoceratops</i>	Granger & Gregory	1923	頭骨	40x30x30	所十三
40	プロトケラトプス	<i>Protoceratops</i>	Granger & Gregory	1923	全身骨格	1.5m	ゴビ
41	プシタコサウルス	<i>Psittacosaurus</i>	Osborn	1923	全身骨格	1.2m	茨城
42	オヴィラプトル類	<i>As Oviraptor</i>	Osborn	1924	頭骨	26x20	所十三
43	ヴェロキラプトル1	<i>Velociraptor</i>	Osborn	1924	頭骨	23x12x12	所十三
44	ヴェロキラプトル2	<i>Velociraptor</i>	Osborn	1924	頭骨	22x10	所十三
45	サウロルニトイデス	<i>Sauromithoides</i>	Osborn	1924	頭骨	30x60x20	ゴビ
⑤「恐竜研究の冬」1930年代~							
46	ピナコサウルス	<i>Pinacosaurus</i>	Gilmore	1933	頭骨	15x12x20	所十三
47	テリジノサウルス	<i>Therizinosaurus</i>	Maleev	1954	前肢		茨城
48	タルボサウルス	<i>Tarbosaurus</i>	Maleev	1955	頭骨	125x105x80	ゴビ
48A	ヘレラサウルス	<i>Herrerasaurus</i>	Reig	1963	頭骨	30cm	所十三
⑥「恐竜ルネサンス」1969~							
49	デイノニクス	<i>Deinonychus</i>	Ostrom	1969	全身骨格	3m	佐賀
50	アーケオルニトミムス	<i>Archaeornithomimus</i> □	Russell	1972	頭骨	28x22	所十三
51	ガリミムス	<i>Gallimimus</i>	Osmólska, Roniewicz & Barsbold,	1972	全身骨格	380x160x90	ゴビ
52	アーケオルニトミムス	<i>Archaeornithomimus</i>	Russell	1972	全身骨格		茨城
53	ユーディモルフドン	<i>Eudimorphodon</i>	Zambelli	1973	全身骨格(板状)	30x20	所十三
54	プレノケファレ	<i>Preocephale</i>	Maryanska & Osmólska,	1974	頭骨	22x18x18	所十三
55	ホマロケファレ	<i>Homalocephale</i>	Maryanska & Osmólska	1974	全身骨格	1m	ゴビ
56	バガケラトプス	<i>Bagaceratops</i>	Maryanska & Osmólska	1975	頭骨	10x6x6	所十三
57	バガケラトプス	<i>Bagaceratops</i>	Maryanska & Osmólska	1975	全身骨格	70cm	ゴビ
58	アリオラムス(産状)	<i>Alioramus</i>	Kurzanov	1976	頭骨	75x25x33	所十三
59	オウラノサウルス	<i>Ouranosaurus</i>	Taquet	1976	下あご	45x12x10	所十三
60	アリオラムス			1976	頭骨		佐賀
61	インゲニア	<i>Ingenia</i>	Barsbold	1981	全身骨格	150x90x50	ゴビ
62	ガルディミムス	<i>Garudimimus</i>	Barsbold	1981	頭骨	26x50x14	ゴビ
63	アルスタノサウルス	<i>Arstanosaurus</i>	Suslov and Shilin	1982	頭骨	20x13x10	所十三
64	ハルピミムス(産状)	<i>Harpyimimus</i>	Barsbold & Perle	1984	頭骨	35x30	ゴビ
65	コンコラプトル	<i>Conchoraptor</i>	Barsbold	1986	全身骨格	90x35x25	所十三
66	ティラノサウルス類(ナノティラス?)			1988	頭骨		所十三
67	モノニクス	<i>Mononykus</i>	Perle et al.	1993	全身骨格	70x55x25	ゴビ
68	ミモオラペルタ	<i>Mymoorapelta</i>	Kirkland et Carpenter	1994	頭骨	42x30x42	所十三
⑦「恐竜・最前線」1996~							
69	シノサウロプテリクス	<i>Sinosauropteryx</i>		1996	全身骨格(板状)		所十三
70	アーケオケラトプス	<i>Archaeoceratops</i>	Dong & Azuma	1997	頭骨	20x28x12	所十三
71	スキピオニクス	<i>Scipionyx</i>	dal Sasso & Signore	1998	全身骨格(板状)	40x32	所十三
72	アルティリヌス	<i>Altirhinus</i>	?	1998	頭骨	80x40x10	所十三
73	カウディプテリクス	<i>Caudipteryx</i>	Ji et al.	1998	全身骨格		茨城
74	マイクロラプトル	<i>Microraptor</i>	Xu et al.	2000	全身骨格(板状)	75x45	所十三
75	シティパティ(産状)	<i>Citipati</i>	Clark, Norell & Barsbold,	2001	全身骨格	92x80x26	ゴビ
76	シティパティ幼体(卵)			2001	幼体化石入りの卵	11x6	ゴビ
77	リャオケラトプス	<i>Liaoceratops</i>	Xu?	2002	頭骨	11x10x15	所十三
78	アウロラケラトプス	<i>Auroraceratops</i>	You et al.	2005	頭骨	20x20x24	所十三
79	ラプトレックス	<i>Raptorex</i>	Sereno et al.	2009	頭骨		所十三
80	ディアプロケラトプス	<i>Diabloceratops</i>	Kirkland et al	2010	頭骨		佐賀
81	テラトフォネウス	<i>Teratophoneus</i>	Carr et al.	2011	頭骨		佐賀
82	獣脚類足跡			?	足跡x2(凸凹)	20x20x20	所十三
83	鱗竜			?	頭骨	25x15x21	所十三
⑧大型展示							
84	ウルトラサウルス	<i>Supersaurus</i>	Jensen	1985	前肢	4m	茨城
85・86	ヴェロキラプトルvsプロトケラトプス		Osborn; Granger&Gregory	1924・1923	全身骨格x2体	140x115x65	ゴビ
87	カルノタウルス	<i>Camotaurus</i>	Bonaparte	1985	全身骨格	8m	茨城
88	マラウイサウルス	<i>Malawisaurus</i>	Jacobs et al.	1993	全身骨格	10.5m	かはく
89	サイカナ	<i>Saichania</i>	Maryanska	1977	全身骨格	5m	ゴビ
90	ティラノサウルス		Osborn	1905	全身骨格	13m	キッズ
91	ティラノサウルス		Osborn	1905	ロボット	10m	郡上
92	トリケラトプス		Marsh	1889	ロボット	5m	郡上

5. 展示図面



重要文化財指定記念特別展

「対馬藩と朝鮮通信使～12万点の宗家文書が語る歴史の真実～」

1, 展示概要

平成24年に長崎県立対馬歴史民俗資料館所蔵の宗家文庫資料が国の重要文化財に指定されたことを記念し開催した自主企画展。国内外に残る12万点におよぶ宗家関係資料から、朝鮮通信使などの日朝外交、長崎・対馬・釜山とのつながりなどを紹介した。

開催期間：平成25年10月26日(土)～12月15日(日)
11月19日(火)休館【50日間】

観覧料：大人900円(700円)・高校生以下無料

主催：長崎県・長崎歴史文化博物館・釜山博物館

共催：朝日新聞社・長崎新聞社・NCC長崎文化放送

協賛：九州郵船株式会社・扇精光株式会社・オリエンタルエアブリッジ株式会社・長崎県タクシー協会・長崎電気軌道株式会社・九州旅客鉄道株式会社・長崎空港ビルディング株式会社・長崎バスグループ・長崎県交通局

後援：駐福岡大韓民国総領事館・駐日韓国大使館韓国文化院・釜山広域市・釜山文化財団・外務省・長崎市・対馬市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・対馬市教育委員会・長崎県立対馬歴史民俗資料館・朝鮮通信使縁地連絡協議会・在日本大韓民国民団長崎県地方本部・長崎県日韓親善協会・NPO法人長崎市美術振興会・毎日新聞社・NHK長崎放送局・長崎ケーブル

ルメディア・エフエム長崎、長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会

総入場者数：15,250名(1日平均305名)

2, 展示構成

序章 対馬藩宗家

1章 華やかな朝鮮通信使と江戸時代の韓流ブーム

2章 対馬と長崎

3章 対馬の誇り「記録」を守れ—宗家文庫の世界—

○体験コーナー「韓国文化体験」

チマチョゴリ(大人用・子供用)・文房具・教科書・絵本・太鼓・おもちゃ

3, 関連行事

○シンポジウム

国づくりシンポジウム「東アジアとの交流と連携の歴史としての朝鮮通信使」(れきぶん長崎学講座)

日時：10月27日(日)13:00～17:00

会場：1階ホール

■基調講演

「私の国際交流」/講師：黒田福美氏(俳優)

「対馬宗家資料の魅力」/講師：山口華代氏(長崎県立対馬歴史民俗資料館主任学芸員)

■特別講演

「室町時代の朝鮮通信使と対馬」/

講師：佐伯弘次氏(九州大学大学院教授)

■パネルディスカッション

パネリスト：黒田福美氏・佐伯弘次氏・山口華代氏・崔晶恵氏(釜山博物館館長代理)・南松祐氏(釜山財団理事)・松原一征氏(朝鮮通信使縁地連絡協議会理事長)

コーディネーター：大堀哲(当館館長)

参加者：150名



○講演会・講座

「対馬藩と朝鮮通信使」

日時：10月19日（土）10：00～12：00

会場：1階ホール

講師：仲尾宏氏（京都造形大学客員教授）

参加者：73名

「日朝交流と長崎」

日時：10月26日（土）14：00～16：00

会場：1階ホール

講師：田代和生氏（慶應義塾大学名誉教授）

参加者：110名



「朝鮮通信使の道」

日時：11月2日（土）14：00～15：30

会場：1階ホール

講師：仁位孝雄氏（写真家）

参加者：101名

「近世日朝間における漂流民について」

日時：11月30日（土）14：00～16：00

会場：1階ホール

講師：池内敏氏（名古屋大学大学院教授）

参加者：80名

「こんなに面白い宗家研究」

東京大学資料編纂所平成25年度特定共同研究「宗家資料の目録化」連携企画

日時：11月4日（月・祝）14：00～15：30

会場：1階ホール

講師：鶴田啓氏（東京大学資料編纂所教授）

参加者：73名

「近世対馬と長崎における食の異文化交流」（れきぶん長崎学講座）

日時：12月8日（日）14：00～15：30

会場：1階ホール

講師：橋爪伸子氏（同志社大学非常勤講師）

参加者：57名

「対馬藩の長崎間役と長崎屋敷」（長崎学エキスパート講座）

日時：11月23日（土）10：30～12：00

会場：1階ホール

講師：岡本健一郎

（当館研究員）

受講費：500円

参加者：43名



○史跡めぐり

「名護屋城史跡めぐり」（れきぶん長崎学講座）

日時：11月9日（土）8：00～18：00

会場：佐賀県立名護屋城博物館ほか

講師：岡本健一郎ほか

参加者：38名



○写真展

「朝鮮通信使の道 仁位孝雄写真展」

日時：10月26日（土）～12月15日（日）

会場：3階エントランスホール

「対馬藩と朝鮮通信使」

日時：11月5日（火）～11月9日（土）

会場：韓国文化院ギャラリー（東京都新宿区）

○映画

「李藝一最初の朝鮮通信使」特別上映会

日時：10月26日（土）・11月2日（土）～4日（月祝）
各日10：00～（71分）

会場：1階ホール

料金：1,500円（映画＋企画展鑑賞券付き）

参加者：[10/26] 115名 [11/2] 30名 [11/3] 15名
[11/4] 25名

○その他

①文化学び塾「江戸時代の日朝交流と対馬」

日時：11月9日（土）14：00～15：30

会場：アクロス福岡

講師：岡本健一郎（当館研究員）

受講費：500円

参加者：70名

②ミュージカル公演

「ミュージカル対馬物語」

日時：10月19日（土）18：00開演

会場：チトセピアホール

出演：対馬市民劇団 漁火

参加者：430名

4. 展示リスト

◎は国指定重要文化財、★はパネル展示

番号	資料名	年代	所蔵先	指定
序章 対馬藩宗家				
序-1 対馬藩とは				
1	元禄対馬国絵図	元禄13年(1700)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
2	徳川綱吉判物写◎	貞享元年(1684)9月21日	九州国立博物館	国重文
3	徳川綱吉領知目録◎	貞享元年(1684)9月21日	九州国立博物館	国重文
4	素焼盃	寛文6年(1666)正月2日頂戴	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
5	黒漆塗三葉葵紋蒔絵盃	寛文8年(1668)正月2日頂戴	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
6	徳川秀忠御内書 「義成様江之御内書 / 三卷之内」◎	(年代不詳)3月21日	九州国立博物館	国重文
7	徳川秀忠御内書 「義成様江之御内書 / 三卷之内」◎	(年代不詳)3月29日	九州国立博物館	国重文
8	徳川秀忠御内書 「義成様江之御内書 / 三卷之内」◎	(年代不詳)12月5日	九州国立博物館	国重文
9	老中連署奉書 「寛永十三年信使之時義成様江之御奉書」◎	寛永13年(1636)9月23日	九州国立博物館	国重文
10	老中連署奉書 「寛永十三年信使之時義成様江之御奉書」◎	寛永13年(1636)11月晦日	九州国立博物館	国重文
11	老中連署奉書 「寛永十三年信使之時義成様江之御奉書」◎	寛永13年(1636)12月2日	九州国立博物館	国重文
12	御茶碗献上之覚書	元禄元年(1688)年5月	東京大学史料編纂所	
13	立鶴御本水指	17世紀末～18世紀初	長崎歴史文化博物館	
14	象嵌雲雁文御本手茶碗	17世紀後半～18世紀前半	長崎歴史文化博物館	
15	絵御本秋草文茶碗	17世紀末頃	長崎歴史文化博物館	
16	宗義真叙従四位下口宣案◎	明暦元年(1655)6月21日	九州国立博物館	国重文
17	宗義真叙従四位下位記◎	明暦元年(1655)6月21日	九州国立博物館	国重文
18	宗義真任侍従宣旨◎	明暦3年(1657)12月27日	九州国立博物館	国重文
19	宗義真任対馬守宣旨◎	明暦3年(1657)12月27日	九州国立博物館	国重文
20	濃紺地麻 肩衣	江戸時代	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
21	濃紺地麻 長袴	江戸時代	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
22	藍媚茶麻地 桐紋入 素襖	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館	
23	藍媚茶麻地 桐紋入 素襖袴	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館	
24	侍烏帽子	江戸時代	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
25	薄茶麻地 直垂	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館	
26	薄茶麻地 小袴	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館	
27	風折烏帽子	江戸時代	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
2. 対馬藩の消滅				
28	皇政御一新領知高御改二付徳川家御代々之御判物京都江被差登候記録◎	慶応4年(1869)6月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
29	行政官達書(版籍奉還)◎	(明治2年(1869))6月	九州国立博物館	国重文
30	[御判物等入日記]◎		九州国立博物館	国重文
31	箱		九州国立博物館	国重文
32	[厳原藩知事被仰付二付達]	明治2年(1869)6月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
33	[辞令][厳原藩知事免ルニ付]写	辛未(明治4(1871))7月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
序-2 宗家の人々				
34	萬松院殿(宗義智)像		萬松院	
35	宗義智一字状◎	天正18年(1590)正月29日	九州国立博物館	国重文
36	光雲院殿(宗義成)像 ★		萬松院	
37	宗義成加冠状	元和4年(1618)10月19日	九州国立博物館	国重文
38	起請文及び覚書看板	慶安4年(1651)6月12日	九州国立博物館	国重文
39	刀 対州住長幸	寛永7年(1630)	長崎歴史文化博物館	県指定
40	天龍院殿(宗義真)像 ★		萬松院	
41	太刀及び太刀拵 宗彦満平義真		八幡宮神社	
42	靈光院殿(宗義倫)像	江戸時代	養玉院如来寺	
43	大順院殿(宗義蕃)像	江戸時代後期	養玉院如来寺	
44	浄元院殿(宗義功)像	江戸時代	養玉院如来寺	
45	慈芳院殿像	明治時代	養玉院如来寺	
46	白熊植飾兜	江戸時代	個人像	
47	紺糸絨五枚胴具足・鉄六十二間筋兜 四目結紋入	江戸時代	対馬市 長崎県立対馬歴史民俗資料館寄託	
48	対馬藩主宗義成印	江戸時代	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
49	対馬藩主宗義誠花押印	江戸時代	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
50	対馬藩主宗義方花押印	江戸時代	長崎県立対馬歴史民俗資料館	

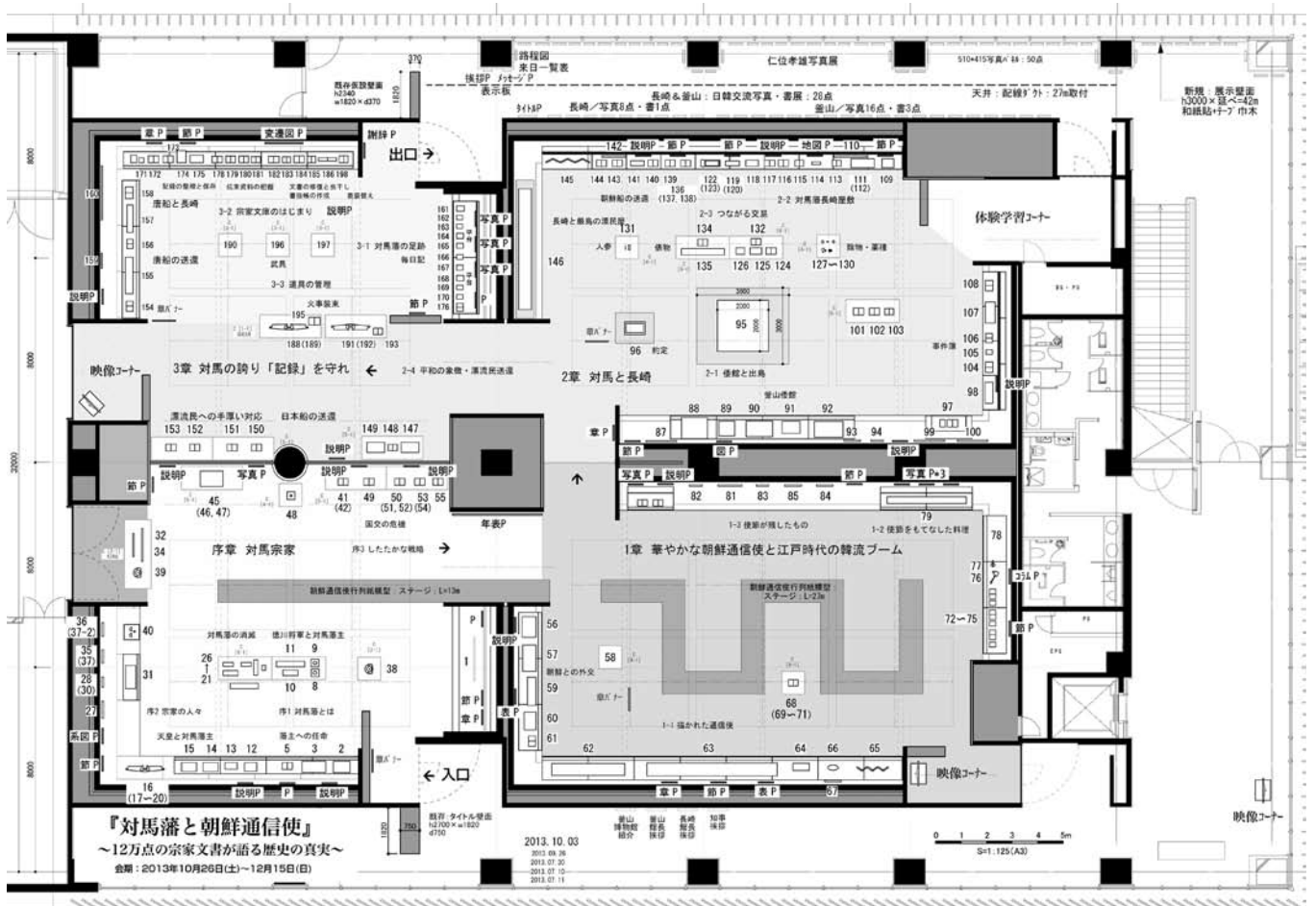
序 - 3 したたかな戦略				
1, 国交の危機				
51	景轍玄蘇大和尚像 ★	江戸時代	西山寺	
52	江戸藩邸毎日記	寛永5年(1628)	東京大学史料編纂所	
53	日々記 江戸表書札方	寛永12年(1635)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
国書改ざん				
54	朝鮮国王李瑄国書◎	萬曆45年(1617)	京都大学総合博物館	国重文
55	朝鮮国王李暎国書◎	萬曆35年(1607)	京都大学総合博物館	国重文
56	朝鮮国王李昞別幅◎	萬曆35年(1607)	京都大学総合博物館	国重文
57	「爲政以德」印◎		九州国立博物館	国重文
58	扶桑録(萬曆丁巳回答使一行日本往還日記)		釜山博物館	
柳川一件				
59	柳川調興公事記録◎	寛永11年(1634)～天和3年(1683)	慶應義塾大学図書館	国重文
60	柳川調興公事之時方長老并ニ松尾七右衛門江御尋被成請答之帳◎	(元禄11年(1698))	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
61	柳川一件ニ付蘭部千石公儀江上り候始終之覚書◎		長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
62	公事対決之御座配絵図／「宗家一件」のうち	寛永12年(1635)	東京大学史料編纂所	
63	寛永十二乙亥年三月十一日於御前義成様ト豊前対決之御座配		長崎県立対馬歴史民俗資料館	
64	[達] (柳川豊前旧領之地返し被下之旨被仰出ニ付)		長崎県立対馬歴史民俗資料館	
2, 朝鮮との外交～朝鮮王朝と対馬藩～				
65	朝鮮国礼曹参議李基祚書契◎	崇禎15年(1642)4月日	九州国立博物館	国重文
66	対馬藩主義蕃書契	宝暦6年(1756)8月日	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
67	対馬藩主義和図書	朝鮮時代・19世紀	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
68	[誓紙] (朝鮮御用被仰付ニ付) 写		長崎県立対馬歴史民俗資料館	
69	覚 (朝鮮御用掛被仰付精ニ入可被相勤ニ付)	3月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
70	朝鮮向御用日記◎	宝永元年(1704)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
71	丁卯条公貿易銅鉄鐵丹木黒角封進備木勘合	文化7年(1810)か	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
1章 華やかな朝鮮通信使と江戸時代の韓流ブーム				
1-1 描かれた通信使				
72	延享年間朝鮮来聘使図 大岡春ト他筆	延享5年(1748)	大阪府立中之島図書館	
73	朝鮮人曲馬図		松原一征氏 長崎県立対馬歴史民俗資料館寄託	
74	江戸城内応接図屏風	江戸後期	釜山博物館	
75	色絵朝鮮通信使図大皿	幕末～明治時代(19世紀後半)	釜山博物館	
76	南柯夢図 英一蜂筆	江戸時代中期	釜山博物館	
77	享保信使記録 第十八冊 信使雑録	享保4年(1719)	慶應義塾大学図書館	国重文
78	天和信使記録 第一冊 参向大坂より荒井迄所々献立	天和2年(1682)	慶應義塾大学図書館	国重文
79	享保信使記録 第十七冊 佐須奈対府大坂江戸御屋敷京都三十三間堂において信使御招請之御献立并問案使之節御振廻御音物被遣候事附通イ之次第覚書	享保4年(1719)	慶應義塾大学図書館	国重文
80	宝暦信使記録下書 第九冊 国王より之別幅并三使より之献上物	宝暦14年(1764)	慶應義塾大学図書館	国重文
1-2 使節をもてなした料理				
81	献立 五(宴席膳部・中宴席下行・宴享行列)◎	正徳3(1713)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
82	[茶礼之節他膳部書付]◎		長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
83	信使一行於御屋鋪御饗応操出順書(文化記録・石井辰三郎控)		慶應義塾大学図書館	
84	信使客館江被上候後進物来簡請取之日上官次官献立(石井治兵衛控)	文化8年(1811)	慶應義塾大学図書館	
85	信使 着・発 御饗応魚鳥青物乾物三ヶ日仕分書(石井治兵衛控)	文化8年(1811)	慶應義塾大学図書館	
86	朝鮮人御用 大白・唐草染付・信楽焼 貝数書(石井治兵衛控)	文化7年(1810)	慶應義塾大学図書館	
87	干菓子調法記	天保8年(1837)写	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
88	銚子	江戸時代	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
89	提子	江戸時代	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
90	黒漆塗金平蒔絵菊桐紋 食器 椀/椀蓋/広口椀/広口椀/蓋付二段重/蓋/縁高/高坏/飯器/湯桶/杓子	江戸時代	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
91	七五三盛付繰出順之絵図	19世紀	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
92	七五三膳(復元模型)★	現代	松濤園 御馳走一番館	
93	三汁十五菜(復元模型)★	現代	松濤園 御馳走一番館	

1-3 使節がのこしたもの				
94	山水図 李義養筆 釜山広域市有形文化財第79号	文化8年(1811)	釜山博物館	
95	鷹図 李義養筆		釜山博物館	
96	虎図 朝鮮海翁筆		釜山博物館	
97	行書 義軒・成夢良筆	18世紀	釜山博物館	
98	墨梅図 下璞筆	宝暦14年(1764)夏	釜山博物館	
雨森芳洲と誠信の交わり				
99	雨森芳洲肖像◎★		滋賀県長浜市芳洲会所有	国重文
100	雨森芳洲筆 書幅「山櫻抱石・・・」	元文4年(1739)3月20日	長崎歴史文化博物館	
101	交隣提醒 信使停止覚書 全		長崎歴史文化博物館	
102	雨森芳洲先生裁判記録拾要		長崎歴史文化博物館	
103	朝鮮通信使行列紙模型	現代	文美順製作・釜山文化財団	
2章 対馬と長崎				
2-1 倭館と出島				
1, 釜山倭館の規模				
104	草梁倭館絵図	18～19世紀	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
105	[東館配置絵図]		長崎県立対馬歴史民俗資料館	
106	開市大帳絵図	寛政4年(1792)正月改建	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
107	副特家絵図	安政5年(1858)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
108	参判家上行廊絵図		長崎県立対馬歴史民俗資料館	
109	[館守家差図]	享和2年(1802)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
110	肅拝所図	17～19世紀	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
111	宴大庁図	17～19世紀	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
112	倭館模型	現代	松原一征氏	
113	約條制札碑★ 釜山記念物第17号	1683年	釜山博物館原蔵	釜山市記念物17号
114	和館衣服之制◎	(己未7月)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
2, 東萊府・釜山鎮と倭館				
115	朝鮮図絵		京都大学附属図書館	
116	東萊古地図★ 釜山広域市有形文化財第59号	19世紀	東亜大学校博物館	釜山市指定
117	盤谷李徳成肖像	18世紀初	釜山博物館	宝物1501
3, 倭館事件簿				
118	豆酸内院浦近辺疑敷船相見江候段度々遂案内候付豆酸村江追船用之人数被差下候始終集書 朱 壺◎	享保9年(1724)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
119	犯科帳 全 ◎	享保9年(1724)～14年(1729)	長崎歴史文化博物館	国重文
120	弘化三丙午年三月朝鮮御横目頭井手右衛門引請下卯右衛門夜中朝鮮人を呼入候次第朝鮮方◎	弘化3年(1846)3月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
121	書付(紀州様・松平阿波守様注文の鷹大坂へ差越候使者一件)◎	正月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
122	義暢様御代 朝鮮於和館虎式正仕留候御届◎	(明和8年(1771))	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
123	獲虎実録 完◎	文政9年(1826)2月4日写	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
124	覚(於館内外交奸ニ付達)	文政3年(1820)4月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
125	安政六年七月去年条一持送使正官人仁位琢磨下人藤次郎同都船主阿比留左馬介下人喜一郎と申者共於和館交奸之一件記録◎	安政6年(1859)7月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
2-2 対馬藩長崎屋敷				
1, 長崎の拠点と長崎開役				
126	肥州長崎図	享和元年(1801)	長崎歴史文化博物館	
127	西築町図面	慶応4年(1868)8月改	長崎歴史文化博物館	
128	長崎御屋敷絵図	天保9年(1838)か	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
129	長崎御蔵屋敷 従本紺屋町西築町江御座敷替記録 佐治軍吾◎	天明7年(1787)12月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
130	[書状案](其御元様御屋敷之場所相求度二付御承知被下二付)ノ天明七年より長崎御屋敷替二付而之書物	天明7年(1787)4月3日	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
131	長崎御蔵屋敷一ヶ年用費取調帳 長崎御役方◎	明治2年(1869)9月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
132	覚(長崎表勤方ニ付申渡)	文政9年(1826)10月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
133	口上手控(長崎開役寺崎直左衛門多年滞留精勤二付相当御沙汰之願)	(天保10年(1839))5月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	

134	大坂 京都 田代 博多 長崎 風本 朝鮮 佐須奈 綱浦 御宛行帳◎		長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
135	[長崎御届帳] ◎	貞享元年(1684)～元禄9年 (1696)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
136	長崎御届帳◎	元禄6年(1693)～14年(1701)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
137	長崎奉行山崎正信書状／義成様御代年号不知従御老中様之 御奉書◎	(慶安元年(1648)) 正月7日	九州国立博物館	国重文
138	長崎奉行山崎正信書状／義成様御代年号不知従御老中様之 御奉書◎	(慶安元年(1648)) 正月6日)	九州国立博物館	国重文
139	長崎奉行牛込忠左衛門勝登書状／自延宝4丙辰年至同5丁 巳年従御老中義真様江之御奉書◎	4月7日	九州国立博物館	国重文
2-3 つながる交易				
140	唐紅毛之品対州平戸除并九州諸家より除取候一件調書	天保14年(1843)	長崎歴史文化博物館	
141	[廻達状](年行司格帯刀御免田代代官白水幾右衛門長崎御 除物役任命二付)	5月21日	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
142	長崎送状控扣(胡椒・丹木の対馬廻送) ◎	安政6年(1859) 正月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
143	ミイラ(没薬)		長崎県立対馬歴史民俗資料館	
144	象牙 ※参考出品		長崎県立対馬歴史民俗資料館	
145	牙角(鯨の歯) ※参考出品		長崎県立対馬歴史民俗資料館	
146	層青		長崎県立対馬歴史民俗資料館	
147	人形人参◎	正徳3年(1713) 5月17日	九州国立博物館	国重文
148	[覚](水牛角近年朝鮮国江持渡二付無数二付長崎会所江申 談様可致二付)	7月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
149	朝鮮弓 ★		釜山博物館	
150	俵物方記録◎	天明5年(1785)～文政8年 (1825)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
151	[廻達状](長崎江被差廻煎海鼠干鮑鱗蛸取締方二付)	正月4日	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
2-4 平和の象徴・漂流民送還				
1, 朝鮮船の送還				
152	朝鮮人漂着格式 参判使帰国返翰 公儀江被差上候次第 朝鮮方◎	宝永3年(1706)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
153	漂民考◎	宝永3年(1706)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
154	漂民考 崇信庁◎	天明8年(1788) 6月出来	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
155	三巡漂差使 大浦喜左衛門・飯田浅右衛門◎	宝暦7年(1757) 2月～11月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
156	諸事留 ◎	嘉永5年(1852)～7年(1854)	長崎歴史文化博物館	国重文
157	覚(漂民万一灘廻り御関所之間におゐて病死取扱之節之心 得二付)		長崎県立対馬歴史民俗資料館	
158	長崎絵図(漂民屋部分)		長崎県立対馬歴史民俗資料館	
159	寺のある風景／リンデン伯「日本の想い出」	1860年	長崎歴史文化博物館	
160	シーボルト「日本」2 朝鮮人		長崎歴史文化博物館	
161	対馬府中図屏風◎		九州国立博物館	国重文
162	巖原湾図◎		九州国立博物館	国重文
2, 日本船の送還				
163	朝鮮国礼曹参議李命男書契◎	萬曆46年(1618) 7月	九州国立博物館	国重文
164	薩州山川船一艘七月十三日朝鮮国全羅道靈岸之内露見島江 漂着記録 表書札方◎	安永7年(1778)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
165	宗猪三郎(11代義功)ヨリ久世丹後守(66代長崎奉行久世 広民)へノ書付	天明2年(1782) 11月21日	長崎歴史文化博物館	
166	豊前国小倉之者朝鮮国江漂流候覚書控◎	延宝3年8月2日(1675)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
167	播州船朝鮮国江漂着佐須奈江渡海動方記録 佐須奈御関所◎	正徳5年(1715) 6月日	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
168	和漂民薬数記◎		長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
169	和漂民江音物帳◎	辰4月	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
3, 唐船の送還				
170	[異国船漂着二付心得書] ◎	寛文期～貞享期	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
171	南京蘇州出唐船対州領安神浦江漂着挽貨目録	宝永2年(1705) 8月7日	長崎県立対馬歴史民俗資料館	
172	台湾人宿番毎日記◎	宝永6年(1709)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
173	[書状](福建台湾船主進長千秋感載)		長崎県立対馬歴史民俗資料館	
174	御在国 南京蘇州之船一艘対州豆飯浦江漂着之記録◎	寛保元年(1741)	長崎県立対馬歴史民俗資料館	国重文
175	伊孚九筆 蘭図		長崎歴史文化博物館	
176	チモール人上陸図 石崎融思筆	享和2年(1802)	長崎歴史文化博物館	

3章 対馬の誇り「記録」を守れ			
3-1 対馬藩の足跡・毎日記			
177	日々記 四冊合帳◎	寛永11年(1634)	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
178	毎日記 奥御書札方◎	万治2年(1659)正月～6月4日	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
179	毎日記 奥御書札方◎	万治2年(1659)6月～12月	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
180	毎日記 俵五郎左衛門◎	元禄14年(1701)10月	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
181	毎日記 御郡奉行所◎	元禄3年(1690)正月～12月	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
182	御在江戸毎日記 二番 奥御書札方◎	宝永2年(1705)8月～12月	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
183	御参勤海陸毎日記 杉村采女◎	元禄5年(1692)	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
184	御参勤海陸毎日記 奥御書札方◎	宝永4年(1707)	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
185	大坂并御船中記◎	宝暦10年(1760)～11年(1761)	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
186	御在府毎日記 朝鮮方◎	天保5年(1834)正月～12月	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
3-2 宗家文庫のはじまり			
187	年寄中預 御書物長持入日記 表御書札方 古帳◎/新帳◎	明和2年(1765)/文化10年(1813)	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
188	御内書御奉書目録 表御書札方◎	万治元年(1658)～安永7年(1778)	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
189	義功様御代 御内書御奉書目録 表御書札方◎	安永7年(1778)～文化10年(1813)	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
190	箱1(「一、寛永十三年信使之時義成様江之御奉書式巻・・・」)◎		九州国立博物館 国重文
191	箱24(「九番御長持 義功様御代 御奉書十五巻 四箱之内 巻」)	文化13年(1816)か	九州国立博物館 国重文
192	日帳目録 表御書札方◎		長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
193	御郡支配方諸記録・日記書抜・往復書状目録 表御書札方◎		長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
194	毎日記目録 表御書札方 式冊之内◎	文久4年改(1864)	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
195	諸記録目録 奥御書札方 式冊之内◎	文久4年改(1864)	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
196	御書物引合目録 奥御書札方◎	天保4年(1864)9月日	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
197	書札方諸色調物註文控 津留源右衛門◎	元禄15年(1702)正月日	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
198	諸方虫干定則 三冊之内◎	明治期	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
199	諸記録不見記録 虫干方◎	戊(文久2年(1862)閏8月)	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
200	大書抜細目録并凡例控 与頭方◎	文化11年(1814)6月	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
201	御書物御修補日記 御文庫◎	嘉永4年(1851)正月日	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
3-3 道具の管理			
202	火事装束(白緞地 桐・丸に四目結紋散)羽織	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館
203	火事装束(白緞地 桐・丸に四目結紋散)野袴	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館
204	火事装束(白緞地 桐・丸に四目結紋散)胸当	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館
205	火事装束(白羅紗地 桐紋入)羽織	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館
206	火事装束(白羅紗地 桐紋入)胸当	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館
207	火事装束 兜(桐紋付)	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館
208	火事装束(山吹緞地 桐紋入)羽織	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館
209	火事装束(山吹緞地 桐紋入)胸当	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館
210	火事装束(山吹緞地 桐紋入)石帯	幕末～明治時代初期	東京都江戸東京博物館
211	火事装束(深蘇芳羅紗地 桐紋入)羽織	幕末～明治初期	東京都江戸東京博物館
212	火事装束(深蘇芳羅紗地 桐紋入)胸当	幕末～明治初期	東京都江戸東京博物館
213	夏冬御火事具御頭巾御羽織仕様書◎	午6月14日達	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文
214	箱「義章様御着初之 掲布御上下 一具・・・」		長崎県立対馬歴史民俗資料館
215	朱漆桐紋 騎射笠	江戸時代	長崎県立対馬歴史民俗資料館
216	朱漆菊桐紋 騎射笠	江戸時代	長崎県立対馬歴史民俗資料館
217	御道具惣帳 一・二◎	明和6年(1769)	長崎県立対馬歴史民俗資料館 国重文

5. 展示図面



十二万点の宗家文書
 が語る歴史の真実

重要文化財指定記念特別展

対馬藩と朝鮮通信使

2013年
 10/26(土)~12/15(日)

長崎歴史文化博物館
 3階企画展示室

主催 / 長崎県、長崎歴史文化博物館、釜山博物館
 共催 / 朝鮮総連社、長崎学院大、NCC長崎文化振興
 協賛 / 九州郵政館、長崎市内、サリエルメディアプロジェクト
 長崎県文化センター、長崎県立図書館、大村歴史資料館
 長崎県立美術館、長崎バスグループ、長崎県交通局

開館時間 / 午前9時30分~午後7時(入館は午後6時30分まで)
 休館日 / 11月15日(金)
 観覧料 / 一般900円(小学生以下半額) 高校生以下無料

長崎歴史文化博物館

「魅惑の清朝陶磁」

1. 展示概要

清朝の陶磁器について、江戸期の日本人が愛した民窯のおおらかさや、近代日本の陶工が認めた官窯の精巧さを、長崎を通して舶来した伝世品ほか出土品や沈没船からの引揚品も交え紹介した。さらに、清朝陶磁に影響を受けた日本の陶工たちの努力の足跡をたどった。

開催期間：平成 25 年 12 月 28 日(土)～平成 26 年 3 月 3 日(月)

1 月 21 日(火)・2 月 18 日(火)休館【65 日間】

観覧料：大人 1,200 円(900 円)・高校生以下 無料

主催：長崎歴史文化博物館・読売新聞社

共催：京都国立博物館

協力：史跡料亭 花月

協賛：あいおいニッセイ同和損保・野崎印刷紙業・文明堂絵本店

後援：長崎県・長崎市・長崎県教育委員会・長崎市教育委員会・長崎新聞社 N H K 長崎放送局・FM 長崎・長崎ケーブルメディア・長崎日中親善協議会・長崎県国際交流協会・長崎華僑総会・長崎新華僑華人協会・長崎新地中華街商店街振興組合・長崎県観光連盟・長崎国際観光コンベンション協会・長崎市タクシー協会

総入場者数：6,235 人(1 日平均 96 人)

2. 展示構成

- 第 1 章 行き交う唐船
- 第 2 章 出土品が語る—江戸・京都・長崎—
- 第 3 章 独自の回路
- 第 4 章 日本からの注文
- 第 5 章 旧家伝来の清朝陶磁
- 第 6 章 江戸時代の中国趣味
- 第 7 章 清朝陶磁と近代日本
- 終章 影響の双方向性



3. 関連行事

○講演会

「清朝陶磁と日本人」

日時：1 月 18 日(土) 14:00～15:30

会場：1 階ホール

講師：尾野善裕氏(京都国立博物館 工芸室長)

参加者：108 名



「憧れと魅惑の中国趣味～清朝陶磁を取りまく世界～」

日時：1 月 19 日(日) 14:00～15:30

会場：1 階ホール

講師：植松有希(当館研究員)

参加者：61 名

「最高級のやきもの！—清朝陶磁入門」

日時：2 月 9 日(日) 14:00～15:30

会場：1 階ホール

講師：長谷川祥子氏(静嘉堂文庫美術館 主任学芸員)

参加者：71 名

「特別講演会 清朝陶磁をめぐる日中交渉」

日時：3 月 1 日(土) 13:00～17:00

会場：1 階ホール

講師：松下久子氏(県文化振興課・主任学芸員)

「日本のやきものに見る清朝陶磁の影響」

潘征氏(福建博物院典藏研究部館員)

「中国清時代の磁器鑑定について」

参加者：70 名

○ワークショップ

「電動ろくろで陶芸体験」

日時：2 月 2 日(日)

10:30～12:00(小中学生)



14:00～16:00 (高校生以上)

会場：伝統工芸体験工房

参加者：[午前] 6名 [午後] 5名



「はくぶつかんのおはなし会」やきもののおはなし

日時：1月11日(土) 10:30～11:00

会場：2階立山亭

参加者：3名

○体験イベント

「煎茶の楽しみ」

日時：1月25日(土) 13:00～・13:30～・14:00～・

14:30～・15:00～

会場：1階エントランスホール

協力：文人流知足会

参加者：95名

参加料：500円

○コンサート

「明清楽の演奏」

日時：2月9日(日) 13:30～14:00・15:30～16:00

会場：1階エントランス

協力：長崎明清楽保存会

参加者：112名

○その他

「とうじきぬりえ」

日時：1月1日～5日(日) 及び会期中の土日祝日

会場：3階ロビー

参加者：137名

4. 展示リスト

◎は国指定重要文化財、所蔵先空欄は個人蔵の資料

No.	名称	員数	時代・年代	所蔵	展示期間
1	長崎港之図 伝円山応挙筆	1面	日本・江戸時代 寛政4年(1792)	長崎歴史文化博物館	前期
2	長崎港図 川原香山筆	1幅	日本・江戸時代(18-19世紀)	長崎歴史文化博物館	後期
3	和蘭船唐船図 石崎融思筆	1幅	日本・江戸時代 天保4年(1833)	長崎歴史文化博物館	前期
4	唐船入津丸荷役之図 石崎融思筆	1幅	日本・江戸時代 文政年間(1818~29)	長崎歴史文化博物館	後期
5	長崎名勝図絵原稿 第九冊 石崎融思筆	全17冊のうち	日本・江戸時代(19世紀)	長崎歴史文化博物館	前期
6	唐蘭館絵巻 唐館巻 川原慶賀筆	2巻のうち	日本・江戸時代(19世紀)	長崎歴史文化博物館	前期
7	唐館蘭館図絵巻 唐館巻 石崎融思筆	2巻のうち	日本・江戸時代 享和年間(1801~04)	長崎歴史文化博物館	後期
8	唐館部屋之図 大和屋版	1枚	日本・江戸時代(19世紀)	長崎歴史文化博物館	前期
9	唐館書房之図 大和屋版	1枚	日本・江戸時代(19世紀)	長崎歴史文化博物館	後期
10	コンダオ沈没船引き揚げ陶磁	19点	中国・清時代(17世紀)		全期間
11	カーマウ沈没船引き揚げ陶磁	18点	中国・清時代(18世紀)		全期間
12	ダイアナ号引き揚げ陶磁	4点	中国・清時代(19世紀)		全期間
13	テクシン号引き揚げ陶磁	7点	中国・清時代(19世紀)		全期間
14	江戸遺跡出土清朝陶磁	35点	中国・清時代(18-19世紀)	新宿区教育委員会	全期間
15	京都市内遺跡出土清朝陶磁	20点	中国・清時代(17-19世紀)	京都市考古資料館	全期間
16	長崎唐人屋敷跡出土清朝陶磁	26点	中国・清時代(17世紀)	長崎市教育委員会	全期間
17	白磁八仙人文八角杯	10口のうち	中国・清時代(17-18世紀)	京都・両足院	全期間
18	白磁観音立像	1軀	中国・清時代(18-19世紀)	京都・霊洞院	全期間
19	青花菊花文鉢	2口	中国・清時代(18世紀)	京都・両足院	全期間
20	青花花卉文皿	1枚	中国・清時代(18世紀)	京都・久昌院	全期間
21	青花双喜文蓋物	1合	中国・清時代(19世紀)	京都・霊洞院	全期間
22	青花雲鶴文水指	1口	中国・清時代 道光年間(1821~50)	京都・霊洞院	全期間
23	青花楼閣山水図手付水指(マグ)	1口	中国・清時代(18-19世紀)	京都・霊洞院	全期間
24	青花花唐草文鉢	1口	中国・清時代 嘉慶年間(1796~1820)	京都・霊洞院	全期間
25	青花喜文字鉢	1口	中国・清時代(19世紀)	京都・正伝永源院	全期間
26	青白磁菊花文小扁壺	1口	中国・清時代(19世紀)	京都・大中院	全期間
27	青白磁唐花唐草文小扁壺	1口	中国・清時代(19世紀)	京都・大中院	全期間
28	黄釉緑彩獅子鈕六角水注	1口	中国・清時代(18-19世紀)	京都・霊洞院	全期間
29	青釉太鼓形蓋物	1合	中国・清時代(18-19世紀)	京都・両足院	全期間
30	紫泥松竹梅鳥文獅子鈕茶瓶	1口	中国・清時代(17-18世紀)	京都・正伝永源院	全期間

31	紫泥松竹梅文茶瓶	1口	中国・清時代(18世紀)	京都・靈洞院	全期間
32	紫泥団籠文四方茶心壺	1口	中国・清時代(18世紀)	京都・靈洞院	全期間
33	粉彩花卉文紫泥水注	1口	中国・清時代(18-19世紀)	京都・靈洞院	全期間
34	褐釉壺	1口	中国・清時代(17-19世紀)	京都・久昌院	全期間
35	朱泥八角涼炉	1基	中国・清時代(19世紀)	究理堂文庫	全期間
36	大坂住友銅吹所跡出土中国陶磁	18点	中国・清時代(17-18世紀)	大阪文化財研究所	全期間
37	首里城跡出土清朝官窯磁器	2点	中国・清時代 雍正年間(1723~35)	沖縄県立埋蔵文化財センター	全期間
38	真珠道跡出土清朝官窯磁器	2点	中国・清時代 雍正年間(1723~35)	沖縄県立埋蔵文化財センター	全期間
39	中城御殿跡出土清朝官窯磁器	1点	中国・清時代 雍正年間(1723~35)	沖縄県立埋蔵文化財センター	全期間
40	青花雲鶴文福寿文字散釣瓶形水指	1口	中国・清時代 乾隆40年(1775)	京都・法金剛院	全期間
41	青花捻花文鉢	1口	中国・清時代 乾隆44年(1779)	静嘉堂文庫美術館	全期間
42	青花牡丹蝶文詩文舟形向付	10客のうち	中国・清時代 乾隆年間(1736~95)	京都国立博物館・藤原忠一郎氏寄贈	全期間
43	青花琵琶湖八景図磁板	1枚	中国・清時代(19世紀)	京都国立博物館・國富卓也氏寄贈	全期間
44	青花琵琶湖八景図磁板	1枚	中国・清時代(19世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
45	青花住吉大社図四方水指	1口	中国・清時代 嘉慶19年(1814)	楽陶陶コレクション	全期間
46	青花山水図脚付膳	1基	中国・清時代(18-19世紀)	京都国立博物館・藤原忠一郎氏寄贈	全期間
47	青花海老文手鉢形向付	1客	中国・清時代(18-19世紀)	楽陶陶コレクション	全期間
48	青花茄子文狂歌磁板	1枚	中国・清時代 道光2年(1822)	楽陶陶コレクション	全期間
49	青花梅樹文詩文芋頭水指	1口	中国・清時代 道光3年(1823)	楽陶陶コレクション	全期間
50	青花蝶瓢筆文瓢筆形水指	1口	中国・清時代 道光元年~11年(1821-31)		全期間
51	青花菱馬水指(呉州染付)	1口	中国・明時代(17世紀)	静嘉堂文庫美術館	全期間
52	青花菱馬水指(呉州染付写)	1口	中国・清時代 道光年間(1821~50)	野崎家塩業歴史館	全期間
53	染付雲堂文筒茶碗 永樂保全作	1口	日本・江戸時代(19世紀)	京都国立博物館・鴻池善右衛門氏寄贈	全期間
54	青花雲堂文筒茶碗	1口	中国・清時代 道光年間(1821~50)	楽陶陶コレクション	全期間
55	青花水裂松竹梅文手鉢形向付	1口	中国・清時代 道光年間(1821~50)		全期間
56	青花双魚文脚付膳形蓋置	1口	中国・清時代 道光年間(1821~50)		全期間
57	青花山水文半開扇向付(古染付)	5客	中国・明時代(17世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
58	青花山水文半開扇向付(古染付写)	3客	中国・清時代(18~19世紀)	角屋保存会	全期間
59	青花隅田川香合(古染付)	1合	中国・明時代(17世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
60	青花隅田川香合(古染付写)	1合	中国・清時代(18-19世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
61	青花楼閣山水図入隅四方蓋物	1合	中国・清時代(19世紀)	角屋保存会	全期間
62	青花楼閣山水図入隅八角皿	1枚	中国・清時代(19世紀)	角屋保存会	全期間
63	青花梵字文皿	11枚のうち	中国・清時代(19世紀)	角屋保存会	全期間
64	青花雲龍文皿	4枚のうち	中国・清時代(19世紀)	角屋保存会	全期間
65	青花松竹梅文詩文水指	1口	中国・清時代 嘉慶年間(1796~1820)	角屋保存会	全期間
66	青花山水魚藻文皿	19枚のうち	中国・清時代 道光年間(1821~50)	角屋保存会	全期間
67	朱泥貼花獅子唐草文水注	1口	中国・清時代(18世紀)	角屋保存会	全期間
68	青花唐花唐草文蓋茶碗	10組のうち	中国・清時代 嘉慶年間(1796~1820)	究理堂文庫	全期間
69	青花透文蓋茶碗	10組のうち	中国・清時代 嘉慶年間(1796~1820)	究理堂文庫	全期間
70	青花雁木文蓋茶碗	10組のうち	中国・清時代(19世紀)	究理堂文庫	全期間
71	青花花卉蓮弁文台皿	5枚のうち	中国・清時代(19世紀)	究理堂文庫	全期間
72	青花馬文水注	1口	中国・清時代(19世紀)	究理堂文庫	全期間
73	青花山水人物文双耳角皿	1枚	中国・清時代(18-19世紀)	究理堂文庫	全期間
74	粉彩絵替散蓮華(十錦手)	19本のうち	中国・清時代(18-19世紀)	究理堂文庫	全期間
75	宜均釉葉形皿	1枚	中国・清時代(18-19世紀)	究理堂文庫	全期間
76	紫泥瓜形茶瓶	1口	中国・清時代(18世紀)	究理堂文庫	全期間
77	紫泥茶瓶	1口	中国・清時代 嘉慶21年(1816)	究理堂文庫	全期間
78	紫泥龍文水注	1口	中国・清時代(18世紀)	究理堂文庫	全期間
79	白磁茗碗	48口のうち	中国・清時代(19世紀)	田中本家博物館	全期間
80	藍彩牡丹文茗碗	17口のうち	中国・清時代(19世紀)	田中本家博物館	全期間
81	青花仙芝祝寿文茗碗	10口のうち	中国・清時代(18世紀)	田中本家博物館	全期間
82	青花楼閣山水図蓋物	1合	中国・清時代(18-19世紀)	田中本家博物館	全期間
83	青花唐人図皿(古染付)	1枚	中国・明時代(17世紀)	京都・兩足院	全期間
84	青花人物図皿(古染付写)	9枚のうち	中国・清時代(18-19世紀)	田中本家博物館	全期間

85	粉彩菊竹文紫泥水注	1口	中国・清時代 (18-19世紀)	田中本家博物館	全期間
86	青花山水図花果文鉢	1口	中国・清時代 (18-19世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
87	青花山水図透彫平鉢	1枚	中国・清時代 道光年間 (1821~50)	野崎家塩業歴史館	全期間
88	青花桜樹文四方水指	1口	中国・清時代 (18-19世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
89	青花唐花唐草文蓋物	1合	中国・清時代 (18世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
90	青花山水図詩文扁壺	1口	中国・清時代 嘉慶年間 (1796~1820)	野崎家塩業歴史館	全期間
91	青花釉裏紅荒磯文鉢	1口	中国・清時代 (18世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
92	青花釉裏紅花唐草文鉢	1口	中国・清時代 乾隆年間 (1736~95)	野崎家塩業歴史館	全期間
93	粉彩牡丹唐草文角皿	1枚	中国・清時代 嘉慶年間 (1796~1820)	野崎家塩業歴史館	全期間
94	粉彩絵替皿 (十錦手)	20枚のうち	中国・清時代 乾隆年間 (1736~95)	野崎家塩業歴史館	全期間
95	粉彩絵替蓋茶碗 (十錦手)	19組のうち	中国・清時代 (18~19世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
96	五彩人物文小碗	10口のうち	中国・清時代 乾隆年間 (1736~95)	野崎家塩業歴史館	全期間
97	青白磁三つ人形蓋置	1口	中国・清時代 (19世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
98	白泥湯罐	1口	中国・清時代 (19世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
99	白磁蓮弁文鉢	1口	中国・清時代 (18-19世紀)		全期間
100	青花雲龍文鉢	1口	中国・清時代 (18-19世紀)		全期間
101	青花山水人物図鉢	1口	中国・清時代 (17-18世紀)		全期間
102	青花百寿文字鉢	1口	中国・清時代 (18世紀)		全期間
103	青花牡丹文四方水指	1口	中国・清時代 (18-19世紀)		全期間
104	青花人物文双耳方瓶	1口	中国・清時代 道光元年~11年 (1821~31)		全期間
105	青花楼閣山水図蓋物	1合	中国・清時代 (19世紀)		全期間
106	青花雜宝文筆軸	1本	中国・清時代 嘉慶年間 (1796~1820)		全期間
107	青花釉裏紅玉取獅子文平鉢	1枚	中国・清時代 (19世紀)		全期間
108	辰砂釉皿	5枚のうち	中国・清時代 (18~19世紀)		全期間
109	青花黄彩花果文平鉢	1枚	中国・清時代 (18~19世紀)		全期間
110	褐釉蓮華文平鉢	1枚	中国・清時代 (18~19世紀)		全期間
111	五彩獅子牡丹文水指	1口	中国・清時代 (17~18世紀)		全期間
118	豆彩雲龍文壺	1口	中国・清時代 道光年間 (1821~50)	京都国立博物館・古田睦広氏寄贈	全期間
119	青花山水図花卉文透彫猪口	5口	中国・清時代 (18世紀)	徳川美術館	全期間
120	素三彩獅子燭台	1基	中国・清時代 (18世紀)	徳川美術館	全期間
121	白磁八仙人文八角杯	8口のうち	中国・清時代 (18世紀)	京都・靈鑑寺	全期間
122	粉彩龍鳳唐草文壺	1口	中国・清時代 (18~19世紀)		全期間
123	金球瑯高足杯	1口	中国・清時代 (18世紀)	陽明文庫	全期間
124	五彩蓮池水禽魚介文六角皿	1枚	中国・清時代 (17~18世紀)	京都国立博物館	全期間
125	色絵染付蓮池魚介文六角皿 有田焼	1枚	日本・江戸時代 (17~18世紀)	九州陶磁文化館・柴田コレクション	全期間
126	五彩花鳥文蓋壺	1口	中国・清時代 康熙年間 (1662~1722)	京都国立博物館	全期間
127	色絵花鳥魚介文六角皿 有田焼	5枚のうち	日本・江戸時代 (18世紀)	九州陶磁文化館・柴田コレクション	全期間
128	五彩花唐草文皿	1枚	中国・清時代 康熙年間 (1662~1722)	京都国立博物館	全期間
129	染付菊唐草文輪花小鉢 有田焼	5口のうち	日本・江戸時代 (17~18世紀)	九州陶磁文化館・柴田コレクション	全期間
130	青花唐花唐草文福寿文字鉢	1口	中国・清時代 雍正年間 (1723~35)		全期間
131	色絵染付唐花文皿 鍋島焼	1枚	日本・江戸時代 (17~18世紀)		全期間
132	豆彩花唐草文盤	2枚	中国・清時代 雍正年間 (1723~35)	京都国立博物館・松井宏次氏寄贈	全期間
133	色絵染付牡丹文皿 鍋島焼	1枚	日本・江戸時代 (17~18世紀)		全期間
134	素三彩鉢	1口	中国・清時代 (17~18世紀)	田中丸コレクション	全期間
135	三彩輪花皿 現川焼	5枚のうち	日本・江戸時代 (17~18世紀)	九州陶磁文化館	全期間
136	三彩平鉢 珉平焼	1枚	日本・江戸時代 (19世紀)	兵庫陶芸美術館	全期間
137	粉彩花蝶仏手柑文茗碗	16口のうち	中国・清時代 (18世紀)	田中本家博物館	全期間
138	色絵三生花文急須 初代尾形周平作・仁阿弥道八画	1口	日本・江戸時代 (19世紀)	兵庫陶芸美術館	全期間
139	七宝唐花文手付盆	1面	日本・江戸時代 (18世紀)		全期間
140	粉彩絵替茗碗 (十錦手)	50口のうち	中国・清時代 (18~19世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
141	色絵蘭人文皿 有田焼	1枚	日本・江戸時代 (18~19世紀)	九州陶磁文化館・柴田コレクション	全期間

142	色絵蘭人丸文皿 有田焼	1枚	日本・江戸時代(18~19世紀)	九州陶磁文化館・柴田コレクション	全期間
143	腥臙脂釉松竹梅三桃文盃洗 萬古焼	1口	日本・江戸~明治時代(19世紀)	岡田文化財団	全期間
144	青釉色絵丸文入隅四方猪口 萬古焼	20口のうち	日本・江戸~明治時代(19世紀)	岡田文化財団	全期間
145	粉彩花唐草文鉢	2口	中国・清時代 道光年間(1821~50)	田中本家博物館	全期間
146	色絵花唐草文蓋茶碗 有田焼	5組のうち	日本・江戸時代(18~19世紀)	九州陶磁文化館・柴田コレクション	全期間
147	青花花卉鳳凰文透彫平鉢	1枚	中国・清時代 道光年間(1821~50)	角屋保存会	全期間
148	染付牡丹唐草鳳凰文透彫大皿有田焼	1枚	日本・江戸時代(19世紀)	九州陶磁文化館・柴田コレクション	全期間
149	青花雁木文鉢	1口	中国・清時代(18世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
150	染付雁木文蓋茶碗 東山焼	10組のうち	日本・江戸時代(19世紀)	兵庫陶芸美術館	全期間
151	青花仙芝祝寿文散蓮華	1本	中国・清時代(19世紀)		全期間
152	染付唐草文散蓮華 永樂保全作	1本	日本・江戸時代(19世紀)		全期間
153	白磁鳳凰浮文鉢	1口	中国・清時代(18~19世紀)	田中本家博物館	全期間
154	白磁鳳凰浮文急須 青木木米作	1口	日本・江戸時代(19世紀)	京都国立博物館・伊東陶山氏寄贈	全期間
155	赤泥湯罐	1口	中国・清時代(18世紀)	久保惣記念美術館	全期間
156	白泥三峰秀才炉	1基	中国・清時代(18世紀)	久保惣記念美術館	全期間
157	白泥眠雲跂石文字茶瓶青木木米作	1口	日本・江戸時代(19世紀)	究理堂文庫	全期間
158	白泥三峰秀才炉 永樂保全作	1基	日本・江戸時代(19世紀)	久保惣記念美術館	全期間
159	白泥三峰炉 青木木米作	1基	日本・江戸時代(19世紀)	究理堂文庫	全期間
160	染付丸文蓋茶碗 有田焼	1組	日本・江戸時代 天保11年(1840)	京都・酬恩庵	全期間
161	金彩色絵秋草文大花生 薩摩焼	1対	日本・江戸時代(19世紀)	徳川美術館	全期間
162	粉彩梅花喜鵲図象耳瓶	1口	中国・清時代 乾隆年間(1736~95)	静嘉堂文庫美術館	全期間
163	色絵花鳥文皿 十代今泉今右衛門作	1枚	日本・明治~大正時代(19~20世紀)	今右衛門古陶磁美術館	全期間
164	色絵婦女図瓢箪形瓶 十代今泉今右衛門作	1口	日本・明治~大正時代(19~20世紀)	今右衛門古陶磁美術館	全期間
165	黒地素三彩花鳥文方瓶	1口	中国・清時代(17~18世紀)	東京国立博物館・横河民輔氏寄贈	全期間
166	色絵雲龍文蓋壺 十代今泉今右衛門作	1口	日本・明治~大正時代(19~20世紀)	今右衛門古陶磁美術館	全期間
167	黄地粉彩花卉文碗	1対	中国・清時代 道光年間(1821~50)	静嘉堂文庫美術館	全期間
168	色絵花卉文柑子口瓶 十代今泉今右衛門作	1対	日本・大正~昭和時代(20世紀)	今右衛門古陶磁美術館	全期間
169	粉彩松鹿図瓶	1対	中国・清時代 乾隆年間(1736~95)	京都国立博物館・松井宏次氏寄贈	全期間
170	色絵鹿紅葉花籠文双耳瓶 八代深川栄左衛門作	1口	日本・明治時代(19世紀)	香蘭社	全期間
171	粉彩菊蝶図盤	1枚	中国・清時代 雍正年間(1723~35)	静嘉堂文庫美術館	全期間
172	色絵菊蝶図花瓶 香蘭社製	1対	日本・明治~大正時代(19~20世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
173	重要文化財 瑠璃彩梅樹文盤◎	1枚	中国・清時代 雍正年間(1723~35)	東京国立博物館・横河民輔氏寄贈	1/1~3/3
174	金彩色絵山水六歌仙図四方花瓶 水埜香甫作	1対	日本・明治時代(19世紀)	京都国立博物館	全期間
175	墨彩風景図方杯	1口	中国・清時代 嘉慶年間(1796~1820)		全期間
176	李珣山水帖 浦上春圃筆	1帖	日本・江戸時代 弘化4年(1847)	究理堂文庫	帖替
177	豆彩龍鳳文盤	1枚	中国・清時代 雍正年間(1723~35)	静嘉堂文庫美術館	全期間
178	色絵染付雲龍文鉢 初代三浦竹泉作	1口	日本・明治~大正時代(19~20世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
179	珊瑚釉砂金袋水指	1口	中国・清時代(18世紀)	静嘉堂文庫美術館	全期間
180	紅釉水注 三代清風与平作	1口	日本・明治~大正時代(19~20世紀)	野崎家塩業歴史館	全期間
181	粉彩百鹿図壺	1口	中国・清時代 乾隆年間(1736~95)	静嘉堂文庫美術館	全期間
182	釉下彩藤花図花瓶 四代清水六兵衛作	1口	日本・明治~大正時代(20世紀)	京都国立博物館・清水菊子氏寄贈	全期間
183	青花婦女図方瓶	1口	中国・清時代(17~18世紀)	大阪市立美術館	全期間
184	染付婦女図花瓶 五代清水六兵衛作	1口	日本・大正3年(1914)	京都府立総合資料館・京都文化博物館管理	全期間
185	釉裏紅三魚文鉢	1口	中国・清時代 雍正年間(1723~35)		全期間
186	釉裏紅三魚文高足杯 五代清水六兵衛作	1口	日本・昭和7年(1932)	京都府立総合資料館・京都文化博物館管理	全期間
187	茶葉末双耳壺	1口	中国・清時代 乾隆年間(1736~95)	東京国立博物館・横河民輔氏寄贈	全期間
188	琅玕釉双耳壺 初代宮永東山作	1口	日本・大正時代(20世紀)	京都市美術館	全期間
189	藍釉象耳方瓶	1口	中国・清時代 乾隆年間(1736~95)	静嘉堂文庫美術館	全期間

190	瑠璃釉花瓶 京都瓢池園製	1口	日本・明治～大正時代 (20世紀)	京都・廣誠院	全期間
191	茶葉末双耳壺	1口	中国・清時代 雍正年間 (1723～35)	静嘉堂文庫美術館	全期間
192	蕎麦釉万歳文字双耳瓶 京都瓢池園製	1口	日本・大正時代 (20世紀)	京都・廣誠院	全期間
193	蕎麦釉花唐草鳳凰文壺 初代宮川香山作	1口	日本・明治時代 (20世紀)	眞葛ミュージアム保管	全期間
194	桃花紅石榴形瓶	1口	中国・清時代 康熙年間 (1662～1722)	京都国立博物館・岡本督氏寄贈	全期間
195	辰砂釉小瓶 エミール・ミュラー社製	1口	フランス・第3共和制期 (19世紀)	京都国立博物館・松本清蔵氏寄贈	全期間
196	紅釉瓶	2口	中国・清時代 (18世紀)	東京国立博物館・横河民輔氏寄贈	全期間
197	倣洋紅釉花瓶 初代宮川香山作	1口	日本・明治時代 (20世紀)	泉屋博古館分館	全期間
198	白磁螭龍把手水注	1口	中国・明～清時代 (17世紀)		全期間
199	染付古今和歌集螭龍把手水注 初代宮川香山作	1口	日本・明治～大正時代 (20世紀)	眞葛ミュージアム保管	全期間
200	青地白堆宝珠文龍耳壺 年木庵喜三作	1口	日本・明治時代 (19世紀)	香蘭社	全期間
201	青地白浮彫人物文手付水差し (ジャグ)	1口	イギリス・ハノーヴァー朝 (19世紀)	東京国立博物館	全期間
202	青花氷梅文瓶	1口	中国・清時代 (17-18世紀)	静嘉堂文庫美術館	全期間
203	染付氷梅文瓶 初代宮川香山作	1口	日本・明治～大正時代 (20世紀)	眞葛ミュージアム保管	全期間
204	青花青釉唐草文双耳扁壺	1口	中国・清時代 乾隆年間 (1736～95)	静嘉堂文庫美術館	全期間
205	藍釉粉彩桃樹文蒜頭瓶	1口	中国・清時代 (18世紀)	東京国立博物館・横河民輔氏寄贈	全期間
206	染付釉裏紅桃樹文双耳花瓶 初代宮川香山作	1口	日本・明治～大正時代 (20世紀)	泉屋博古館分館	全期間
207	青花黄彩桃果文盤	1枚	中国・清時代 乾隆年間 (1736～95)	東京国立博物館・横河民輔氏寄贈	全期間
208	黄地染付菖蒲文花瓶 初代宮川香山作	1口	日本・明治～大正時代 (20世紀)	眞葛ミュージアム保管	全期間
209	火炎紅羊耳瓶	1口	中国・清時代 雍正年間 (1723～35)	東京国立博物館・横河民輔氏寄贈	全期間
210	紫紅釉瓶 竹本隼太作	1口	日本・明治時代 (19世紀)	東京国立博物館	全期間
211	五彩花卉文葫蘆瓶	1口	中国・清時代 (17～18世紀)	梅澤記念館	全期間
212	五彩浮世絵蓋壺	1口	中国・清時代 (18世紀)	梅澤記念館	全期間



2 常設展

常設展示は、歴史文化展示、美術展示、工芸展示、奉行所復元展示で構成されている。2ヶ月ごとに展示替えを行い、季節やテーマに沿った資料展示をおこなった。

歴史文化展示室

1, 展示構成

- 1, 西洋との出会い～南蛮貿易とキリスト教～
長崎開港と朱印船貿易、海外交流の制限をテーマに紹介。16世紀後半が対象。
- 2, 朝鮮との交流～朝鮮通信使と対馬～
対馬藩を介して展開された日本と朝鮮との外交・貿易を紹介。17世紀前半～19世紀が対象。
- 3, 長崎貿易～唐船・オランダ船と行き交う商品～
世界中の貿易品が集まった長崎の姿を紹介。17世紀中頃が対象。
- 4, 中国との交流～唐寺と唐人屋敷～
唐寺や唐人屋敷でおこなわれた中国との文化交流を紹介。17世紀後半が対象。
- 5, 長崎の暮らし～長崎の賑わいと町の仕組み～
「寛文長崎図屏風」「長崎惣町絵図」「長崎くんち」を中心に、長崎の町を紹介。18世紀が対象。

- 6, 長崎の美術・工芸～交流が生んだ異国趣味～
流行の発信地長崎、あふれる異国趣味をテーマに、長崎の美術工芸の逸品を紹介。
- 7, オランダとの交流～出島と蘭学～
長崎出島を窓口として行われた海外との豊かな交流、多方面への影響をテーマに紹介。19世紀が対象。
- 8, 近代化の魁・長崎～長崎発、西洋の知と技～
近代技術の移入、近代日本の魁をテーマに、海外の窓口として最新の学問や技術、情報が集まった幕末・明治の長崎を紹介。19世紀中頃が対象。

2, 主な展示資料

- 「南蛮人来朝之図」
「寛永長崎港図」
「狂言袴茶碗」
「唐館図絵巻 石崎融思筆」
「上野彦馬使用 写真機」



美術展示室／特集展示

幸せを願う～五節句～

【展示概要】

入日（正月七日）・上巳（三月三日）・端午（五月五日）・重陽（九月九日）といった、奈良時代から続き、江戸時代に徳川幕府の重要な式日として定められた五節句

をゆかりの資料で紹介。

開催期間：3月20日（水・祝）～5月20日（月）

総入場者数：8,942名

	資料名	年代	資料番号
1	黒漆金蒔絵五節句椀		市博 漆（日本）22
2	五節句飾画卷		県美博 F イ 0154
3	奉書（端午之御祝儀）		県書 渡辺ハ 14 744
4	五月節句用刀		市博 節句 15
5	武者図 川原慶賀筆・中島広足賛	江戸時代後期	市博 絵（長崎）203
6	鷹図 石崎元章筆・藤原環賛	江戸時代中期	市博 絵（長崎）201
7	双鯉図 広渡湖秀筆	江戸時代後期	市博 絵（長崎）116
8	鍾馗之図 渡辺鶴洲筆	江戸時代後期	県美博 A イ 0011
9	川原慶賀筆 年中行事絵 正月図（パネル展示）	江戸時代後期	県美博 A IIハ 0055
10	年中行事 全（対馬宗家）	嘉永3年（1850）写	県書 中西ミ 13 14
11	年中行事絵・雛祭り 川原慶賀筆	江戸時代後期	美博 A IIハ 0066
12	雛祭図		市博 絵（長崎）236
13	紀州葵紋源氏絵入羽子板		市博 節句 3
14	紀州葵紋源氏絵入羽子板		市博 節句 4
15	桃図 石崎融思筆	天保5年（1834）	市博 絵（長崎）77
16	桃に福寿椀		市博 漆（日本）59
17	八朔祝儀進上 長崎奉行大屋宛 松平肥前守（佐賀藩10代藩主斉正）書状	（嘉永2年（1849））7月21日	県書 17 470

18	八朔目録引合帳	文久元年(1861)	県書B) 14 33-3
19	年中行事絵・七夕図 川原慶賀筆	江戸時代後期	県美博 A IIハ 0057
20	七夕祝儀進上 長崎奉行 100代井戸宛 立花左近将監(柳川藩 12代藩主鑑寛)書状	(弘化3~嘉永2)7月朔日	県書 17 451
21	年中行事絵・観菊会 川原慶賀筆	江戸時代後期	県美博 A IIハ 0067
22	重陽祝儀進上 長崎奉行大屋宛 松平肥前守(佐賀藩 10代藩主斉正)書状	(嘉永2(1849))9月3日	県書 17 473
23	菊慈童図 片山楊谷筆		市博 絵(長崎) 188
24	菊之図	江戸時代中期	県美博 A Iイ 0007



▲黒漆金蒔絵五節句碗

名品選Ⅱ 山水に遊ぶ

【展示概要】

山と水辺を基調とした理想的な世界を描いた山水画の魅力、文人画から工芸品まで幅広く紹介。

開催期間：5月22日(水)～7月1日(月)

総入場者数：8,796名

	作品名	作者名	年代	資料番号
1	納涼図	石崎融思	1842年(天保13)	県美博 A1イ 0203
2	青緑山水図	木下逸雲	1862年(文久2)	県美博 A1イ 0054
3	扇面青緑山水図	鉄翁祖門	1861年(文久1)	県美博 A1イ 0012
4	扇面柳下鴨図	沈南蘋	1739年(中国・乾隆4年)	県美博 A1イ 0154
5	百雁之図	建部綾足	江戸時代中期	県美博 A1イ 0086
6	仙女舟遊図	木下秋塘	天保3年(1832)	市博 絵(長崎) 447
7	秋景山水図	鉄翁祖門	1858年(安政5)	県美博 A1口 0020
8	白雲緑樹図	木下逸雲	1865年(慶應1)	市博 絵(長崎) 478
9	米法山水図	三浦梧門	1858年(安政5)	市博 絵(長崎) 18
10	浅絳山水	道幸春隄	江戸時代後期	県美博 A1口 0026
11	寄書画帖	石崎融思	1824(文政7)	市博 絵(長崎) 326
12	山水画帖	木下逸雲	弘化4年(1847)ほか	市博 絵(長崎) 200
13	山水画帖	木下逸雲	1832年(天保3)	市博 絵(長崎) 519
14	費氏山水画式	費漢源画・鈴木芙蓉撰	1789(寛政1)刊・1913(大正2)補刻	県書 18 92 1～3
15	会席しつほく趣向帳	禿帯子著	1771年(明和8)	県書 18 109/へ 18 156
16	水墨梅山水詩書屏風	王克三、徐雨亭ほか	1863年(文久3)	県美博 A1口 0045
17	富士形肴組台	長崎青貝	江戸時代後期	県美博 Dホ 0014
18	桃花源図	木下逸雲	1864年(元治1)	市博 絵(長崎) 283
19	楼閣山水図手提げ箱	長崎青貝	江戸時代後期	県美博 Dホ 0032
20	春秋山水屏風	鈿雲泉	1799年(寛政11)	県美博 A1イ 0002
21	風竹図屏風	鶴亭浄光	江戸時代中期	市博 絵(長崎) 196
22	亀山焼染付大蓋物	亀山焼	江戸時代後期	市博 陶(長崎) 3
23	亀山焼山水図水指	亀山焼	江戸時代後期	県美博 Dハ a0372
24	染付山水大鉢	平戸・三川内焼	江戸時代後期	県美博 Dハ a0015
25	染付竹林七賢図水指	平戸・三川内焼	江戸時代後期	県美博 Dハ a0147
26	染付山水楼閣文花筒	平戸・三川内焼	江戸時代後期	県美博 Dハ a0535
27	染付山水図盃台	平戸・三川内焼、福本三右(左)衛門	1866年(慶応2)	県美博 Dハ a0127



シーボルトの植物園展

【展示概要】

シーボルトや日本の本草学者、描かれた舶来の植物を紹介する。また、芥川龍之介筆「河童図屏風」を公開。

開催期間：7月3日（水）～9月16日（月・祝）

総入場者数：10,142名

	作品名	作者名	年代	資料番号
1	日本植物誌 巻1～2	Ph. Fr.von Siebold D.J.G.Zuccarini	1835年	県書 2 185-1 1
2	日本誌	E.Kaempfer	1778年	県美博 F イ 0122
3	日本植物誌	C.P.Thunberg	1784年	県書 2 148
4	穀物種蒔付之儀ニ付シーボルトヨリ聞取書	—	江戸時代後期	県書 17 63-1
5	シーボルトの草木鑑定書	—	1784年	県書 渡辺へ 15 30
6	植物誌（草木譜）	R.Dodonaeus	1644年	県書 2 775
7	在長崎日蘭貿易図	広渡湖秀 筆 長谷川雪香 写	江戸時代後期	県書 3 8-2
8	シーボルト胸像	水谷鏡也	—	県美博 F ロ 0002-010
9	シーボルト肖像画	川原慶賀	江戸時代後期	県書 18 16-2
10	産科医療器具（鉗子）	ヨーロッパ製 楠本たき 旧蔵	1850年頃	県美博 F ロ 0002-004
11	産科外科医療器具（匙など）	ヨーロッパ製 楠本たき 旧蔵	1850年頃	県美博 F ロ 0002-005
12	医療器具（メスなど）	ヨーロッパ製 楠本たき 旧蔵	1850年頃	県美博 F ロ 0002-006
13	外科医療器具	ヨーロッパ製 楠本たき 旧蔵	1850年頃	県美博 F ロ 0002-007
14	薬籠	ヨーロッパ製 楠本たき 旧蔵	1850年頃	県美博 F ロ 0002-008
15	草木花実写真図譜 一～四	川原慶賀・田口盧谷 画	明治初期	市博 絵（長崎） 154-1～4
16	慶賀写真草 上・下	川原慶賀・田口盧谷 画	1836年（天保7）	県書 15 107 1～2
17	庖厨備用倭名本草 巻1～12	向井元升	1671年（寛文11）	県書 福田テ 15 14 1 ～11
18	大和本草 五～八	貝原益軒	1708年（宝永5）	市博 400-7
19	泰西本草名疏 上・中・下	伊藤圭介 撰	1829年（文政12）	県書 15 125 1～3
20	拾品考	野田青葭 著 石崎融濟 画	1850年（嘉永3）	県書 15 7
21	本草雑書集	本木正栄	1801年（寛政13）	県書 渡辺へ 15 32
22	翻譯 阿蘭陀本草	本木良永 訳	1771年（明和8）頃	市博 470-1
23	長崎諸役場絵図より 「西山御薬園」	藤島長蔵	江戸時代後期	県書 福田テ 3 95 2
24	書額「菊茂登」	永井荷風	1935年（昭和10）	市博 書（日本） 34
25	書額「花鳥諷詠」	高浜虚子	昭和初期	市博 絵（日本） 35
26	河童図屏風	芥川龍之介	1922年（大正11）	市博 絵（日本） 8
27	尺牘集	菊池寛・竹久夢二他	1912年（明治45）～1925年（大正14）	市博 書（日本） 22
28	河童供養帖	芥川也寸志・火野葦平 他	1934年（昭和9）～1967年（昭和42）	市博 絵（日本） 10 ～19



くんち三七九年展

【展示概要】

379年を迎える長崎の秋の大祭・長崎くんちの演し物、鯨の潮吹きなど踊町に関する資料を紹介。

開催期間：9月18日（水）～10月14日（月・祝）
総入場者数：10,020名

	作品名	作者名など	年代	資料番号
1	諏訪神事御供町道行之図	作者不詳、森永家寄贈	1716～1735年（享保年間）頃	県美博 A1 イ 0156
2	みゆきの先とも	本多鉄太郎	1881年（明治14）	市博 くんち3
3	御神事踊笠鉾番組	田川老人	1893年（明治26）	市博 くんち2
4	長崎市踊惣町諏訪神事笠鉾	米倉利三郎	1881年（明治14）	県書 中村チ 11 34
5	長崎諏訪祭礼図屏風（原資料 国立歴史民俗博物館所蔵）	作者不詳	江戸時代中期	市博 複製
6	諏訪祭礼図絵巻	作者不詳	江戸時代中期	市博 くんち12
7	長崎諏訪神社大祭式行列図	長谷川竹葉	1879年（明治12）	県美博 A3 ロ 0108
8	本大工町傘鉾垂	本大工町町内会寄贈	大正時代頃	市博 くんち16
9	本籠町傘鉾垂（部分）	作者不詳	1804～1818年（文化年間）頃	市博 くんち19
10	長崎名勝図絵原稿	石崎融思	江戸時代後期	市博 210-59-8
11	長崎古今集覧名勝図絵	石崎融思	1841年（天保12）	市博 絵（長崎）142-2
12	阿蘭陀萬歳	鈴木信太郎	1949年（昭和24）	市博 絵（日本）43
13	阿蘭陀萬歳	鈴木信太郎	1949年（昭和24）以降	市博 絵（日本）1
14	本石灰町奉納踊図下絵	岡月洲	1861年（万延2）	市博 絵（長崎）304
15			1869年（明治2）	市博 絵（長崎）343
16	鯨の汐吹絵巻	甲斐宗平	1963年（昭和38）頃	市博 くんち6
17	NIPPON	シーボルト		市博 2 183 6
18	鯨組鯨見取図	作者不詳	江戸時代	市博 水産 2
19	榎津町傘鉾飾鯛（部分）	—	制作年代不詳	市博 くんち17
20	金糸籠刺繍くんち衣装	—	江戸時代～明治時代	市博 くんち32・24・25
21	染付鯨の潮吹図大鉢	亀山焼	江戸時代後期	県美博 D ハ a0155
22	染付鯨の潮吹図深鉢	亀山焼	江戸時代後期	県美博 D ハ a0159
23	萬屋町鯨 葉書	—	1907年（明治40）	市博 絵葉書（長崎）68
24	長崎諏訪祭礼 萬屋町奉納 傘鉾 葉書	—	1922年（大正11）	県書 18 1217 13
25	長崎諏訪祭礼 萬屋町奉納踊 鯨の汐ふき	—	1922年（大正11）	県書 18 1217 23
26	万屋町奉納踊関係写真	竹下写真館（長崎市）	年代不詳	市博 H309
27	万屋町奉納踊関係写真	竹下写真館（長崎市）	年代不詳	市博 H310
28	万屋町奉納踊関係写真	竹下写真館（長崎市）	年代不詳	市博 H311
29	万屋町奉納踊関係写真	竹下写真館（長崎市）	年代不詳	市博 H312
30	万屋町奉納踊関係写真	—	年代不詳	市博 H313
31	万屋町奉納踊（鯨汐吹）写真	藤木博英社（長崎市）	1936年（昭和11）	市博 絵葉書（長崎）18
32	長崎市万屋町奉納踊 鯨の潮ふき組立の順序写真	万屋町編集	1957年（昭和32）	県書 18 218
33	万屋町奉納踊関係写真	上野撮影局（長崎市）	年代不詳	市博 G53
34	万屋町奉納踊関係写真	上野撮影局（長崎市）	—	市博 G54
35	万屋町奉納踊関係写真	三苦写真館（福岡市）	—	市博 G55
36	長崎諏訪祭礼 絵葉書	—	1906年（明治39）頃	市博 絵葉書（長崎）94
37	長崎諏訪祭礼 絵葉書	—	—	市博 H30
38	長崎諏訪祭礼 絵葉書	—	1931年（昭和6）	市博 絵葉書（長崎）22
39	長崎諏訪祭礼 絵葉書	—	1921年（大正10）	市博 絵葉書（長崎）44
40	長崎諏訪祭礼 絵葉書	—	1910年（明治43）	県美博 F イ 216-48
41	長崎諏訪祭礼 絵葉書	—	1908年（明治41）	県美博 F イ 216-37
42	長崎諏訪祭礼 絵葉書	—	—	県書 18 264 37 022
43	長崎諏訪祭礼 絵葉書	—	—	県書 18 1395
44	長崎諏訪祭礼 絵葉書	—	1919年（大正8）	県書 3 67 2
45	長崎諏訪祭礼 絵葉書	—	1935年（昭和10）	市博 絵葉書（長崎）89



海の王都・原の辻展

【展示概要】

新たに国重要文化財に指定された原の辻遺跡出土資料や原の辻の全貌を解き明かす一級品の数々を紹介。

開催期間：10月16日(水)～12月16日(月)

総入場者数：48,049名

	通番	登録番号	遺物番号		展示コーナー	
1	172	甕形土器-2	NH	009037002	前期土器	
2	180	甕形土器-10	NH	009033001	中期土器(前)	
3	232	壺形土器-1	NH	033024055		
4	243	壺形土器-12	NH	009028031		
5	361	鉢形土器-5	NM	006007055		
6	422	蓋形土器-2	NH	021051013		
7	184	甕形土器-14	NH	019059010		
8	236	壺形土器-5	NH	009029044	中期土器(後)	
9	425	蓋形土器-5	NH	019069012		
10	477	器台-1	NH	019053014		
11	480	器台-4	NH	021037013		
12	491	器台-15	NH	024026060		
13	283	壺形土器-52	NH	009006044		丹塗り土器
14	314	壺形土器-83	NH	026131048		
15	317	壺形土器-86	NH	009017016		
16	329	壺形土器-98	NH	016042015		
17	335	壺形土器-104	NH	019054031		
18	439	蓋形土器-19	NH	009017028		
19	441	蓋形土器-21	NH	011089005		
20	449	高杯-1	NH	029043034		
21	451	高杯-3	AS	017036059		
22	201	甕形土器-31	AS	012101013	後期土器	
23	228	甕形土器-58	AS	006046007		
24	258	壺形土器-27	HH	003027053		
25	270	壺形土器-39	NH	018070003		
26	287	壺形土器-56	NH	024021024		
27	338	壺形土器-107	IK	014105256		
28	369	鉢形土器-13	AS	012106050		
29	455	高杯-7	HH	003029080		
30	224	甕形土器-54	NH	016045014		
31	341	壺形土器-110	NH	016049008		古墳時代土器
32	343	壺形土器-112	NH	027029074		
33	413	鉢形土器-57	HH	003030098		
34	470	高杯-22	NM	006017171		
35	523	器台-47	NH	011185038		
36	533	器台-57	HH	003030097		
37	578	小形丸底埴-22	AS	015061042		
38	735	堅杵-2	NH	021073016	農具	
39	746	横槌-5	HH	002037062		
40	887	石包丁-4	NH	009070027		
41	891	石包丁-8	NH	009077075		
42	915	石鎌-3	NH	030014024		
43	916	石鎌-4	NH	030149015		
44	1567	鉄製鋤先-1	NH	011038006		
45	1593	鉄鎌-11	NH	031024049		
46	1143	石錘-3	NH	01114068		漁具
47	1145	石錘-5	NM	006013126		
48	1153	石錘-13	NH	019084039		
49	1160	石錘-20	NH	009068010		
50	1171	石錘-31	NK	124069080		
51	1179	石錘-39	NH	0019099171		
52	1189	石錘-49	NH	036046020		
53	1641	あわびおこし-2	NH	009093002		
54	1645	あわびおこし-6	NH	019104002		
55	1651	やす-4	NK	124097016	日常生活	
56	185	甕形土器-15	NH	009010009		
57	191	甕形土器-21	NH	009011017		
58	213	甕形土器-43	HH	003033115		
59	641	紡錘車-2	NH	009093006		

60	648	紡錘車 -9	NM	006016154	日常生活
61	819	機織具 -1	NK	124081010	
62	966	石斧 -9	NH	027051001	
63	992	石斧 -35	NH	009068003	
64	994	石斧 -37	NH	016069037	
65	1016	石斧 -59	NH	016069045	
66	1029	石斧 -72	IK	014151232	
67	1076	紡錘車 -7	NM	006006045	
68	1077	紡錘車 -8	NH	011213001	
69	1081	紡錘車 -12	NH	021063029	
70	1085	砥石 -4	IK	014093184	
71	1088	砥石 -7	IK	012074138	
72	1527	鑄造鉄斧 -1	NK	124076002	
73	1542	袋状鉄斧 -5	NH	019102013	
74	1661	紡錘車 -3	NK	124096002	
75	238	壺形土器 -7	HH	003026044	
76	264	壺形土器 -33	NH	009006056	
77	352	壺形土器 -121	NH	009034010	
78	552	土製支脚 -1 5	IK	021 図版 138 右下	
79	554	土製支脚 -1 7	NM	006004022	
80	555	土製支脚 -18	NM	006016161	
81	590	注口土器 -1	NH	009006045	
82	599	小形模造土器 -7	NH	039061003	
83	602	小形模造土器 -10	AS	012038041	
84	813	椰子筥 - 1	NH	009084018	
85	1108	石製支脚 -14	NH	026039037	
86	1109	石製支脚 -15	NH	026038034	
87	1110	石製支脚 -16	NH	026039033	
88	1206	勾玉 -6	NH	035044 S 14 勾玉	
89	1208	勾玉 -8	NK	124100015	
90	1214	勾玉 -14	IK	012172004	
91	1217	管玉 -3	NH	039076 D 11	
92	1248	切り玉 -2	NH	024050023	
93	1260	勾玉 -1	NK	031009004	
94	1279	ガラス小玉 -7	NH	039078	
95	1282	ガラス小玉 -10	IK	021 図版 322 左下	
96	1283	ガラス小玉 -11	IK	021 図版 322 右下	
97	609	投弾 -2	NH	026151005	
98	612	投弾 -5	NH	021092005	
99	613	投弾 -6	IK	021 図版 154 左上	
100	614	投弾 -7	IK	021 図版 154 右上	
101	615	投弾 -8	IK	021 図版 154 左下	
102	829	石鏃 -4	NH	019079002	
103	833	石鏃 -8	IK	012029124	
104	838	石鏃 -13	NH	029052001	
105	1445	銅鏃 -129	NK	124072033	
106	1446	銅鏃 -130	IK	010070198	
107	1447	銅鏃 -131	NH	027083001	
108	1448	銅鏃 -132	NH	027083006	
109	1449	銅鏃 -133	NH	027083004	
110	1450	銅鏃 -134	NH	027083002	
111	1500	鉄鏃 -1	NH	026084014	
112	1510	鉄鏃 -11	NH	037016003	
113	3	朝鮮系無文土器 -3	NH	019073008	
114	99	朝鮮系無文土器 -99	NH	009030056	
115	111	瓦質土器 -4	NK	124173028	
116	112	瓦質土器 -5	NH	024049085	
117	166	陶質土器 -2	HH	003031112	
118	1197	人面石 -1	NH	024072013	
119	1257	蜻蛉玉 -2	NH	035016 K 3	
120	1259	蜻蛉玉 -4	NH	035017 K 2	
121	1481	銅銭 -12	NH	039026129	
122	1482	銅銭 -13	NH	039026130	
123	1488	権 -1	AS	012054015	
					搬入土器
					トピック

絵図が語る世界像

【展示概要】

世界図から都市図まで、その時代の人々の知識や価値観・世界観が描かれた様々な絵図・地図を紹介。

開催期間：12月19日（水）～2月14日（月・祝）

総入場者数：5,059名

	作品名		年代	資料番号
1	四都図・世界図屏風〔複製〕	原本（神戸市立博物館蔵）	江戸時代初期	市博 複製 55-1
2	瀬戸内海地図屏風		江戸時代前期	県美博 A1 イ 0004
4	長崎図屏風〔複製〕	原本（神戸市立博物館蔵）	江戸時代前期	市博 複製 56
5	肥前国長崎之絵図（延宝年間）		延宝年間	県書 3 759
6	（桶屋町地図）		18世紀後半	県書 藤ト 13 118
7	長崎図（長崎版画）			県美博 A3 ハ 0062
9	対馬国府中城郭絵図		江戸時代	県書 3 703-4
10	肥前国平戸城外郭西口門之図	松浦壱岐守	天明8年2月	県書 13 1234
11	世界図 オルテリウス世界図	オルテリウス	1570年	県美博 F イ 0064
12	中国図	ルドヴィコ・ジョルジオ	1584年	県美博 F イ 0069
13	日本図	ヤンソン	1636年	県美博 F イ 0071
14	日本図	マルティーニ	1655年	県美博 F イ 0081
15	日本図	コロネリ	1690年	県美博 F イ 0 0 9 1
16	アジア図	ミュンスター	1545年頃	県美博 F イ 0058
17	アジア図	ファン・ラングレン	1595年	県美博 F イ 0116
18	東南アジア海図	デ・ウィット	1675年	県美博 F イ 0090



唐通事の世界

【展示概要】

中国との貿易業務の通訳や文書の翻訳を行い、詩書画などでも才能を発揮した唐通事の活躍について紹介。

開催期間：2月19日（水）～4月14日（月）

総入場者数：5,914名

	作品名	作者名	年代	資料番号
1	信牌	—	1765年（明和2）9月19日給	県書B）17-28 重要文化財
2	割符留帳	—	1831年（天保2）	県書B）17-2-3 重要文化財
3	唐通事所用 帽子・胸当	—	江戸時代	県美博 F イ 0033
4	唐通事会所貫銀蔵之図 長崎諸役所古図	—	江戸時代	県書 福田テ 3 53
5	唐船来舶図	作者不詳	江戸時代後期	県美博 絵（長崎）295
6	長崎古今集覧名勝圖繪稿本 上	石崎融思	1841年（天保12）序	県美博 絵（長崎）142-1 / 210-59-5
7	林家絵像外箱	—	江戸時代前期	市博 画像（長崎）43、44、45の箱
8	清俗紀聞	中川忠英編 石崎融思等画	1798年序（寛政10）	県書 14 106-1 / 380-1
9	唐船図	作者不詳	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0016
10	唐船図	作者不詳	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0064
11	清人翫蘭図	作者不詳	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0083
12	雪中志学	作者不詳	江戸時代後期	県美博 A3 ハ 0023
13	鉄山和尚画像	上野若元	1719年（享保3）賛	市博 画像（黄檗）2
14	劉一水絵像	作者不詳	江戸時代前期	市博 画像（長崎）20
15	劉宣義絵像	作者不詳	江戸時代前期	市博 画像（長崎）21
16	劉大基絵像	作者不詳	江戸時代中期	市博 画像（長崎）15
17	林公琰府君御絵像	作者不詳	江戸時代前期	市博 画像（長崎）38
18	林道榮絵像	作者不詳	江戸時代前期	市博 画像（長崎）39
19	林家三代二木三郎兵衛絵像	作者不詳	江戸時代前期	市博 画像（長崎）40

20	林家四代梅庭絵像	作者不詳	江戸時代中期	市博 画像(長崎) 41
21	書屏風	林道栄	江戸時代前期	県美博 C イ 0020
22	御詩章	牛込忠左衛門	江戸時代前期	市博 書(日本) 17
23	長崎先民伝	盧千里編	1819年(文政2)刊	県書 13 114-3
24	書屏風	林道栄	江戸時代前期	県美博 C イ 0021
25	山水図	游龍梅泉	1819年(文政2)	市博 絵(長崎) 271
26	青緑山水図	游龍梅泉	江戸時代後期	県美博 A1 イ 0105
27	芦雁波之図	鉦鹿君山(民部)	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0159
28	魏氏楽譜	魏皓子明(鉦鹿君山)	1768年(明和5)	県書 中村チ 18 44
29	魏氏楽器図	魏皓子明(鉦鹿君山)	1780年(安永9)	県書 18 1310
30	雪中鷹之図	熊斐	江戸時代中期	県美博 A1 イ 0008
31	虎図	熊斐	江戸時代中期	市博 絵(長崎) 332
32	心田庵(模写)	作者不詳	江戸時代	市博 絵 92



トピック展示

幕末長崎と会津藩 九州と東北を繋ぐ固き絆

【展示概要】

会津藩の御用商人を務めた足立仁十郎と、初代長崎県知事日下義雄を中心に、幕末の長崎と会津藩の知られざる深い関係をゆかりの資料で紹介。

開催期間：3月20日(水・祝)～7月1日(月)

総入場者数：16,902名

番号	資料名	年代	資料番号
1	肖像写真(日下義雄) 上野撮影局(長崎市)撮影		市博・写真 G28
2	肖像写真(金井俊行) 上野撮影局(長崎市)撮影		市博・写真 G27
3	長崎市水道始末 長崎県土木課編	1889年(明治22)3月～6月	県書 16 128 - 1 2
4	長崎水道記事2 金井俊行 写	1889年(明治22)	県書 16 1-1 2
5	長崎水道記事 附録 金井俊行 写	1889年(明治22)	県書 16 1-1 3
6	長崎港船舶検疫紀事 長崎県編	1888年(明治21)	県書 15 252 1
7	本河内高部水源地 清河写真館(長崎市)撮影	1891年(明治24)以降	市博・写真 H54
8	本河内高部水源地 薛写真館(長崎市)撮影	1891年(明治24)以降	市博・写真 H55
9	絵葉書・名勝中川カルルス桜		市博・絵葉書(長崎) 217
10	絵葉書・名勝中川カルルス桜		市博・絵葉書(長崎) 218
11	(新島八重)帯刀姿の肖像写真		同志社大学所蔵
12	スペンサー銃	近代	県美博 F イ 0227
13	独逸人レーマンより旧会津藩足立泉相手取小銃代金滞一件	1866年(慶応2)	県書 14 407-3
14	会津産人参唐方買渡記録	江戸時代後期	県書・古賀 13 232



▲スペンサー銃
◀肖像写真(日下義雄)

唐人屋敷の世界

【展示概要】

小さなチャイナタウンとなった唐人屋敷において、月琴を奏で書画を楽しむ中国人たちの姿を紹介。

開催期間：7月3日（水）～10月14日（月・祝）
総入場者数：19,365名

	作品名	作者名	年代	資料番号
1	書幅「一聲吼哮翻銀漢」	隠元隆琦	—	市博 書（黄檗）43
2	書幅「獨坐雄峯當等間」	木庵性瑫	—	市博 書（黄檗）44
3	書幅「三日月聳似鉄山」	費隱通容	—	市博 書（黄檗）42
4	魏氏楽譜	魏皓 編	1768年（明和5）	県書 福田テ 18 6
5	龍頭飾付月琴	—	—	市博 楽器 4
6	唐物筆箱・唐物堆朱龍彫刻大筆ほか	—	—	市博 漆（外国）5ほか



▲唐物の文具

キリシタンの世紀

【展示概要】

教会の町として発展した長崎において、キリスト教の布教活動通じて伝来した西洋文化を紹介。

開催期間：10月16日（水）～11月18日（月）
総入場者数：12,525名



▲南蛮人之図
◀弾琴図

高島秋帆

【展示概要】

長崎の町年寄の家に生まれ西洋砲術の祖として活躍した、高島秋帆（1798～1866）の肖像画やゆかりの資料を紹介。さらに、秋帆が確立した西洋砲術を、彼がそれ以前に学んでいた砲術の流派とともに紹介。

開催期間：11月20日（水）～2014年1月20日（月）
総入場者数：6,293名



高島秋帆

	作品名	作者名	年代	資料番号
1	高島秋帆画像	浦川菊市	江戸時代後期～明治時代	市博 画像 14
2	高島秋帆徳丸が原砲術調練図	荒木千洲	1841年（天保2）	県書 3 327
3	猛虎図	高島秋帆	1861年（文久1）	県美博 絵（長崎）187
4	高島家由緒書	高島秋帆	1841年（天保12）	県書 13 37-1
5	高島秋帆大砲雛形	—	江戸時代後期	市博 軍事 31
6	西洋製造諸銃砲絵図	張弛閣	1840年代（天保後期～弘化）	県書 青方ア 16 56
7	大木藤十郎使用トンキョ帽	—	1830～1844年（天保年間）	市博 軍事 8
8	阿蘭陀渡ランドセル	—	1830～1844年（天保年間）	市博 軍事 7
9	高島秋帆書入鉄瓶	—	江戸時代後期	市博 金工（日本）5

高島秋帆と西洋砲術

	作品名	作者名	年代	資料番号
1	フェートン号図（崎陽録）	不明	文化5年（1808）	市博 軍事 1
2	高島秋帆画像（模写）	原画・木下逸雲		市博 画像 16

3	書幅	高島秋帆	元治元年(1864)	市博 書(長崎) 81
4	荻野流火術秘書	塚田	享和2年(1802)完成	県書 渡辺へ16-57-2
5	荻野新流白砲(模型)	不明	江戸後期	県美博 Fイ0023
6	西洋伝砲術皆伝状	高島秋帆	嘉永7年(1854)	県書 青方ア16-38
7	高島流上段伝授	山本晴海	文久元年(1861)	市博 390-19-2

県庁文書の世界 郵便事業の開始

【展示概要】

長崎県のみならず日本の歴史が見える長崎県庁文書の中から、長崎県の郵便事業の開始を知ることができる文書を紹介。

開催期間:1月22日(水)～3月17日(月)

総入場者数:5,788名

	資料名	年代	資料番号
1	勸業課事務簿 郵便御用留	明治4～6年(1871～73)	県書 17 33-1 1
2	勸業課事務簿 郵便御用留	明治4～6年(1871～73)	県書 17 33-1 2
3	大浦海岸通り写真(郵便局) 清河写真館(長崎市)撮影	年代未詳	市博 H53
4	建物写真(長崎県庁) / 薛写真館撮影写真 05	年代未詳	県書 小曾根ス33-15



奉行所展示室

当時の絵図などを基に復元された長崎奉行所立山役所の建物とともに、奉行所の役割と機能、部屋の用途などを模型と映像を用いて解説し、関連資料や出土品とあわせて紹介。

1. 展示構成

長崎奉行所立山役所のあらまし

長崎奉行所の成立や変遷を、絵図面や出土品を通して紹介。

長崎奉行所職務

行政・司法・外交・貿易・軍事全般と、キリシタンや密貿易の取り締まりなど、多岐にわたる職責を担った長崎奉行の職務内容を紹介。

犯科帳の世界

長崎奉行所の判決記録集「犯科帳」の中から、密貿易やくんちなどの行事に際して起こった事件を、わかりやすく紹介。

歴代長崎奉行

127代を数える歴代長崎奉行の業績を、長崎の歴史への足跡とともに紹介。

キリシタン関連資料展示

長崎奉行の職務の一つ、キリシタン取締りについて、踏絵など長崎奉行所宗門蔵に収められていた品々を中心に紹介。

長崎奉行所立山役所〈再現〉

復元された奉行所の建物を、「大改め」再現展示とともに紹介。

2. 主な展示資料

〈館蔵資料〉

	資料名	年代	資料番号	備考
1	Fascicvlvs e Iapponicis Floribvvs (カルデイルム日本殉教精華) A.F.Cardim (カルデイルム) 著	1646年	県書 2 329	
2	異宗一件書類 長崎奉行所公事掛	慶応3年(1867)	県書 B) 11 23-1	国指定重要文化財「長崎奉行所文書」
3	異宗一件 岡部駿河守(長崎奉行)	万延元年(1860)9月	県書 B) 11 24-1	国指定重要文化財「長崎奉行所文書」
4	異宗徒信仰之もの改心証文 長崎奉行所	慶応3年(1867)9月	県書 B) 11 25-2 2	国指定重要文化財「長崎奉行所文書」

5	異宗信仰之者人別改帳 聖徳寺	明治元年 (1868)	県書 B) 11 51	国指定重要文化財「長崎奉行所文書」
6	誓文之事 勝五郎	天明3年 (1783) 11月25日	県書 B) 11 171-1 72	国指定重要文化財「長崎奉行所文書」
7	浦上村家野郷利助人形被取揚候一件	寛政7年 (1795) 2月8日	県書 B) 11 171-1 117	国指定重要文化財「長崎奉行所文書」
8	NIPPON (日本) Ph.Fr.von・Siebold (シーボルト) 著	1832年 - 1882年	県書	
9	Les Martyrs du Japon (日本の殉教者たち) Jacques Callot (ジャック カロ) 著	1628年	県美博 F イ 0153	
10	桶屋町中家持借屋宗旨改踏絵帳 桶屋町乙名 藤清左衛門著	寛保3年 (1743) 正月	県書 藤ト 11 1-1 1	
11	きりしたんころび書物之事 正保2年 西勝寺原蔵の写し		県書 11 113-2	
12	キリシタン制札 奉行発令	正徳元年 1711	市博 法制 2	
13	キリシタン制札 太政官発令	慶応4年 1868	市博 法制 1	

〈東京国立博物館所蔵資料〉

	資料名	個数	資料番号	備考
1	キリスト像	1個	C-589	国指定重要文化財
2	聖母像	1個	C-590	国指定重要文化財
3	小天使像	2個	C-592	国指定重要文化財
4	マリア観音像	1個	C-601	国指定重要文化財
5	マリア観音像	1個	C-606	国指定重要文化財
6	マリア観音像	1個	C-613	国指定重要文化財
7	マリア観音像	1個	C-621	国指定重要文化財
8	マリア観音像	1個	C-628	国指定重要文化財
9	マリア観音像	1個	C-634	国指定重要文化財
10	観音菩薩坐像	1個	C-638	国指定重要文化財
11	観音菩薩坐像	1個	C-642	国指定重要文化財
12	観音菩薩坐像	1個	C-654	国指定重要文化財
13	観音菩薩坐像	1個	C-655	国指定重要文化財
14	観音菩薩坐像	1個	C-656	国指定重要文化財
15	観音菩薩坐像	1個	C-657	国指定重要文化財
16	観音菩薩坐像	1個	C-668	国指定重要文化財
17	聖女像	1面	C-694	国指定重要文化財
18	銅牌 (無原罪の聖母像)	1個	C-706	国指定重要文化財
19	鉛牌 (無原罪の聖母像)	1個	C-709	国指定重要文化財
20	銅牌 (ピエタ)	1個	C-710	国指定重要文化財
21	板踏絵 (無原罪の聖母)	1枚	C-712	国指定重要文化財
22	板踏絵 (聖母子像 (ロザリオの聖母))	1枚	C-714	国指定重要文化財
23	真鍮踏絵、キリスト像 (エッケ・ホモ)	1枚	C-727	国指定重要文化財
24	真鍮踏絵、聖母子像 (ロザリオの聖母)	1枚	C-721	国指定重要文化財
25	ロザリオ	1連	C-746	国指定重要文化財
26	ロザリオ	1連	C-749	国指定重要文化財
27	ロザリオ	1連	C-765	国指定重要文化財
28	ロザリオ	1連	C-773	国指定重要文化財
29	ロザリオ	1連	C-776	国指定重要文化財
30	ロザリオ	1連	C-800	国指定重要文化財
31	ロザリオ	1連	C-819	国指定重要文化財
32	ロザリオ	1連	C-820	国指定重要文化財
33	ロザリオ	1連	C-826	国指定重要文化財
34	ロザリオ	1連	C-827	国指定重要文化財
35	残決	2連	C-854	国指定重要文化財
36	十字架	1個 (27個の内)	C-857	
37	十字架	1個 (9個の内)	C-859	
38	十字架	1個 (3個の内)	C-879	
39	十字架	1個 (5個の内)	C-892	
40	十字架	1個 (5個の内)	C-894	
41	十字架	1個 (3個の内)	C-895	
42	十字架	1個 (6個の内)	C-896	
43	十字架	1個 (9個の内)	C-898	
44	十字架	1個	C-906	
45	十字架	1個 (9個の内)	C-910	

46	十字架	1個 (9個の内)	C-911	
47	十字架	1個	C-912	
48	メダイ	1個 (11個の内)	C-917	
49	メダイ	1個 (14個の内)	C-921	
50	メダイ	1個 (8個の内)	C-924	
51	メダイ	1個 (2個の内)	C-925	
52	メダイ	1個	C-926	
53	メダイ	1個	C-939	
54	メダイ	1個 (7個の内)	C-959	
55	メダイ	1個	C-962	
56	メダイ	1個	C-964	
57	メダイ	1個	C-985	国指定重要文化財
58	守裂、図版 no462	1点	C-1001	国指定重要文化財
59	守裂、図版 no467	1点	C-1001	国指定重要文化財
60	守裂、図版 no468	1点	C-1001	国指定重要文化財
61	守裂、図版 no469	1点	C-1001	国指定重要文化財
62	板踏絵、キリスト像〈エッケ・ホモ〉	1面	C-1003	国指定重要文化財
63	真鍮踏絵、キリスト像 (十字架上のキリスト)	1枚	C-1010	国指定重要文化財
64	メダイ	1個 (2個の内)	C-1040	
65	メダイ (福知山城内発掘)	1個	C-1061	
66	メダイ (福知山城内発掘)	1個	C-1063	
67	ロザリオ (福知山城内発掘)	1連	C-1069	
68	守裂、図版 no490	1点	C-1084	国指定重要文化財
69	守裂、図版 no492	1点	C-1084	国指定重要文化財
70	守裂、図版 no494	1点	C-1084	国指定重要文化財
71	守裂、図版 no508	1点	C-1084	国指定重要文化財
72	守裂、図版 no509	1点	C-1084	国指定重要文化財
73	守裂、図版 no511	1点	C-1084	国指定重要文化財
74	聖母子像	1個	C-1112	

1 長崎学調査研究プロジェクト

1) 目的

海外との交流により発展してきた長崎県の歴史や文化について、長崎市をはじめとする県内全域に関する調査研究を、今までの調査研究体制をより体系化させながら、ローカルかつグローバルな視点から国内外の研究者、機関、団体等と連携・共同して推進する。これらの活動を通して、これまでの長崎学の調査研究の成果を継承、発展させるとともに、長崎の歴史・文化の研究と普及、地域の活性化に資する長崎学の調査研究の拠点化をはかる。

- 博物館を拠点にした長崎学研究の充実と学術的研究成果の創出・発信を目指す。
- これまでの長崎学研究体制をより強化し、体系化した組織づくりを目指し、「ミュージアム県長崎」の中核博物館としての機能を充実させる。
- 有期（前期・後期、各3年間）で3テーマを設定し、それに基づく具体的な研究活動を展開する。
- 「進化する博物館」として、プロジェクト研究の発展的成果を創出する。
- 研究環境を充実し、研究者にとって魅力ある研究体制づくりを目指す。

2) 長崎学調査研究プロジェクト構想

①長崎学の理念

近世長崎における海外交流の歴史は、古代から中世にかけて県下全域で展開されてきた海外交流の歴史が現長崎市で集大成されたものと位置づけ、これを前提に、研究対象エリアを、現在の長崎市を軸にした県下全域と東アジア世界、さらにはオランダを中心とするヨーロッパ世界とする。

また近世長崎は、江戸・京都・大坂の3都市に次ぐ発展をみせた海港都市としての性格を持ち、長崎で花開いた特異な文化を日本国内に向けて発信していた。この近世都市としての性格とその延長にある近代長崎の魅力、さらにそこで育まれた豊かな文化史の研究も長崎学研究の基本柱として拠点化をはかる。とくに館蔵品約4万8千点に及ぶコレクション研究により、新たな長崎学の充実を図る。

②調査研究推進体制（コレクション研究、地域研究、展示教育研究）

長崎学研究の具体的な取り組みを3テーマに集約する。ただし、本年からの指定管理期間5年間で前期・後期に分け、前期は本年から3年間で研究期間とする。ただし、前期の最終年度は後期の新たなプロジェクトテーマと併行して進めるものとする。

【前期プロジェクトテーマ「長崎県と東アジア世界（福建省）」】

〔テーマ設定の背景〕

日中国交正常化40周年および長崎県－福建省友好都市30周年を契機に、福建省博物院と本館との友好館協定締結を受けて、福建省との交流史を軸に東アジア世界と長崎県全域との交流史を研究テーマに設定する。

〔研究テーマ〕・・・2011年から3年間の前期テーマ
コレクション研究部会・・・博物館コレクションのなかの交流史

地域研究部会・・・長崎－福建の地域史研究（都市史、文化史）

展示教育研究部会・・・異文化交流の実践（展示実践）

〔期間〕3年間の継続プロジェクト

〔部会〕3テーマごとに部会設置

■平成25年度 各部会の活動

ア) コレクション研究部会

〔研究テーマ〕

- ・長崎歴史文化博物館の収蔵コレクションから、特に近世近代の長崎と海外交流にまつわる作品・資料の調査・研究を進める。その中には、コレクションの体系的な整理・修復・保存・公開にまつわる研究や、館外コレクションの調査・研究も含まれる。
- ・他館において行われている保存・修復事業について情報を収集し、同分野に関する今後の交流の可能性について検討する。

〔組織〕

リーダー：植松有希

サブ：越中勇

研究員：久保憲司・関裕典・富川敦子

客員研究員：錦織亮介（福岡市美術館館長）

共同研究員：若木太一（長崎大学名誉教授。長崎学・近世文学）

織田毅氏（シーボルト記念館館長）

石尾和貴（長崎県文化振興課主事）

平岡隆二（熊本県立大学）

〔成果〕

コレクション部会では、長崎歴史文化博物館のコレクションについて、お絵像や唐通事などの中国との交流に関係が深いテーマで館蔵品調査を実施した。いずれも、調査の基調となる講話と共同討議を行い収蔵庫で作品を熟覧する、というのが館蔵品調査に際して行う一連の流れである。また、この過程で資料の材質や状態を確認し、保存修復の方法も検討された。

館蔵品調査に関する個別の成果として、常設展示室の特集展示「唐通事の世界展」（2014年2月19日～4月14日実施）の展示で、23年度から継続して行っている館蔵品調査の研究の一端を発表することができた。また、館蔵品調査の過程で検討された長崎聖堂の版木についても25年度の研究紀要の一部で触れた。複数の専門の目でコレクションを見て得ることは非常に多く、今後も継続して行うことで研究や展示に繋がる更なる成果が得られると期待できる。

イ) 地域研究部会

〔研究テーマ〕

長崎と福建を、東アジア世界における一つの地域圏として捉え直し、「国境」を越えた異文化交流のあり方を研究する。特に福建省との交流について、県内各地域の地域的特性を考察していく。

●各地域博物館収蔵資料および中国関係史蹟の調査

●中国（福建省）との交流について、長崎県内各地域の特性を歴史的に考察

●長崎歴史文化博物館収蔵資料との関連調査（⇔コレクション研究）

●「郷土史クラブ」との連携（⇔展示教育研究）

◆調査対象

- ・長崎県内の博物館施設・中国関係史蹟
- ・古文書、古地図、貿易陶磁、渡来仏、絵画、墓碑、碑文 etc

〔組織〕

リーダー：深瀬公一郎

サブ：岡本健一郎

客員研究員：藤田明良（天理大学教授）

共同研究員：久家孝史（松浦史料博物館学芸員）

塚原博（小値賀町立歴史民俗資料館）

川口洋平（長崎県世界遺産登録推進室）

松下久子（長崎県文化振興課主任学芸員）

〔成果〕

- ・中国系の世界図について調査をすすめ、調査結果については「絵図の世界像」において展示した。また福建省とゆかりの深い福濟寺について、関係史料の翻刻集を刊行。

ウ) 展示教育研究部会

〔研究テーマ〕

【平成25年度】

- ・福建博物院展の成果を用いた、地域博物館活性化のための地域博物館と子どもたちの学習支援活動「郷土史クラブ」の育成に関わる実践研究。
- ・地域博物館における次世代の利用者・支援者の育成に関わる調査研究。

〔組織〕

リーダー：下田幹子

サブ：小熊佐智子

研究員：古豊裕次朗

共同研究員：梅林一城（南島原市立飯野小学校）

加藤謙一（金沢美術工芸大学美術工芸研究所主任学芸員）

加藤尊城（長崎市立川原小学校）

松川憲毅（大村市教育委員会）

松見裕二（一支国博物館学芸員）

山口保彦（長崎県文化振興課課長補佐）

山下和秀（大村市教育委員会）

〔成果〕

県内博物館施設がおこなう地域の学習支援活動を調査研究することで、各地域における郷土史学習の取り組みを知り、担当者間の交流につなげることが出来た。この交流を活かし、「中国福建博物院展」の成果を用いた地域企画展を開催し、離島に住む人々に展覧会を見る機会を提供した。また、この展示において福建省と地域のつながりを取り上げることで、自身が暮らす地域の歴史に対し新たな眼差しが向けられるように促した。

本プロジェクトの総括として、平成26年2月22日に長崎学調査研究プロジェクト 展示教育研究部会報告会「学校×博物館＝∞ 出会いが生み出す学びのレシピ」を開催した。各地域博物館のみならず、学校の博物館利用の事例を併せて取り上げることで、地域・子どもたちの取り組みを広く伝えるとともに、地域博物館の新たな活用方法を生み出す一助になったと思われる。

■平成25年度文化庁助成金事業報告

平成25年度文化芸術振興費補助金（地域と共働

した美術館・歴史博物館創造活動支援事業)
事業名：「中国福建博物院展の開催と連動させた地域博物館活性化事業」

○事業内容

(1) 国際交流拠点形成事業

①公開講座

1. 佐世保市立中部地区公民館

実施日：8月31日(土)

出張者：深瀬公一郎、久保憲司

参加者：17名

内容：長崎歴史文化博物館所蔵の古文書「犯科帳」を題材に長崎と中国の交流についての講座を開催した。古文書を読みながら、江戸時代、東アジアでの長崎と中国の貿易と、その中で発生した事件から当時の状況を知るといった内容でおこなった。

2. 対馬市交流センター

実施日：10月2日(水)

出張者：深瀬公一郎、久保憲司

参加者：70名

内容：開催場所である対馬を含めた江戸時代、東アジアネットワークの中での長崎、対馬、福建の関係について深瀬主任研究員が講演をおこなった。

3. 壱岐市立一支国博物館

実施日：2月8日(土)、2月9日(日)

出張者：下田幹子、岡本健一郎、古豊裕次朗

参加者：73名

内容：江戸時代、長崎市で異国情緒を題材に土産物として人気のあった「長崎版画」のワークショップをおこなった。版画の題材として唐船を使用し、福建と長崎の貿易や交流についても説明をした。

4. 福建博物院

実施日：3月6日(木)

出張者：野間誠二、関裕典

参加者：20名

内容：長崎歴史文化博物館で開催した中国福建博物院展の報告と福建と長崎の交流についての今後の展望をテーマに福建博物院において講演をした。

5. 平戸市北部公民館

実施日：3月15日(土)

出張者：大石一久、関裕典

参加者：75名

内容：中国福建博物院展でも展示をおこなった碇石や宋風狛犬などの石造物についてのシンポジウムが開催された。

6. 新上五島町鯨賓館ミュージアム

実施日：3月22日(土)

出張者：富川敦子、久保憲司

参加者：20名

内容：長崎と福建の交流について中国福建博物院展を通しておこなった内容を紹介した。

②公開フォーラム

実施日：3月1日(土)

会場：長崎歴史文化博物館

参加者：70名

内容：福建博物院から研究者2名と県内外の博物館関係者や研究者を招いて「清朝陶磁をめぐる日中交渉」をテーマとして開催した。また福建博物院展終了後の普及活動の取り組みについて広く発信する機会となった。

(2) 地域文化資源活用事業

①県内博物館の学習支援活動「郷土史クラブ」の活動調査

1. 壱岐市立一支国博物館

実施日：10月5日(土)、10月6日(日)

場所：一支国博物館 体験交流室

調査者：古豊裕次朗、富川敦子、久保憲司

内容：一支国博物館が実施しているワークショップについて、上記の日程で開催された事例を調査した。このワークショップは、月に1回開催され年10回程度行われており、さまざまな体験を通して壱岐の文化に触れることを目的としている。今回は「和菓子づくり」で練りきりを使って桃や牡丹などをイメージした和菓子を作っていた。

2. 大村市立史料館

実施日：10月30日(水)

場所：大村市立西大村小学校

調査者：小熊佐智子

内容：大村市教育委員会が実施している「郷土史クラブ」の実施に関して、上記の学校・日程で開催された事例を調査した。この

回は調査テーマの決定が主たる目的であったため、児童の興味・関心を郷土と関連づけるプロセスの一例に接することができ、非常に有益であった。この活動は正課クラブにおけるものであり、該当校や教諭の積極的な協力姿勢や活動場所(学校内の教室)の安定的な確保などを鑑みると継続性の高いものであった。一方で、活動の継続性の確立にはこれら諸要素の担保が不可欠であるといえる。

3. 小値賀町立歴史民俗資料館

実施日：11月20日(水)～11月22日(金)

場 所：小値賀島内(小値賀町立小値賀中学校～唐見崎地区)

調査者：古豊裕次朗

内 容：小値賀町教育委員会(小値賀町立歴史民俗資料館)と小値賀町立小値賀中学校が連携して実施している「歴史探訪」について、上記の日程で開催された事例を調査した。このプログラムは毎年行われており、島内の史跡をめぐりながら小値賀町の歴史を学ぶものである。今回は初めての試みとして、過疎化が進む小値賀町東側の唐見崎地区に暮らすお年寄りの方から、戦前戦後での暮らしの違いなどについて体験談を伺うというプログラムが組まれた。

4. 新上五島町鯨賓館ミュージアム

実施日：1月15日(水)、1月16日(木)

調査者：大石一久、久保憲司

内 容：新上五島町立鯨賓館ミュージアムにおいて、学習支援活動「郷土史クラブ」の聞き取り調査をおこなった。当博物館では、総合的な学習の時間で地域の小中学生が博物館を訪れ、常設展示で扱われている捕鯨の歴史や上五島の教会等について学ぶ際の展示案内・解説などをおこなっている。授業後追加で調べにくる子供たちもあり、その際も対応している。また、子供たちが博物館で学んだことをまとめたものや感想を博物館の一角で展示することにより、多くの人に成果を示す機会を作っているということがわかった。

②「郷土史クラブ」成果展示開催

実施日：8月18日(日)～8月23日(金)(長崎)、平成26年3月(大村)

場 所：長崎歴史文化博物館、大村市立史料館

来場者：2,273名

内 容：各地域の「郷土史クラブ」活動の成果発表の場として各地域博物館で展示をおこなった。

③地域博物館における企画展の開催

1. 壱岐市立一支国博物館

実施日：2月8日(土)、2月9日(日)

来場者：170名

内 容：壱岐市立一支国博物館において、「異国情緒・長崎」と題した展示をおこなった。この展示では長崎県内の海外交流をテーマに展示をおこなった。博物館収蔵する壱岐の古地図など紹介することによって、観覧者の興味が郷土に向くような仕組みを試みた。

2. 五島観光歴史資料館

実施日：2月23日(日)～3月2日(日)

来場者：183名

内 容：五島観光歴史資料館において、「交流の記憶—マリア観音のルーツ(福建省)と朝鮮通信使」と題して福建と長崎、朝鮮と長崎という2つの海外交流をテーマに展示をおこなった。中国福建博物院展でも展示をしたマリア観音のルーツとなる福建省徳化窯や長崎に残るマリア観音、碇石等を紹介することができた。

3. 平戸市生月町博物館 島の館

実施日：3月8日(土)～3月13日(木)

来場者：500名

内 容：平戸市生月町博物館島の館において、「東シナ海を通したつながり—事例紹介：福建省の役割と石造物—」と題した展示をおこなった。この展示は、古来より海外とつながり貿易港として繁栄した平戸の郷土の歴史を、「福建省」と「石造物」というテーマで見つめるものである。博物館収蔵の資料やパネルなどのなかでは平戸の文化財・史跡などの紹介もおこない、観覧者の興味が郷土にむくような仕組みを試みた。

4. 平戸市北部公民館

実施日：3月15日(土)

場 所：平戸市北部公民館

来場者：75名

内 容：平戸市北部公民館において、「東シナ海

を通したつながり－事例紹介：福建省の役割と石造物－と題した展示をおこなった。この展示は、古来より海外とつながり貿易港として繁栄した平戸の郷土の歴史を、「福建省」と「石造物」というテーマで見つめるものである。博物館収蔵の資料やパネルなどのなかでは平戸の文化財・史跡などの紹介もおこない、観覧者の興味が郷土にむくような仕組みを試みた。

(3) 地域連携強化事業

- ①「郷土史クラブ」による博物館と地域の文化資源の調査活動
- 場 所：長崎歴史文化博物館、大村市立史料館、小値賀町歴史民俗資料館
- 参加者：287名
- 内 容：「郷土史クラブ」の子どもたちが地元の博物館と連携しながら博物館や地元にある中国やその他の国々との交流を物語る文化資源に関する調査を実施する。

- ②「郷土史クラブ」成果合同展示開催
- 会 期：2月16日(日)～2月23日(日)
- 場 所：長崎歴史文化博物館
- 来場者：841名
- 内 容：各「郷土史クラブ」の成果展示を長崎歴史文化博物館に集めて一同に展示をした。
- ③「郷土史クラブ」成果合同発表会開催
- 実施予定時期：2月22日(土)
- 場 所：長崎歴史文化博物館会議室
- 発表者：平田賢明氏(小値賀町立歴史民俗資料館)、山下和秀氏(大村市立史料館)、下田幹子(長崎歴史文化博物館)
- 内 容：成果合同展示開催にあわせて、県内博物館の教育普及事業の取り組みを紹介するとともに、学校の博物館利用のあり方などを学校関係者と博物館の教育担当者との間で討議した。また長崎市立村松小学校、佐世保市立猪調小学校、佐々町立口石小学校、長崎県立鳴滝高等学校の実践事例について発表があった。

2 調査研究活動

1) 個別調査・研究

対馬藩関係資料、絵葉書などの高精細画像を撮影し、館蔵品の資料についてのより深い研究、近代以降の長崎についても目を向けた調査を進めている。これまで十分把握できていなかった関係資料の把握が進み、新たな知見が期待できる。

2) 調査・研究成果の公表

- ・『研究紀要』第8号(掲載順)
- 「異質石塔にみる中世の大村湾・有明海の海運」 大石一久
- 「長崎の南画家・三浦梧門の画業について」 植松有希
- 「近世長崎における家質根証文」 矢田純子
- 「長崎県における明治初期の道路行政～日見新道・鹿島新道・時津新道～」 山口保彦(長崎県文化振興課)
- 「長崎奉行所出土品にみる「異国風おもてなし」－近世日本における「チェリーン」の受容について」 川口洋平(長崎県世界遺産登録推進室)
- ・『長崎歴史文化博物館 教育実践報告書 出会いが生み出す学びのレシピ～学校×博物館＝∞～

3) 館外活動

- 大石一久
- 委員
 - 大村市文化財審議委員、鹿島市文化財審議委員、大村市史編集・編纂委員会委員など
 - 講師
 - 6月6日(木)「日本のキリシタン墓碑」〔東洋文庫〕、9月18日(水)「石造物の宝庫・中世の福重」〔大村市〕、10月5日(土)「世界に日本を知らしめた少年たち」〔宮崎県西都市〕、10月20日(日)「時津の今昔－中世の時津とキリシタン」〔時津町〕、1月18日(土)「大村市のキリシタン史」〔大村市民大学〕、1月26日(日)「異文化の記憶－千提寺・下音羽のキリシタン墓碑」〔大阪府高槻市〕、2月23日(日)「信仰の軌跡－新天地を求めて」〔五島市〕、3月15日(土)「薩摩塔の世界」〔日本石造物学会・平戸市教委〕など
 - 執筆
 - 「石造物からみた中世・大村の様相」(『新編大村市史』第二卷中世編)
 - 「石造文化にみる異国降伏の信仰とその影響」(『新編大村市史』第二卷中世編)
 - 「異質石塔にみる中世の大村湾・有明海の海運」(『新

編大村市史』第二卷中世編)「大村藩のキリシタン禁教政策」(『キリスト教の伝来と西海の歴史』〔横瀬浦開港 450 周年記念事業〕)

「天正遣欧使節と千々石ミゲル—何故にミゲルは棄教したのか?—」『長崎東西文化交渉史の舞台 ポルトガル時代オランダ時代』(勉誠出版) など

越中勇

○委員

・長崎市歴史民俗資料館運営委員

深瀬公一郎

○執筆

・「近世琉球における大和旅体験」(『風俗史学』52-11)

・分担執筆『近世人の事典』(東京堂書店)

○外部資金による調査活動

・平成 25 年度笹川科学研究助成実践研究部門(研究課題:博物館・地域ボランティア・学校との連携した文化財ネットワークづくりの実践プログラム作成)

○講師

・長崎中央公民館 春の講座「長崎よろず学～南蛮貿易の時代」(全 6 回)

・対馬学講座「対馬藩と朝鮮通信使展のみどころ」(10 月 1 日(火))

・放送大学面接授業「東アジアにおける長崎の歴史」(1 月 11 日(土)・12 日(日))

岡本健一郎

○講師

・長崎県立大学佐世保校「日本史概説」「日本史特論」非常勤講師

○外部研究

・東京大学史料編纂所特定研究「宗家史料の目録化」共同研究員

植松有希

○外部資金による調査研究

・国文学研究資料館「共同研究「語り物文芸の絵画化と享受環境に関する基礎的研究—〈曾我物語〉を題材とする絵入本・絵巻・屏風の考察を中心として」

○研修参加

・文化庁「第 8 回指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナー」9 月 9 日(月)～13 日(金)

○講師

・長崎県立大学シーボルト校「日本美術史」非常勤講師

・11 月 3 日(日) 名古屋市東山動植物園「ゾー

ム」オープン記念 動物講演会「珍獣? 霊獣? そして動物へ～日本にゾウが来た!～」

富川敦子

○講師

3 月 22 日(土) 古文書修復講座(新上五島町鯨賓館ミュージアム)

久保憲司

○講師

・3 月 22 日(土) 講演「長崎歴史文化博物館の企画展と資料の保存管理について」、古文書修復講座(新上五島町鯨賓館ミュージアム)

竹内有理

○講師

・放送大学(ラジオ)「博物館経営論」客員准教授

・平成 25 年度滋賀県博物館協議会第 2 回研修会「日本の博物館・美術館における外国人利用の現状と課題」滋賀県立琵琶湖博物館 12 月 15 日(日)

○通訳

・国際フォーラム「高齢社会における博物館と社会福祉」(主催:全日本博物館学会)東京国立博物館 1 月 5 日(日)

○委員等

・全日本博物館学会役員

○研修参加

・全日本博物館学会 2013 年度総会・第 39 回研究大会 明治大学 6 月 29 日(土)～6 月 30 日(日)

・平成 25 年度ミュージアム・マネジメント研修(主催:文化庁)日比谷図書文化館 12 月 18 日(水)～12 月 20 日(金)

小熊佐智子

○研修参加

・文化庁「第 3 回ミュージアム・エデュケーター研修」9 月 4 日(水)～6 日(金)、2 月 6 日(木)～7 日(金)

・国際講演会「博物館における学びを考える」(九州産業大学「大学博物館・美術館を活用したアートマネジメント人材育成事業実行委員会」)2 月 27 日(木)

古豊裕次朗

○研修参加

・平成 25 年度研究協議会「博物館とボランティアの新しい地平」(主催:日本博物館協会)東京都美術館 1 月 16 日(木)～17 日(金)

3

資料修理修復事業

平成 25 年度に修復した美術資料は 11 点。企画展や常設展で展観する作品を中心に修復を行った。

	資料番号	作品名	員数	作者	時代	修復仕様
1	県美博 A1 イ 213	関羽図	1 幅	鏑木梅溪	江戸時代中期	横折れを無くすために、旧裏打紙の除去を行い、新しい美濃紙にて肌裏打を行う。似た補修絹を調整し本紙四方の補絹を行う。絵具部分は 3～5% の膠水溶液で剥落止めを行う。降り伏せを入れる。軸首の新調。太巻芯、桐箱の新調。
2	県美博 A1 イ 201	桃園	1 幅	大友月湖	江戸時代中期	横折れを無くすために、旧裏打紙の除去を行い、新しい美濃紙にて肌裏打を行う。似た補修絹を調整し本紙四方の補絹を行う。絵具部分は 3～5% の膠水溶液で剥落止めを行う。降り伏せを入れる。軸首は再利用。太巻芯、桐箱の新調。
3	県美博 F イ 0139	長崎港警備図	1 幅	作者不詳	江戸時代	横折れを無くすために、旧裏打紙の除去を行い、新しい美濃紙にて肌裏打を行う。似た補修絹を調整し本紙四方の補絹を行う。絵具部分は 3～5% の膠水溶液で剥落止めを行う。虫損箇所は紙補修。降り伏せを入れる。表具により隠れている絵部分を出す。裂表具仕立に改装。紫檀軸の新調。太巻・箱は紙製で新調。
4	市博 絵（長崎）43	チモール人上陸図	1 幅	石崎融思	享和 2 年 (1802)	本紙の擦損は絵具で補彩。金箔の剥離は糊差しを行い重しを乗せて接着。展示の際の便宜上、吊り金具と紐を装着。紙製の保存箱の新調を行い収納保管。樹脂板の装着もできるが、相当な重量になり反射が生じ画面が見づらくなる。更に額装の新調が必要になるので、紙保存の新調だけで今後の保存も充分と考える。※作品は持ち出さず収蔵庫内で応急処置作業を行うこととする。
6	市博 絵（長崎）114	海棠黄鳥図	1 幅	鶴亭	江戸時代中期	表具は解体せず旧総裏紙のみ除去。新規に中裏打ちを行う。絵具部分は 3～5% の膠水溶液で剥落止めを行う。降り伏せを入れる。軸首は再利用。太巻芯、桐箱の新調。元箱の蓋は新調の箱の底に沈めて収納する。
7	市博 絵（長崎）101	牡丹小禽図	1 幅	鶴亭	宝永 7 年 (1710)	本紙の旧裏打紙は経年劣化しているため除去、美濃紙と混合糊にて肌裏打ちを行う。似寄りの補修絹を調整して本紙四方の補絹を行う。絵具部分は 3～5% の膠水溶液で剥落止めを行う。表具裂は全て再利用。軸首は再利用。太巻芯、桐箱の新調。元箱の蓋は新調の箱の底に沈めて収納する。
8	市博 絵（長崎）74	胡椒図	1 幅	鶴亭	江戸時代中期	本紙の旧裏打紙は経年劣化しているため除去、美濃紙と混合糊にて肌裏打ちを行う。似寄りの補修絹を調整して本紙四方の補絹を行う。絵具部分は 3～6% の膠水溶液で剥落止めを行う。表具裂は全て再利用。軸首は再利用。太巻芯、桐箱の新調。元箱の蓋は新調の箱の底に沈めて収納する。
9	市博 絵（長崎）271	山水図	1 幅	游龍梅泉	文政 2 年 (1802)	本紙の旧裏打紙は経年劣化しているため除去、美濃紙と混合糊にて肌裏打ちを行う。虫損箇所は似寄りの補修絹を調整し顔料にて染め調整。似寄りの台紙を調達。表具は似寄りの裂を調達し仕様変更はしない。軸首は再利用。太巻芯、桐箱の新調。
10	県美博 D イ 1,10,11,16, 18,19,20,23	刀	8 点	—	—	研磨
11	市博 刀剣 1～10	刀剣	10 点	—	—	研磨

平成 25 年度に修復した古文書資料は 50 点。

- ・長崎県資料 39 点
- ・長崎市資料 11 点

修理については、劣化がひどいものは裏打ち、軽微なものは部分修理を実施し、出来る限り資料の原型維持に努めた。

〈長崎県資料〉

	資料名	資料番号	丁数	備考
1	長崎ニ於ケル清兵暴行事件ノ一部	14K 4137	94	表紙の酸性紙を黒谷和紙厚手に取り替える
2	長崎県布告書	14K 4138	141	虫喰い箇所を修理後、表紙カバー作成後製本する。
3	長崎県令達全報 自明治十九年十月至同十二月	14 719-2 1	簿冊	虫喰い箇所を修理後、表紙カバー作成後製本する。
4	長崎県令達全報 自明治二十年一月至同年三月	14 719-2 2-2	簿冊	虫喰い箇所を修理後、表紙カバー作成後製本する。
5	庶務課地理掛事務簿従明治十年至十三年 雑之部	14 231-5	簿冊 81	再製本の為解体して、手紙をつけて裁断後綴じた

6	外務課事務簿 外国人接待之部明治十三年自十月十六年八月迄	14 449-6 1	簿冊 472	表紙の芯紙の酸性紙を黒谷和紙厚手に取り替えて綴じ直し
7	宗猪三郎ヨリ久世丹後之守への書付天明2年11月21日	14 65-6 22	1	二つの書付が一つにつながるので裏打ち修理
8	渡辺文庫文書スクラップ 覚 中山様宛目鏡屋忠兵衛	へ 19 47 3-8	1	化学糊の汚れを落として裏打ち再修理
9	阿蘭陀か飛たん外科シイホル御制禁の品御改	へ 19 47 30-26	1	化学糊の汚れを落として裏打ち修理
10	渡辺文庫文書スクラップ シーボルト事件関係 断簡	へ 19 47 30-28	1	化学糊の汚れを落として裏打ち修理
11	渡辺文庫文書スクラップ 覚	へ 19 47 15 - 30	1	襖の下張りによるヤケ、汚れの断簡が一つに繋がるので裏打ち修理
12	渡辺文庫文書スクラップ 乍恐口上書 宝永二年	へ 19 47 33-21	1	本紙に近い染紙で裏打ち修理
13	渡辺文庫文書スクラップ 森路弥一郎宛歳暮御祝儀	へ 19 47 20-27	1	化学糊の汚れを落として再裏打ち修理
14	渡辺文庫文書スクラップ 森路弥一郎御館宛折紙	へ 19 47 20-4	1	化学糊の汚れを落として再裏打ち修理
15	金券調帳 旧四大区ノ壺 公債係	14 677-1 1	簿冊 152	旧表紙が酸性劣化しているため黒谷和紙厚手で作成後取替える
16	金券調帳 旧貳大区全 公債係	14 676-2	簿冊	旧表紙が酸性劣化しているため黒谷和紙厚手で作成後取替える
17	会計課出納掛事務簿 出納之部明治十一年第十七の二	14 362-2 6	簿冊	旧表紙が酸性劣化しているため黒谷和紙厚手で作成後取替える
18	渡辺文庫 小冊子 長崎唄のしおり	渡辺文庫	33冊	ホッチキスがさびているので紙縫りで綴じ直し。部分修理
19	中西家旧蔵資料 増補 華夷通商考一	ミ 13 16 1	69	汚れを落とした後、糸の綴じ直し
20	中西家旧蔵資料 増補 華夷通商考二	ミ 13 16 2	73	汚れを落とした後、糸の綴じ直し
21	中西家旧蔵資料 増補 華夷通商考三	ミ 13 16 3	40	汚れを落とした後、糸の綴じ直し
22	中西家旧蔵資料 坂上天満宮奉納算題起源 二十一章	ミ 15 3	48	水害被災資料で汚損、虫喰い、板状固着文書
23	天保八年 御領分中地榎新地惣目録	近世青方 2038	43	湿損、虫損による板状固着文書
24	田地出入掛合答書	近世青方 2036	43	湿損、虫損による板状固着文書
25	世襲士族名簿 明治八年旧長崎縣	13 169	101	火事被災後、湿損のためカビの発生
26	第三課事務簿 教員進退之部 明治三十七年	11 425 9	771	水濡れのためカビの発生と紙質劣化。
27	会計課事務簿公債之部 明治十年	14 315-2	311	表紙芯紙の酸性劣化のためはずれ。黒谷和紙厚手で表紙作成
28	英国官吏往復 明治四年	14 315-1	363	全丁にわたり水濡れのため劣化、カビ、付箋訂正箇所剥離
29	庶務課地理係事務簿 明治11年	13 96-2 2	323	水損によりかび、綿状劣化、貼り紙、付箋のはずれ絵図の色落ち有り
30	庶務課地理係事務簿 明治12年	13 96-2 5	415	かび、綿状劣化、貼り紙、付箋のはずれ絵図の色落ち有り厚いので2分冊
31	雑書綴 里道港湾河川新設改修之部附属書類附中島川変流工事及架橋設計図	16 60-3	簿冊	写真撮影の為に綴じ目と折り目が切れかけている絵図を部分修理
32	埋築地長崎新市街略図 長崎港湾改良始末	へ 3 6	1	折り目の裂け。裏からは染め紙を貼り表からは極薄の機械漉き紙を貼り補強
33	土木課事務簿 地籍部上地林編入 明治39年より同40年に至	13 126-2	432	水損によりかび、綿状劣化、貼り紙、付箋のはずれ絵図の色落ち有り
34	硯舎詩文集 卷一	12 255	48	ヤケと汚れがひどく洗浄後裏打ち処置
35	庶務課地理係事務簿 明治13年8月～12月	13 97-2 2	364	水損によりかび、綿状劣化、貼り紙、付箋のはずれ。
36	御買物之通 安政六年未四月吉日近世青方文書	近世青方 2035	8	虫喰いがひどく板状固着
37	昭和壱拾壹年度歳入出予算書 西彼杵郡茂木町	14K 4140	6	紙質が弱いので裏打ち処置
38	大村記 神社及由来其他	11 318-1	8	カビ、虫喰い、水損による劣化
39	筆勢武者硯	中西 1082	14	汚損、腐損水害被災のため板状固着文書洗浄後裏打ち

長崎県所蔵資料修理済み資料 39点

〈長崎市所蔵分〉

	資料名	資料番号	丁数	備考
1	心学典論 (序、卷之一、卷之二)	180 36 2-1	60	汚損虫喰い、カビの発生により板状固着
2	心学典論 (卷之三、卷之四)	180 36 2-2	54	汚損虫喰い、カビの発生により板状固着
3	松浦詩集	930 - 58	44	汚損虫喰い、カビの発生により板状固着
4	絶句解	930 - 64	95	汚損虫喰い、カビの発生により板状固着
5	長崎市中明細帳 (断簡)	291 11	29	汚損、劣化のため洗浄後裏打ち修理
6	長崎町内関係古記録一	291 11 - 1	18	汚損、劣化のため洗浄後裏打ち修理
7	長崎町内関係古記録二	291 11 - 2	71	汚損、劣化のため洗浄後裏打ち修理
8	石摺目録	聖堂 930-55	1通	汚損虫喰い、カビの発生により板状固着
9	行餘学舎維持金募集録事	370-16	68	汚損虫喰い、カビの発生により板状固着
10	往来文範	930 - 59	40	汚損、劣化のため洗浄後裏打ち修理
11	清国上海見聞録	峰 290 - 4	22	汚損、劣化のため洗浄後裏打ち修理

長崎市所蔵資料修理済み資料 11点

4

資料の管理

1) 収蔵資料

収集に関する県の基本方針

- (1) 海外交流史に関する資料
 - (2) 近世長崎の美術資料、工芸資料
 - (3) 長崎奉行所に関する資料
 - (4) 長崎文化に関する資料
- (「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」より)

収集に関する市の基本方針

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
 - (2) 長崎奉行所に関する資料
 - (3) 長崎の美術工芸資料
 - (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料
- (「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」より)

収蔵資料点数 約 48,000 点

旧市立博物館、旧県立美術博物館、県立長崎図書館の郷土資料、約 48,000 点を移管。

旧県立美術博物館所蔵 約 2,000 点
(美術工芸 1,830 点 歴史 178 点)

旧長崎市立博物館所蔵 約 16,000 点
(歴史 10,300 点 近代美術 4,500 点 近現代 1,200 点)

県立長崎図書館所蔵 約 30,000 点(文書・図書)
指定文化財

- 国指定重要文化財
 - 安政二年「日蘭条約書」
 - 紙本著色泰西王侯図屏風六曲屏風
 - 長崎奉行所関係資料 1,242 点
- 長崎県指定文化財
 - 刀・対州住長幸
 - 刀・肥前国忠吉
 - 青方文書
 - 永島キク刀自絵像
- 国認定旧重要美術品
 - 紙本著色瀉血手術図
 - 紙本著色南蛮人來朝図之屏風
 - 紙本著色唐蘭館の図 2 卷



▲紙本著色泰西王侯図屏風六曲屏風

2) 資料及び画像の貸出管理

画像貸出件数 418 件

博物館関係機関	51
マスコミ	103
出版関係	137
教育研究関係	45
その他	82
合計	418

資料貸出件数 15 件 (99 点)

連番	貸出期間	展覧会名 (開催期間)	会場名	資料名	資料番号
1	4/2 ~ 6/28	特別展「大ベトナム展」 (4/16 ~ 6/9)	九州国立博物館	金札之和解	県書 14 123-4
				東洋南洋航海古図	県書 3 62-1
				交趾国鏡	県美博 F イ 0021
				清水寺末次船絵馬下絵	市博 船舶 13
				安南国渡航免許状	市博 貿易 31
2	4/19 ~ 7/17	鉄道を夢見た男たち (4/26 ~ 7/15)	佐賀県立佐賀城本丸歴史館	島原鉄道第 1 号機関車	県書 3 526
				ブチャーチン像	県美博 A3 ハ 0057
				鉄道独案内	県美博 A3 ロ 0216
				東京名所之内新橋ステーション蒸気車鉄道図	県美博 A3 ロ 0288
				横浜海岸鉄道蒸気車図	県美博 A3 ロ 0292
				東京高輪品川口蒸気車往來之図	県美博 A3 ロ 0356
3	7/9 ~ 10/11	出島と朝鮮半島 朝鮮半島を垣間見たハメルとシーボルト (7/19 ~ 9/29)	出島 ヘトル部屋 2 階 企画展示室	Atlas Japannensis.	県書 2 29
				Dagh-Register gahouden in t Casteel Batavia 11	県書 2 96 11
				Dagh-Register gahouden in t Casteel Batavia 7	県書 2 96 7

4	8/7～11/17	長崎の工芸1 古賀人形 (8/13～11/10)	長崎県美術館	古賀人形(加藤清正)	市博 民具 10
				古賀人形(金太郎)	市博 民具 11
				古賀人形(官女)	市博 民具 2
				古賀人形(鯛持恵美須)	市博 民具 3
				古賀人形(紅毛婦人)	市博 民具 4
				古賀人形(オランダ兵隊)	市博 民具 5
				古賀人形(猿)	市博 民具 6
				古賀人形(猿)	市博 民具 7
				古賀人形(猿)	市博 民具 8
				古賀人形(浦島太郎)	市博 民具 9
				長崎古今集覧名勝圖繪稿本 上	市博 絵(長崎) 142-1
古賀街道図屏風	市博 絵(長崎) 290-1				
古賀街道図屏風	市博 絵(長崎) 290-2				
5	9/2～11/20	島津重豪 (9/2～11/20)	鹿児島県歴史資料センター黎明館	長崎諸役所絵図	県書 3 453 1
				漢洋長崎居留図巻	県美博 A2ハ 0039
				唐人食卓	県美博 A3ハ 0020
				医療器具	県美博 F口 0002-006
				瓊浦華蘭進港図	市博 絵(長崎) 34
6	9/3～11/20	『鳴滝塾』の誕生 シーボルトと高島秋帆 (9/13～11/10)	シーボルト記念館	高島家由緒書 天保12年	県書 13 37-1
				久松両家家譜 安政〔明治22年追記〕	県書 古賀シ 13 214
				高島秋帆徳丸原演習入費覚書 天保3 寅年3月	県書 古賀シ 16 8
				日記 2/自天保11年庚子4月 〔至7月〕	県書 藤ト 13 3-3 29
				日記 1/自天保12年辛丑正月 〔至2月〕	県書 古賀ト 13 3-3 31
				日記 1/自天保13年壬寅正月 〔至3月〕	県書 古賀ト 13 3-3 33
武雄行日記 未8月4日	県書 渡辺へ 13 78				
7	9/15～12/20	「魅惑の清朝陶磁」展 (10/12～12/15)	京都国立博物館	長崎名勝図絵稿本	市博 210-59-9
				長崎港之図	県美博 A1 イ 0036
				長崎港図	県美博 A1 イ 0051
				唐船入津丸荷役之図	県美博 A1 イ 0111
				唐館蘭館図絵巻	県美博 A2ハ 0065
				唐館部屋之図	県美博 A3ハ 0049
				唐館書房之図	県美博 A3ハ 0102
				和蘭船唐船図	市博 絵(長崎) 301
唐蘭館絵巻	市博 絵(長崎) 42-2				
8	9/17～12/13	三瀬諸淵 シーボルト最後の 門人 (10/9～12/1)	愛媛県歴史文化博物館	西遊旅譚 寛政6年/巻之3	県書 13 106-2 3-1
				シーボルト肖像画	県書 18 16-1
				シイボルト国外追放達書	県書 3 205-2
				犯科帳 107/自文政12年9月至同 13年9月	県書 B) 14 1-1 107
				双眼鏡	県美博 F口 0002-002
				剣	県美博 F口 0002-003
				産科医療器具	県美博 F口 0002-004
				外科医療器具	県美博 F口 0002-007
				肥前崎陽玉浦風景図	市博 版(日本) 42-1
				肥前崎陽玉浦風景図	市博 版(日本) 42-2
				肥前崎陽玉浦風景図	市博 版(日本) 42-3
長崎港俯瞰細密画	市博 絵 61				
若き日のシーボルト先生とその従僕図	市博 絵(長崎) 65				
9	10/1～12/27	佐野常民と佐賀藩海軍 常 民、五洲一へ挑む (10/14～12/12)	佐賀市佐野常民記念館	海軍歴史 1/巻1～巻3	県書 16 107-1 1
				海軍歴史 6/巻14～巻16	県書 16 107-1 6
				海軍歴史 7/巻17～巻20	県書 16 107-1 7
10	10/16～12/14	南蛮屏風の世界 描かれた 都市の賑わい (11/10～11/24)	大分市歴史資料館	南蛮人来朝之図	県美博 A1 イ 0001
				南蛮人交易図	県美博 A1 イ 0151
				南蛮人蒔絵印籠	県美博 Dホ 0056
11	11/12～1/20	長崎の工芸2 波佐見焼と三 川内焼 (11/14～1/13)	長崎県美術館	染付松文獅子耳瓶	県美博 Dハ a0013
				青磁彫牡丹文鉢	県美博 Dハ a0124
				白磁細工栗鼠冬瓜香爐	県美博 Dハ a0187
				梅析枝青磁盃台	県美博 Dハ a0194
				染付コンブラ瓶	県美博 Dハ a0300
				染付竹文徳利	県美博 Dハ a0307
				染付唐草文碗	県美博 Dハ a0324
				白磁兎形蓋物	県美博 Dハ a0351
				染付鉄線文皿	県美博 Dハ a0642
染付梅樹文団重	県美博 Dハ a0804				

11	11/12 ~ 1/20	長崎の工芸 2 波佐見焼と三川内焼 (11/14 ~ 1/13)	長崎県美術館	染付七人唐子松蝶文鶴首瓶	県美博 D ハ a0927
				染付布袋唐子文水指	県美博 D ハ a0941
				色絵牡丹鳳凰文卵殻手碗皿	県美博 D ハ a0943
				白磁透彫菊葵文紋章入香炉	県美博 D ハ a0989
				染付貼付菊花蝶文手桶形花生	県美博 D ハ a1037
12	11/29 ~ 3/8	チョコレート展 (12/17 ~ 2/23)	名古屋市科学館	長崎聞見録 寛政 12 年 / 卷之 5	県書 13 332-2 5
13	1/15 ~ 3/25	九州の蘭学 武雄の蘭学 (2/1 ~ 3/16)	武雄市図書館・歴史資料館	VOC 飾金具付木箱	県美博 F イ 0051
				アジア図	県美博 F イ 0073
				日本図	県美博 F イ 0101
				日本図	県美博 F イ 0119
				出島阿蘭陀屋舗景図	市博 版 (長崎) 54
				遠眼鏡をもつオランダ人	市博 版 (長崎) 59
				オランダ人荷物試量図	市博 版 (長崎) 60
14	1/15 ~ 5/15	諫早家ゆかりの品々展 (3/1 ~ 4/30)	諫早市美術・歴史館	伝シーボルト諫早侯献上ギヤマン酒次 セット・提	市博 ガラス 8-1
15	3/6 ~ 6/23	江戸の異国万華鏡 更紗・ びいどろ・阿蘭陀 (3/15 ~ 6/8)	MIHO MUSEUM	長崎港図	県美博 A1 イ 0051
				漢洋長崎居留図巻	県美博 A2 ハ 0039
				徳川家康朱印状	市博 複製 1
				Atlas Japannensis.	県書 2 29
				出島図	市博 絵 (長崎) 485
				蘭船図	県美博 A2 ハ 0010
				唐蘭館絵巻 蘭館絵巻	市博 絵 (長崎) 42-1
				唐館蘭館図絵巻 蘭館図絵巻	県美博 A2 ハ 0065

6

長崎学・生涯学習支援事業

1 事業概要

本事業は、長崎県の歴史と文化について理解を深める長崎学とともに、県民・市民に生涯を通じて博物館を利用してもらうため、子どもから高齢者まで、

成長段階に応じた様々な生涯学習プログラムを提供することを目的としている。

2 一般向け事業

趣旨と成果

今年度は意識的に展示と連動した講座を開催した。展示（資料）と講座を有機的に関連づけることは、参加者の学習意欲に強く働きかけたものと思われる。

○れきぶん長崎学講座

長崎県の歴史と文化について理解を深めてもらうことを目的に、館内外の講師による講座と史跡めぐりを行った。今年度は「長崎県と海外交流」をテーマとして実施した。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	4月6日(土) 14:00～15:30	ホール	長崎びいどろの真実～和ガラス、美は儂さにあり～	岡泰正氏(神戸市立博物館展示企画部長・学芸員)	91名
第2回	5月19日(日) 14:00～15:30	ホール	ベトナムのキリシタン史～もうひとつの日本?～	牧野元紀氏(東洋文庫主幹研究員)	58名
第3回	6月8日(土) 14:00～15:30	ホール	歌川国芳の画想	岩切友里子氏(浮世絵研究家)	102名
第4回	7月21日(日) 14:00～15:30	ホール	潜伏キリシタンと復活～外海地域を中心にして～	松川隆治氏(枯松神社保存会会長)	74名
第5回	8月24日(土) 14:00～15:30	ホール	信仰の軌跡～聖なる合石の地・外海のキリシタン～	大石一久(当館研究グループリーダー)	97名
第6回	9月28日(土)	外海	史跡めぐり(外海)	松川隆治氏(枯松神社保存会会長)	31名
第7回	10月27日(日) 14:10～15:00	ホール	対馬藩宗家資料の魅力	山口華代氏(長崎県立対馬歴史民俗資料館主任学芸員)	150名
第8回	11月9日(土)	名護屋城跡	史跡めぐり(佐賀県名護屋城跡方面)	岡本健一郎(当館研究員)	38名
第9回	12月8日(日) 14:00～15:30	ホール	近世対馬と長崎における食の異文化交流	橋爪伸子氏(同志社大学非常勤講師)	57名
第10回	12月14日(土) 14:00～15:30	ホール	長崎とオランダ通詞	木村直樹氏(長崎大学多文化社会学部(仮称)准教授)	82名
第11回	1月19日(日) 14:00～15:30	ホール	憧れと魅惑の中国趣味～清朝陶磁をとりまく世界～	植松有希(当館研究員)	61名
第12回	2月15日(土) 14:00～15:30	ホール	唐人屋敷の変遷	深瀬公一郎(当館主任研究員)	60名
第13回	3月23日(日) 14:00～15:30	ホール	長崎廻米～近世長崎をめぐる米穀供給体制～	矢田純子(当館職員)	51名

○エキスパート講座

当館展示・収蔵資料を用い、当館研究員等がより高い内容の講座を行った。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	5月11日(土) 10:30～12:00	講座室	長崎遊学者? 亜欧堂田善	越中勇(当館主任研究員)	16名
第2回	7月7日(日) 10:30～12:00	講座室	七夕をめぐる絵画と神さま	植松有希(当館研究員)	16名
第3回	9月15日(日) 10:30～12:00	講座室	「海の王都・原の辻」の全貌	松見裕二氏(壱岐市教育委員会 学芸員)	27名
第4回	11月23日(土) 10:30～12:00	講座室	対馬藩の長崎開港と長崎屋敷	岡本健一郎(当館研究員)	43名

第5回	1月18日(土) 10:30～12:00	講座室	長崎で造られた唐船	深瀬公一郎(当館主任研究員)	15名
第6回	3月9日(日) 10:30～12:00	講座室	天正遣欧使節・千々石ミゲルは何故に棄教したのか?	大石一久(当館研究グループリーダー)	50名

○れきぶんワークショップ

博物館の仕事や長崎の歴史文化に関する様々なテーマで実演や体験を交えたワークショップ形式の講座を実施した。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	6月9日(日) 14:00～15:30	講座室	世界をめぐる更紗	竹内有理(当館教育グループリーダー)	19名
第2回	8月18日(日) 14:00～15:30	講座室	消しゴムではんこづくり	下田幹子(当館研究員)	5名
第3回	3月16日(日) 14:00～15:30	講座室	展覧会図録のおもしろさ	小熊佐智子(当館研究員)	12名

○れきぶん文化財セミナー

館内外の講師が博物館資料の保存修復等について講座を実施した。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	9月14日(土) 10:30～12:00	講座室	古文書修理のパートナー 和紙と灰汁	富川敦子(当館研究員)	21名
第2回	10月19日(土) 10:30～12:00	講座室	博物館の取り組み 資料の収集・整理・公開	関裕典(当館研究員)	7名
第3回	10月27日(日) 10:30～12:00	講座室	宮城県石巻市石神社の被災資料の修補について	横山謙次氏(元宮内庁書陵部図書課修補師長)	19名
第4回	11月3日(日) 10:30～12:00	講座室	古文書の修理を体験してみよう!	久保憲司(当館研究員)	13名

○これから始める古文書講座(初級)

歴史研究の基盤となる古文書に親しみを持ってもらうとともに、その解読方法の習得を目的とした。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	4月14日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」を読む	山内勇樹(当館研究員)	28名
第2回	5月12日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」を読む	山内勇樹(当館研究員)	27名
第3回	6月16日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」を読む	深瀬公一郎(当館主任研究員)	22名
第4回	7月14日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」を読む	深瀬公一郎(当館主任研究員)	24名
第5回	8月25日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」を読む	深瀬公一郎(当館主任研究員)	18名

○もっと読みたい古文書講座(中級)

古文書を読んだ経験のある方を対象に、解説方法の習得を目的として実施した。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	9月29日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	深瀬公一郎(当館主任研究員)	18名
第2回	12月22日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	深瀬公一郎(当館主任研究員)	18名
第3回	1月19日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	深瀬公一郎(当館主任研究員)	16名
第4回	2月23日(日) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	深瀬公一郎(当館主任研究員)	17名
第5回	3月15日(土) 14:00～16:00	講座室	「諸用日記」(長崎の地役人・町乙名の日記)を読む	深瀬公一郎(当館主任研究員)	14名

○出張古文書講座(佐世保)

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	8月31日(日) 13:00～16:00	佐世保市立中部地区公民館	犯科帳で読みとく長崎県の歴史	深瀬公一郎(当館主任研究員)	17名

○大堀哲館長ミュージアムトーク

一般の方を対象に歴史や博物館について語る大堀館長による講座である。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者
第1回	5月25日(土) 11:00～12:00	ホール	NHK大河ドラマ「八重の桜」関連会津藩と家庭教育～母親のしつけ教育を中心に～	大堀哲(当館館長)	90名
第2回	7月27日(土) 11:00～12:00	ホール	NHK大河ドラマ「八重の桜」関連社会貢献と会津魂を貫いた人々	大堀哲(当館館長)	135名
第3回	12月7日(土) 11:00～12:00	ホール	NHK大河ドラマ「八重の桜」関連山本八重の生き方と日本の再生	大堀哲(当館館長)	90名

○古文書修復技術講習会

博物館・資料館の職員を対象に古文書の保存・修復に対する理解を深めてもらうとともに、その技術の習得を目的とした。

	日時	会場	テーマ	講師	参加者	
第1回	7月8日(月) ・9日(火) 10:00～17:00	講座室・ 修復室	製本、中性紙の箱作りなど	富川敦子(当館研究員)	10名(7/8)	10名(7/8)
第2回	10月27日(日) ・28日(月) 10:00～17:00	講座室・ 修復室	製本、虫損直しなど	横山謙次氏(元宮内庁書陵部図書課修補師長) 富川敦子(当館研究員)	7名(10/27)	6名(10/28)

○その他の講座・講演会

講座・講演会名	日時	会場	講師	主催/共催	参加者
【純心大学公開講座 比較文化学科公開講座】 第7回地理歴史教育研修会「シーボルトを支えた長崎の人々」	6月22日(土) 14:00～16:00	ホール	宮坂正英氏	主催:長崎純心大学・長崎歴史文化博物館	125名
旧グラバー住宅築150周年記念シンポジウム	9月22日(日) 13:30～16:15	ホール	林一馬氏、ブライアン・パークガフニ氏、田上富久氏、姫野順一氏、岡本健一郎(当館研究員)	主催:グラバー園・長崎歴史の街共生グループ、長崎歴史文化博物館 共催:長崎国際観光コンベンション協会	175名

3 学校向け事業

平成25年度 学校団体来館状況

		件数	人数
県内	小学校	183	7,367
	中学校	24	1,346
	高等学校	17	507
	大学	14	763
	その他	17	602
県外	小学校	410	19,121
	中学校	279	9,480
	高等学校	170	5,524
	大学	6	203
	その他	1	20
合計		1,121	44,933

趣旨と成果

学校行事で来館した際に博物館でおこなうプログラムや博物館職員が学校でおこなうプログラム、教員を対象に博物館の利用を実践的に検討する協力校・パートナーズプログラムのように、博物館と学校が

関わる様々な段階に応じた連携・協働事業をおこなった。

○協力校・パートナーズプログラム

学校の先生方との連携事業として2008年度に発足。

2ヶ月に一度の頻度で研修会を開催し、当館を利用した授業の実践に関する情報交換会をおこなった。授業実践はホームページや報告書にて公開している。

参加者 協力校2校（長崎市立桜町小学校、長崎市立長崎中学校）
小学校19名、中学校1名、高等学校4名
パートナーズプログラム 小学校19名、中学校1名、高等学校4名

・説明会 5月18日（土）12名

趣旨説明と昨年の活動報告に関する意見交換。

第1回研修会 6月29日（土）7名

実践事例に関する情報交換、夏休みの研修会について意見交換

・第2回研修会 8月19日（土）9名

移動博物館についての情報交換、ベッ甲体験、「対馬藩と朝鮮通信使」体験展示について

・第3回研修会 11月2日（土）8名

出張授業についての情報交換、講演会「朝鮮通信使の道」聴講

・第4回研修会 2月1日（土）9名

実践事例に関する情報交換、企画展「魅惑の清朝陶磁」・美術展示室見学、オランダ出張報告

・年度報告会 2月22日（土）24名

実践報告会、展示室見学

○夏期教員研修会

県内の小学校・中学校の教員を対象にした研修会を実施。当館を利用した先進的な実践事例や授業に使える資料を紹介し、博物館の効果的な利用方法について理解を深めることを目的とした。

8月23日（金）9：00～16：45 7名（小学校3名、中学校4名）

○遠隔授業

当館の展示資料を通して、長崎の歴史や文化への興味関心を高めてもらうことを目的に、離島などの遠隔地の学校と博物館とをテレビ会議システムで結びおこなう授業。本年度は平戸市立度島小中学校と長崎県立対馬高等学校を対象に実施した。

①平戸市立度島小中学校 小学6年生 16名

6月14日（金）10：25～11：10

テーマ：「南蛮貿易から鎖国まで」

講師：博物館側：下田幹子（当館教育普及グループ研究員）

学校側：江川孝博先生（平戸市立度島小中学校）

：小熊佐智子（当館教育普及グループ研究員）

②平戸市立度島小中学校 中学2年生 14名

6月14日（金）13：00～14：50

テーマ：「南蛮貿易から鎖国まで」

講師：博物館側：下田幹子（当館教育普及グループ研究員）

学校側：昌子久志先生（平戸市立度島小中学校）

：小熊佐智子（当館教育普及グループ研究員）

③長崎県立対馬高等学校 1年5組・2年5組（国際文化交流コース）22名

2月6日（木）10：50～12：40

テーマ：「対馬藩と朝鮮通信使」

講師：博物館側：岡本健一郎（当館研究グループ研究員）

小熊佐智子（当館教育普及グループ研究員）

学校側：竹内有理（当館教育普及グループリーダー）

○出張授業

長崎県内の学校を対象に先生方との打ち合わせをもとに決定したテーマについて、所蔵資料の複製品や学習素材を学校に持ち込み、研究員が授業をおこなった。

6月3日（月）長崎市立村松小学校6年生 62名

「ふるさと歴史散歩の導入として」

9月5日（木）長崎市立女の都小学校6年生 38名

「長崎と外国との結びつき」

9月6日（木）佐世保市立江迎小学校6年生 32名

「絵巻から出島の様子を知ろう」

9月13日（金）長崎市立東長崎中学校2年生 49名

「坂本龍馬と長崎」

9月27日（金）佐世保市立猪調小学校6年生 20名

「江戸時代の長崎・出島の様子、蘭学について」

10月9日（水）長崎県立桜が丘特別支援学校（高校2・3年生）6名

「江戸時代の長崎貿易」

10月23日（水）長崎市立緑ヶ丘中学校3年生 57名

「国際理解」

1月24日（金）活水高等学校3年生 34名

「長崎版画」

○貸出教材

長崎県内の学校を対象に、所蔵資料の写真を拡大したパネルや教育普及用キットの貸出をおこなった。
平成 25 年度 4 件

○職場体験

長崎市内の中学生を 3 日間、職場体験として受入をおこなった。

1 月 28 日 (火) ~ 1 月 30 日 (木)

長崎市立緑が丘中学校 2 年生 1 名

長崎市立長崎中学校 2 年生 2 名

12 月 3 日 (火) ~ 12 月 5 日 (木)

長崎市立岩屋中学校 2 年生 2 名

1 月 29 日 (水) ~ 1 月 31 日 (金)

長崎市立土井首中学校 2 年生 1 名

7 月 9 日 (火) ~ 7 月 11 日 (木)

長崎精道中学校 2 年生 2 名

○研修

長崎県内の小中高等学校の教員研修での受入をおこなった。

8 月 8 日 (木)

長崎県立長崎特別支援学校 2 名

8 月 10 日 (土)・17 日 (土)・19 日 (月)・22 日 (木)

長崎県立長崎特別支援学校 各 1 名

7 月 23 日 (火) ~ 7 月 26 日 (金)

長崎市立西城山小学校 1 名

7 月 22 日 (月) ~ 7 月 26 日 (金)

長崎県立長崎北高等学校

8 月 7 日 (水)

長崎県公立学校初任者研修「社会貢献活動」13 名

7 月 30 日 (火) ~ 8 月 1 日 (木)

長崎県教育庁生涯学習課 長崎県立公立学校若手教職員研修 1 名

8 月 19 日 (月) ~ 8 月 22 日 (木)

長崎県立長崎東中学校 社会体験研修

7 月 22 日 (月) ~ 7 月 26 日 (金)

社会貢献活動研修 2 年目 長崎県立長崎北高等学校

○学校向け見学対応 (来館時対応のみ)

小学校の対応件数観覧支援事業をおこなったことが影響して利用率が昨年度より増加しているが、職員またはボランティアによる中学校・高等学校の対応件数は修学旅行の班別研修の増加が影響してか減少傾向にある。

小学校 89 件 (うち県内 62 件)

中学校 23 件 (うち県内 14 件)

高等学校 8 件 (うち県内 1 件)

大学 11 件 (うち県内 7 件)

特別支援学校 4 件 (うち県内 2 件)

学童保育 1 件 (うち県内 1 件)

その他 7 件

PTA 2 件 (うち県内 2 件)

4 子供向け事業

利用者の成長に応じた各種教育プログラムを実施した。

○はくぶつかんのおはなし会

幼児から小学生を対象に伝統的な季節の行事に合わせて実施している。ボランティアを中心に、行事に関連した絵本や紙芝居の読み聞かせとものづくりをおこなった。

伝統行事	開催日	テーマ	参加者数
端午の節句	5 月 4 日 (土祝)	かぶとづくり	10 名
七夕	7 月 6 日 (土)	七夕かざり	29 名
くんち	10 月 5 日 (土)	くんち手ぬぐい	14 名
正月	12 月 14 日 (土)	かるた	16 名
節分	2 月 1 日 (土)	鬼のお面	9 名
桃の節句	3 月 1 日 (土)	折びな	5 名

○れきぶんこどもクラブ

小学 1 年生から中学 3 年生を対象に、企画展見学や作品の制作を通して、博物館の展示や長崎の歴史や文化にふれる機会を提供している。20 名の固定メンバーを募集し、前期・後期それぞれ 7 回連続講座として実施した。

[前期]

	開催日	テーマ	講師	参加者数
第1回	4月20日(土)	ゆらゆらゆれるモバイルづくり「和ガラスのきらめき展」関連企画	下田幹子(当館研究員)	21名
第2回	5月11日(土)	自然の材料で紙すき体験	石田孝氏	23名
第3回	6月1日(土)	和紙をつかって作品作り	石田孝氏	20名
第4回	6月15日(土)	粘土でつくるこねこねモンスター	近藤浩一氏	20名
第5回	7月6日(土)	歌川国芳に挑戦しよう!!「歌川国芳展」関連企画	小熊佐智子(当館研究員)	22名
第6回	7月28日(日)	墨で絵をえがこう	田中正博氏(長崎青房会会長)	20名
第7回	8月17日(土)	展覧会づくり	下田幹子・古豊裕次朗(当館研究員)	20名

[後期]

第1回	10月12日(土)	ティラノに挑め!恐竜ハンター「恐竜展2013」関連企画	古豊裕次朗(当館研究員)	19名
第2回	11月2日(土)	朝鮮通信使にちょうせん!!「対馬藩と朝鮮通信使展」関連企画	下田幹子(当館研究員)	16名
第3回	11月23日(土・祝)	ガラスに絵をえがこう	濱井隆氏	19名
第4回	12月14日(土)	粘土でつくるオリジナルの器	長崎陶芸復興塾	18名
第5回	1月11日(土)	貝殻でつくるきらきら小箱	下田幹子(当館研究員)	20名
第6回	1月25日(土)	器に模様をつけよう	長崎陶芸復興塾	18名
第7回	2月15日(土)	展覧会づくり	下田幹子(当館研究員)	16名

○れきぶんおやこクラブ 10:00～12:00

小学校高学年以上の親子を対象に、長崎の歴史や文化を親子で楽しく学べる講座として実施した。今年度は「長崎に伝わったことはじめ」をテーマに博物館の展示見学や町めぐりなどを組み合わせて6回連続講座として固定メンバーを募集している。

	開催日	テーマ	参加者数
第1回	5月11日(土)	長崎ってどんどこ?	7名
第2回	6月1日(土)	Oil(こんにちは)ポルトガル ポルトガルと長崎ことはじめ	7名
第3回	6月22日(土)	ポルトガルとのつながりを見に行こう 町めぐり	7名
第4回	7月13日(土)	Hallo(こんにちは)オランダ オランダと長崎ことはじめ	7名
第5回	7月27日(土)	オランダとのつながりを見に行こう 町めぐり	7名
第6回	8月17日(土)	ふりかえり&自由見学へのアドバイス	7名

5 レファレンス事業

ア) ながさきミュージアムネットワークシステム

館内だけでなくインターネットを利用した、収蔵資料情報・収蔵図書情報・展覧会情報・講座等イベント情報・県内史跡情報の提供を行う。収蔵資料情報については、資料情報とともに画像情報を登録し、外部からの画像の貸出に対応している。

また、館内端末からもデータベースにアクセス可能とし、資料閲覧室に設置されている端末から展示室内に設置してある各種データベースへの参照も可能である。

イ) レファレンスルーム・長崎学相談コーナー

企画展・常設展の展示内容についてだけでなく、長崎学に関する専門的な情報を提供。収蔵されている図書資料については、長崎県立長崎図書館郷土課より移管された資料と、長崎市立博物館より移管された古文書資料となっており、一般の利用者への公開もおこなっている。また、一部貴重資料(重要文化財・器物資料等)についても、事前申請制度による特別閲覧を実施することにより、利用者が可能な限り実物資料に触れる機会を設けている。

【レファレンスルーム利用者状況】

・総利用者数 1,847名(153.9名/月)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
153	155	178	152	178	144	157	142	140	124	170	154	1,847

(内訳)

会社員	教員(小)	教員(中)	教員(高)	教員(大)	教員(不明)	学生(小)	学生(中)	学生(高)	学生(大・院)	学生(不明)	その他	不明
180	2	1	24	194	22	3	1	6	88	1	911	414

・複写利用者数 590件 ・写真撮影利用者数 321件 ・特別閲覧利用者数 126件

6

博物館実習

実施期間

平成 25 年 9 月 10 日（火）～ 9 月 14 日（土）・9 月
17 日（火）～ 21 日（土）10 日間

応募条件

・現在、大学もしくは大学院に在籍する者で、博物館学芸員資格取得のための科目を履修している者（履修済みが望ましい）。将来学芸員もしくは博物館に関わる仕事に就くことを目指している者。

・県内の大学に通っている者、もしくは県内出身者であること。

受入れ人数

10 名程度（1 大学につき最大 3 名まで）

受付期間

4 月 22 日（月）～ 6 月 10 日（月）

受講費

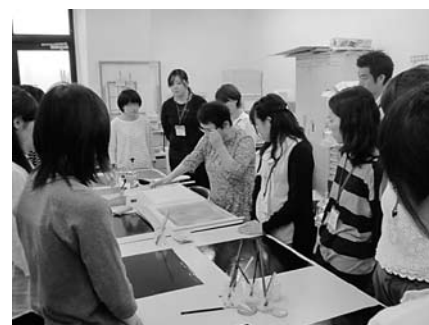
一人 5,000 円

実習内容・スケジュール

	午前（10：00～12：00）	午後（13：00～17：00）
9 月 10 日（火）	10：00～オリエンテーション・館長あいさつ 10：30～博物館の概要について（竹内） 11：30～バックヤード見学（関）	13：00～常設展示見学 15：00～企画展見学 16：00～意見交換（竹内）
9 月 11 日（水）	10：00～常設展示について【講義&実習】（深瀬）	13：00～企画展について【講義・実習】（竹内）
9 月 12 日（木）	10：00～博物館の教育活動と地域連携について【講義】（竹内）	13：00～学校との連携と教育プログラムについて【講義】（下田） 14：00～教育プログラム【実習】（下田・小熊）
9 月 13 日（金）	10：00～広報営業活動について【講義】（竹内） 11：00～来館者調査について【講義】（竹内）	13：00～接客サービス【講義】（経管） 13：30～接客サービスと来館者調査【実習】（経管・竹内）
9 月 14 日（土）	10：00～文化財セミナー聴講	13：00～来館者調査【実習】（竹内） 14：00～企画展関連イベント見学（古豊） 15：00～地域連携イベント（竹内）
9 月 15 日（日）		休 み
9 月 16 日（月）		休 み
9 月 17 日（火）	休 み	13：00～資料の保存管理【講義・実習】（関・久保）
9 月 18 日（水）	10：00～収蔵資料について【講義】（関） 11：00～収蔵品データベース【講義】（関）	13：00～資料の取り扱い【実習】（越中・植松） 14：00～ボランティア研修（くんち展）【実習】（植松） 15：30～資料の整理／資料の撮影【実習】（植松）
9 月 19 日（木）	10：00～資料の修復【実習】（富川・久保）	13：00～資料の修復【実習】（富川・久保）
9 月 20 日（金）	10：00～課題制作	13：00～課題制作
9 月 21 日（土）	10：00～課題制作	13：00～課題発表・まとめ

実習受講者

長崎県立大学	国際情報学部国際交流学科 4 年	川内 綾乃
長崎県立大学	国際情報学部国際交流学科 4 年	川口 恵美
長崎県立大学	国際情報学部国際交流学科 4 年	山本 遼
長崎国際大学	人間社会学部国際観光学科 4 年	山口 由貴
活水女子大学	文学部英語学科 4 年	橋 愛美
活水女子大学	文学部現代日本文化学科 4 年	濱 みなも
長崎総合科学大学	環境建築学部人間環境学科 4 年	石井 郁
山口大学	人文学部人文社会学科 4 年	長岡 奈緒子
山口大学	人文学部人文社会学科 4 年	福田 穂波
佐賀大学	文化教育学部 3 年	藤原 真沙子
国士舘大学	文学部史学地理学科 4 年	太田 有美
東海大学	文学部アジア文明学科 4 年	高山 古都子



7 研修の受け入れ

長崎大学教育学部が実施している蓄積型体験学習の受け入れを下記の通り行った。将来小中学校の教員をめざす大学生に博物館の教育活動について理解を深めてもらうことができた。

○蓄積型体験学習の目的

自ら高めたい資質や能力を定めて、これが達成できるとされる実習先を受入機関から自ら選定し、実習機関との実習計画の打合せによる計画立案とその実施及び自己評価を通して、主体的に活動できる人材を育成することを目的としている。

○受入期間

2012年7月～10月

○実習所要時間数

30時間

○実習内容

- ・教育普及事業の運営補助
- ・学校連携事業に係わる業務

○学生名簿

相川拓也 学校教育教員養成課程・
中学校教育コース2年

佐伯歩美 学校教育教員養成課程・
中学校教育コース2年
元村郁也 学校教育教員養成課程・
中学校教育コース2年
柴田忠良 学校教育教員養成課程・
小学校教育コース2年
山下直也 学校教育教員養成課程・
小学校教育コース2年
深山美咲紀 学校教育教員養成課程・
中学校教育コース2年
原 成美 学校教育教員養成課程・
小学校教育コース4年
井上桃子 学校教育教員養成課程・
小学校教育コース2年
江崎有紗 学校教育教員養成課程・
小学校教育コース2年
樋渡寛菜 学校教育教員養成課程・
小学校教育コース2年

8 伝統工芸体験工房

体験工房では、長崎が誇る伝統工芸「銀細工」「現川焼」「長崎刺繍」「長崎染」「ステンドグラス」の5種類の体験ができます。長崎市の「長崎実習所」を卒業した5つの塾の塾生が、ご来館の皆様の体験をサポートいたします。お友達と、または、子どもなどグループでのご参加もできます。お気軽にお立ち寄りいただき、長崎の伝統工芸の素晴らしさを、体験してみてください。

「長崎銀細工研究塾」塾

その昔、長崎にヨーロッパの宝飾技術が伝わり、江戸時代には献上品として古文書にその名を残した「長崎銀細工」。いにしへのロマンに想像をかきたてられながら、長崎の工芸品として育てていきたいと思っています。

「長崎陶芸復興」塾

田中刑部左衛門が開窯したと言われる、繊細で気

品ある現川焼。刷毛目模様が特徴のその技術が、伝承されないまま江戸中期のわずか60年で途絶えてしまいました。「幻の焼き物」と言われる現川焼作りを、ろくろ成形、絵付けなどを通して体験してみませんか。

「長崎刺繍再発見」塾

鎖国時代、中国から伝わったとされる「長崎刺繍」は、諏訪神社の秋の大祭（おくんち）とともに独自の発展を遂げました。肉入れによる盛上げの技法も特徴の一つです。今、わずかに残った刺繍から、「長崎刺繍」の作風、技法を学びながら手仕事の面白さを体験してみませんか。

「長崎の染」塾

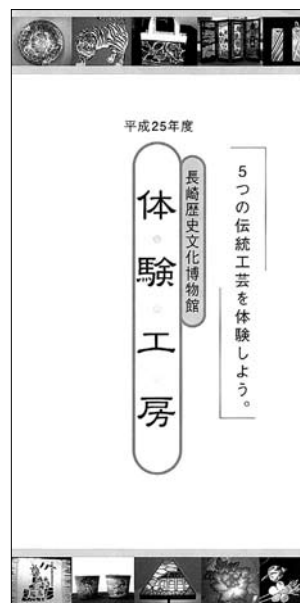
文政年間に上野俊之丞が市内中島の地で製造・輸出したと記録にも残る「長崎更紗」。更紗模様の型染めや手描きをしてみませんか。また、吉野ヶ里遺跡

からも発見された幻の“貝紫”の染めも体験できます。

「長崎やけんステンドグラス」塾

西欧文化の窓口であった長崎は、今も街中でステンドグラスが優雅と魅力を漂わせています。かわいらしい作品から少し製作時間を要する物までを準備しておりますので、光を透かしてステンドグラスの魅力を体感して下さい。

(平成 25 年度長崎歴史文化博物館体験工房 バンフレットより)



7

地域連携事業

1 事業概要

- 地域に根ざした文化活動を行う各種団体・個人に活動の場を提供する。
- 地域との連携を深めることにより、地域に開かれた博物館づくりを目指す。
- 地域の人々に質の高い芸術文化に触れる機会を提供し、地域の文化振興に寄与する。
- 新たな利用者層の拡大と博物館の活性化を図る。

2 移動博物館

遠隔地を中心に所蔵資料や資料の複製品、映像等を学校に持ち込みミニ展示をおこなった。

会場	開催日	参加者
長与町立長与南小学校	9月3日(火)	300名
佐々町立口石小学校	9月20日(金)	300名
苓岐市立一支国博物館	2月8日(土)～2月9日(日)	170名

3 イベント実施

○季節のイベント

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
むかし遊び	5月4日(土) 13:30～16:00 イベントの間	折紙、カルタ、独楽、おはじきなど昔の遊びを体験するイベントを行った。 参加費：無料	61名
長崎のハタづくり	5月6日(月) 13:30～15:00 1Fエントランス	江戸時代から伝わる長崎の春の風物詩、凧(ハタ)揚げ。ハタを作るワークショップを行った。 参加費：1,800円 講師：長崎節木塾	22名
けん玉大会	5月6日(月) 13:00～16:00 1Fエントランス	江戸時代に海外から長崎に伝わったと言われるけん玉。けん玉の体験とパフォーマンスを行った。検定の合格者には日本けん玉協会の認定を与えた。 参加費：無料 協力：日本けん玉協会長崎支部	42名
長崎式こいのぼり	4月17日(水)～5月12日(日) イベント広場	江戸時代の絵画にも描かれている長崎式の鯉のぼりを飾った。	-
七夕かざり「猫に願いを」	7月3日(水)～7月7日(日) 1Fエントランス	「歌川国芳展」にちなみ、猫の絵が描かれている短冊に願い事を書いて笹竹に飾ってもらった。 参加費：無料	-
七夕コンサート～琴の調べ～	7月6日(土) 13:30～13:50 1Fエントランス	出演：鎮西学院高等学校箏同好会、創成館高等学校琴部 参加費：無料	57名
長崎伝統工芸まつり	8月3日(土) 10:00～16:00 1Fエントランス	べっ甲、長崎刺繍、現川焼、銀細工、染め、ステンドグラスなど長崎の伝統工芸を紹介するとともに、ミニ体験と販売もおこなった。 参加費：無料	210名
長崎奉行所夏祭り	8月10日(土) 17:00～21:00 イベント広場	【ステージ】 三味線演奏/SLIM(ビートルズカバーなど)/エコ寸劇/恐竜くんのおもしろ恐竜クイズ/宇希愛(弾き語り)/長崎新地中国獅子舞/新内枝幸太夫(新内節)/お楽しみ抽選会 など	863名

奉行所もちつき	12月15日(日)10:00～ ※お餅がなくなりしだい終了。 奉行所玄関前	協力：上町自治会 参加費：無料	180名
願いを叶えるクリスマスツリー	12月1日(日)～25日(水) 1F エントランス	カードにメッセージを書いてツリーに飾りましょう！ 参加費：無料	300名
書初め & パフォーマンス書道	1月2日(木) ・書初め…13:00～14:30 ・パフォーマンス書道… ①11:30～②15:00～ 1F エントランス	協力：長崎県立西高等学校書道部 書初め参加費：無料 パフォーマンス書道観覧料：無料	215名
第8回長崎奉行所初稽古・剣道演武大会	1月3日(金)10:00～12:00 ※鯨太鼓9:40～ イベント広場	共催：(財)長崎県剣道連盟・長崎市剣道協会 観覧料：無料	650名
初舞会	1月3日(金)13:30～14:00 1F エントランス	出演：宝生流五雲会 観覧料：無料 演目：高砂/船弁慶など	96名
津軽三味線の演奏	1月4日(土)14:00～14:30 1F エントランス	出演：石井秀歩氏(津軽三味線石井流師範) 石井杏歩氏、石井花歩氏 観覧料：無料	81名
新春初弾～箏と和太鼓の調べ～	1月5日(日) ①11:30～②13:00～ 1F エントランス	出演：hミュージック、鎮西学院高等学校箏同好会、創成館高等学校琴部 観覧料：無料	120名
第2回全九州落研新春落語会	1月5日(日)14:00～18:00 1F ホール	出演：九州大学落語研究会、福岡大学落語研究会、福岡教育大学落語研究会、長崎大学落語研究会 観覧料：無料	78名
奉行所節分豆まき	2月3日(月)16:30～17:00 奉行所書院・玄関	奉行所で古式に則った追儼(ついな)豆まきと福豆まきを行った。	121名
創作人形展「竹取物語」	2月26日(水)～3月12日(水) 奉行所書院	長崎出身の創作人形作家、故武文子氏が竹取物語をテーマに製作した人形約90点を展示した。 ※常設展観覧料が必要 主催：創作日本人形紫桜会 共催：長崎親善人形の会 協力：長崎歴史文化博物館	2591名
琴の演奏	3月1日(土) 11:30～/13:30～ 1F エントランス	出演：筑紫若水会 参加費：無料	64名



○食文化体験

テーマ	開催日・場所	内容	参加者
節句料理の試食会～唐あくちまきと鯉菓子～	5月5日(日)14:00～16:00 立山亭/銀嶺	端午の節句料理について、お話を聞きながら料理の試食会を行った。 脇山壽子氏(郷土料理研究家) 岩永徳二氏(岩永梅寿軒) 参加費：3,000円	20名
長崎のお盆	8月11日(日)16:00～17:00 立山亭	長崎独特の盆料理「精進落ち」として食べる「冬瓜の汁もの」の試食会を行った。 脇山壽子氏 参加費：1,500円	9名
手作り月見団子	9月16日(月祝) 18:00～20:00 立山亭/奉行所書院	お月見団子を作った後、奉行所書院で尺八の演奏を聴きながらお月見団子を試食した。 岩永徳二氏(岩永梅寿軒) 松林静風(尺八) 参加費：1,500円	35名

くunch料理	10月5日(土)15:00～17:00 立山亭	くunchのときに食べられていた伝統料理、小豆ご飯と更紗汁、お煮しめ、酢の物を試食した。 脇山壽子氏 参加費:2,000円	35名
正月料理	12月22日(日)15:00～17:00 銀嶺	聖福寺を見学した後、銀嶺で長崎雑煮を試食した。 脇山壽子氏 参加費:1,500円	38名
節分料理	2月1日(土)15:00～17:00 立山亭	長崎伝統の節分料理、金頭と紅大根のなます、更紗汁を試食した。 脇山壽子氏 参加費:2,000円	19名
桃の節句	3月2日(日)14:00～15:30 立山亭	桃の節句にいただく伝統菓子、桃カステラとお抹茶を試食した。 脇山壽子氏 参加費:1,000円	34名



○伝統芸能イベント

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
第15回長崎奉行所・新内寄席 ～落語と新内の世界～	9月15日(日)15:00～17:00 1Fホール	出演:桂まん我、新内枝幸太夫 入場料:前売り1,800円(当日2,000円)	90名
<ながさき音楽祭2013> 長崎奉行所お月見コンサート 津軽三味線とバレエの競演	9月20日(金)19:00開演 1階エントランス	出演:Feeling Art Box(石井秀歩、石井杏歩、平奈保子) 他 入場料:前売券2,000円(当日2,500円)	226名
第16回長崎奉行所・新内寄席	3月8日(土)13:30～16:30 1Fホール	出演:新内枝幸太夫、長崎枝幸会 入場料:1,000円(友の会会員800円)	120名

○和文化体験

イベント名	開催日・場所	内容	参加者
着物でまちあるき	4月28日(日)29日(月祝) 10:00～18:00 立山亭	着物を着て、まちあるきを行った。 参加費:3,000円(常設・企画展とグラバー園の入館料含む) 企画協力:DOUBLE	6名 ※試着体験者(無料)13名
着付け教室	4月28日(日)、29日(月祝) 10:00～12:30 / 13:30～15:30 立山亭	初心者から着物をもっと綺麗に着こなしたい人を対象に、着物の着付け教室を行った。 参加費:2,000円 協力:佐和きもの着付け教室 企画協力:DOUBLE	2名
着物でまちあるき～浴衣と夏きもの～	7月13日(土)14日(日)15日(月祝) 10:00～18:00 立山亭	着物を着て、まちあるきを行った。 参加費:3,000円(常設・企画展とグラバー園の入館料含む) 企画協力:DOUBLE	2名 ※試着体験者(無料)25名
着付け教室～浴衣編～	7月13日(土)14日(日)15日(月祝) 10:00～12:30 / 13:30～15:30 立山亭	初心者から着物をもっと綺麗に着こなしたい人を対象に、着物の着付け教室を行った。 参加費:2,000円 協力:佐和きもの着付け教室 企画協力:DOUBLE	3名
煎茶の楽しみ ※「魅惑の清朝陶磁」展関連イベント	1月25日(土)13:00～16:00 1階エントランス	江戸時代、中国から長崎に伝えられ、文人趣味とともに発展した煎茶。現在長崎で受け継がれている文人流の煎茶のお点前とふるまいを行った。 茶券:500円 協力:文人流知足会	95名

煎茶のふるまい	3月1日(土) 13:00～15:00 2階ロビー	江戸時代、中国から長崎に伝えられ、文人趣味とともに発展した煎茶。現在長崎で受け継がれている文人流の煎茶のお点前とふるまいを行った。 参加費：無料(ただし常設展又は企画展のチケットが必要) 協力：文人流知足会	50名
---------	------------------------------	---	-----



○音楽イベント

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
<銀嶺ライブ> JAZZ LIVE	4月18日(木) 19:30～ レストラン銀嶺	出演：椋尾敏郎(ギター)、椋尾恵子(ヴォーカル) チケット：2,500円(1ドリンク付)	31名
<れきぶんミュージアムコンサート> GWスペシャルコンサート	5月4日(土) 16:00～ 1F エントランス	出演：OMURA 室内合奏団 [齊藤亨(ヴァイオリン)、太田さあり(ヴァイオリン)、池田文子(ヴィオラ)、田辺清士(チェロ)] 参加費：無料	124名
<銀嶺ライブ> アイリッシュミュージック	6月1日(土) 19:30～ レストラン銀嶺	出演：立石佐保美(アイリッシュホイッスル)、Rue(アコーディオン)、北原公介(パーカッション) チケット：2,500円(1ドリンク付)	24名
<れきぶんミュージアムコンサート> サマーコンサート	7月28日(日) 16:00～ 1F エントランス	出演：レガリーノ [柴田健一(トロンボーン)、尾口陽軌(ギター)] 参加費：無料	122名
<銀嶺ライブ> 真夏の夜のVINO BLANCO	8月24日(土) 19:30～ レストラン銀嶺	出演：Piscis(西口恭代(アルパ)・東悠介(ギター))、岡珠子(ソプラノ)、北原公介(ボンゴ) チケット：2,500円(1ドリンク付)	30名
<れきぶんミュージアムコンサート> フレッシュコンサート	9月14日(土) 16:00～ 1F エントランス	出演：長崎新演奏家協会 [小川智子(ソプラノ)、大杉仁美(ソプラノ)、松永かおる(ソプラノ)、江口友規子(ピアノ)、吉田真深(ピアノ)] 参加費：無料	45名
<銀嶺ライブ> ポップス etc.	9月26日(木) 19:30～ レストラン銀嶺	出演：Liberta notte Trio/岩永ゆり(Violin)、荒田麻紀(Piano)、福田将之(Bass) チケット：2,500円(1ドリンク付)	20名
<ながさき音楽祭2013> 古楽器の調べ イギリスとスペインより	10月19日(土) 18:30開演 3階ロビー	出演：大坪由香(リコーダー)、井上周子(リュート、ヴァージナル)、長崎室内合唱団 料金：前売2,000円(当日2,500円)	97名
<れきぶんミュージアムコンサート> 開館記念コンサート	11月3日(日) 16:00～ 1F エントランス	出演：OMURA 室内合奏団 [濱砂由美子(フルート)、池田祐希(ファゴット)、山道由佳(ピアノ)] 参加費：無料	57名
<銀嶺ライブ> JAZZ LIVE	11月15日(金) 19:30～ レストラン銀嶺	出演：柴田健一(トロンボーン)、田中明亮(ピアノ)、河合由美子(パーカッション) チケット：2,500円(1ドリンク付)	30名
長崎県新演奏家協会クリスマスコンサート	12月21日(土) 11:00～ 1F エントランス	出演：尼崎裕子、上野広恵、加藤初美、森山達郎、田中暁人、石塚啓、後藤美樹、辻田千尋、森美春 参加費：無料	35名
<れきぶんミュージアムコンサート> クリスマスコンサート	12月23日(月) 16:00～ 1F エントランス	出演：杉澤葉子(ピアノ)・杉澤玲子(フルート) 参加費：無料	85名
<れきぶんミュージアムコンサート> ニューイヤーコンサート	1月11日(土) 16:00～ 1F エントランス	出演：長崎新演奏家協会 [長島由起子(ソプラノ)、大塚裕子(ピアノ)、松田洋子(ピアノ)、後藤美樹(ピアノ)] 参加費：無料	83名

長崎県新演奏家協会コンサート	2月1日(土) 11:00～ 1F エントランス	出演：大杉仁美、松永かおる、吉田真深、後藤美樹 参加費：無料	57名
<れきぶんミュージアムコンサート> スプリングコンサート	3月9日(日) 16:00～ 1F エントランス	出演：ジュニアオーケストラ 参加費：無料	83名



○その他

イベント名	開催日・場所	内容	参加者数
環境学習会「エコ学ほ!」 <エネルギーのみみつ探検隊>	5月6日(月) 13:00～16:00 1F エントランス	おひさまエネルギーの活用について、先人の知恵をさあまなぼう。 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター 参加費：無料	27名
環境学習会「エコ学ほ!」 <れきぶんエコフェス>	8月10日(土) 17:00～21:00 イベント広場	衣食住昔ながらの暮らしの中のエコを体験やゲームで学びます。※奉行所夏祭りのブースとして出店。 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター 参加費：無料	※夏祭り参加者 863名
環境学習会「エコ学ほ!」 <竹取キャンドル物語>	12月22日(日) 13:00～16:00 1F エントランス	廃ろうそくなどを使ったクリスマス竹キャンドル作り。 協力：長崎県地球温暖化防止活動推進センター 参加費：無料	40名

4 ボランティア活動

○平成 25 年度登録者数

	登録者数	男女内訳	平均年齢
展示案内	101 名	男 60 名 女 76 名	63.7 歳
業務支援	21 名		
寸 劇	15 名		

○活動内容

①展示案内ボランティア

歴史文化展示ゾーン・奉行所ゾーンにて、個人客や学校及び一般団体に展示案内・誘導等を行う。

[外国語グループ]

歴史文化展示ゾーン・奉行所ゾーンにて、外国人客（英語及び中国語にて）に展示案内・誘導等を行う。

②業務支援ボランティア

発送作業、ボランティア通信「風説書」20～23号発行、新聞の切抜き、資料整理、教育普及活動の運営等。

[保存環境グループ]

文化財を皆で守り、伝えていくため博物館での文化財保存活動の一部を県民・市民と共に行うことを目的とする。とは、IPM（Integrated Pest Management 総合的有害生物管理）の考えに基づき現在露出展示のメンテナンス、展示室内環境モニタリング（目視点検）等を行っている。また、今年度は新規ボランティアの募集をおこない、2013年2月より研修を実施した。

③寸劇ボランティア

当館収蔵の江戸時代の裁判記録「犯科帳」をもとに、寸劇仕立てで奉行所展示室お白洲にて紹介。

[上演日時]

・土日祝日の 11：00/12：00/14：00/15：00/

16：00（1日 5回）

・ランタンフェスティバル期間中は、平日も上演を行った。（1月31日（金）～2月14日（金））

13：00/14：00/15：00/16：00（1日4回）

[平成 25 年度の演目]

「唐人屋敷抜け穴掘り事件」（4月～9月）

「天領長崎放火事件」（10月～平成 26 年 1 月 26 日（日））

「シーボルト事件」（1月31日（金）～6月）

④長崎奉行所・夏祭り実行委員会

活動期間：6月5日（水）～9月12日（木）

夏祭り実行委員会による企画会議を通じて、具体的な運営方針や当日の開催に向けた準備などを行う。特に「ヨーヨーすくい」では、ボランティアの実行委員を中心に準備段階から当日の販売対応まで行った。

⑤企画展ボランティア

今年度行った全ての企画展で、展示解説や学校見学の対応、ワークショップ運営の補助、講演会受付を行う企画展ボランティアを導入した。

⑥ボランティア交流会

当館と長崎県美術館において、ボランティア同士による両館のボランティア活動内容の理解とつながりの強化を目的として、8月と12月に交流会を行った。各回とも両館で交流会サポーターを募り、両館のボランティア担当とともに運営を行った。

○ボランティア研修

◇研修内容

[スキルアップ研修] （計 11 回）

	日時	内容	講師	参加者
第 1 回	4 月 10 日（水）14：30～15：30 15：30～16：00	和ガラスのきらめき展内覧会 美術展示室（幸せを願う～五節句～）	植松有希（研究員） 岡本健一郎（研究員）	41 名
第 2 回	5 月 22 日（水）14：30～15：00 15：00～16：00	美術展示室（名品選Ⅱ 山水に遊ぶ） 常設展示室	植松有希（研究員） 深瀬公一郎（主任研究員）	28 名
第 3 回	6 月 12 日（水）16：00～17：00	歌川国芳展内覧会	深瀬公一郎（主任研究員）	42 名
第 4 回	7 月 3 日（水）14：30～15：00	美術展示室（シーボルトの植物園）	山内勇輝（研究員）	28 名
第 5 回	8 月 14 日（水）16：00～17：00	恐竜展 2013 展内覧会	関裕典（研究員）	17 名
第 6 回	9 月 18 日（水）14：30～15：00	美術展示室（くんち三七九年展）	植松有希（研究員）	28 名
第 7 回	10 月 16 日（水）14：30～15：00	美術展示室（海の王都・原の辻展）	松見裕二氏（宍州市教育委員会）	22 名
第 8 回	11 月 6 日（水）14：30～15：30	対馬藩と朝鮮通信使展内覧会	岡本健一郎（研究員）	23 名
第 9 回	1 月 15 日（水）14：30～15：30	魅惑の清朝陶磁展内覧会	植松有希（研究員）	30 名
第 10 回	1 月 15 日（水）15：30～16：00	美術展示室（絵図が語る世界像）	深瀬公一郎（主任研究員）	27 名
第 11 回	2 月 19 日（水）14：30～15：00	美術展示室（唐通事の世界）	植松有希（研究員）	23 名

8

広報マーケティング

1 広報ツール

- ・印刷物（博物館案内パンフレット、年間スケジュール、れきぶんニュース、企画展 PR 用印刷物、その他単発イベント案内）
- ・プレスリリース
- ・WEB媒体（公式ホームページ、メールマガジン、

Facebook ページ、twitter)

- ・交通広告（長崎自動車、県営バス、長崎電気軌道）
- ・テレビスポット（企画展告知CM）
- ・館外活動（PR イベント）

印刷物

博物館案内パンフレット



年間スケジュール



れきぶんイベント歳時記



シーズンイベント情報を掲載
(年4回発行)

れきぶんニュース（A4変形・年4回発行）

vol.25 春号

vol.26 夏号

vol.27 秋号

vol.28 新春号



2013年4月発行



2013年7月発行



2013年10月発行



2014年1月発行

企画展 PR 用印刷物 (B2・B3 ポスター、A4 チラシ、優待券等)

和ガラスのきらめき



市川森一・上映展示会 夢の軌跡



歌川国芳展



恐竜展 2013



対馬藩と朝鮮通信使



魅惑の清朝陶磁



その他単発イベント案内

くんち三七九年度展



中国映画週間



新内寄席



プレスリリース

News No.01	平成 25 年 4 月 1 日	和ガラスのきらめき展・市川森一展 プレス内覧と開会式
News No.02	平成 25 年 4 月 5 日	教育普及事業 こどもクラブ・おやこクラブ参加募集
News No.03	平成 25 年 4 月 9 日	美術展示室 特集展示「幸せを願う～五節句～」
News No.04	平成 25 年 4 月 11 日	古文書講座（初級）
News No.05	平成 25 年 4 月 16 日	ゴールデンウイークイベント情報
News No.06	平成 25 年 4 月 29 日	「端午の節句」展示情報
News No.07	平成 25 年 5 月 2 日	トピック展示「幕末長崎と会津藩」
News No.08	平成 25 年 5 月 2 日	初公開「ガラス絵望遠鏡」
News No.09	平成 25 年 5 月 8 日	「国際博物館の日」県民無料サービスデー
News No.10	平成 25 年 5 月 16 日	大堀哲館長のミュージアムトーク
News No.11	平成 25 年 5 月 23 日	2階美術展示室「名品選Ⅱ 山水に遊ぶ」、英国王立写真協会日本支部展
News No.12	平成 25 年 5 月 27 日	6月の講演会・イベント情報
News No.13	平成 25 年 5 月 29 日	歌川国芳展 概要・開会式
News No.14	平成 25 年 6 月 11 日	遠隔授業（平戸市）実施
News No.15	平成 25 年 6 月 18 日	町屋の七夕・7月の催し
News No.16	平成 25 年 6 月 18 日	恐竜展・早割チケット発売中
News No.17	平成 25 年 6 月 27 日	歌川国芳展・7/3 後期展示スタート
News No.18	平成 25 年 6 月 28 日	歌川国芳の国内未発表作品を発見
News No.19	平成 25 年 7 月 12 日	歌川国芳展 入館 1 万人達成
News No.20	平成 25 年 7 月 22 日	夏の講座・イベント情報（第 1 弾）
News No.21	平成 25 年 7 月 25 日	夏のイベント情報（第 2 弾） 奉行所夏祭り
News No.22	平成 25 年 7 月 30 日	8月の町屋、イベント情報
News No.23	平成 25 年 8 月 05 日	恐竜展 2013 開催概要・開会式・プレス内覧
News No.24	平成 25 年 8 月 15 日	恐竜展 2013 1 万人達成セレモニー
News No.25	平成 25 年 8 月 21 日	恐竜展 2013 ナイトミュージアムほか関連イベント
News No.26	平成 25 年 8 月 23 日	日中若手歴史研究者セミナー開催
News No.27	平成 25 年 8 月 27 日	恐竜展 2013 2 万人達成セレモニー
News No.28	平成 25 年 9 月 2 日	秋の音楽イベント情報
News No.29	平成 25 年 9 月 3 日	中秋の名月 関連情報
News No.30	平成 25 年 9 月 4 日	れきぶん秋の講座情報
News No.31	平成 25 年 9 月 5 日	恐竜フェスタ in 長崎
News No.32	平成 25 年 9 月 9 日	くち三三九九年展・関連イベント
News No.33	平成 25 年 9 月 10 日	旧グラバー住宅シンポジウム
News No.34	平成 25 年 9 月 18 日	恐竜展 2013 3 万人達成セレモニー
News No.35	平成 25 年 10 月 1 日	10 月「くち」関連展示・イベント
News No.36	平成 25 年 10 月 2 日	秋の音楽イベント情報
News No.37	平成 25 年 10 月 7 日	恐竜展ナイトミュージアム part2 情報ほか
News No.38	平成 25 年 10 月 8 日	臨時閉館のご案内
News No.39	平成 25 年 10 月 10 日	恐竜展 2013 4 万人達成セレモニー
News No.40	平成 25 年 10 月 13 日	「海の王都・原の辻展」開催・プレス内覧会
News No.41	平成 25 年 10 月 21 日	「対馬藩と朝鮮通信使」開会式・プレス内覧会・新発見
News No.42	平成 25 年 11 月 19 日	「対馬藩と朝鮮通信使」1 万人達成セレモニー
News No.43	平成 25 年 11 月 21 日	11～12月の講座情報
News No.44	平成 25 年 11 月 21 日	奉行所御白洲寸劇 上演 5000 回記念公演
News No.45	平成 25 年 12 月 3 日	れきぶんのお正月情報 第 1 弾
News No.46	平成 25 年 12 月 11 日	れきぶんのクリスマス
News No.47	平成 25 年 12 月 18 日	れきぶんのお正月情報 第 2 弾
News No.48	平成 25 年 12 月 20 日	「魅惑の清朝陶磁」展 プレス内覧・開会式
News No.49	平成 26 年 1 月 7 日	1 月の展示替え情報
News No.50	平成 26 年 1 月 14 日	魅惑の清朝陶磁・関連イベント情報
News No.51	平成 26 年 1 月 22 日	2 月のイベント情報
News No.52	平成 26 年 1 月 23 日	「長崎・中国映画週間」開催情報
News No.53	平成 26 年 2 月 4 日	「長崎・中国映画週間」舞台挨拶のご案内
News No.54	平成 26 年 2 月 12 日	教育普及事業のご案内
News No.55	平成 26 年 2 月 13 日	魅惑の清朝陶磁・特別講演会
News No.56	平成 26 年 2 月 14 日	2 月・3 月のイベント情報
News No.57	平成 26 年 3 月 3 日	遠隔授業実施
News No.58	平成 26 年 3 月 13 日	美術展示室 特集展示「唐通事の世界」
News No.59	平成 26 年 3 月 14 日	福島桜「絆千年桜」植樹 NEW
News No.60	平成 26 年 3 月 14 日	「伊藤若冲と京の美術」プレス内覧・開会式
News No.61	平成 26 年 3 月 24 日	こどもクラブ・おやこクラブ参加者募集

WEB媒体

公式ホームページ

<http://www.nmhc.jp/>



メールマガジン (月2回発行)



SNS (Twitter) (平成 25 年 7 月運用開始)

https://twitter.com/ngs_rekibun



2013 年 7 月運用開始

SNS (Facebook ページ)

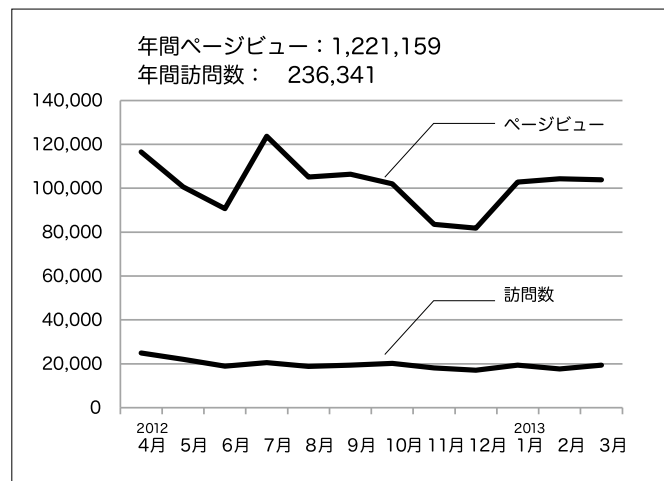
<https://www.facebook.com/rekibun>



2012 年 10 月運用開始

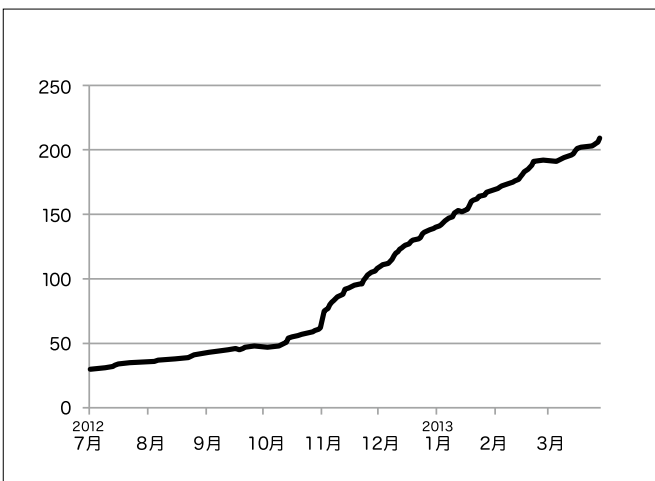
公式ホームページ

ページビュー・訪問数



Face book ページ

いいね!数



交通広告（企画展告知）

和ガラスのきらめき	長崎電気軌道	4月4日（土）～5月7日（金）	B3ポスター中吊り
歌川国芳展	長崎バス R面	5月下旬より7月24日	B3ポスター・車内R壁掲出
	長崎電気軌道	6月7日（金）～7月3日（水）	B3ポスター中吊り
恐竜展 2013	長崎バス R面	8月1日（木）～10月14日（月祝）	B3ポスター・車内R壁掲出
対馬藩と朝鮮通信使	長崎県営バス	10月17日（木）～12月15日（日）	窓貼りステッカー
	長崎電気軌道	〃	〃
	長崎県内タクシー	〃	〃
	長崎バスターミナル他	10月26日（土）～11月15日（金）	デジタルサイネージ

テレビスポット（企画展告知）

歌川国芳展	KTN テレビ長崎（開催告知）
恐竜展 2013	KTN テレビ長崎（開催告知）
対馬藩と朝鮮通信使	NCC 長崎文化放送（開催告知）

館外活動

ココウオーク出張イベント （ワークショップ、PR イベント）	4月27日（土） 7月15日（月祝） 9月23日（月祝） 12月22日（日）	みらい長崎ココウオーク （長崎市茂里町）
帆船まつり（チラシ配りほか）	4月27日（日）～5月1日（木）	水辺の森公園（長崎市）
ランタンフェスティバル（ステージPR）	2月2日（日）	中央公園会場

掲載実績

○和ガラスのきらめき

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
4月1日（月）	長崎県広報課	県民だより 4月号
4月1日（月）	長崎市広報広聴課	広報ながさき 4月号
4月5日（金）	西日本新聞	情報掲載
4月5日（金）	NCC	ニュース
4月6日（土）		新聞広告 半5段 1C
4月7日（日）	朝日新聞	情報掲載（写真あり）
4月8日（月）	毎日新聞	情報掲載（写真あり）
4月8日～12日のいずれか	NBC ラジオ	県庁タイムス（県広報枠）
4月1日（木）	長崎新聞（予定）	情報掲載（県からのおしらせ・写真あり）
4月11日（木）	西日本新聞（予定）	情報掲載（県からのおしらせ・写真あり）
4月11日（木）	朝日新聞九州版プラス山口	情報掲載（さんさんネット）
4月11日（木）	中国新聞	情報掲載
4月12日（金）	西日本新聞	情報掲載（小）
4月13日（土）	FM長崎	タウンナビ
4月14日（日）	長崎新聞	取材記事（写真あり・モノクロ）
4月14日（日）	公益財団法人 日本博物館協会	情報掲載（写真あり）
4月18日（木）	朝日新聞	情報掲載（小）
4月19日（金）	西日本新聞	情報掲載（小）
4月25日（木）	朝日新聞	情報掲載（小）
4月26日（金）	西日本新聞	新聞広告 全2段
4月26日（金）	帆船まつり会場	場内放送
4月27日（土）	毎日新聞	新聞広告 全2段
4月27日（土）	朝日新聞	新聞広告 半5段 1C
4月27日（土）	読売新聞	取材記事（写真あり・モノクロ）
4月27日（土）	ながさきプレス	ながさきプレス 5月号
4月28日（日）	西日本新聞	コラム（南蛮船）
5月1日（水）	（株）ギャラリーステーション	月刊ギャラリー 5月号
5月1日（水）	日本博物館協会	博物館研究 5月号
5月4日（土）	毎日新聞	情報掲載（小コラム）
5月7日（火）	インターネットミュージアム	http://www.museum.or.jp/modules/im_event/?controller=event_dtl&input[id]=80719
5月9日（木）	エフエム長崎	来来
5月9日（木）	エフエム長崎	ココヨカ
5月10日（金）	西日本新聞	情報掲載
5月13日（月）	ミュージアムカフェ	http://www.museum-cafe.com/
5月17日（金）	西日本新聞	情報掲載

○市川森一・上映展示会～夢の軌跡

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
4月2日(火)	長崎新聞	情報掲載(写真あり)
4月4日(木)	読売新聞(予定)	情報掲載
4月5日(金)	NBC	ニュース
4月6日(土)	朝日新聞	情報掲載(写真あり)
4月7日(日)	長崎新聞	情報掲載(写真あり)
4月12日(金)	西日本新聞	情報掲載(お知らせ本舗)
4月20日(土)	読売新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)
4月21日(日)	西日本新聞	コラム(南蛮船)
4月22日(月)	IMA ONLINE	情報掲載(写真あり)
4月24日(水)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 5月号
4月24日(水)	長崎県広報課	県民だより 5月号
4月25日(木)	読売新聞	情報掲載(小)
4月26日(金)	西日本新聞	フクオカ・ビーキ 4/26号
5月2日(木)	読売新聞(東京版)夕刊	情報掲載(催し物情報)
5月11日(土)	NIB 長崎国際テレビ	週刊あじさい
5月12日(日)	NBC 長崎放送	週刊あじさい
5月16日(木)	読売新聞	情報掲載(小)

○その他の情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
4月2日(火)	長崎新聞	情報掲載(写真あり)
4月3日(水)	朝日新聞	情報掲載(写真あり)
4月11日(木)	朝日新聞	
4月14日(木)	(公財)日本博物館協会	情報掲載
	長崎新聞	情報掲載(写真あり)
4月17日(水)	長崎新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)
4月21日(日)	長崎新聞	とととって
4月22日(月)	IMA ONLINE	情報掲載
4月24日(水)	日本経済新聞	広告(全5段モノクロ)
4月25日(木)	NBC	NBC ニュース
4月25日(木)	西日本新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)
4月25日(木)	朝日新聞	取材記事(写真あり・カラー)
4月26日(金)	西日本新聞	情報掲載
4月27日(土)	ながさきプレス	ながさきプレス
4月28日(日)	西日本新聞	パッション 5月号
4月28日(日)	長崎新聞	情報掲載
4月30日(火)	長崎新聞	情報掲載
5月1日(水)	長崎新聞	情報掲載
5月2日(木)	毎日新聞	取材記事(写真あり・カラー)
5月4日(土)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
5月5日(日)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
5月6日(月)	NIB 長崎国際テレビ	ニュース every.
5月7日(火)	インターネットミュージアム	http://www.museum.or.jp/modules/im_event/?controller=event_dtl&input[id]=80720
5月9日(木)	朝日新聞	情報掲載
5月10日(金)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
	日本経済新聞	広告(全5段モノクロ)
5月13日(月)	西日本新聞	情報掲載(写真あり・カラー)
5月17日(金)	長崎新聞	情報掲載
		情報掲載
5月19日(日)	長崎新聞	情報掲載
5月19日(日)	長崎新聞 とととって	情報掲載(小)
		情報掲載(小)
5月24日(金)	西日本新聞	情報掲載(写真あり・カラー)
	朝日新聞	広告(全15段モノクロ)
5月27日(月)	Face 企画	すごろく 6月号(vol.28)

○歌川国芳展

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
4月24日(水)	日本経済新聞	広告(全5段モノクロ)
5月7日(火)	インターネットミュージアム	http://www.museum.or.jp/modules/im_event/?controller=event_dtl&input[id]=80720
5月10日(金)	日本経済新聞	広告(全5段モノクロ)
5月13日(月)	西日本新聞	情報掲載(写真あり・カラー・KTN 事業枠)
	朝日新聞	広告(全15段モノクロ)

5月13日(月)	ミュージアムカフェ	http://www.museum-cafe.com/exhibition?event_id=29847
5月17日(金)～ 7月24日(水)	Yahoo! ロコ (地域情報)	http://search.yahoo.co.jp/search?_adv_prop=web&x=op&ei=UTF-8&fr=op&submit=%E6%A4%9C%E7%B4%A2&va=%E6%AD%8C%E5%B7%9D%E5%9B%BD%E8%8A%B3%E5%B1%95+2013%E5%B9%B406%E6%9C%8808%E6%97%A5+2013%E5%B9%B407%E6%9C%8824%E6%97%A5&va_vt=any&vp=&vp_vt=any&vo=&vo_vt=any&ve=&ve_vt=any&vd=all&vst=&vs=loco.yahoo.co.jp/event&vf=all&vc=&fl=0
	朝日新聞デジタル	http://www.asahi.com/area/event/detail/10101158.html
	@nifty 旅行	http://travel.nifty.com/cs/event/detail/10101158/1.htm
	excite	http://season.excite.co.jp/event/sp-10101158/
	BIGLOBE 旅行	http://travel.biglobe.ne.jp/family/event/042/10101158.html
	ぴあこどもと遊ぼう	http://www.pia-kids.jp/search/detail/event/10101158/
	パナソニック おでかけ旅ガイド	http://odekake-strada.panasonic.jp/search/detail.php?dest=event_10101158
	ゼンリン Actiz (アクティズ)	http://www.actiz.jp/mypage.html/?eid=10101158
	富士フィルム Fotonoma	http://fotonoma.jp/matsuri/event/10101158
	日本旅行	http://www.nta.co.jp/kokunai/special/eventinfo/10101158.htm
	ニコン すぽっとサーチ	http://spotsearch.nikon-image.com/EventDetail.do?eventId=10101158
	アパホテル	http://www.apahotel.com/event_bank/detail/10101158
	livedoor 地図情報	http://map.livedoor.com/event/search?q=%E6%AD%8C%E5%B7%9D%E5%9B%BD%E8%8A%B3%E5%B1%95
	Walkerplus (ウォーカープラス)	http://www.google.co.jp/search?hl=ja&lr=lang_ja&q=%22%E6%AD%8C%E5%B7%9D%E5%9B%BD%E8%8A%B3%E5%B1%95%22+site:www.walkerplus.com
	ゆこゆこ	http://www.google.co.jp/search?hl=ja&lr=lang_ja&q=%22%E6%AD%8C%E5%B7%9D%E5%9B%BD%E8%8A%B3%E5%B1%95%22+site:yoyaku.yukoyuko.net
EventCal (イベントカル)	http://event.rhythm-cal.jp/event/list?free_word=%E6%AD%8C%E5%B7%9D%E5%9B%BD%E8%8A%B3%E5%B1%95	
iラブ my タウン	https://event.itp.ne.jp/event/freeword/%89%CC%90%EC%8D%91%96%46%93%57/	
5月23日(木)	日本経済新聞	広告(全5段・モノクロ)
5月24日(金)	朝日新聞	広告(全15段・モノクロ)
5月24日(金)	西日本新聞	情報掲載(写真あり・カラー・KTN 事業枠)
5月25日(土)	ながさきプレス	ながさきプレス 6月号
5月25日(土)	(公)日本博物館協会	博物館研究 6月号
5月26日(日)	西日本新聞	パッション6月号
5月27日(月)	(株)アマナホールディングス	IMA 2013SUMMER vol.4
5月27日(月)	Face 企画	すごろく 6月号(vol.28)
5月29日(水)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 6月号
5月29日(水)	長崎県広報課	県民だより 6月号
5月30日(木)	日本経済新聞	情報掲載
5月31日(金)	日本経済新聞	広告(全5段・モノクロ)
5月31日(金)	KTN テレビ長崎	GOPAN (深瀬研究員出演(生放送))
6月1日(土)	ギャラリーステーション	月刊ギャラリー 6月号
6月2日(日)	長崎新聞	とととて
6月5日(水)	熊本日日新聞	情報掲載
6月5日(水)	長崎新聞	情報掲載
	朝日新聞	情報掲載
6月6日(木)	朝日新聞	広告(突出・モノクロ)
	朝日新聞	情報掲載(写真あり・モノクロ) 国芳展
6月7日(金)	KTN テレビ長崎	GOPAN (岩切先生出演(生中継))
	KTN テレビ長崎	スーパーニュース(開会式・展覧会紹介)
	朝日新聞	広告(全15段・カラー)
	朝日新聞	さんさんネット(情報掲載)
6月7日(金)	朝日マリオン・コム	情報掲載
	テレビ佐世保	お出かけ情報
6月8日(土)	N I B長崎国際テレビ	週刊あじさい
	NBC ラジオ	長崎市政だより
6月9日(日)	NBC長崎放送	週刊あじさい
6月10日(月)	エフエム長崎	長崎市政だより
6月11日(火)	長崎新聞	情報ストリート
6月11日(火)	NHK長崎放送局	ニュース(会場内撮影取材)
6月13日(木)	朝日新聞	情報掲載・小
6月14日(金)	西日本新聞	うちわワークショップ・展覧会情報掲載
	KTN テレビ長崎	GOPAN (深瀬研究員出演(生放送))
6月15日(土)	日本経済新聞	広告(全5段・モノクロ)

6月15日(土)	西日本新聞	文化短信
	朝日新聞	広告(突出・モノクロ)
6月16日(日)	長崎新聞	アートサロン(取材記事(写真あり・カラー))
	日本経済新聞	アート・ライフ(情報掲載・小(写真あり・カラー))
6月18日(火)	KTNテレビ長崎	GOPAN(深瀬研究員出演(生放送))
	朝日新聞	広告(突出・モノクロ)
6月20日(木)	中国新聞	情報掲載
	朝日新聞	情報掲載・小
	川口印刷	CUBEながさき 6月号
6月21日(金)	日本経済新聞	広告(全5段・モノクロ)
	西日本新聞	情報掲載・小
6月25日(火)	ながさきプレス	ながさきプレス7月号
6月27日(木)	朝日新聞	情報掲載・小
6月28日(金)	西日本新聞	広告(半5段 モノクロ(サービス))
		情報掲載・小
6月28日(金)	日本経済新聞	折込(A4チラシ)
6月29日(土)	西日本新聞	情報掲載・小
6月30日(日)	西日本新聞	パッション7月号
6月30日(日)	NHK	日曜美術館 アートシーン
7月1日(月)	西日本新聞	情報掲載(写真あり・カラー・KTN 枠)
7月2日(火)	朝日新聞	情報掲載(写真あり・カラー)
	NBC	報道センターNBC(未公開作品発表)
	KTN	KTNスーパーニュース(未公開作品発表)
7月3日(水)	西日本新聞	折込(B4チラシ)
		未公開作品発表(写真あり・カラー)
	KTN	GOPAN(深瀬研究員出演(生放送))
7月5日(金)	日本経済新聞	広告(全5段・モノクロ)
	西日本新聞	美術館・博物館めぐり
	日本経済新聞	文化往来
7月6日(土)	長崎新聞	未公開作品発表(写真あり・カラー)
	NBCラジオ	長崎市政だより
7月7日(日)	KTN	週刊あじさい
	NCC	週刊あじさい
7月8日(月)	FM長崎	長崎市政だより
7月10日(水)	朝日新聞	小枠広告
7月11日(木)	FM長崎	来来
	朝日新聞	情報掲載・小
7月12日(金)	西日本新聞	情報掲載・小
	KTN	GOPAN(深瀬研究員出演(生放送))
7月13日(土)	日本経済新聞	広告(全5段・モノクロ)
7月16日(火)	KTN	KTNスーパーニュース(来場者1万人セレモニー)
7月17日(水)	西日本新聞	来場者1万人セレモニー
	朝日新聞	来場者1万人セレモニー(写真あり・カラー)
7月19日(金)	msn産経ニュース	未公開作品発表
	朝日新聞	未公開作品発表(写真あり・カラー)
		小枠広告
7月20日(土)	西日本新聞	情報掲載(小)
	日本経済新聞	未公開作品発表(写真あり・モノクロ)
7月20日(土)	産経新聞(九州総局)	未公開作品発表(写真あり・モノクロ)

○その他の情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
5月27日(月)	出光クレジット(株)	MOCO6月号(出光カード会員誌)
5月30日(木)	朝日新聞	情報掲載
6月1日(土)	(公)日本修学旅行協会	教育旅行 6月号
6月2日(日)	長崎新聞	情報掲載
6月6日(木)	朝日新聞	情報掲載
6月8日(水)	長崎新聞	情報掲載
6月17日(月)	JTBバブリッシング	るるぶ長崎14
6月20日(木)	朝日新聞	情報掲載・小
6月21日(金)	長崎新聞	情報掲載・小
6月21日(金)	西日本新聞	情報掲載・小
6月26日(水)	長崎新聞	情報掲載
6月27日(木)	長崎県広報課	県民だより 7月号
6月28日(金)	長崎市こどもみらい課	子ども体験情報誌「スマイル」
6月30日(日)	長崎新聞	ととって
7月1日(月)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
	朝日新聞	取材記事(写真あり・カラー)

7月5日(金)	テレビ佐世保	情報掲載
7月17日(水)	長崎新聞	情報掲載
7月19日(金)	長崎新聞	情報掲載
7月23日(火)	長崎新聞	石だたみ
7月24日(水)	長崎新聞	情報掲載
7月25日(木)	ジバング倶楽部事務局	ジバング倶楽部 8月号
7月27日(土)	face 企画	すごろく 8月号
7月28日(日)	西日本新聞	パッション 8月号

○恐竜展 2013

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
6月14日(金)	西日本新聞	情報掲載
6月25日(火)	ボムウエルシー (株)	ワイヤーママ長崎版 夏号
6月28日(金)	長崎市こどもみらい課	子ども体験情報誌「スマイル」
7月1日(月)	Yahoo! ロコ (地域情報)	http://search.yahoo.co.jp/search?_adv_prop=web&x=op&ei=UTF-8&fr=op&submit=%E6%A4%9C%E7%B4%A2&va=%E6%81%90%E7%AB%9C%E5%B1%952013+2013%E5%B9%B408%E6%9C%8810%E6%97%A5+2013%E5%B9%B410%E6%9C%8814%E6%97%A5&va_vt=any&vp=&vp_vt=any&vo=&vo_vt=any&ve=&ve_vt=any&vd=all&vst=&vs=loco.yahoo.co.jp/event&vf=all&vc=&fl=0
	朝日新聞デジタル	http://www.asahi.com/area/event/detail/10105648.html
	@nifty 旅行	http://travel.nifty.com/cs/event/detail/10105648/1.htm
	excite	http://season.excite.co.jp/event/sp-10105648/
	IGLOBE 旅行	http://travel.biglobe.ne.jp/family/event/042/10105648.html
	ぴあこどもと遊ぼう	http://www.pia-kids.jp/search/detail/event/10105648/
	パナソニック おでかけ旅ガイド	http://odekake-strada.panasonic.jp/search/detail.php?dest=event_10105648
	ゼンリン Actiz (アクティズ)	http://www.actiz.jp/mypage.html/?eid=10105648
	富士フィルム Fotonoma	http://fotonoma.jp/matsuri/event/10105648
	日本旅行	http://www.nta.co.jp/kokunai/special/eventinfo/10105648.htm
	ニコン すぽっとサーチ	http://spotsearch.nikon-image.com/EventDetail.do?eventId=10105648
	アパホテル	http://www.apahotel.com/event_bank/detail/10105648
	まちこみ ZAQ	http://town.zaq.ne.jp/event/api/eb10105648
	livedoor 地図情報	http://map.livedoor.com/event/search?q=%E6%81%90%E7%AB%9C%E5%B1%952013
Walkerplus (ウォーカープラス)	http://www.google.co.jp/search?hl=ja&lr=lang_ja&q=%22%E6%81%90%E7%AB%9C%E5%B1%952013%22+site:www.walkerplus.com	
ゆこゆこ	http://www.google.co.jp/search?hl=ja&lr=lang_ja&q=%22%E6%81%90%E7%AB%9C%E5%B1%952013%22+site:yoyaku.yukoyuko.net	
EventCal (イベントカル)	http://event.rhythm-cal.jp/event/list?free_word=%E6%81%90%E7%AB%9C%E5%B1%952013	
7月4日(木)	KTN テレビ長崎	GOPAN (恐竜くん生出演)
7月5日(金)	西日本新聞	お知らせ本舗 (KTN バスツアー告知記事)
7月14日(日)	川口印刷	CUBEながさき 7月号
7月15日(月)	西日本新聞	西日本新聞・KTNの事業
7月16日(火)	KTN テレビ長崎	GOPAN (関研究員出演(生放送))
7月20日(土)	福岡ウォーカー	イベントページ
7月21日(日)	長崎新聞	とととて (恐竜展イベント「琥珀でキバ作り」)
7月23日(火)	KTN テレビ長崎	GOPAN (関研究員出演(生放送))
7月24日(水)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 8月号
7月25日(木)	DOUBLE	vol.24
7月27日(土)	ながさきプレス	ながさきプレス 8月号
	西日本新聞	社告
7月28日(日)	西日本新聞	パッション 8月号 (恐竜展、夏祭り、食文化体験)
7月29日(月)	KTN テレビ長崎	GOPAN (関研究員出演(生放送))
7月31日(水)	エース出版長崎	E-scale (イーカレ) 創刊号
8月1日(木)	長崎県広報課	県民だより 8月号
8月1日(木)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 8月号
8月2日(金)	西日本新聞	恐竜展・トークショー紹介 (写真あり・モノクロ)
		情報掲載 (小)
8月4日(日)	長崎新聞	とととて (恐竜展紹介・チケットプレゼント)
	西日本新聞	広告 (全2段・モノクロ)
8月6日(火)	KTN テレビ長崎	GOPAN (恐竜くん博物館中継)
8月7日(水)	西日本新聞	スタン組立 (取材記事・写真あり・カラー)
8月8日(木)	西日本新聞	情報掲載 (写真あり・モノクロ)
8月8日(木)	朝日新聞	情報掲載 (小)
8月8日(木)	F M長崎	ラジオ CM (10月14日までOA)
8月9日(金)	テレビ佐世保	おでかけ情報

8月9日(金)	ライフ企画社	ライフさせば
8月10日(土)	西日本新聞	ラテ広告
8月11日(日)	毎日新聞	恐竜展紹介(カラー写真あり)
8月11日(日)	西日本新聞	恐竜展紹介(カラー写真あり)
8月12日(月)	FM長崎	Spicy voxx(恐竜展PR(関研究員生出演))
8月12日(月)	CJキューブ	http://www.cj3.jp/event/views/188771
	ミュージアムカフェ	http://www.museum-cafe.com/exhibition?event_id=30628
8月13日(火)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
8月14日(水)	長崎新聞	謝罪記事(料金表記ミス)
8月14日(水)	熊本日日新聞	美術館・博物館情報
8月14日(水)	西日本新聞	連載コラム(恐竜と人のものがたり1) 広告(全5段・モノクロ)
8月14日(水)	インターネットミュージアム	http://www.museum.or.jp/modules/im_event/?controller=event_dtl&input[id]=81130
8月15日(木)	西日本新聞	連載コラム(恐竜と人のものがたり2)
8月16日(金)	西日本新聞	連載コラム(恐竜と人のものがたり3) 情報掲載(小)
8月17日(土)	西日本新聞	恐竜展1万人セレモニー 連載コラム(恐竜と人のものがたり4)
8月18日(日)	KTNテレビ長崎	KTNスーパーニュース
	西日本新聞	連載コラム(恐竜と人のものがたり5)
8月19日(月)	KTNテレビ長崎	Gopan(生中継(関研究員))
	西日本新聞	西日本新聞・KTNの事業
8月20日(火)	長崎新聞	情報ストリート(恐竜折り紙紹介)
8月21日(水)	熊本日日新聞	情報掲載
	読売新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)
8月22日(木)	FM長崎	Lai Lai(恐竜展紹介(恐竜くん電話生出演)) ココヨカ(恐竜展紹介(関研究員出演))
	読売新聞	夕刊
	長崎新聞	琥珀でキバ作り
	西日本新聞(夕刊)	http://www.nishinippon.co.jp/feature/museum/article/34803
8月23日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
8月25日(日)	エフエム長崎	ガクバン(恐竜展紹介(関研究員出演))
	西日本新聞	パッション9月号(恐竜展、食文化、新内、くんち展)
8月27日(火)	FACE企画	すごろく9月号 vol.31
8月29日(木)	西日本新聞	折込広告(B4・優待券付き) 情報掲載(小) 恐竜展2万人(取材記事・写真あり・モノクロ)
	朝日新聞	情報掲載(小)
	アマナホールディングス	IMA vol.5
	長崎市広報広聴課	広報ながさき9月号(恐竜フェスタ、お月見コンサート、くんち展)
8月31日(土)	西広A.P. ぐらんざ編集部	ぐらんざ
9月4日(水)	NHK福岡	はっけんラジオ(恐竜展紹介(恐竜くん電話生出演))
9月6日(金)	西日本新聞	情報掲載(小) 恐竜展、恐竜くんガイドツアー
9月7日(土)	長崎新聞	情報掲載(小) 恐竜くんガイドツアー
9月8日(日)	長崎新聞	恐竜フェスタ
9月12日(木)	読売新聞	情報掲載(小)
	朝日新聞	情報掲載(小)
9月13日(金)	KTNテレビ長崎	Gopan(恐竜展紹介(恐竜くん生出演))
	西日本新聞	折込広告(B4) 第2弾 恐竜展告知・優待/懸賞付き
	西日本新聞	情報掲載(小)
9月17日(金)	西日本新聞	恐竜くん×ギース・尾関トークショー取材記事
9月20日(金)	西日本新聞	半5段(モノクロ) 情報掲載(小) 恐竜展3万人突破記事
9月24日(火)	西日本新聞	半5段(モノクロ)
9月27日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
9月29日(日)	西日本新聞	パッション10月号(恐竜くんガイドツアー、くんち手ぬぐい、食文化体験)
9月30日(月)	(株)エムシーエル	ベッソット VOL.6(取材記事)
10月1日(火)	長崎市広報広聴課	広報ながさき10月号
10月3日(木)	西日本新聞	あらかぶ
10月4日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)
10月10日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
10月12日(土)	西日本新聞	恐竜展4万人突破記事

○その他の情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
7月23日(火)	長崎新聞	石だたみ

7月24日(水)	長崎新聞	
7月25日(木)	ジパング倶楽部事務局	ジパング倶楽部 8月号
	DOUBLE	vol.24
7月27日(土)	face 企画	すごろく 8月号
8月1日(木)	長崎新聞	しおかぜ総文祭
8月2日(金)	西日本新聞	
8月3日(土)	NCC長崎文化放送	トコサタ
8月9日(金)	長崎新聞	
	KTN テレビ長崎	KTN スーパーニュース
8月12日(月)	KTN テレビ長崎	KTN スーパーニュース
8月13日(火)	KTN テレビ長崎	スーパーニュース
8月16日(金)	NBC 長崎放送	あっぶる 生中継
8月20日(火)	NIB 長崎国際テレビ	ニュース every.
8月21日(水)	朝日新聞	取材記事
8月23日(水)	長崎新聞	
8月25日(日)	長崎新聞	
8月26日(月)	長崎新聞	
8月31日(土)	NHK (西日本)	おはようサタデー
9月2日(月)	長崎新聞	名刺広告
9月4日(水)	朝日新聞	
	長崎ケーブルメディア	なんでんC a f e
9月6日(金)	NIB 長崎国際テレビ	ニュース every.
9月8日(日)	長崎新聞	とととて
9月8日(日)	長崎新聞	
9月12日(木)	長崎新聞	社告
9月13日(金)	読売新聞	情報掲載(小)
	KTN テレビ長崎	Gopan
9月17日(火)	長崎新聞	異人邸 よもやま話 -旧グラバー住宅築150年-上
	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎
	テレビ朝日	報道ステーション
9月18日(水)	NHK	ニュース
9月18日(水)	NIB 長崎国際テレビ	ニュース every.
9月18日(水)	長崎新聞	異人邸 よもやま話 -旧グラバー住宅築150年-中
9月18日(水)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎
9月19日(木)	毎日新聞	
	朝日新聞	
	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎
9月20日(金)	長崎新聞	異人邸 よもやま話 -旧グラバー住宅築150年-下
		情報掲載(写真あり・カラー)
		ぶんか短信
		取材記事(写真あり・カラー)
	西日本新聞	情報掲載(小)
9月23日(月祝)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
	西日本新聞	取材記事(写真あり・カラー)
	毎日新聞	
	NBC 長崎放送	報道センター NBC
9月26日(木)	NHK BS プレミアム	コズミックフロント
9月27日(金)	face 企画	すごろく 10月号
9月28日(土)	KTN テレビ長崎	とくもりG o p a n
9月30日(月)	エース出版社	Anai 長崎 vol.28 チケットプレゼント
		E-C a l e チケットプレゼント
10月1日(火)	エース出版長崎	アナイ 10~12月号
10月2日(水)	エフエム徳島	T-ジョイント
10月4日(金)	西日本新聞	
	NBC 長崎放送	あっぶる 生中継
10月11日(金)	長崎新聞社	情報掲載
10月16日(水)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
10月25日(金)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル

○対馬藩と朝鮮通信使

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
10月1日(火)	長崎県広報課	県民だより 10月号
	アクロス福岡	ACROS 11月号(対馬展 関連講座情報)
10月4日(金)	有限会社イズワークス	楽 ra-ku 広告出稿(1P・カラー)
10月10日(木)	西日本新聞社	釜山博物館との友好協定
	自治労長崎県職員連合労働組合	月刊 長崎消息 10月号(対馬展告知・仁位写真展)

10月11日(金)	Yahoo! ロコ (地域情報)	http://search.yahoo.co.jp/search?_adv_prop=web&x=op&ei=UTF-8&fr=op&submit=%E6%A4%9C%E7%B4%A2&va=%E5%AF%BE%E9%A6%AC%E8%97%A9%E3%81%A8%E6%9C%9D%E9%AE%AE%E9%80%9A%E4%BF%A1%E4%BD%BF+2013%E5%B9%B410%E6%9C%8826%E6%97%A5+2013%E5%B9%B412%E6%9C%8815%E6%97%A5&va_vt=any&vp=&vp_vt=any&vo=&vo_vt=any&ve=&ve_vt=any&vd=all&vst=&vs=loco.yahoo.co.jp/event&vf=all&vc=&ff=0
	朝日新聞デジタル	http://www.asahi.com/area/event/detail/10116133.html
	@nifty 旅行	http://travel.nifty.com/cs/event/detail/10116133/1.htm
	excite	http://season.excite.co.jp/event/sp-10116133/
	BIGLOBE 旅行	http://travel.biglobe.ne.jp/family/event/042/10116133.html
	ぴあこどもと遊ぼう	http://www.pia-kids.jp/search/detail/event/10116133/
	パナソニック おでかけ旅ガイド	http://odekake-strada.panasonic.jp/search/detail.php?dest=event_10116133
	富士フィルム Fotonoma	http://fotonoma.jp/matsuri/event/10116133
	日本旅行	http://www.nta.co.jp/kokunai/special/eventinfo/10116133.htm
	ニコン すぽっとサーチ	http://spotsearch.nikon-image.com/EventDetail.do?eventId=10116133
	アパホテル	http://www.apahotel.com/event_bank/detail/10116133
	まちこみ ZAQ	http://town.zaq.ne.jp/event/api/eb10116133
	表示灯 e-NAVITA	http://www.navita.co.jp/eb/10116133/
livedoor 地図情報	http://map.livedoor.com/event/search?q=%E5%AF%BE%E9%A6%AC%E8%97%A9%E3%81%A8%E6%9C%9D%E9%AE%AE%E9%80%9A%E4%BF%A1%E4%BD%BF	
Walkerplus (ウォーカープラス)	http://www.google.co.jp/search?hl=ja&lr=lang_ja&q=%E2%22%E5%AF%BE%E9%A6%AC%E8%97%A9%E3%81%A8%E6%9C%9D%E9%AE%AE%E9%80%9A%E4%BF%A1%E4%BD%BF%22+site:www.walkerplus.com	
ゆこゆこ	http://www.google.co.jp/search?hl=ja&lr=lang_ja&q=%E2%22%E5%AF%BE%E9%A6%AC%E8%97%A9%E3%81%A8%E6%9C%9D%E9%AE%AE%E9%80%9A%E4%BF%A1%E4%BD%BF%22+site:yoyaku.yukoyuko.net	
10月17日(木)	朝日新聞	ミュージカル公演情報
10月19日(土)	朝日新聞	社告
10月20日(日)	長崎新聞社	社告
10月22日(火)	日韓文化交流カレンダー	http://www.jkcf.or.jp/calendar/modules/piCall/index.php?cid=0&smode=Daily&action=View&event_id=0000025151&caldate=2013-10-26
10月22日(火)	長崎新聞社	事前取材記事 (写真あり・モノクロ)
10月23日(水)	熊本日日新聞	美術館・博物館情報
	朝日新聞社	広告 (半5段・モノクロ)
10月24日(木)	長崎新聞	情報掲載 (李藝告知 写真あり・モノクロ)
	読売新聞 (東京)	旅ページ (夕刊)
10月25日(金)	朝日新聞	情報掲載 (小)
	長崎新聞社	広告 (全5段・モノクロ)
	朝日新聞	広告 (半5段・モノクロ)
	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎 (週末ガイド)
10月26日(土)	NHK	見んと!長崎
	長崎新聞社	取材記事 (対馬展開会 写真あり・カラー)
		取材記事 (未公開写真 写真あり・カラー)
	毎日新聞社	取材記事 (対馬展開会)
	朝日新聞	取材記事 (対馬展開会 写真あり・モノクロ)
	朝日新聞	広告 (半5段・モノクロ)
10月27日(日)	西日本新聞社	取材記事 (対馬展開会 写真あり・カラー)
	FM長崎	サタデーチャットボックス (岡本研究員出演)
	Face企画	すごろく 11月号
	西日本新聞エリアニュース	パッション 11月号
10月28日(月)	朝日新聞	取材記事 (対馬展開会 写真あり・カラー)
	朝日新聞デジタル	取材動画 http://www.asahi.com/articles/SEB201310260062.html
10月29日(火)	朝日新聞	広告 (半5段・モノクロ)
	長崎新聞	取材記事 (国際シンポジウム 写真あり・カラー)
10月29日(火)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎 (対馬展特集①)
10月30日(火)	朝日新聞	広告 (半5段・モノクロ)
	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎 (対馬展特集②)
	NHK福岡放送	はっけんTV (対馬展告知 (岡本研究員出演))
10月31日(火)	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎 (対馬展特集③)
	朝日新聞	広告 (半5段・モノクロ)
	朝日新聞 (株)藤樹社	情報掲載 (小) 月刊「書道界」

11月1日(金)	長崎市広報広聴課 長崎新聞	広報ながさき11月号 取材記事(李藝トークショー 写真あり・モノクロ)
11月3日(日)	朝日新聞	広告(半5段・モノクロ)
11月6日(水)	FM長崎	スパイシーボックス(対馬展告知・岡本研究員出演)
	長崎新聞	取材記事(仁位講演会 写真あり・カラー)
	民団新聞	http://www.mindan.org/shinbun/news_bk_view.php?page=1&subpage=4987&corner=2
11月7日(木)	朝日新聞	広告(半5段・モノクロ)
11月8日(金)	朝日新聞	広告(半5段・モノクロ)
	長崎新聞	水や空(コラム)
11月9日(土)	ライフ佐世保	情報掲載
	長崎新聞	情報掲載(小)
11月12日(火)	西日本新聞	福岡版(アクロス福岡関連講演会告知)
	長崎新聞	宗家文書は語る(上)
11月13日(水)	長崎新聞	宗家文書は語る(中)
		広告(半5段・モノクロ)
11月14日(木)	朝日新聞	広告(半5段・モノクロ)
	長崎新聞	広告(半5段・モノクロ)
11月15日(金)	長崎新聞	宗家文書は語る(下)
		広告(全5段・モノクロ)
	東洋経済日報	寄稿記事(写真あり・モノクロ・岡本執筆)
11月16日(土)	毎日新聞	西部朝刊・土曜カルチャー
	長崎新聞	情報掲載(小)
11月17日(日)	朝日新聞	広告(半5段・モノクロ)
11月18日(月)	長崎新聞	広告(半5段・モノクロ)
11月19日(火)	朝日新聞	広告(半5段・モノクロ)
	朝日新聞	対馬展記事(写真あり・カラー)
11月20日(水)	長崎新聞	広告(半5段・モノクロ)
11月21日(木)	朝日新聞	さんさんネット
	長崎新聞	情報掲載(小)
	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎(対馬展1万人セレモニー)
11月22日(金)	長崎新聞	取材記事(対馬展1万人セレモニー 写真あり・カラー)
	朝日新聞	取材記事(対馬展1万人セレモニー写真あり・カラー)
11月23日(土)	NCC長崎文化放送	トコサタ(対馬展チケットプレゼント)
11月26日(火)	長崎新聞	広告(半5段・モノクロ)
11月28日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
	長崎新聞	広告(半5段・モノクロ)
11月30日(土)	朝日新聞	広告(半5段・モノクロ)
12月1日(日)	長崎ケーブルメディア	TVガイド12月号(対馬展・原の辻展広告、清朝陶磁展チケットプレゼント)
	ながさきプレス	ながさきプレス12月号
	アマナホールディングス	I MA vol.6
	長崎新聞	情報掲載(小)
12月5日(木)	読売新聞	情報掲載(小)
	長崎新聞	情報掲載(小)
		読者投稿欄(対馬展感想)
12月12日(木)	読売新聞	情報掲載(小)
12月13日(金)	テレビ佐世保	週末おでかけ情報
12月14日(土)	長崎新聞	情報掲載(小・写真あり・カラー)
12月15日(日)	朝日新聞	広告(半5段・モノクロ)
12月20日(金)	長崎新聞	読者投稿欄(対馬展感想)

○その他の情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
10月11日(金)	長崎新聞社	情報掲載
10月13日(日)	長崎新聞社	文化面
10月16日(水)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
10月24日(木)	講談社	路面電車の走る街 vol.5
10月25日(金)	ncc長崎文化放送	スーパーJチャンネル
	(株)エイエイビー東北支店	JR東日本びゅう「旅カタログ 季(とき)」11月号
10月29日(火)	長崎新聞	記事広告(写真あり・カラー)
11月4日(月)	長崎新聞社	取材記事(写真あり・カラー)
11月4日(月)	長崎新聞社	取材記事(写真あり・モノクロ)
11月5日(火)	朝日新聞	取材記事(写真あり・カラー)
11月21日(木)	読売新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)
11月23日(土)	長崎新聞	
11月24日(日)	西日本新聞エリアニュース	パッション

11月25日(月)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
11月27日(水)	face 企画	すごろく 12月号 (vo.34)
11月27日(水)	西日本新聞	取材記事(写真あり・モノクロ)
12月1日(日)	一支国博物館	一支博ニュース 16号
12月1日(日)	株式会社ハンナ	CHOPIN 12月号
12月12日(木)	長崎新聞	
12月12日(木)	NBC	報道センター NBC
12月13日(金)	長崎新聞	情報掲載(小)

○魅惑の清朝陶磁

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
10月1日(火)	エース出版長崎	アナイ 10～12月号(清朝陶磁展プレバブ)
11月1日(金)	日本陶磁協会	陶説 11月号
11月17日(日)	NHK	日曜美術館 アートシーン
11月30日(土)	読売新聞	社告
12月1日(日)	長崎ケーブルメディア	TVガイド 12月号(対馬展・原の辻展広告、清朝陶磁展チケットプレゼント)
12月1日(日)	アマナホールディングス	I MA vol.6
12月1日(日)	日本陶磁協会	陶説 12月号
12月8日(日)	財団法人長崎YMCA	クリスマスカードコンテスト プログラム
12月14日(土)	ライフ佐世保	12月号
12月15日(日)	長崎新聞 NHK・NHK ラジオ	とととて 清朝陶磁告知
12月16日(月)	西日本新聞	情報掲載(小) http://www.nishinippon.co.jp/feature/museum/article/58457
12月17日(火)	ミュージアムカフェ	http://www.museum-cafe.com/exhibition?event_id=31869
	インターネットミュージアム	http://www.museum.or.jp/modules/im_event/?controller=event_dtl&input[id]=81816
12月17日(火)	Yahoo! ロコ(地域情報)	http://search.yahoo.co.jp/search?_adv_prop=web&x=op&ei=UTF-8&fr=op&submit=%E6%A4%9C%E7%B4%A2&va=%E9%AD%85%E6%83%91%E3%81%AE%E6%B8%85%E6%9C%9D%E9%99%B6%E7%A3%81+2013%E5%B9%B412%E6%9C%8828%E6%97%A5+2014%E5%B9%B403%E6%9C%8803%E6%97%A5&va_vt=any&vp=&vp_vt=any&vo=&vo_vt=any&ve=&ve_vt=any&vds=all&vst=&vs=loco.yahoo.co.jp/event&vf=all&vc=&fl=0
	朝日新聞デジタル	http://www.asahi.com/area/event/detail/10122117.html
	@nifty 旅行	http://travel.nifty.com/cs/event/detail/10122117/1.htm
	excite	http://season.excite.co.jp/event/sp-10122117/
	BIGLOBE 旅行	http://travel.biglobe.ne.jp/family/event/042/10122117.html
	ぴあこどもと遊ぼう	http://www.pia-kids.jp/search/detail/event/10122117/
	パナソニック おでかけ旅ガイド	http://odekake-strada.panasonic.jp/search/detail.php?dest=event_10122117
	富士フィルム Fotonoma	http://fotonoma.jp/matsuri/event/10122117
	日本旅行	http://www.nta.co.jp/kokunai/special/eventinfo/10122117.htm
	ニコン すぽっとサーチ	http://spotsearch.nikon-image.com/EventDetail.do?eventId=10122117
	アパホテル	http://www.apahotel.com/event_bank/detail/10122117
	まちこみ ZAQ	http://town.zaq.ne.jp/event/api/eb10122117
	表示灯 e-NAVITA	http://www.navita.co.jp/eb/10122117/
	学研キッズネット	http://kids.gakken.co.jp/xmas/event/detail/index.php?id=10122117
livedoor 地図情報	http://map.livedoor.com/event/search?q=%E9%AD%85%E6%83%91%E3%81%AE%E6%B8%85%E6%9C%9D%E9%99%B6%E7%A3%81	
Walkerplus(ウォーカープラス)	http://www.google.co.jp/search?hl=ja&lr=lang_ja&q=%22%E9%AD%85%E6%83%91%E3%81%AE%E6%B8%85%E6%9C%9D%E9%99%B6%E7%A3%81%22+site:www.walkerplus.com	
ゆこゆこ	http://www.google.co.jp/search?hl=ja&lr=lang_ja&q=%22%E9%AD%85%E6%83%91%E3%81%AE%E6%B8%85%E6%9C%9D%E9%99%B6%E7%A3%81%22+site:yoyaku.yukoyuko.net	
12月20日(金)	長崎市広報広聴課 長崎県広報課	広報ながさき 1月号 県民だより 1月号(写真あり・カラー)
12月23日(月)～	NBC ラジオ	県庁タイムス
12月24日(火)	読売新聞	社告
12月25日(水)	読売新聞	取材記事(展示準備・写真あり) http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/nagasaki/news/20131224-OYT8T01571.htm
	熊本日日新聞	美術館情報
12月26日(木)	長崎新聞	県広報枠
	西日本新聞	県広報枠
	中国新聞(広島)	
12月27日(金)	読売新聞 Face 企画	取材記事(開会式 写真あり・カラー) すごろく 1月号 vol.35

12月28日(土)	長崎新聞	情報掲載(小・写真あり・カラー)
12月28日(土)～	NBC	トク3 (http://www2.nbc-nagasaki.co.jp/toku3/detail/?kbn=3&id=106393)
12月29日(日)	読売新聞	取材記事(写真あり・カラー)
1月1日(水)	長崎ケーブルメディア ながさきプレス	TVガイド 1月号(清朝陶磁広告・チケットプレゼント) ながさきプレス 1月号
1月4日(土)	NHK	ニュース
1月5日(日)	産経ニュース	http://sankei.jp.msn.com/region/news/140105/ngs14010502300000-n1.htm
1月9日(木)	朝日新聞	情報掲載(小) 関連イベントおはなし会
1月9日(木)	西日本新聞	情報掲載(小)
1月11日(土)	エフエム長崎	サタデーチャットボックス(植松研究員出演)
1月14日(火)	NIB	ニュース
1月15日(水)	エフエム長崎	スパイシーボックス(植松研究員出演)
1月16日(木)	読売新聞 朝日新聞	清朝陶磁 講演会告知 情報掲載(小)
1月17日(金)	長崎新聞	ぶんか短信
1月18日(土)	毎日新聞	情報掲載(写真あり・カラー)九州・山口版
1月19日(日)	エフエム長崎	タウンナビ
1月19日(日)	毎日新聞	
1月20日(月)	西日本新聞(夕刊)	http://www.nishinippon.co.jp/feature/museum/article/64453
1月22日(水)	長崎ケーブルメディア	なんでん Café
1月23日(木)	西日本新聞(夕刊) 朝日新聞	講演会告知 http://www.nishinippon.co.jp/nlp/event_symposium/article/65098 情報掲載(小)
1月25日(土)	新潮社	芸術新潮(清朝陶磁特集記事)
1月26日(日)	読売新聞	情報掲載(小)
1月27日(月)	ながさきプレス	ランタンプレス(清朝陶磁記事1P)
1月30日(木)	西日本新聞 朝日新聞	文化短信(写真あり・カラー) 情報掲載(小)
1月31日(金)	共同通信社 (株)西広AP NIB長崎国際テレビ	福岡行事ガイド ぐらんざ 2月号 NNNストレイトニュース、ニュース every
2月1日(土)	長崎ケーブルメディア	TVガイド 2月号(清朝陶磁広告・チケットプレゼント)
2月6日(木)	エフエム長崎 朝日新聞	Lai Lai 情報掲載(小)
2月8日(土)	読売新聞	クリックよみうり
2月13日(木)	長崎新聞 西日本新聞 朝日新聞	県広報枠 々 情報掲載(小)
2月10日の週(予定)	NBCラジオ	県庁タイムス
2月16日(日)	長崎新聞	芸術ウェブ(写真あり・カラー)
2月20日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
2月24日(月)	読売新聞	九州・山口
2月25日(火)	長崎新聞	情報掲載(小)
2月27日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
2月28日(金)	西日本新聞	情報掲載(小)

○その他の情報

掲載日・放送日	会社名	番組名・雑誌名
12月11日(水)	長崎新聞	地域総合
12月13日(木)	西日本新聞 長崎新聞 長崎新聞	
12月15日(日)～	NBC	トク3 (http://www2.nbc-nagasaki.co.jp/toku3/detail/?kbn=3&id=104088)
12月20日(金)	長崎新聞	読者投稿欄
12月29日(日)	長崎新聞	とととて
12月31日(火)	朝日新聞	
1月2日(木)	NHK	ニュース
1月3日(金)	毎日新聞 朝日新聞 読売新聞	取材記事(写真あり・モノクロ) 取材記事(写真あり・カラー) 取材記事(写真あり・モノクロ)
1月4日(土)	長崎新聞	取材記事(写真あり)
1月6日(月)	KTNテレビ長崎	ニュース
1月9日(木)	朝日新聞	イベント
1月10日(金)	毎日新聞	
1月12日(日)	長崎新聞	取材記事(写真あり)

1月16日(木)	毎日新聞	情報掲載(小)
1月18日(土)～	NBC	トク3
1月19日(日)	長崎新聞	紹介記事
1月23日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
1月26日(日)	西日本新聞	パッション 2月号
1月27日(月)	長崎市広報広聴課	広報ながさき 2月号
	長崎県広報課	県民だより 2月号(写真あり・カラー)
1月29日(水)	長崎経済新聞	http://nagasaki.keizai.biz/headline/714/
1月30日(木)	朝日新聞	情報掲載(小)
2月1日(土)	長崎新聞	
	NBCラジオ	長崎市政だより 10:25～
2月2日(日)	KTNテレビ長崎	週刊あじさい 11:45～
	NCC長崎文化放送	週刊あじさい 17:25～
	長崎新聞	とととて
2月3日(月)	FM長崎	長崎市政だより 9:05～
2月3日(月)	NBCラジオ	県庁タイムス
	長崎新聞社	
2月4日(火)	長崎新聞	取材記事(写真あり)
2月6日(木)	長崎新聞	県広報枠
	西日本新聞	県広報枠
2月7日(金)	長崎県日中親善協議会	http://nagasaki-nitchu.org/japanese/00news/index.html#26chinesefilms
	長崎新聞	
	西日本新聞	
	NCC長崎文化放送	スーパーJチャンネル長崎
2月8日(土)	朝日新聞	
2月9日(日)	長崎新聞	
2月13日(木)	西日本新聞	夫婦の肖像
2月16日(日)	長崎新聞	とととて
	NIB	ダイワハウススペシャル「海のサムライとベトナム姫」
2月23日(日)	西日本新聞	パッション 3月号
2月25日(火)	長崎市広報広聴課	広報ながさき3月号
2月27日(木)	朝日新聞	
	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
2月28日(月)	エース出版長崎	旅ムック 2014春号
	長崎ケーブルメディア	TVガイド 3月号
3月1日(土)	長崎さるく 2014春号	
	ミュージアムカフェ	http://www.museum-cafe.com/exhibition?event_id=32837
	アクロス福岡	アクロス福岡情報誌 4月号
	エスケイ・アイ・コーポレーション	月刊ならでわ! 3月号
3月4日(火)	NIB長崎国際テレビ	ニュース every
3月6日(木)	長崎新聞	取材記事(写真あり・カラー)
3月12日(水)	共同通信	
3月15日(土)	KKベストセラーズ	歴史人 4月号
3月16日(日)	長崎新聞	とととて
3月17日(月)	NCC	平成ながさき太鼓判
3月18日(火)	NIB	平成ながさき太鼓判
3月19日(水)	NBC	平成ながさき太鼓判
3月21日(金)～	アマナホールディングス	バナー広告(4月4日まで)
3月23日(日)	KTN	平成ながさき太鼓判
3月26日(水)	NCM長崎ケーブルメディア	なんでんカフェ「みつけたよ!かえる先生のいきもの交遊録～つぶらな瞳のサンショウウオの物語」
3月31日(月)	エース出版長崎	アナイ 4～6月号

〔営業目的〕

- ①修学旅行・一般団体・インバウンドツアーを中心とする誘致活動
- ②長崎市内で行われるイベントでの誘致活動（長崎帆船まつり・長崎ランタンフェスティバル等）
- ③大型クルーズ船の長崎オプションツアー営業
- ④定期観光バスの誘致活動
- ⑤修学旅行団体への聞き取り調査
- ⑥市内ホテル等への誘客活動
- ⑦企画展における協賛営業及び後援依頼

＜主な活動＞

- 4月17日（水）～19日（金）
九州地区（鹿児島・熊本・福岡）への旅行会社セールス
- 4月26日（金）～29日（日）
帆船まつりにてPRブース（チラシ配布による誘客活動）
- 5月27日（日）
福岡地区への旅行会社セールスおよび企画展「朝鮮通信使展」協力依頼
- 6月12日（水）～14日（金）
福岡地区への旅行会社セールスおよび企画展「朝鮮通信使展」協力依頼
- 6月27日（木）～28日（金）
福岡・佐賀地区への旅行会社セールスおよび企画展「朝鮮通信使展」協力依頼
- 7月8日（月）～11日（木）
東京地区への旅行会社セールス（長崎・佐賀・大分・熊本4県合同旅行商談会、インバウンドツアー関係ほか）
- 7月24日（水）～26日（金）
長崎県観光連盟 広島・福山・倉敷・香川・岡山私立中学校修学旅行誘致学校訪問
- 9月2日（月）
長崎県観光連盟東北地区旅行会社説明会（長崎）
- 9月5日（木）
長崎県観光連盟コンベンションセミナー（長崎県美術館にて）
- 9月18日（水）～19日（木）
福岡地区への旅行会社セールスおよび企画展「朝鮮通信使展」協力お礼
- 11月19日（火）
長崎県観光連盟主催26年度上期旅行情報説明会（長崎市内）
- 11月20日（水）
長崎県観光連盟主催26年度上期旅行情報説明会（長崎市内）
- 12月20日（金）
福岡・佐賀地区への旅行会社セールス
- 1月1日（水・祝）～3日（金）
諏訪神社初詣（チラシ配布）
- 1月30日（木）
波佐見・有田地区へのセールスおよび企画展「清朝陶磁展」協力および誘客依頼
- 2月2日（日）
ランタンフェスティバル中央公園会場での企画展PR
- 2月6日（木）
長崎観光連盟主催ランタンモニターツアー（長崎市内）
- 3月12日（水）～14日（金）
長崎国際観光コンベンション協会 九州地区教育旅行誘致セールス

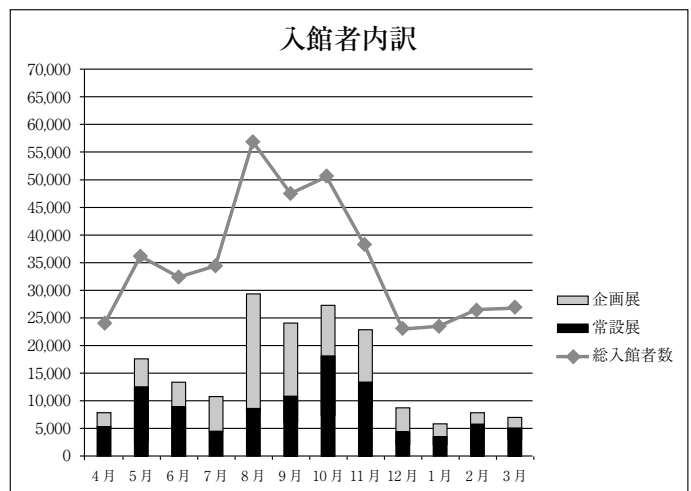
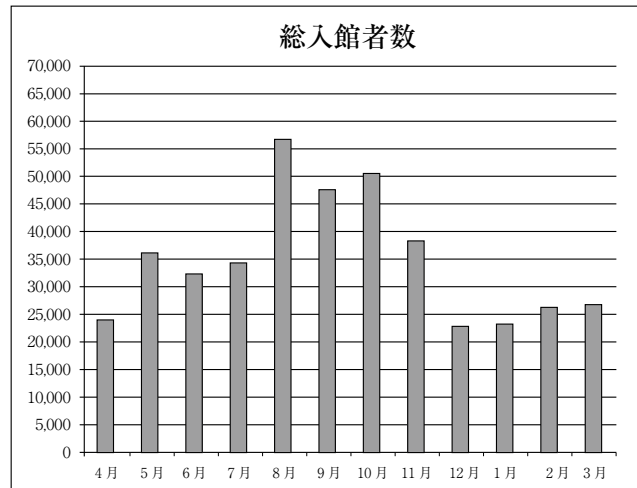
9

利用状況

1 来館者統計

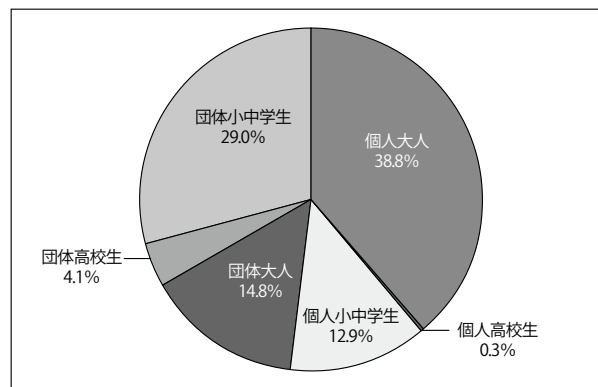
ア) 入館者数

	入館者数	常設展	企画展
4月	24,416	5,020	2,679
5月	36,019	12,402	5,144
6月	32,894	8,570	5,231
7月	34,667	4,825	5,966
8月	56,760	8,221	21,091
9月	47,032	10,796	13,205
10月	50,185	17,785	9,354
11月	38,217	13,526	9,474
12月	23,071	4,876	3,769
1月	23,772	3,249	2,250
2月	25,153	5,422	2,445
3月	27,078	5,020	2,359
合計	419,264	99,712	82,967



イ) 常設展入館者内訳

個人	大人	38,738	38.8%
	高校生	342	0.3%
	小中学生	12,837	12.9%
団体	大人	14,768	14.8%
	高校生	4,079	4.1%
	小中学生	28,948	29.0%



2 主な出来事と来館者

月日	内容
4月6日	企画展「和ガラスのきらめき」開幕（～5月26日）
4月6日	「市川森一上映展示会」開幕（～5月26日）
4月24日	市川森一脚本賞受賞記念祝賀会開催
5月15日	池辺晋一郎氏来館
5月16日	「孫文、日本とシンガポール展」開会式（シンガポール孫中山南洋記念館主催）出席
5月18日	「国際博物館の日」記念県民無料サービスデー
5月24日	在大阪イタリア総領事来館
6月8日	企画展「歌川国芳展」開幕（～7月24日）
6月9日	タイ王国文化省芸術局調査団来館
6月21日	在福岡韓国総領事来館
6月28日	スペイン大使・在日スペイン総領事来館
7月24日	新中日友好21世紀委員階委員・周明偉局長、陳健元駐日中国大使来館
7月31日	全国高校総合文化祭開幕（～8月4日）
7月31日	行啓 秋篠宮殿下・眞子内親王殿下 青柳正規・文化庁長官来館
8月10日	「恐竜展2013」開幕（～10月14日）
9月2日	ファン・フォレンホーヴェン駐日オランダ王国特命全権大使、ローデリック・ウォルス駐大阪・神戸オランダ王国総領事来館
9月22日	旧グラバー住宅築150周年記念シンポジウム
10月1日	石井高ヴァイオリン工房開設（～10月29日）
10月14日	ながさき音楽祭2013「池辺晋一郎トーク×コンサート」開催
10月16日	国重要文化財指定記念特集展示「海の王都・原の辻展」開催（～12月16日）
10月26日	重要文化財指定記念特別展「対馬藩と朝鮮通信使」開幕（～12月15日）
10月27日	国づくりシンポジウム「東アジアとの交流・連携の歴史としての朝鮮通信使」
11月2日	中国湖北省博物館（辛亥革命武昌起義記念館・辛亥革命博物館・中山艦博物館）職員研修受け入れ（～11月4日）
12月28日	企画展「魅惑の清朝陶磁」開幕（～3月3日）
1月16日	駐日スペイン大使、文化参事官来館
2月8日	長崎・中国映画週間開催（2月8、9、11日）
2月14日	脚本家・大島里美氏（第1回市川森一脚本賞受賞）来館
3月1日	福建博物院交流事業 特別講演会「清朝陶磁をめぐる日朝交渉」開催
3月20日	東日本大震災復興祈念 福島桜「絆千年桜」植樹
3月21日	企画展「伊藤若冲と京の美術」開幕（～5月11日）
3月25日	韓国釜山博物館との交流協定締結

3 貸館・貸室

平成25年度 貸し施設状況（有料）

	件数	人数
ホール	64	6,310
イベントの間	36	661
会議室	86	1,029
講座室	118	2,550
その他（イベント広場、企画展示室等）	5	5,093
合計	309	15,643

10 収 支

<負担金事業>

単位：円

		協定予算額 ①	実績額 ②	予算差異 ②-①
収入 合計		349,100,000	349,009,521	▲ 90,479
設置者負担金		348,550,000	348,237,571	▲ 312,429
利用者負担金収入		550,000	771,950	221,950
支出 合計		349,100,000	349,009,521	▲ 90,479
管理運営人件費		123,250,000	119,949,672	▲ 3,300,328
運営事業費	長崎学・生涯学習支援事業	17,310,000	15,382,120	▲ 1,927,880
	調査研究事業	14,545,000	12,869,371	▲ 1,675,629
光熱水費		73,000,000	82,349,000	9,349,000
維持管理費	施設設備保守点検業務	47,525,000	44,784,498	▲ 2,740,502
	清掃、警備、樹木管理、修繕業務	37,370,000	37,595,624	225,624
	受付案内業務	33,600,000	33,599,976	▲ 24
	発券機、車両リース	2,500,000	2,479,260	▲ 20,740
負担金事業 収支		0	0	0

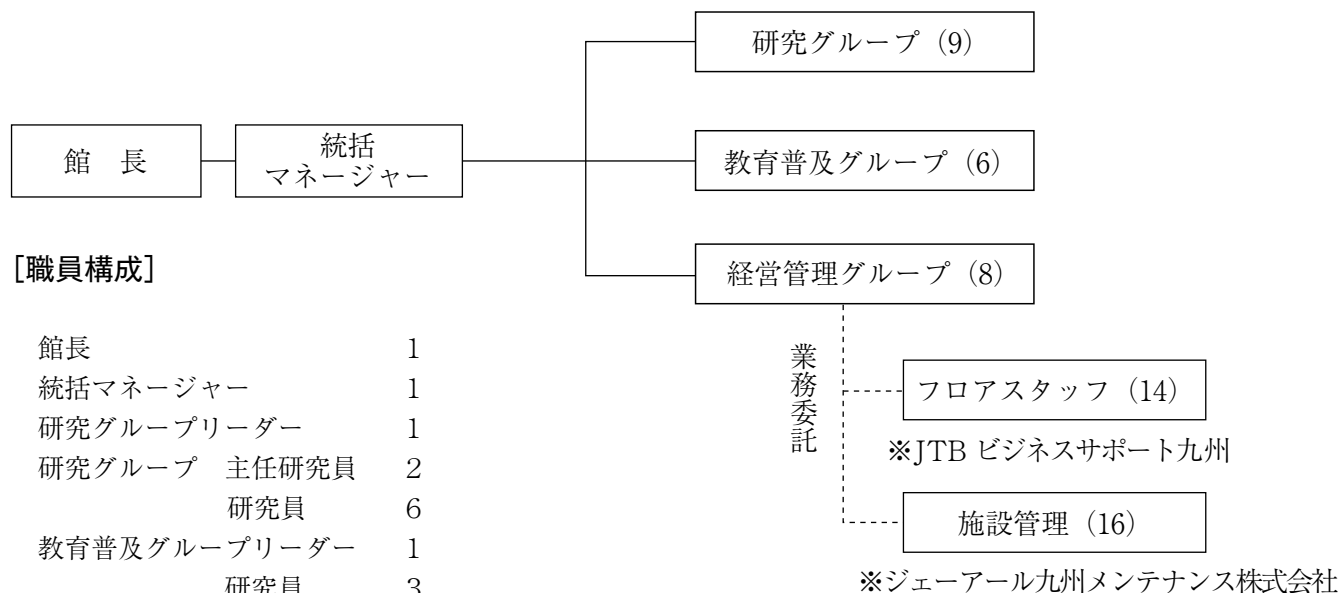
<利用料金及びその他自主事業>

単位：円

		予算額①	実績額②	予算差異 ②-①
収入 合計		200,183,950	173,172,676	▲ 27,011,274
観覧料	常設展・企画展収入	115,761,000	81,031,034	▲ 34,729,966
	協賛金等収入	1,500,000	7,098,193	5,598,193
その他利用料金	駐車場収入	10,200,000	9,763,400	▲ 436,600
	施設貸し出し収入	2,400,000	3,754,310	1,354,310
ミュージアムショップ収入		26,838,000	29,482,109	2,644,109
飲食施設収入		16,590,000	17,800,176	1,210,176
平成 25 年度データ整理事業		5,237,400	4,568,462	▲ 668,938
日韓交流架け橋事業		8,222,550	7,464,874	▲ 757,676
平成 25 年度中国湖北省武漢市 3 館交流事業		760,000	656,392	▲ 103,608
文化庁助成事業 福建博物院開催事業		6,156,000	5,309,609	▲ 846,391
文化庁助成事業 地域文化を活かした国際交流事業		6,519,000	6,244,117	▲ 274,883
支出 合計		196,865,950	176,092,366	▲ 20,773,584
展覧会事業費	常設展示事業費	2,529,000	2,392,091	▲ 136,909
	展覧会・企画展事業費	101,545,000	77,122,784	▲ 24,422,216
業務経費	広報・マーケティング費	7,000,000	4,461,980	▲ 2,538,020
	駐車場運営費	1,710,000	1,685,502	▲ 24,498
	その他利用料金事業	14,740,000	17,258,091	2,518,091
ミュージアムショップ営業支出		23,971,000	29,295,334	5,324,334
飲食施設営業支出		18,476,000	19,633,130	1,157,130
平成 25 年度データ整理事業		5,237,400	4,568,462	▲ 668,938
日韓交流架け橋事業		8,222,550	7,464,874	▲ 757,676
平成 25 年度中国湖北省武漢市 3 館交流事業		760,000	656,392	▲ 103,608
文化庁助成事業 福建博物院開催事業		6,156,000	5,309,609	▲ 846,391
文化庁助成事業 地域文化を活かした国際交流事業		6,519,000	6,244,117	▲ 274,883
利用料金及びその他自主事業 収支		3,318,000	▲ 2,919,690	▲ 6,237,690

組 織

1 職員



[職員構成]

館長	1
統括マネージャー	1
研究グループリーダー	1
研究グループ 主任研究員	2
研究員	6
教育普及グループリーダー	1
研究員	3
スタッフ	2
経営管理グループリーダー	1
チーフ	3
スタッフ	4
合計	25

館長	大堀 哲	客員研究員 水嶋 英治 (筑波大学大学院教授) (非常勤)	
統括マネージャー	野間 誠二	経営管理グループリーダー	山崎 竜太
研究グループリーダー	大石 一久	経営管理グループチーフ	松尾 純也
研究グループ主任研究員 (美術工芸)	越中 勇	経営管理グループチーフ	真崎 俊介
研究グループ主任研究員 (日本近世史)	深瀬公一郎	経営管理グループチーフ	池上 文雄
研究グループ研究員 (日本近世史)	岡本健一郎	経営管理グループ	木原 政樹
研究グループ研究員 (日本美術史)	植松 有希	経営管理グループ	有馬由紀子
研究グループ研究員 (日本近世史)	山内 勇輝	経営管理グループ	境 陽子
研究グループ研究員 (保存修復)	富川 敦子	経営管理グループ	石田 智美
研究グループ研究員 (保存修復)	久保 憲司		
研究グループ研究員 (資料管理)	関 裕典		
教育普及グループリーダー	竹内 有理		
教育普及グループ研究員	下田 幹子		
教育普及グループ研究員	小熊佐智子		
教育普及グループ研究員	古豊裕次朗		
教育普及グループ普及担当	前田 真希		
教育普及グループ普及担当	大石 美織		

2 友の会

○平成 25 年度

個人会員	189 人
賛助会員	11 団体

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
個人会員	276 人	367 人	287 人	148 人	140 人	189 人
賛助会員	23 団体	25 団体	7 団体	14 団体	22 団体	11 団体

賛助会員

(平成 25 年度)

アイティーアイ株式会社・ジェイアール九州メンテナンス株式会社・有限会社葵巧芸社・三菱電機ビルテクノサービス株式会社長崎支店・株式会社ジェイティービービジネスサポート九州・崎永海運株式会社・学校法人長崎学院長崎外国語大学・有限会社藤勝苑 ほか

本年度も友の会会員向けの企画展特別鑑賞会を実施し、会員特典の充実を図った。結果として企画展への動員にもつなげることができた。

4 月 25 日 (木) 16:30 ~ 17:30

「和ガラスのきらめき」 解説：植松有希

※同伴者 1 名まで無料

6 月 13 日 (木) 17:00 ~ 18:00

「歌川国芳展」 解説：深瀬公一郎

※同伴者 1 名まで無料

9 月 18 日 (水) 16:00 ~ 17:00

「恐竜展 2013」 解説：関裕典

11 月 6 日 (水) 17:00 ~ 18:00

「対馬藩と朝鮮通信使」 解説：岡本健一郎

※同伴者 1 名まで無料

1 月 15 日 (水) 16:30 ~ 17:30

「魅惑の清朝陶磁」 解説：植松有希

※同伴者 1 名まで無料

〈個人会員〉

○年会費 5,000 円

○有効期間 1 年間

○特典

1. 常設展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展等を無料でご観覧いただけます。

3. 「長崎れきぶんNEWS」を年 4 回お届けいたします。
4. 館内ミュージアムショップで 1 割引のお買いができます。
5. 館内レストランは 1 割引でご利用いただけます。
6. 音声ガイド (常設展) の利用金額が無料になります。
7. 佐賀宇宙科学館に 2 割引で入場できます。

〈賛助会員〉

○年会費 1 口 50,000 円

○有効期間 1 年間

○特典

1. 会員証のご提示により同伴 1 名まで常設展及び当館主催企画展を無料でご観覧いただけます。
2. 当館主催企画展チケット、1 口 50 枚をお渡しいたします。常設展チケット、1 口 30 枚をお渡しいたします。
3. 当館主催の企画展の開会式および特別展覧会に 1 名ご招待いたします。
4. 「長崎れきぶんNEWS」を年 4 回お届けいたします。
5. 館内ミュージアムショップで 1 割引のお買い物ができます。
6. 館内レストランは 1 割引でご利用いただけます。
7. 音声ガイド (常設展) の利用金額が無料になります。
8. 佐賀宇宙科学館に 2 割引で入場できます。
9. 館内貸室は 2 割引でご利用できます。
10. 1 階エントランスにて賛助会員名を掲示させていただきます。

12 施設概要

1 建築概要

館名	長崎歴史文化博物館 Nagasaki Museum of History and Culture
設置者	長崎県、長崎市
運営者	指定管理者（株）乃村工藝社（指定期間：平成22年4月1日～平成28年3月31日 6年間）
博物館報分類	相当施設
開館年月日	平成17年11月3日
所在地	〒850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1-1 Tel：095-818-8366 Fax：095-818-8407
建築構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、木造、3階建
建築設計	（株）黒川紀章建築都市設計事務所
建築施工	竹中・親和・古賀特定建設工事共同企業体
展示設計施工	（株）乃村工藝社
敷地面積	14,413㎡
建築面積	5,091㎡
延床面積	13,309㎡（駐車場2,581㎡を含む）
建築工事	平成15年7月19日～平成17年8月31日
展示工事	平成15年10月3日～平成17年8月31日
総事業費	約80億円（長崎県：長崎市＝2：1）県53億円・市27億円



施設面積

展示関係	常設展示室	1,273.3㎡	教育普及関係	資料閲覧室 / 長崎学相談コーナー	140.0㎡
	長崎奉行所展示室	380.6㎡		閉架書庫	114.2㎡
	長崎奉行所立山役所(木造部分)	494.6㎡		ホール	178.3㎡
	企画展示室	1,030.8㎡		講座室	66.2㎡
収蔵関係	収蔵庫1	491.0㎡	調査研究関係	ボランティア室	47.1㎡
	収蔵庫2	158.5㎡		学芸資料室・情報処理室	175.9㎡
	収蔵庫前室	88.4㎡		研究室・資料整理室	92.4㎡
	文書収蔵庫	312.9㎡		外来研究室	37.9㎡
	文書収蔵庫前室	26.0㎡			

設備概要

- 電気：高圧受電（6600V）トランスで低圧変換後各EPSに配電
- 給排水：上水 / 雨水処理2系統加圧直送給水方式、汚水排水 / 屋内外合流方式・公共下水道放流
- 消火：消火器とハロゲン化合物消火設備
- 空調設備：熱源 / ガス炊吸引冷水発生機
- 空調方式：エアハンドリングユニット 定風量単一ダクト方式、中央監視システム

13 関連法規

○長崎歴史文化博物館条例

平成16年10月15日
長崎県条例第56号

長崎歴史文化博物館条例をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例

(設置)

第1条 貴重な長崎の歴史及び文化に関する資料（以下「資料」という。）の観覧及び学習の機会を提供することを通じて、情報の交流と文化活動の活性化を図り、もって長崎の学術及び文化の発展並びに地域の振興に寄与するため、長崎県は長崎市と共同して長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）を長崎市に設置する。

(事業)

第2条 博物館は、前条の目的を達成するため、次の各号に掲げる事業を行うものとする。

- (1) 資料の収集、保管、修理、展示及び利用に関する事業
- (2) 資料に係る情報の提供に関する事業
- (3) 資料に係る調査及び研究に関する事業
- (4) 生涯学習に対応した講演会、講座等に関する事業
- (5) 広報、出版等の普及活動に関する事業
- (6) 学校との連携に関する事業
- (7) 他の博物館、美術館等との連携を図る事業
- (8) 前各号に掲げる事業の企画その他この条例の目的を達成するために必要な事業

(博物館の管理)

第3条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

(指定管理者の業務)

第4条 指定管理者は、次の各号に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 博物館の利用の許可に関する業務
- (2) 博物館の利用に係る利用料金に関する業務
- (3) 博物館施設、その附属設備等の維持及び修繕に関する業務
- (4) 第2条各号に掲げる事業に関する業務（同条第1号に掲げる事業にあつては、その決定に係る知事の権限に属するものを除く。）
- (5) 前各号に掲げるもののほか、この条例の目的を達成するために必要な業務

(指定管理者の指定の手続)

第5条 第3条の規定による指定を受けようとするものは、申請書に次の各号に掲げる書類を添えて、知事に対しその定める時期までに提出しなければならない。

- (1) 博物館の管理運営に関する事業計画書
- (2) 前号に掲げるもののほか、規則で定める書類

(指定管理者の指定の基準)

第6条 知事は、前条の規定による申請があつたときは、次の各号に掲げる基準により指定管理者の候補を選定し、議会の議決を経て指定管理者の指定をするものとする。

- (1) 事業計画書等の内容が、住民の公平な利用を確保できるものであること。
- (2) 事業計画書等の内容が、第4条各号に掲げる業務を行うことにより、博物館の効用を最大限に発揮させるとともに、その管理運営に係る経費の縮減を図ることができるものであること。
- (3) 指定を受けようとするものが有する物的能力及び人的能力が、事業計画書に沿った博物館の管理運営を安定して行うことができるものであること。
- (4) この条例の目的に照らして、長崎県との連携が十分に図られるものであること。
- (5) 県内に事務所を有する法人であること。

(開館日)

第7条 博物館は、指定管理者が定める月に1回の施設の保守点検等のための休館日を除き開館するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、臨時に休館日に開館し、又は休館日以外の日に休館することができる。

(開館時間)

第8条 博物館の開館時間は、規則で定める。

(利用の許可等)

第9条 博物館を利用しようとする者は、あらかじめ指定管理者の許可を受けなければならない。

2 指定管理者は、前項の許可を受けようとする者の利用が次の各号のいずれかに該当するときは、当該利用の許可をしてはならない。

- (1) 公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- (2) 集团的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるとき。
- (3) 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、博物館の管理運営上支障があると認められるとき。

3 指定管理者は、第1項の許可に、博物館の管理運営上必要な範囲内で条件を附することができる。

4 第1項の許可を受けた者(以下「利用者」という。)は、その権利を第三者に譲渡し、若しくは担保に供し、又は許可を受けた場所の全部若しくは一部を転貸してはならない。

(利用の許可の取消及び利用の中止)

第10条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用の許可を取り消し、又はその利用を中止させることができる。

- (1) その利用が前条第2項各号のいずれかに該当することが明らかになったとき。
- (2) 前条第3項の規定による条件に違反したとき。
- (3) 前条第4項の規定に違反したとき。
- (3) 虚偽その他不正な行為により前条第1項の許可を受けたとき。
- (5) 公益上やむを得ない事由が生じたとき。

(利用許可事項の変更)

第11条 利用者が第9条第1項の規定により許可を受けた事項を変更し、又は利用を中止しようとするときは、指定管理者の承認を受けなければならない。

(利用料金)

第12条 利用者は、その利用に係る利用料金を納めなければならない。

2 指定管理者は、この条例の定めるところにより、利用料金を定めるものとする。

3 指定管理者は、利用料金を定める場合は、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。これを変更しようとする場合も、同様とする。

4 知事は、前項の規定により承認の申請があった場合において、当該申請に係る利用料金が博物館と規模、形態等において類似の博物館の同種料金と比較して、均衡のとれたものであると認めるときは、承認をするものとする。

5 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(利用料金の減免)

第13条 指定管理者は、公益上その他特別の理由があると認めるときは、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の還付)

第14条 指定管理者は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用料金の全部又は一部を還付することができる。

- (1) 第10条第5号の規定に該当することを理由として、同条の規定により利用の許可を取り消され、又はその利用を中止されたとき。
- (2) 利用者の責めに帰することができない理由により、第11条の規定による利用の許可の変更又はその利用の中止に係る承認を受けたとき。

(原状回復)

第15条 利用者は、博物館の利用を終了したとき又は第10条各号のいずれかの規定に該当することにより利用

の許可を取り消され、若しくは利用を中止させられたときは、速やかに原状に回復しなければならない。

(損害賠償等)

第 16 条 資料、博物館施設、その附属設備等をき損し、又は滅失した者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。

(委任)

第 17 条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理運営に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して1年2月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。ただし、第2条から第6条までの規定及び第17条の規定は公布の日から、第9条から第14条までの規定は公布の日から起算して1年を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。

(平成17年規則第69号で附則本文に規定する規則は平成17年11月3日から施行)

(平成17年規則第69号でただし書に規定する規則は平成17年8月5日から施行)

○長崎歴史文化博物館条例施行規則

平成17年8月5日
長崎県規則第68号

長崎歴史博物館条例施行規則をここに公布する。

長崎歴史文化博物館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、長崎歴史文化博物館条例（平成16年長崎県条例第56号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(指定申請)

第2条 条例第5条に規定する申請書は、長崎歴史文化博物館指定管理者指定申請書（別紙様式第1号）によるものとする。

2 条例第5条第1号に規定する事業計画書は、長崎歴史文化博物館に係る次に掲げる事項を記載するものとする。

- (1) 長崎歴史文化博物館の管理運営方針に関する事項
- (2) 中期計画に関する事項
- (3) 事業項目及びその内容に関する事項
- (4) 収支計画に関する事項
- (5) 組織及び人員に関する事項
- (6) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める事項

3 条例第5条第2号に規定する規則で定める書類は、次のとおりとする。

- (1) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書
- (2) 役員の名簿及び履歴書
- (3) 団体の概要に関する書類
- (4) 前各号に掲げるもののほか、知事が必要と認める書類

(開館時間)

第3条 条例第8条に規定する博物館の開館時間は、午前8時30分から午後9時までとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、知事の承認を得て、これを変更することができる。

(その他)

第4条 この規則の施行に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。ただし、第3条の規定は平成17年11月3日から施行する。

別紙様式第1号

長崎歴史文化博物館の管理運営に関する基本協定書

長崎県（以下「甲」という。）と長崎歴史文化博物館条例（平成16年10月15日付長崎県条例第56号、以下「条例」という。）第3条の規定に基づき指定管理者として指定する株式会社乃村工藝社（以下「乙」という。）とは、長崎歴史文化博物館の管理にあたり、次のとおり基本協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、長崎歴史文化博物館において乙が行う指定管理者の業務（以下「指定管理業務」という。）の遂行にあたり、必要な基本的事項を定めることを目的とする。

（管理運営を行う施設等）

第2条 甲は乙に次の施設等（以下「施設等」という。）の管理運営業務を委任する。

- （1）名 称 長崎歴史文化博物館
- （2）所在地 長崎市立山1丁目1番1号
- （3）施設等 別添図面の範囲の土地（植栽を含む）、建物、付帯設備及び別に甲が提示する物品台帳登録の物品

（指定期間）

第3条 長崎歴史文化博物館の指定管理期間は、平成22年4月1日から平成28年3月31日までとする。

（事業年度）

第4条 指定管理期間は、各年4月1日から翌年3月31日までを一事業年度として区分する。

（使命）

第5条 長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、別紙1「長崎歴史文化博物館の使命」のとおりであり、指定管理者はこの使命の達成に努めなければならない。

（指定管理者の業務範囲）

第6条 条例第4条に基づく、長崎歴史文化博物館にかかる乙の指定管理業務の範囲は、別紙2「指定管理業務の範囲」のとおりとする。

（施設等の利用）

第7条 甲は、指定管理業務を遂行するために必要な施設等を、無償で乙に利用させるものとする。

（法令等の遵守）

第8条 乙は、指定管理業務の遂行にあたっては、次に掲げる法令等を遵守しなければならない。

- （1）地方自治法
- （2）長崎歴史文化博物館条例
- （3）長崎歴史文化博物館条例施行規則
- （4）労働基準法
- （5）その他、当該指定管理業務の遂行に関連する法令等及び長崎歴史文化博物館に関し議会の議決した事項

（基本的遵守事項）

第9条 乙は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- （1）指定管理業務の遂行にあたっては、善良なる管理者の注意義務をもってあたらなくてはならない。
- （2）公の施設として、住民の公平かつ平等な利用を確保しなければならない。

（事業計画）

第10条 乙は、甲との協議に基づき、事業年度ごとに事業計画を策定する。

2 事業計画の内容については、事業年度ごとに細目協定として締結するものとする。

- 3 乙は事業計画に沿って、指定管理業務を実施するものとする。
- 4 乙が事業計画を変更しようとするときは、事前に甲と協議するものとする。

(利用の許可に関する事項)

第 11 条 乙は、条例第 9 条及び第 10 条並びに第 11 条の規定に基づき、利用許可事務を行うものとする。

(開館日)

第 12 条 乙は、条例第 7 条第 2 項の規定に基づき、月に 1 回の施設の保守点検等のための休館日以外の日には休館する場合、又は臨時に休館日に開館する場合は知事への承認申請を行わなければならない。

(利用料金・利用料金の減免)

第 13 条 利用料金とは施設等の観覧料金及び使用料金を指し、乙が収受する。

- 2 乙は、条例第 12 条第 3 項の規定に基づき、利用料金について知事への承認申請を行わなければならない。
- 3 乙は、条例第 13 条の規定に基づき、利用料金を減額し、又は免除することができる。

(その他事業)

第 14 条 乙は条例第 2 条第 8 項の規定に基づき、ミュージアムショップや飲食施設をはじめとした条例の目的を達成するために必要なその他の事業（以下「その他自主事業」という。）を行うことができる。

- 2 前項の収入については乙が収受する。

(管理に要する経費の負担)

第 15 条 甲は、乙に対し、乙が行う指定管理業務の遂行に要する事業経費のうち、利用料金及びその他自主事業収入を適用しない経費（以下「負担金」という。）を負担する。

- 2 利用料金及びその他自主事業収入を適用する経費ならびに、負担金の内容区分については、別紙 3「事業経費区分表」のとおりとする。

(負担金の支弁方法等)

第 16 条 負担金は、事業年度ごとに支弁するものとし、その額及び支弁方法については、毎事業年度前に、事業計画の内容等を考慮し、甲乙協議のうえ、事業年度ごとに締結する細目協定により定める。

(リスク分担)

第 17 条 指定管理業務に関する甲と乙のリスク分担については、別紙 4「リスク分担表」のとおりとする。

- 2 前項に定める事項以外の不測のリスクが生じた場合は、甲乙協議のうえでリスク分担を決定する。

(個人情報の保護)

第 18 条 乙は、長崎県個人情報保護条例(平成 16 年 3 月 23 日付長崎県条例第 3 号)第 11 条第 4 項の規定に基づき、指定管理業務を行うため個人情報を取り扱う場合は、別紙 5「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

- 2 乙が、指定管理者業務の遂行にあたり、その一部を業務委託する場合においては、個人情報取扱特記事項第 7 の規定に基づき、予め甲の承認を得ること。

(業務報告)

第 19 条 乙は、毎日閉館後に次に掲げる事項を甲に報告するものとする。

- (1) 入館者数、前日の売上
- (2) 実施した事業の内容及び実績

- 2 前項のほか、主要な事業の実績について必要な都度、乙は甲に報告するものとする。

(事業報告)

第 20 条 乙は、毎事業年度終了後、指定期日までに管理業務に係る事業報告書を甲に提出し、その承認を得なけ

ればならない。

2 前項の事業報告に記載する事項及び提出指定期日は、次のとおりとする。

- (1) 指定管理業務の実施状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (2) 施設の利用状況：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (3) 利用料金及びその他自主事業の収入見込、支出の実績見込：毎事業年度終了後1ヶ月以内
- (4) 負担金の実績：毎事業年度終了後7日以内

(事業評価)

第21条 乙は、毎事業年度、事業分野の各項目毎に目標値を設定し、実績等をもとに自己評価を行い、毎事業年度終了後、2ヶ月以内に事業評価報告書を甲に提出しなければならない。

(事故の報告)

第22条 乙は、指定管理業務の遂行等において、事故が発生したときは、これを甲に速やかに報告しなければならない。

(損害賠償)

第23条 乙は、指定管理業務の遂行にあたり、乙の責めに帰すべき事由により、甲又は第三者に損害を与えた場合は、その損害を賠償しなければならない。

(権利の譲渡の禁止)

第24条 乙は、この協定により生ずる権利又は義務を第三者に譲渡し、若しくは継承させ、又は権利を担保に供することはできない。

2 乙は、その業務の全てを再委託することはできない。ただし、その業務の一部について、甲の承諾を得たうえで、業務委託を行うことができる。

(指定管理者への指示)

第25条 甲は、長崎歴史文化博物館の管理の適正を期するため、乙に対して指定管理業務及び経理の状況に関し報告を求め、実地について調査及び評価を行い、又は必要な指示をすることができる。

(指定管理者の指定の取消し)

第26条 地方自治法第244条の2第11項の規定に基づき、乙が、前条の指示に従わないとき、その他乙による管理を継続することが適当でないと認めるときは、その指定を取り消し、又は期間を定めて指定管理業務の全部又は一部の停止を命ずることができる。

2 乙は、前項の規定により、指定を取り消された場合には、第15条に定める指定管理者負担金を返還しなければならない。また、前項の規定により、期間を定めて管理業務の全部又は一部の停止を命じられた場合は、当該停止期間中の経費相当分について、これを甲へ返還しなければならない。

(指定期間終了に伴う原状回復)

第27条 乙は、指定期間の満了又は指定の取消しにより長崎歴史文化博物館の指定管理業務が終了したときは、速やかに原状に回復のうえ、甲に返還するものとする。

(情報公開について)

第28条 乙は、指定管理業務の遂行にあたって、作成し、又は取得した文書、図面及び電磁的記録（電子的方式）、磁気的方式その他の知覚によって認識することができない方式で作られた記録をいう。）であって、乙の役職員が組織的に用いるものとして、乙が保有しているものについて、乙が別に定める情報開示基準により、開示するものとする。

2 乙は、前項の情報開示基準を定めるにあたっては、甲と協議して定めるものとする。

(疑義の決定)

第 29 条 この協定に関して、疑義が生じたときは、甲乙協議して定めるものとする。

この協定の成立を証明するため、本書 2 通を作成し、甲乙が記名押印のうえ、各自 1 通を保有するものとする。

平成 22 年 3 月 25 日

甲 長崎市江戸町 2 番 13 号
長崎県
長崎県知事 中村 法道

乙 東京都港区台場 2 丁目 3 番 4 号
株式会社 乃村工藝社
代表取締役社長 渡辺 勝

長崎歴史文化博物館の使命

長崎歴史文化博物館は、長崎県長期総合計画・後期5カ年計画において「交流を拓げる魅力的なまちづくり」という重点目標を推進する拠点施設として位置づけられるとともに、長崎市第三次総合計画においては「人間性を育む個性豊かな国際平和文化都市」実現のための重要な施策として位置づけられている。この目標・施策を実現するために長崎歴史文化博物館は、歴史資料の保存・研究・展示という基本的な使命の遂行に加え、従来型の博物館像にとらわれず、地域に求められている重要な機能のひとつであるという認識のもと、中長期的なビジョンに沿って、長崎独自の歴史や文化を整理・編集し、地域の魅力として発信し、現在及び未来に生きる県民・市民ひとりひとりの豊かな暮らしの実現と地域の活性化に努めなければならない。

長崎歴史文化博物館に課せられた使命は、下記1～10のとおりである。

使命1. 多くの人に鑑賞・学習・体験の機会を提供する

海外交流史を中心とする常設展示室においては、館が所蔵するコレクションや他館等から借用している資料を活用し、初めての来館者からヘビーユーザーまで、誰がいつ来ても本県独自の歴史・文化に親しみ楽しく学べるよう充実した展示を行う。企画展示室においては、県民ニーズに沿った展覧会と、専門的かつ質の高い展覧会をバランスよく開催すること。レファレンスサービスにおいても、館の資料や情報等の的確かつ円滑な提供に努めること。また、展示室以外の施設やスペースにおいても、長崎の歴史・文化の魅力に触れることのできる活用策を積極的に講じる。

さらに来館がかなわない県民・市民のために、遠隔授業や移動博物館など様々な手法を講じ、一人でも多くの方に長崎の歴史・文化の魅力を再認識する機会を提供する。

使命2. 所蔵資料の保存・管理を適切に行う

県民・市民の財産である貴重な歴史資料を適切に保管、管理、修復するとともに、長崎の歴史のデータバンクとして、それらの情報を必要としている利用者の要望に対して十分にかつ円滑に対応できる体制を整え、資料の価値を最大限に発揮させる。

使命3. 長崎学の研究を推進し、その成果を具体的に地域に還元する

長崎歴史文化博物館と県、市が連携を図り、さらに館外の研究者との相互協力関係のもと充実した研究体制を構築し、長崎に関する歴史・文化の調査、研究を多角的に行う。さらに、その研究成果を様々な形で県民・市民、地域に還元するとともに、地域活性化の様々な取り組みの素材として各方面の活用に供する。特に、県内各地の歴史・文化を紹介する地域展の開催を通じて、地域間交流による活性化を積極的に促進する。

長崎歴史文化博物館の施設、環境を最大限に活用し、歴史・文化の研究、体験等を通じて県民ひとりひとりが自己実現を図り、豊かな人生を築くための生涯学習の場を提供する。

使命4. 博物館に親しみ、ふるさとに誇りを持つ子どもたちを育てる

長崎歴史文化博物館の施設の活用や貴重な歴史資料の様々な展示により、長崎の歴史の重要さや魅力子ども達に理解してもらい、長崎に生まれたこと、暮らすことを誇りに思い、長崎への愛着を醸成する取り組みを進める。長崎歴史文化博物館ならではの楽しいユニークな体験を提供する。特に、子どもたちには博物館に行くという習慣を身につけてもらい、成長し大人になったら子どもを連れて博物館に足繁く通う、という好循環を創り出す。また、長崎に暮らす人々にとって、ふるさとを訪れた大切なお客様を招待し長崎の歴史を紹介する場所として愛される施設となるよう努める。

使命5. 交流人口の拡大に寄与する

県、市の活性化の重要なキーワードのひとつに「交流人口の拡大」がある。

長崎独自の歴史の魅力を活かして広く情報発信を行い、長崎を訪れる人々を増やし、長崎の新しい観光地として地域の活性化に寄与する。

使命6. 地域活性化、まちづくりの拠点として活動する

長崎の歴史が持つ魅力を最大限に活用し、さまざまな知識・情報・資料を集積し、創造性を発揮して編集し長崎発の新しい文化を創りだす。このような博物館活動を通じて、コミュニティの維持・再構築を図るとともに、産業化、商品化を視野に入れた歴史・文化のコンテンツ化に積極的に取り組む。

また、長崎の様々な祭りやイベントと連携し、長崎歴史文化博物館はじめ他の文化・観光施設との相乗効果を生み出しながら地域の活性化の拠点として積極的に活動する。

さらに、大学や企業、民間団体と連携し、歴史・文化を活用した地域の活性化や様々な課題への対応ができる体制整備と人材育成に取り組む。

使命7. 県の中核的博物館として県内の博物館や地域の指導・育成に努める

長崎県美術館と連携し、県内の博物館、美術館、資料館、さらに市町など、地域の歴史を活かした活性化に取り組む様々な組織体に対し、中核博物館として協力、指導を行い、県全体及び各地域の歴史による魅力づくり、情報発信などを通じた地域ブランドの向上を図る。

そのために

使命8. 新しい運営方針を示し、ビジネスモデルを構築する

緻密なマーケティングと総合的なマネジメントによる博物館運営を行い、効率的な経営と質の高い博物館活動という相反しがちな両面について、高い次元で両立させる。

マネジメントをも熟知した学芸・研究部門と、歴史・文化をも理解している管理部門の両者が、密接な連携を図り、高い相乗効果を発揮することが求められ、そのためには職員の育成も不可欠である。

また、館単独での収支バランスを適正に保つことはもとより、来館者による経済効果、商品開発、本県の地場産地との連携による産業振興など、歴史・文化を切り口とした経済・産業振興上の役割も求められている。

使命9. 建築理念を管理運営に活かす

由緒ある諏訪の森地区に復元された長崎奉行所立山役所の重厚で落ち着いたたたずまいなど、立地条件、設計・デザインの優位性を最大限に活かしたイベントや仕掛けを工夫し、長崎歴史文化博物館そのものを愛するファンを生み出す。

さらにその中から一部の人々にはボランティア活動を通して一人ひとりの生き甲斐を長崎歴史文化博物館に見いだして頂くなど、運営面においても開かれた博物館を具現化する。

使命10. 周辺と一体となった運営を行う

県民・市民の憩いの場である諏訪の森地区など周辺の歴史的地区、さらに近隣の企業・ホテル、地元商店街・自治会、各種団体、大学・学校などと連携し、人が行き交い、楽しさに満ち溢れたまちのにぎわいを創り出す。

指定管理業務の範囲

長崎歴史文化博物館にかかる指定管理業務の範囲は下記(1)～(13)のとおりとする。

記

(1) 管理運営業務基準への対応

①開館日

開館日は、長崎歴史文化博物館条例第7条の規定に基づき、原則として次に掲げる日を除き、開館するものである。

・指定管理者が定める月1回の施設保守点検等のための休館日

②開館時間

午前8時30分から午後7時までの10時間30分

(レストラン銀嶺は午前10時30分から午後9時まで)

③公平性の確保

長崎歴史文化博物館の管理運営にあたっては、住民の公平な利用について確保する。

④禁止行為

公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるもの。

集団的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になると認められるもの。

収蔵資料、歴史文庫施設及びその附属設備等をき損し、又は汚損するおそれがあると認められるもの。

⑤人権への配慮

展示や教育普及事業、情報発信、その他全ての博物館活動において、人権の保護に最大限の配慮を行うこと。

⑥管理運営を通じて取得した個人に関する情報の取扱い

指定管理者は、長崎県個人情報保護条例第11条の規定に基づき、別途締結する協定書において、「受託者が講ずべき安全確保の措置」として県が明示した措置を実施するものである。また、個人情報取扱事務に従事している者又は従事していた者は、当該事務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならない(退職後もその対象となるものである)。違反した場合は、同条例の罰則規定の適用がある。

⑦情報公開

長崎県情報公開条例第31条の2の規定に基づき、指定管理者が保有する情報のうち、長崎歴史文化博物館の管理に係るものの公開に積極的に努める必要がある。

⑧環境マネジメントシステムへの取組

管理運営にあたっては、県が推進している環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた環境保全の活動に積極的に取り組む必要がある。

⑨危機管理体制の構築

不特定多数の人が集まる公の施設として、災害、有事、伝染病等の緊急時には県、市、警察、消防など関係者との協議のうえ、適切な対応をとらなければならない。そのためには事前に県と協議し、危機管理体制の整備、職員への講習等を行うものとする。

⑩県及び市との緊密な連携

管理運営にあたって県及び市との緊密な連携のため、以下の業務を行う必要がある。

- ・日報による入館者数及び売上報告
- ・定例会(業務進捗報告、施設管理報告等)
- ・緊急時、非常時の対応マニュアル作成及び連絡体制の確立
- ・事業報告(年度末、約半年毎、重要事項については随時)

(2) 収蔵資料の収集・保管・修復・利用及び展示に関する業務

①収蔵資料の収集に関する調査

収蔵資料を基に、より特色のある質の高いコレクションの形成を行うため、以下の収集方針に基づき、収集の

ための調査及び県への支援を行う。資料1-1「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱」、資料1-2「長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱」を参照すること。なお、長崎歴史文化博物館として収集した資料の所有権は県又は長崎市に帰属する。

- ・海外交流史に関する資料
- ・近世長崎の美術資料、工芸資料
- ・長崎奉行所に関する資料
- ・長崎文化に関する資料

②収蔵資料の保管業務と修復業務

ア) 管理状況の確認

資料の材質や性質に適した保存環境を維持するため、収蔵庫や展示室等の日常的な空調管理及び湿度管理を実施するとともに、損傷、カビや害虫など危険因子に対する適切な処置を行う。

イ) 修復

収蔵資料の安全な保存・展示のために、計画的に、修復・汚損除去・保護用ガラス装着等の適切な処置を行う。

ウ) 収蔵品及びデータベースの管理・更新

収蔵資料の情報を適正に管理、更新するとともに、収蔵資料については、年間1,000点以上の点検を行う。うち、重要物品である収蔵資料については毎年全数点検を行う。

③収蔵資料の利用（貸出）等

他館等への収蔵資料の貸出について、資料2「長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準」に基づき貸出しを行う。また、収蔵資料の撮影、画像の使用等についても同様の業務を行う。

なお、資料の貸出しにあたっては、原則として、所有者である県及び市との協議を行う。

④歴史・美術資料の展覧会業務

展覧会を行う際の主な業務内容

- ア) 展覧会の企画及び当該企画を実現するための調査業務
- イ) 展覧会の企画を実現するための他館の歴史・美術資料等の貸借に係る交渉業務
- ウ) 展覧会に係る歴史・美術資料運搬（立会、付添い）等の業務
- エ) 展覧会に係る広報等の集客業務
- オ) 展覧会に係る図録、報告書等の作成業務
- カ) 展覧会の歴史・美術資料監視・点検業務
- キ) 展覧会の歴史・美術資料説明業務

〈1〉常設展示

- 1) 館の特色や姿勢を表す博物館活動の柱と位置づけ、県民・市民の長崎の歴史と文化に対する関心を高め、観光客に対しても長崎の歴史と文化をアピールする。
 - ・通史展示（古代から現代までの長崎の歴史を一覧できる）
 - ・近世長崎の海外交流史を主題とした歴史文化展示
 - ・美術、工芸展示
 - ・長崎奉行所関連・情景展示
 - ・常設ミニ企画展（常設展を補完する地域展やテーマ展示など）
- 2) オランダのライデン国立民族学博物館から、毎年資料を借用し、常設展示室のライデンコーナーで展示する。
- 3) 東京国立博物館から、重要文化財「長崎ゆかりのキリシタン資料」を2年毎に借用し、奉行所展示室で展示する。

〈2〉企画展示

常設展示だけでは十分に紹介できない長崎の多彩な歴史・文化等について、様々な視点で企画する展覧会を開催する。

また、長崎学の研究拠点を目指す立場から、展覧会の開催を通して長崎学に関する情報を世界に発信し、集客範囲を国内のみならず、アジアはじめとする海外までを対象にした活動を行う

- ・独自の調査研究に基づく自主企画展
- ・県内の地域の歴史や文化を取り上げる展覧会
- ・他館や新聞社・放送局等との共同企画による展覧会

・国内外の博物館と連携して所蔵資料を相互利用し企画・巡回する展覧会等

(3) 長崎の歴史・文化に関する調査及び研究に関する業務

- ① 歴文博の収蔵資料に関する調査研究
- ② 資料の保存修復に関する調査研究
- ③ 展覧会企画に関する調査研究
- ④ 生涯学習支援に関する調査研究
- ⑤ 長崎の歴史・文化に関する調査研究

(4) 教育普及・生涯学習支援に関する業務

- ① 様々な世代や幅広い層のニーズに対応した、近世長崎の歴史文化や美術に関する研究の成果等に関する講演会や講座、各種イベント等を行い、施設を有効活用した生涯学習活動に取り組む。なお、参加者から受講料として、一部利用者負担を求められることができる。
- ② 修学旅行生、観光客等の来館者に対する体験学習、資料の解説等を行う。
- ③ 伝統工芸体験工房で、長崎の伝統工芸を伝え、来館者が体験できる工房を設置運営する。
- ④ 県民、市民の博物館参加を推進し、ボランティア制度の充実を図る。
- ⑤ 学校教育の一環として館を利用してもらうなど、学校との連携を積極的に行い、子供たちの利用促進を図る。
- ⑥ 離島等の遠隔地や様々な理由で文化的資産にふれる機会が少ない人々を対象として、遠隔授業や移動博物館を実施する。

(5) 長崎の歴史・文化情報の提供に関する業務

レファレンスルームやミュージアムネットワークシステムの適切な管理運営を図るとともに、情報提供サービスとして資料等に関する情報、収蔵図書に関する情報、県内の史跡等の情報、全国の博物館情報等の提供を行う。なお、「ながさきミュージアムネットワークシステム」のデータ更新や管理運営作業、収蔵資料のデジタルデータ化作業を適宜行う。

(6) 広報・マーケティング業務

年間総入館者数 42 万人以上を達成するため、効率的で効果的な広報・マーケティング業務を行う。

- ① 積極的にマーケティング活動を行う。
- ② 展覧会ごとに戦略的な広報活動及び集客活動を行う。
- ③ 会員事業を実施する。
- ④ 定期的なアンケートの実施及び県への報告を行う。
- ⑤ 館の利用促進を図るためのイベント等を開催する。

(7) 他の博物館・美術館、学校等との連携、支援に関する業務

- ① 県内の中核博物館としての取組（各種技術指導を含む）
- ② 県及び市の政策に基づく国内外の博物館等と多角的な連携による事業を推進
- ③ オランダのライデン国立民族学博物館等との交流・連携

(8) 博物館の利用許可及び利用料金に関する業務

- ① 利用料金の設定、変更に関する業務
利用料金の設定及び変更にあたっては、あらかじめ知事の承認を受けなければならない。
- ② 利用許可申請の受付、利用許可証の交付及び利用料金の徴収業務
ホール、講座室、イベントの間、会議室、イベント広場等の施設貸出について利用促進を図るとともに、住民の公平な利用を確保すること。
- ③ 観覧券の発券及び観覧料金の徴収業務

(9) ミュージアムショップ・レストランの運営に関する業務

- ① ミュージアムショップの管理運営

収蔵資料及び展覧会に関連した商品や長崎の歴史や文化にちなんだ商品の開発及び販売を行う。

② レストランの管理運営

来館者の休憩・飲食・会食の場として、料理や飲料等を提供するレストランを運営する。

(10) 博物館施設及び附属設備等の維持管理及び修繕に関する業務

- ① 指定管理者は、県との緊密な連携の下、善良な管理者の注意義務をもって施設及び附属設備等を適正に維持管理する。収蔵品を除く物品については、年1回全数点検を行う。なお、物品のうち収蔵品については、(2) ②ウ) による。
- ② 施設及び附属設備等の維持管理にあたっては、各種マニュアルに従って行う。
- ③ 施設及び附属設備等（物品を含む）の構造・造作を改変することはできないものである。ただし、あらかじめ県の承認を得た場合はこの限りではない。
- ④ 原則として、1件あたり20万円以下の少額修繕については、指定管理者の責任において行うものである。1件あたり20万円以上の修繕については、県と指定管理者が協議のうえ、責任分担を決定する。
- ⑤ 県及び市が館の管理運営に必要と認めた備品については、県及び市が整備するので、原則として設置者負担金での備品購入は認めない。
- ⑥ 長崎歴史文化博物館の災害保険契約については、県が（財）都道府県会館建物共済事業（地方自治法第263条の2の規定による都道府県有財産の損害に対する相互共済事業保険契約）に基づき措置する。施設賠償責任及び来館者傷害保険については、指定管理者が負担金事業として措置する。収蔵資料についての保険については措置しない。
- ⑦ 施設及び附属設備等に係る維持管理業務の詳細については、資料3の「博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様」のとおりである。

(11) 地域づくりと観光振興に資する業務

長崎歴史文化博物館は県内の博物館等の中核施設として、また、長崎市内を中心に長崎県内の歴史文化資源を紹介する中核施設として、長崎県内の様々な歴史文化施設、史跡、観光施設、祭り・イベント、自治会・団体等と連携しながら、新しい視点で地域の活性化に貢献することを目指した事業展開を推進し、交流人口の拡大による本県の活性化に寄与する。

さらに、大学や民間団体等と連携して、歴史・文化を活用した活性化や地域が抱える様々な課題に対する施策の推進と人材育成に取り組む。

(12) 評価システム・モニタリングシステムの構築、運用

県との協定に基づく博物館活動について、中期的視点から適正に評価し、さらなる県民サービスの向上、博物館活動の充実につなげるため、県と協議のうえ評価システムを構築、運用する。また、年間の業務の進捗管理と業務改善を行うため、業務のモニタリングシステムの構築と実効性のある運用を行う。

(13) その他設置目的や長崎歴史文化博物館の使命を達成するために必要となる業務

県及び市の文化振興及び地域振興に資する業務に取り組む。

以上

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館に収蔵する資料の収集に関する要綱（県資料分）

（目的）

第1条 この要綱は、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）に収蔵し、展示するために収集する資料（以下「資料」という。）について、必要な事項を定める。

（定義）

第2条 この要綱において、収集とは県が資料を購入、寄贈、又は寄託を受けることをいう。

（収集の基本方針）

第3条 資料の収集は、次の基本方針に基づいて行うものとする。

（1）長崎県美術館の基本方針

- 一 長崎ゆかりの美術や郷土作家の作品
- 二 須磨コレクションを起点とするスペイン美術
- 三 美術館にふさわしい優れた美術作品

（2）長崎歴史文化博物館の基本方針

- 一 海外交流史に関する資料
- 二 近世長崎の美術資料、工芸資料
- 三 長崎奉行所に関する資料
- 四 長崎文化に関する資料

（寄贈）

第4条 県へ資料を寄贈しようとする者は、寄贈申込書（様式第1号）を提出するものとする。

2 県は、寄贈の受納が決定したときは、申込者に対し、寄贈受領書（様式第2号）を通知するとともに、寄贈品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

（寄託）

第5条 県へ資料を寄託しようとする者は、寄託申込書（様式第3号）又は寄託承諾書（様式第4号）を提出するものとする。

2 県は、前項の規定による寄託を受けたときは、申込者に対し、寄託証書（様式第5号）を交付するとともに、寄託品台帳を備え、常に保有状況を明らかにしておくものとする。

（資料調査）

第6条 収集にあたっては、あらかじめ県及び美術館・博物館の学芸員等が資料調査を行い、県に調査報告を行うものとする。

（預かり）

第7条 前条による調査資料は、所有者の了解を得て、美術館・博物館において必要な期間、次の条件を付して預かることができる。

- 一 預かった資料は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館収蔵資料管理基準により、一時保管庫に保管する。
 - 二 美術館・博物館が預かり資料の模写、模造、撮影若しくは図書等に掲載する必要があるとき、又は美術館・博物館外に持ち出す必要がある場合は、事前に所有者の承諾を受けること。
 - 三 資料を預かるにあたっては、預かる期間、輸送等に要する経費（輸送費、保険料等）の負担及び資料の評価額を事前に所有者と協議すること。
- 2 資料を預かる場合は、資料預かり書（様式第6号）を所有者に交付し、資料預かり簿（様式第7号）に、資料名、

所有者、預かり期間、担当者等の必要事項を記載すること。

3 やむを得ず、預かり期間を延長する必要がある場合は、所有者と協議のうえ決定すること。

(資料収集委員会及び価格評価委員会)

第8条 資料の収集にあたって、県は資料収集委員会（以下「収集委員会」という。）を設置する。また、価格評価にあたっては価格評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置する。

2 収集委員会及び評価委員会に関する事項は別に定める。

(収集)

第9条 県は収集委員会及び評価委員会が提出する答申に基づいて収集の可否を判断する。

(資料の管理)

第10条 収集した資料は美術館・博物館に収蔵し、管理は美術館・博物館の指定管理者がそれぞれ行う。

長崎歴史文化博物館の資料取得等に関する要綱（市資料分）

（目的）

第1条 この要綱は、長崎市が長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という。）において取得、保管及び活用する資料について必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第2条 この要綱において、取得とは長崎市が購入、又は寄贈もしくは寄託を受けることをいう。

（取得する資料の範囲）

第3条 長崎市が博物館において保管活用するために取得する資料は次の各号のとおりとする。なお、資料の製作・伝来時期は、概ね長崎の開港から外国人居留地が廃止された時期とする。

- (1) 長崎における海外交流史に関する資料
- (2) 長崎奉行所に関する資料
- (3) 長崎の美術工芸資料
- (4) その他、市長が博物館の事業に必要と認めた資料

（事前調査）

第4条 市長は、資料を取得しようとするときは、事前に調査を行い、資料調書を作成しなければならない。

2 前項に規定する資料調書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

- (1) 名称（フリガナ）
- (2) 作家・著者
- (3) 生産地
- (4) 製作・伝来時期
- (5) コレクション・文庫等の名称
- (6) 員数（単位）
- (7) サイズ
- (8) 素材・技法
- (9) 形態・形状
- (10) 付属品
- (11) 箱・箱書き等
- (12) 署名・落款・印章・サイン・賛等
- (13) 文化財指定等の状況
- (14) 資料を取得することが望ましい理由
- (15) その他、市長が必要と認める事項

（資料の一時保管）

第5条 市長は、資料の事前調査及び取得に要する手続きを行う期間中、所有者の承諾を得て、取得しようとする資料を博物館に保管することができる。なお、必要な輸送費などの経費の負担については、市長と所有者で協議して定める。

2 前項の規定により資料を保管する場合は、市長は、所有者に預書（様式第1号）を発行しなければならない。

3 第1項の規定に基づき資料を保管する場合は、長崎市が所蔵する資料と同じ注意をもって保管するものとする。

（博物館資料取得委員会の設置）

第6条 資料の取得について、その適正を期するため、必要により長崎歴史文化博物館資料取得委員会（以下「取得委員会」という。）を置く。

(取得委員会の組織)

第7条 取得委員会は、資料の数量と内容に応じて委員2人以上20人以内をもって組織する。

- 2 取得委員会の委員(以下「委員」という。)は、次に掲げるすべての条件を満たす者のなかから市長が委嘱する。
 - (1) 資料に関する学識を有する者
 - (2) 人格高潔であり、公正な判断ができる者
 - (3) 収集する資料に対する利害関係のない者

(委員の任期)

第8条 委員の任期は、当該審議及び報告が終了するまでの間とする。

(取得委員会の所掌事務)

第9条 取得委員会は、市長の求めに応じ、取得しようとする資料の学術的価値および価格について審議し、資料取得の是非及び価格を報告する。

- 2 前項に定める報告を行う場合、取得委員会は、次に掲げる事項を記載した資料の評価調書を作成し、委員全員が署名及び捺印して市長に提出しなければならない。
 - (1) 名称(フリガナ)
 - (2) 作家・著者
 - (3) 生産地
 - (4) 製作・伝来時期
 - (5) コレクション・文庫等の名称
 - (6) 員数(単位)
 - (7) サイズ
 - (8) 素材・技法
 - (9) 形態・形状
 - (10) 付属品
 - (11) 箱・箱書き等
 - (12) 署名・落款・印章・サイン・賛等
 - (13) 文化財指定等の状況
 - (14) 評価金額
 - (15) その他、市長が必要と認める事項

(取得委員会の会長)

第10条 取得委員会に会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 会長は、会務を総理し、取得委員会を代表する。
- 3 会長に事故があるときは、会長があらかじめ指名する委員が、その職務を代理する。

(取得委員会の会議)

第11条 取得委員会の会議は、会長が招集し、その議長となる。

- 2 取得委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開くことができない。
- 3 取得委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(謝礼金)

第12条 委員が取得委員会に出席した場合には、市長は委員に対して長崎市会計規則(昭和39年長崎市規則第21号。以下「会計規則」という。)が定める方法により、謝礼金を支払う。

(守秘義務)

第13条 委員は、取得委員会において知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。ただし、資料の所有者及び市長の許可を得た場合は、この限りではない。

(台帳への登載)

第 14 条 市長は、寄贈を受け、又は購入した資料につき博物館収蔵資料管理データベースに登載するとともに会計規則に定める備品台帳に登載し、常に保有を明らかにしておかなければならない。

2 市長は、寄託された資料を適切に管理するため、前項に規定する備品台帳に準じた台帳を別途作成しなければならない。

(管理の委託)

第 15 条 市長は、資料を取得したときはその旨を長崎県に通知し、長崎歴史文化博物館条例（平成 16 年長崎市条例第 145 号）第 2 条の規定により、当該資料の管理を長崎県に委託する。

(県との協議)

第 16 条 長崎市と長崎県が共同で資料を取得しようとするときは、この要綱にかかわらず長崎市と長崎県が協議しておこなう。

(取得に関する事務)

第 17 条 この要綱に規定する資料の取得に関する一切の事務は、文化観光部文化財課が処理する。

(委任)

第 18 条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は市長が定める。

附則

この要綱は、平成 20 年 5 月 12 日から施行する。

〈資料2〉

長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料の管理等基準

(目的)

第1条 この基準は長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館資料取扱要綱に基づき、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館（以下「美術館・博物館」という。）において収蔵し、展示する資料（以下「資料」という。）の管理について、必要な事項を定める。

(管理者)

第2条 資料の管理は、美術館・博物館の指定管理者（以下「指定管理者」という。）が行う。

2 指定管理者は、善良なる管理者の注意をもって、資料を適正に保存管理し、取り扱わなければならない。

(管理基準)

第3条 資料の適正な保存管理及び取扱については、次の基準による。

- (1) 指定管理者は、資料を取り扱う職員及び保存担当の職員に必要な研修を行うこと。
- (2) 美術館に収蔵する資料は、収蔵庫1、収蔵庫2、収蔵庫3、展示室、一時保管庫、城栄町収蔵庫（以下「美術館収蔵庫等」という。）で保管すること。博物館に収蔵する資料は、第1収蔵庫、第2収蔵庫、文書収蔵庫、展示室、一時保管庫（以下「博物館収蔵庫等」という。）で保管すること。
- (3) 収蔵する資料は、その性質に応じて適正な温湿度に保つこと。
- (4) 指定管理者は、美術館・博物館収蔵庫等の温湿度のデータを前月分のデータを翌月5日までに県に報告すること。
- (5) 展示している資料については、毎日目視による点検を行い、それを記録すること。異常があるときは直ちに県に報告すること。
- (6) 展示替え、貸し出し、修理等により資料を移動する場合は、県学芸員等の指示または立会により点検を行い、それを記録すること。
- (7) 美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺は常時点検を行い清潔に保つこと。虫等が発見された場合は、直ちに必要な処置を行い、県に報告すること。
- (8) 預かり等により新たに美術館・博物館に持ち込んだ資料は、必ず観察室に入れて虫や菌の付着がないか調査すること。必要な場合はくん蒸等の処置を行ってから保管すること。
- (9) 鍵の管理、美術館・博物館収蔵庫等の入室者管理、夜間の警備は厳重に行うこと。
- (10) 美術館・博物館収蔵庫等及びその周辺に第三者が立ち入らないようにすること。開館時間中の展示室内には、警備員を配置して安全管理を図ること。

(指導助言)

第4条 県は、資料の管理状況を、随時点検するとともに、指定管理者に対して適切な指導助言を行う。

(資料の貸し出し)

第5条 指定管理者は、資料を借用しようとする者の主催する展覧会での出品を目的とし、その展覧会が公共性の高いものであると認められる場合、又は特に必要と認められる場合に限り、資料を貸し出すことができる。

2 貸し出しを許可するにあたって指定管理者は、あらかじめ県と協議しなければならない。

(貸し出しを許可する施設)

第6条 資料を貸し出すことのできるのは、次の条件を満たしている施設とする。

- (1) 保管、展示場所の温湿度の管理が適正に行われていること。
- (2) 資料の保管、展示に係る保安体制等が整っていること。
- (3) 貸し出しする資料の取り扱いを適正に行うことができる学芸員等が配置されていること。

(貸し出し条件)

第7条 資料の貸し出しにあたっては、次の条件を付するものとする。

- (1) 資料の取扱いについては、県及び美術館・博物館の学芸員の指示に従うこと。
 - (2) 資料の展示先の施設についてのファシリティレポートを提出すること。
 - (3) 寄託資料の貸し出しを受けようとする者は、自己の責任を持って、寄託者に承諾を得ること。
 - (4) 資料の展示にあたっては、「長崎県美術館蔵」又は「長崎歴史文化博物館蔵」など、美術館・博物館に収蔵している資料であることを明記すること。寄託資料の場合は、寄託者の意思に従うこと。
 - (5) 貸し出し先の負担により、適正な保険を付保すること。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(借用)

第8条 指定管理者は美術館・博物館での展示のために、他に所蔵する資料を借用することができる。但し、県において借用することが適当な場合は、県が借用の手続きを行う。

- 2 借用資料の管理については、第2条及び第3条に準じる。

(閲覧等)

第9条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料の閲覧及び特別閲覧（以下「閲覧等」という。）を許可することができる。

- (1) 閲覧等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
 - (2) 展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
 - (3) 公序良俗に反する用途に供するために閲覧等が行われると認められる場合
 - (4) その他、閲覧等を許可することが適当でないとして認められる場合
- 2 閲覧等を許可するにあたって指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(閲覧等許可条件)

第10条 閲覧等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1) 閲覧等は、原則として美術館・博物館内で、県及び美術館・博物館の学芸員等立会のもとで行うこと。
 - (2) 閲覧等にあたっては、県及び美術館・博物館学芸員等の指示に従うこと。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

(写真利用等)

第11条 指定管理者は、次にあげる場合を除いて、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用」等という）を許可することができる。

- (1) 写真利用等により、資料の保存に悪影響が生じることが認められる場合
 - (2) 展示室での展示等、美術館・博物館の運営に影響が生じるおそれがあると認められる場合
 - (3) 公序良俗に反する用途に供するために写真利用等が行われると認められる場合
 - (4) その他、写真利用等を許可することが適当でないとして認められる場合
- 2 写真利用等を許可するにあたって、指定管理者は、必要に応じて県と協議しなければならない。

(写真利用許可条件)

第12条 写真利用等を許可するにあたっては次の条件を付するものとする。

- (1) 事前に申請した目的以外に使用しないこと。
 - (2) 寄託資料については、事前に所有者の承諾を得ること。
 - (3) 掲載等の場合には、「長崎県美術館蔵」及び「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
 - (4) 提供した写真等は、使用後速やかに美術館・博物館に返却すること。
 - (5) 新たに資料を撮影した場合、撮影したフィルム又は画像データを一部納付すること。
 - (6) 掲載等の場合には、その掲載誌紙を2部以上、美術館・博物館に無償で納付すること。
 - (7) デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
 - (8) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、二次使用が不可能な措置をすること。
- 2 指定管理者が必要と認める場合は、別に条件を付することができる。

博物館施設及び附属設備等の維持管理に関する業務仕様

1 維持管理の対象

博物館の敷地内及び建物全体とする。

2 要求水準

建物の点検等は、原則として国土交通省大臣官房営繕部監修の「建築保全業務共通仕様書」の最新版に基づき実施するものであるが、以下の点にも留意する必要がある。

(1) 建築物一般に関する事項

- ア 屋根
 - ・漏水がない状態を保つこと。
 - ・瓦屋根の割れや浮き、ずれがないこと。
 - ・ルーフドレイン及び樋等が詰まっていないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
 - ・落ち葉、ごみ、砂等が集積していないこと。
- イ 外壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・金属部分の錆や腐食がないこと。
- ウ 建具
 - ・可動部分が円滑に動くこと。
 - ・設計図書に定められた水密性、気密性、耐風圧性が保たれていること。
 - ・ガラスの破損、ひび割れがないこと。
 - ・自動扉は正常に作動すること。
 - ・開閉、施錠装置が正常に作動すること。
 - ・金属部分の錆、腐食がないこと。
- エ 天井、内壁
 - ・仕上げ材の汚損、浮き、剥落、ひび割れ等がないこと。
 - ・結露やカビが生じないこと。
- オ 床、階段
 - ・汚損やひび割れ、浮き、磨耗等がないこと。
 - ・展示や来館者の通行等に支障をきたさないこと。

(2) 外構に関する事項

- ア 工作物
 - ・汚損や破損等がないこと。
 - ・門扉や塀等については、防犯対策に考慮し、良好な状態を保つこと。
- イ 植栽等
 - ・敷地内の緑樹を保護し、周辺環境と調和した景観を保持すること。
 - ・剪定、除草、施肥、散水及び害虫防除等を計画的に行い、植栽を良好な状態に保つこと。

(3) 博物館特有の事項

設計図書（建築設計、展示設計）に定められた所用の性能及び機能を保ち、収蔵資料、展示資料及び来館者に支障をきたさないこと。

- ア 収蔵庫
 - ・室内環境について、仕上げ材の調湿性、断熱性、中性性を保持すること。
 - ・収蔵庫扉の耐火性及び気密性を保持すること。
 - ・収蔵棚等の維持管理を適切に行うこと。
- イ 展示室
 - ・展示造作物、展示機器等を、適切な状態に保つこと。
 - ・展示壁面について、展示替えに伴う修復を行うこと。
 - ・展示壁面について、しみや汚れがないこと。
- ウ 空調管理
 - ・収蔵庫、展示室内の環境管理を適切に行い、恒温恒湿状態を保つこと。（展示ケース内も同様とする。）

(4) 清掃に関する事項

施設的环境、衛生を維持し、博物館としての快適な空間を保つため、清掃業務を行う。目に見える埃、汚れがない状態を維持し、衛生的でなければならない。

ア 建物内清掃

- ・毎日実施する日常清掃は、できる限り博物館運営の妨げにならないように行う。
- ・清掃に使用する洗剤等は、展示資料に影響を及ぼす有害物質を発生しないものを使用すること。
- ・日常清掃とワックス塗布等の定期清掃を組み合わせ、館内の良好な環境を保つこと。

イ 外構清掃

- ・敷地内のごみ、落ち葉、泥汚れ等を除去し、敷地内の環境を良好に保つとともに、近隣に迷惑を及ぼさないようにすること。
- ・舗装面等に雑草が繁茂するのを除去すること。

ウ ごみの収集

- ・ごみは、所定の場所に集積し、保管すること。
- ・分別等は、長崎市の収集方法に従うこと。

(5) 警備に関する事項

施設のすべての財産を保全するために、常駐警備及び機械警備による警備業務を実施すること。警備業務の詳細については、あらかじめ県と協議すること。

また、展示室では、展示資料の保全を図るために、監視員を配置する必要がある。

(6) 保守管理記録の作成

施設の保守管理記録等を作成し保管すること。なお、修理等において設計図面に変更が生じた場合は、変更箇所を反映させておくこと。

- ・点検記録
- ・補修記録
- ・事故記録
- ・営繕工事完成図書

(7) 緊急時、非常時の対応

施設内において破損、火災、事故等が発生し、緊急に対処する必要がある場合は、あらかじめ県と協議の上作成したマニュアルに従い、被害防止に必要な措置を取るとともに、県及び関係先へ至急報告すること。

台風等の事前に想定される非常事態の場合は、休館及び閉館の決定、一般人への周知方法、来館者対応、博物館職員等の対応、施設設備及び附属設備の運営等について、事前に県と協議を行うこと。また、定期連絡及び事後報告も行うこと。

3 業務内容

事業計画書を作成するにあたり、維持管理業務について想定される項目を次に掲げているので参考にとすること。(追加すべき業務項目がある場合は、適宜、業務項目を追加すること。)

(1) 保守管理運営業務

ア 施設全体の統括管理業務

建築物環境衛生管理技術者を配置し、建物管理の全体スケジュールの調整等を行うこと。

イ 環境衛生管理業務

- ・空気環境測定 法定点検：6回/年(27箇所)
- ・雑用水大腸菌群検査 法定点検：6回/年
- ・雑排水槽清掃 2回/年(法定)
- ・雑用水PH測定 法定点検：2回/年
- ・ばい煙測定 2回/年(法定)
- ・中水残留塩素測定 法定点検：1回/週
- ・グリーストラップ 12回/年
- ・薫蒸装置保守点検 必要に応じ
- ・ブラスタートラップ清掃 2回/年
- ・(活性炭撤去及び廃棄) 使用回数による
- ・害虫駆除 法定点検 2回/年

ウ 設備常駐管理業務

- ・建物・設備の維持管理、操作盤監視、日常点検、電球交換等
1名以上常駐(8:00~17:00 1人、12:30~21:00 1人)

エ 清掃管理業務

- ・一般日常清掃 建物内を清潔に保つための日常清掃
- ・特別清掃 ワックス掛け等の特殊清掃(床1回/月)
(常設展示室：6回/年)
(企画展示室：4回/年)

ガラス清掃 6回/年 (外部4回/年、内部1回/年)

オ 警備管理業務 常駐管理1名以上常駐 (開館日1名 (24 H))
(休館日1名 24 H)

カ 電気設備点検保守業務

- ・受変電設備 (年次・月次) 法定点検: 12回/年
- ・漏電測定 法定点検: 12回/年
- ・非常用発電機 法定点検: 12回/年

キ 空調設備保守点検業務

- ・直焚吸収式冷温発生器 定期点検: 6回/年
- ・冷却式HPチラー 定期点検: 1回/年
- ・冷却塔 (開放式) 定期点検: 2回/年
- ・水処理装置 定期点検: 1回/年
- ・冷却水管理装置 定期点検: 1回/年
- ・軟水装置 定期点検: 1回/年
- ・薬注ポンプユニット 定期点検: 1回/年
- ・蒸気ボイラー 定期点検: 2回/年
- ・ファンコイルユニット 定期点検: 2回/年
- ・パッケージエアコン 定期点検: 2回/年
- ・セパレートエアコン 定期点検: 2回/年
- ・空調機コンパクト型 定期点検: 3回/年
- ・空調機天吊型ほか 定期点検: 2回/年
- ・自動制御・中央監視装置 定期点検: 2回/年
- ・トイレ換気口点検 定期点検: 12回/年
- ・送・排風機 必要に応じ
- ・中性能フィルター フィルター交換: 必要に応じ
- ・ケミカルフィルター フィルター交換: 必要に応じ

ク 消防設備保守点検業務 法定点検: 2回/年 (機器点検・総合点検)

- ・消火器、消火栓、自動火災警報機、非常放送、誘導灯等定期点検等

ケ 昇降機設備業務 (4基) 法定点検: 12回/年

コ 給排水設備業務

- ・雨水濾過機 定期点検: 2回/年
- ・自動給水ポンプ 定期点検: 1回/年
- ・電気温水器 定期点検: 12回/年

(2) その他付帯設備等に関する業務

- ア 自動ドア装置保守点検 2回/年
- イ シャッター保守点検 1回/年
- ウ 放送設備保守点検 2回/年
- エ 電話交換機保守点検 2回/年
- オ 調光装置設備保守点検 4回/年 (うち自主2回)
- カ 音響設備保守点検 1回/年
- キ 駐車場料金システム保守点検 3回/年
- ク ながさきミュージアムネットワークシステム保守 12回/年
(ハードウェア保守、ソフトウェア更新)

(3) 収蔵庫内等燻蒸 必要に応じ

(4) 光熱水費等に係る業務

電気料金、ガス料金、水道料金、下水道料金に係る業務等

(5) その他当該施設の管理運営に関して、知事が必要と認める業務

指定管理者の施設管理について、特に知事が必要と認める場合は、業務内容の変更・追加をすることがある。

(別紙3)

事業経費区分表

長崎歴史文化博物館における指定管理業務の遂行に要する事業経費の区分を以下のとおりとする。

■負担金等の対象となる業務経費

- 1 人件費（ショップ、レストラン等に係る従業員の人件費を除く）
- 2 施設維持管理業務費
 - (1) 光熱水費
 - (2) 施設維持管理費
 - ①施設設備保守点検費等
 - ②清掃、警備、樹木管理等
 - ③施設の修繕費・消耗品費
 - ④受付案内業務費等
- 3 事業活動費
 - (1) 調査研究業務費
 - (2) 教育普及・生涯学習支援業務費
 - (3) 資料修復費等
- 4 その他、県が負担金で支出することが適当と認めた業務費

■利用料金等の対象となる業務経費

- 1 事業活動費
 - (1) 展覧会及び展示事業費
 - ①常設展示、展示替えに係る経費
 - ②企画展示に係る経費
 - ③図録等の作成費
 - (2) 業務経費
 - ①広報、マーケティング費用
 - ②寸劇、イベント等自主事業費
 - ③駐車場運営費
 - ④施設貸出業務費
 - (3) ボランティア経費
 - (4) ミュージアムショップ経費
 - (5) レストラン経費
- 2 その他

博物館の管理運営に係る業務で、指定管理者が独自に実施する業務費

リスク分担表

リスクの種類	内 容	負担者	
		県	指定管理者
物価変動	人件費、物品費等物価変動に伴う経費の増		○
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
周辺施設・住民及び 施設利用者への対応	地域との協調		○
	施設管理、運營業務内容に対する住民及び施設利用者からの訴訟、反対や要望への対応		○
	上記以外	○	
法令の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす法令変更	○	
	上記以外		○
税制度の変更	施設の管理運営に影響を及ぼす税制変更	○	
	一般的な税制変更		○
事業の変更	県の責めによる理由から、施設管理、運營業務の継続に支障が生じた場合、又は業務内容の変更を余儀なくされた場合の経費及びその後の維持管理経費における当該事情による増加経費負担	○	
	上記以外		○
不可抗力	不可抗力（暴風、豪雨、洪水、地震、落盤、火災、争乱、暴動、その他の県又は指定管理者のいずれの責めにも帰することのできない自然的又は人為的な現象）に伴う、施設、設備、資料の修復による経費の増加及び事業履行不能	○	
施設・設備の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
資料等の損傷	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外で相手方が特定できないもの	○	
第三者への賠償	指定管理者の故意又は過失によるもの		○
	指定管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	上記以外	○	
セキュリティ	警備不備による情報漏洩、犯罪発生		○
事業終了時の費用	指定管理者の期間が終了した場合又は期間中途における業務を廃止した場合における事業者の撤収費用		○

(別紙5)

個人情報取扱特記事項

(基本的事項)

第1 乙は、個人情報（個人に関する情報であつて、特定の個人を識別することができるものと認められるもの。以下同じ）の保護の重要性を認識し、指定管理業務を行うに当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

(秘密の保持)

第2 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報を他に漏らしてはならない。
この協定が終了し、又は解除された後においても同様とする。

(収集の制限)

第3 乙は、指定管理業務を行うために個人情報を収集するときは、業務の目的を達成するために必要な範囲で、適法かつ公正な手段により行わなければならない。

(適正管理)

第4 乙は、指定管理業務に関して知り得た個人情報について、盗難、漏えい、滅失及びき損の防止、乙内部における盗用の防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

(目的外利用及び提供の禁止)

第5 乙は、甲が指示したときを除き、指定管理業務に関して知り得た個人情報を、協定の目的以外の目的に利用し、又は第三者に提供してはならない。

(複写又は複製の禁止)

第6 乙は、甲が承諾したときを除き、指定管理業務を行うため甲から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は複製してはならない。

(再委託の禁止)

第7 乙は、甲が承諾したときを除き、この協定による個人情報を取り扱う業務については、自ら行うものとし、第三者に委託してはならない。

(資料等の返還)

第8 乙は、指定管理業務を行うために甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報が記録された資料等は、この協定の終了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に指示するときはその指示に従うものとする。

(従事者への周知)

第9 乙は、指定管理業務に従事している者に対して、在職中及び退職後においても、当該業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は当該業務の目的以外の目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関し必要な事項を周知しなければならない。

(調査)

第10 甲は、乙が指定管理業務を行うに当たり、取り扱っている個人情報の状況について、随時調査することができる。

(立ち入り検査)

第11 甲は、必要と判断した場合には、乙が指定管理業務を遂行する事業所内部に立ち入り、その個人情報の管

理状況について検査することができる。この場合には、事前に乙に通知するものとするが、甲において緊急を要すると判断した場合には、事前の通知なく立ち入り検査を実施することができるものとする。

(事故報告)

第 12 乙は、この協定に違反する事態もしくは事故が生じ、又は生じるおそれのあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、その指示に従うものとする。

(罰則)

第 13 (1) 指定管理業務に従事していた者が在職中又は退職後に行った行為に関する刑罰

①指定管理業務に従事している者又は従事していた者（以下「従業員等」という。）が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書であって、個人の氏名、生年月日その他の記述等により当該個人を容易に検索することができるように体系的に構成されたもの（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含む。）を提供したときは、2年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられる。

（長崎県個人情報保護条例第63条）

②従業員等が、正当な理由がないのに、個人の秘密に属する事項が記録された公文書（その全部又は一部を複製し、又は加工したものを含み、前述のものを除く。）を提供したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰金に処せられる。（同条例第64条）

③従業員等が、その業務に関して知り得た保有個人情報を、自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で提供し、又は盗用したときは、1年以下の懲役又は50万円以下の罰則に処せられる。（同条例第65条）

(2) (1) の行為についての受託者に対する刑罰

従業員等がおこなった(1)の①から③までの行為については、乙（同条例第68条第1項の法人又は人をいう。）に対しても、①から③までに掲げられた罰金刑が科せられる。

長崎歴史文化博物館資料の貸し出しに関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の貸し出しに関し、必要な事項を定めるものとする。

(資料の借用願)

第2条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の借用を受けようとする者は、長崎歴史文化博物館資料借用申請書（様式第1号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項による申請書類のほかに、次に挙げる書類を提出しなければならない。

- (1) 施設案内（リーフレット、ガイドブックなど）
- (2) 展示室写真もしくは図面
- (3) ファシリティレポート
- (4) 企画展又は展覧会の概要
- (5) 輸送方法及び輸送計画

(借用の許可)

第3条 館長は、前条の申請があたったときは、当該申請者が次の各号の一に該当し、かつ当該貸出が博物館の業務に支障がないものと認められるときは、長崎県と協議し承認を受けた後に、申請の許可をするものとする。

- (1) 博物館法（昭和29年法律第285号）第2条の規定による登録を受け、又は同法第29条の規定により博物館に該当する施設として都道府県の教育委員会の指定を受けたものであるとき
- (2) 資料の貸し出しを受けようとするものが、国又は地方公共団体の設置する博物館、美術館又はこれらに準ずる施設であるとき
- (3) その他館長が特に適当と認めたとき

(貸出許可証の発行)

第4条 館長は、前条の貸し出しの許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料貸出許可証（様式第2号）を発行する。

(貸出の期間)

第5条 資料の貸し出し期間は、輸送日を含めて3ヶ月以内とする。ただし、館長が特別に認めたときは、この限りではない。

(貸出の条件)

第6条 資料の貸し出しの許可を受けたものは、次の各号に掲げる貸し出しの条件を遵守しなければならない。

- (1) 貸し出しを受けた資料は、取り扱いに細心の注意を払うとともに、博物館が指示する条件のもので展示し、または保管すること。
- (2) 資料の借用に関しては、博物館が指定する金額によるドア・ツー・ドアの保険をかけるものとする。
- (3) 貸し出しを受けた資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料を現状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償すること
- (4) 当該資料の輸送及び維持管理に要する経費の一切を負担すること
- (5) 当該資料の写真撮影、模写、模造及び印刷物掲載等については、あらかじめ、館長の承認を受けること
- (6) 当該資料を貸し出しの許可に係る使用目的以外に使用し、又は展示場所及び保管場所を変更しないこと
- (7) 貸し出し期間満了の日までに指定された場所に返還すること
- (8) 資料の返還後、展示の様子が分かる写真及び、展覧会図録を2部以上提出すること。
- (9) 前各号に掲げられるもののほか、館長が指示する事項

(資料の引渡し及び返還)

第7条 資料の引渡し及び返納については原則として博物館で行うものとする。

2 資料の借用の許可を受けたものは、当該資料の引渡しを受ける際、長崎歴史文化博物館資料借用書（様式第3号）を館長に提出しなければならない。

- 3 資料の引渡しをする際には、両者立会いのものと、資料の破損等を確認し、検査調査書を作成するものとする。
- 4 館長は、資料の返還を受けたときは、貸出を受けたものに資料借用書を返却するものとする。
- 5 第2項の引渡し及び返還は、当事者双方において貸与した資料の破損等を、引渡し前に記入した検査調査書と確認したうえで行うものとする。

(貸出料)

第8条 資料の貸出しは、無料とする。

(返還請求)

第9条 館長は、資料の貸出しを受けたものが次の各号の一つに該当したときは、貸出期間にかかわらず貸出した資料の返還を請求することができる。

- (1) 第6条の規定に違反したとき
- (2) 館長が指示した事項に従わないとき

(委任)

第10条 この規定に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成17年11月3日から施行する。

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

長崎歴史文化博物館資料特別閲覧に関する規程

(目的)

第 11 条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料の取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）が収蔵する資料の閲覧および特別閲覧について必要な事項を定めるものとする。

(資料の閲覧)

第 12 条 博物館が収蔵する資料（以下「資料」という）の閲覧および特別閲覧を受けようとする者（以下「閲覧者」という）は、原則として閲覧希望日の 10 日前までに長崎歴史文化博物館資料特別閲覧申請書（様式第 1 号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、その許可を受けなければならない。

2 館長は、前項による申請内容について必要があると認めたときは、その他の関係書類の提出を求め、又は事情聴取を行うものとする。

3 特別閲覧が必要な資料については別途定めるものとする。

(特別閲覧の許可)

第 13 条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、特別閲覧を許可する。

(1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき

(2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき

(3) 公序良俗に反すると認められるとき

(4) 過去において、第 8 条の規定による損害を与えたもの、又は第 9 条の規定による特別閲覧の取り消しを受けたものであるとき。

(5) その他館長が特に不適切であると認めたとき

(特別閲覧許可の発行)

第 14 条 館長は、第 3 条の特別閲覧の承認をしたときは、長崎歴史文化博物館資料特別閲覧許可証（様式第 2 号）（以下「許可証」という）を発行するものとする。

2 特別閲覧を許可しない場合も、その理由を付した文書をもって通知するものとする。

(特別閲覧の時間等)

第 15 条 特別閲覧のできる時間は原則として午前 9 時 30 分から午後 6 時までとする。

(特別閲覧の条件)

第 16 条 閲覧者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

(1) 職員の立会いのもとで閲覧すること

(2) 閲覧中は職員の指示に従うこと

(3) 承認を受けていないものを同伴しないこと

(特別閲覧の開始及び終了)

第 17 条 閲覧者は、特別閲覧当日に発行された許可証を持参しなければならない

(損害賠償)

第 18 条 閲覧者は、この規程に違反し、又は故意若しくは過失により閲覧を許可された資料をき損し、若しくは汚損し、又は滅失したときは、当該資料等を原状に回復し、又はそれによって生じた損害を賠償しなければならない。

(特別閲覧の取消)

第 19 条 館長は、閲覧者がこの規程に違反し、又は不都合な行為があると認めたときは、直ちに閲覧の許可を取り消し、必要な措置を講じることができる。

(委 任)

この規程に定めるもののほか必要な事項については、館長が別に定める。

付 則

この規程は、平成 17 年 11 月 3 日から施行する。

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

長崎歴史文化博物館資料撮影および画像利用に関する規程

(目的)

第1条 この規程は、長崎歴史文化博物館資料取扱いに関する規程に基づき、長崎歴史文化博物館（以下「博物館」という）における資料撮影および画像利用に関して、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 ここで定める写真利用等とは、資料写真の利用、撮影、模写・模造（以下「写真利用等」という）をいうものとし、画像とは、博物館に収蔵する資料のポジフィルム、ネガフィルム、デジタルデータなどのフィルム原版（以下「画像」という）をいうものとする。

(資料の撮影および画像利用願)

第3条 博物館が収蔵する資料の写真利用等を希望する者は、資料の写真撮影を希望する場合は長崎歴史文化博物館資料撮影申請書（様式第1号）を、画像の利用を希望する場合は長崎歴史文化博物館画像利用申請書（様式第2号）を長崎歴史文化博物館館長（以下「館長」という）に提出し、許可を受けなければならない。

(資料撮影および画像利用の許可)

第4条 館長は、前条の申請があった場合において、次の各号に掲げる項目に該当した場合を除いて、資料撮影および画像利用を許可する。

- (1) 資料の保存に悪影響が生じることが認められるとき
- (2) 博物館の事業及び運営に支障をきたすとき
- (3) 公序良俗に反する用途に供すると認められるとき
- (4) 寄託資料について、所有者の承諾が得られないとき
- (5) その他館長が特に不適切であると認めたとき

(許可証の発行)

第5条 館長は、前条の利用の許可をしたときは、長崎歴史文化博物館資料撮影許可証（様式第3号）、または長崎歴史文化博物館画像利用許可証（様式第4号）を発行する。

(資料撮影および画像利用の条件)

第6条 資料撮影および画像利用の許可を受けた者は、次の各号に掲げる条件を遵守しなければならない。

- (1) 申請時以外の用途には使用しないこと。
- (2) 雑誌、印刷物等に掲載する場合は、「長崎歴史文化博物館蔵」を明記すること。
- (3) 掲載等の場合は、その印刷物及び、掲載誌等を2部以上、博物館に無償で納付すること。
- (4) 当該画像を複製し、第三者に譲渡しないこと。
- (5) 利用目的等が申請時の内容と変更になるときは、速やかに博物館に申し出ること。
- (6) 撮影した画像を再度利用しようとする場合は、必ず博物館に申請すること。
- (7) 当該画像は申請者側で責任を持って保管し、損失等のないように管理すること。
- (8) 当該画像の使用期間を守り、使用後は速やかに博物館まで返却すること。
- (9) 原則として撮影後のデータ及びフィルムはすべて博物館へ納付すること。
- (10) デジタルデータを使用した場合は、使用後必ずデータの削除を行うこと。
- (11) CDやDVD、インターネットなどのデジタルデータでの掲載にあたっては、2次使用が不可能な措置を設定すること。
- (12) その他、館長が指示する事項

(画像の引渡し及び返却)

第7条 利用する画像の引渡し及び返却方法については、申請者の負担により次の各号に掲げる方法をとることとする。

- (1) 直接博物館で引渡し及び返却を行う。
- (2) 簡易書留または宅配便により引渡し及び返却を行う。
- (3) 電子メールによって引渡しを行う。ただし、電子メールの場合は、申請者側で使用後のデータ削除を必ず行うこと。
- (4) その他、適切と思われる方法による。

2 申請者は、利用した画像の返却を行った際に、前条に挙げた印刷物及び掲載誌を館長まで納付しなければならない

らない。ただし、返却期日までに印刷物等が完成していない場合は、完成次第博物館に納付すること。
(写真の使用料および撮影料)

第8条 写真の使用料については別途定めるものとする。

2 使用料の支払については、写真使用期間中に支払うこと。

3 支払い方法については、郵便為替もしくは現金書留による支払いとする。

(損害賠償)

第9条 資料の撮影および画像利用に関して、当該規定を遵守せずに博物館に損害が認められた場合は、申請者はその賠償責任を負うこととする。

(委 任)

この規程に定めるもののほか、必要な事項については、館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成17年11月3日から施行する。

この規定は、平成19年4月1日から施行する。

14 利用案内

1) 開館時間

展示室	8:30~19:00 (最終入館 30 分前)
資料閲覧室・ショップ	8:30~19:00
レストラン「銀嶺」	10:30~21:00 (オーダーストップ 1 時間前)
伝統工芸体験工房・貸工房	9:00~18:00
施設貸出	9:00~21:00
駐車場	8:30~22:00

※ 12/30 ~ 1/3 は駐車場を除き、10:00~18:00

2) 休館日

毎月第3火曜日(祝日の場合は翌日) ※その他メンテナンスの為休館する場合あり。

3) 観覧料

●常設展示

大人 600円〔480円〕 小中高生 300円〔240円〕

※〔 〕内は15名以上団体料金。長崎県内在住の小・中学生は無料。学校行事の一環として、県内の小・中・高・盲学校・聾学校・養護学校が利用する場合は引率の先生を含め無料。障害者手帳(身体障害者手帳・療養手帳・精神障害者保健福祉手帳) 保持者及び介護者1名は5割減。認定を受けた観光客ボランティアの観光客を伴う入館は無料。

●企画展示 別料金

4) 交通案内

アクセス・駐車場台数

- 路面電車「桜町」電停下車、徒歩5分。
- 路面電車「公会堂前」電停下車、徒歩7分。
- 路線バス「桜町公園前」バス停下車、徒歩3分。
- 県営バス(風頭町~夢彩都線)「歴史文化博物館」バス停下車。
- 長崎自動車道(長崎芒塚IC)より、諏訪神社方面へ10分。
- 一般車62台、大型バス5台

5) お問い合わせ

〒850-0007 長崎県長崎市立山1丁目1番1号

TEL. 095-818-8366 FAX. 095-818-8407

<http://www/nmhc.jp>

平成 25 年度
長崎歴史文化博物館年報

2014 年 6 月発行

編集・発行 長崎歴史文化博物館
〒 850-0007 長崎県長崎市立山 1-1-1
TEL 095-818-8366 FAX 095-818-8407
印刷 日本紙工印刷株式会社

